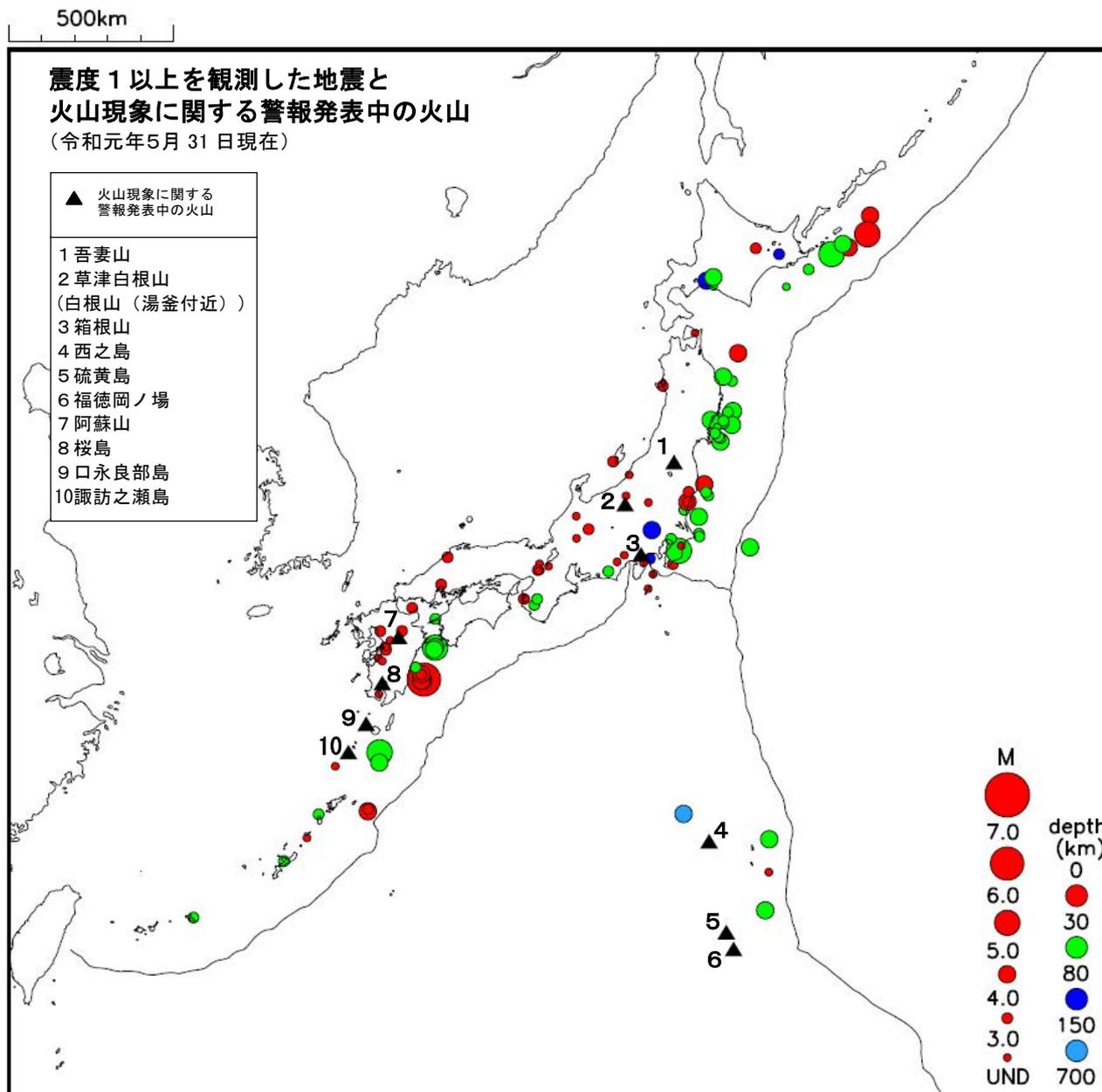


令和元年5月 地震・火山月報(防災編)

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

May 2019



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

利用にあたって

本書は、地震・火山に関連した各種防災情報や地震・火山活動に関する分析結果の最新版を防災機関等における効果的な利用に供するため、毎月刊行している。

気象庁では、平成9年(1997年)11月10日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体*及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成9年(1997年)10月1日より、大学や国立研究開発法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け**、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系 (Japanese Geodetic Datum 2000) に基づいて計算したものである。

注* 令和元年5月31日現在：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、札幌市(北海道)、仙台市(宮城県)、千葉市(千葉県)、横浜市(神奈川県)、川崎市(神奈川県)、相模原市(神奈川県)、名古屋市(愛知県)、京都市(京都府)の47都道府県、8政令指定都市。

注** 令和元年5月31日現在：国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県、神奈川県、温泉地学研究所及び気象庁のデータを基に作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを利用している。

□本書利用上の注意

・震央分布図中の語句について

M：マグニチュード(通常、揺れの最大振幅から推定した気象庁マグニチュードだが、気象庁CMT解のモーメントマグニチュードの場合がある。)

Mw：モーメントマグニチュード(特にことわりがない限り、気象庁CMT解のモーメントマグニチュードを表す。)

depth：深さ(km)

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N=xx, yy/ZZ：図中に表示している地震の回数を表す(通常図の右肩上に示してある)。ZZは回数の総数を表し、xx, yyは期間別に表示色を変更している場合に、期間毎の回数を表す。

・発震機構解について

本書での発震機構解の図は下半球投影である。また、本書での発震機構解は、特にことわりがない限り、初動による発震機構解である。初動発震機構解が求められない場合や、十分な精度が得られない場合には、初動発震機構解に替えてCMT解を掲載する場合がある。

・発震機構解の図中の語句について

P：P軸(圧力軸) T：T軸(張力軸)

N：N軸(中立軸)

・Global CMT解について

Global CMT解は、米国のコロンビア大学とハーバード大学で行っている、世界で発生した規模の大きな地震のCMT解を求めるプロジェクト(Global CMT Project)により求められた解である。

・M-T図について

縦軸にマグニチュード(M)、横軸に時間(T)を表示した図であり、地震活動の経過を見るために用いる。

・震央地名について

本書での震央地名は、原則として情報発表時に使用したものをを用いるが、震央を精査した結果等により、情報発表時とは異なる震央地名を用いる場合がある。なお、情報発表時の震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報(防災編)」1月号の付録「地震・火山月報(防災編)で用いる震央地名」を参照のこと。

・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

・地震の震源要素等について

2016年4月1日以降の震源では、Mの小さな地震は、自動処理による震源を表示している場合がある。自動処理による震源は、震源誤差の大きなものが表示されることがある。

震源の深さを「CMT解による」とした場合は、気象庁CMT解のセントロイド(破壊の重心)の深さをを用いている。

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については、地震月報(カタログ編)[気象庁ホームページ：<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/bulletin/index.html>]に掲載する。

・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、火山月報(カタログ編)[気象庁ホームページ：https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/bulletin/index_vcatalog.html]に掲載する。

・本書で使用した地図等について

本書中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000(行政界・海岸線)』を使用した(承認番号平29情使、第798号)。また、震央分布図等に表記した活断層は、地震調査研究推進本部の長期評価による。

・図版作成には一部GMT(Generic Mapping Tool[Wessel, P., and W. H. F. Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol. 79 (47), pp. 579, 1998])を使用した。

目次

● 日本及びその周辺での主な地震活動	1
北海道地方の地震活動	9
東北地方の地震活動	11
関東・中部地方の地震活動	14
近畿・中国・四国地方の地震活動	17
九州地方の地震活動	18
沖縄地方の地震活動	22
その他の地域の地震活動	23
● 南海トラフ周辺の地殻活動	24
● 日本の主な火山活動	63
北海道地方の火山活動	73
東北地方の火山活動	75
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動	77
近畿・中国・四国地方の火山活動	81
九州地方の火山活動	82
沖縄地方の火山活動	85
火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴	86
● 世界の主な地震	88
● 世界の主な火山活動	92
● 付録	
1. 震度1以上を観測した地震の表	93
2. 過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	113
3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数	114
4. 長周期地震動階級1以上を観測した地震	115
5. 緊急地震速報の提供状況	117

●日本及びその周辺での主な地震活動

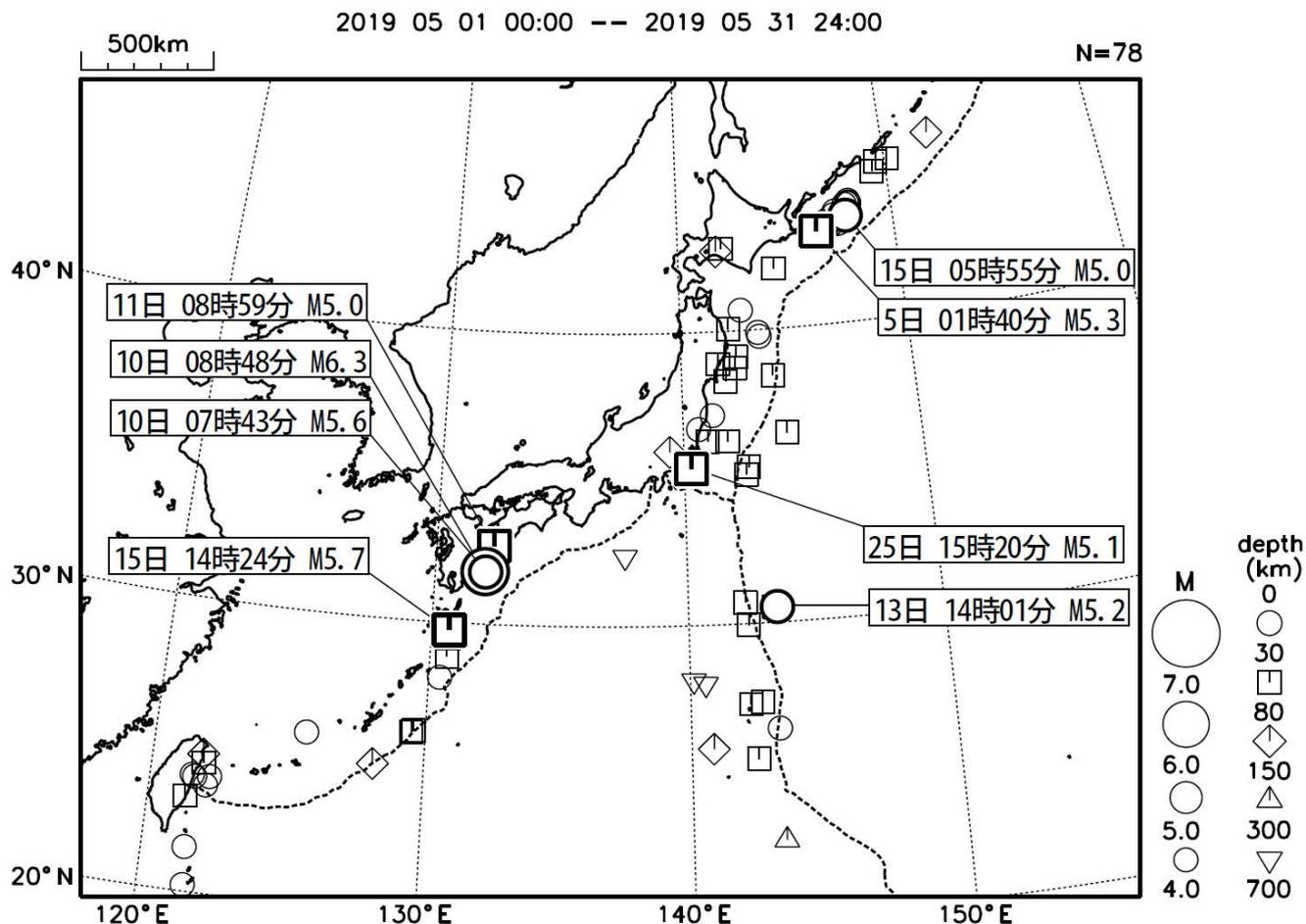


図1 令和元年5月に日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の震央分布図

(図中に日時分、マグニチュードを付した地震はM5.0以上の地震、またはM4.0以上で最大震度5弱以上を観測した地震である。)

令和元年（2019年）5月に日本国内で震度4以上を観測した地震の回数は6回（4月は1回）、日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の回数は78回（4月は95回）であった（図1）。5月中に発生した主な地震を表1、震度1以上を観測した地震の震央を図2、M4.0以上の地震の震央を図3、震度4以上を観測した地震の震度分布図を図4に示す。5月中に震度5弱以上を観測した地震は2回、津波を観測した地震はなかった（4月は震度5弱以上を観測した地震及び津波を観測した地震はなかった）。

令和元年5月 地震・火山月報（防災編）

表1 令和元年5月に日本及びその周辺で発生した主な地震（注1）（注2）（注3）

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	Mw (注4)	M H S T (注5)	最大震度・被害状況等 (注6)	掲載 ページ
1	5 5 1 40	根室半島南東沖	5.3	5.2	・ ・ S ・	4：北海道 根室市瑠瑠瑠*	4、10
2	5 8 9 20	岩手県沖	4.4	—	・ ・ S ・	4：青森県 階上町道仏*	4、12
3	5 10 7 43	日向灘	5.6	5.7	・ ・ ・ ・	3：宮崎県 高鍋町上江* 宮崎美郷町田代* 鹿児島県 始良市加治木町本町* 鹿屋市新栄町 など2県22地点	19
4	5 10 8 48	日向灘	6.3	6.2	M H S ・	5弱：宮崎県 宮崎市松橋* 都城市高崎町大牟田* など1県4地点 長周期地震動階級1を観測 緊急地震速報（警報） を発表 被害 ：軽傷者2人（5月17日現在）	5、19
5	5 11 8 59	日向灘	5.0	4.9	・ ・ S ・	4：愛媛県 愛南町一本松* 高知県 宿毛市桜町* 宮崎県 延岡市北川町川内名白石*	6、20
6	5 15 14 24	奄美大島北東沖	5.7	5.7	・ ・ ・ ・	3：鹿児島県 南種子町中之上*	21
7	5 18 10 18	宮城県北部	4.6	—	・ ・ ・ ・	3：岩手県 大船渡市大船渡町 釜石市中妻町* 宮城県 気仙沼市赤岩 栗原市栗駒 など2県19地点	13
8	5 25 15 20	千葉県北東部 (注7)	5.1	4.9	・ H S ・	5弱：千葉県 長南町長南* 被害 ：軽傷者1人（6月3日現在）	7、15
9	5 27 4 4	茨城県北部	4.3	—	・ ・ S ・	4：茨城県 日立市助川小学校*	8、16

(注1) 主な地震とは、図1の領域内で発生した①M6.0以上、②震度4以上、③内陸M4.5以上かつ震度3、④海域M5.0以上かつ震度3、⑤その他注目した地震を指す。

(注2) 震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。

(注3) 空欄については、複数の地震による活動のため、記載していない場合がある。

(注4) Mw欄の「—」はMwが求められていないことを示す。

(注5) M H S Tの各項目について、M:M6.0以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度4以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。

(注6) 最大震度の観測点名にある*印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。

(注7) 情報発表に用いた震央地名は「千葉県南部」である。

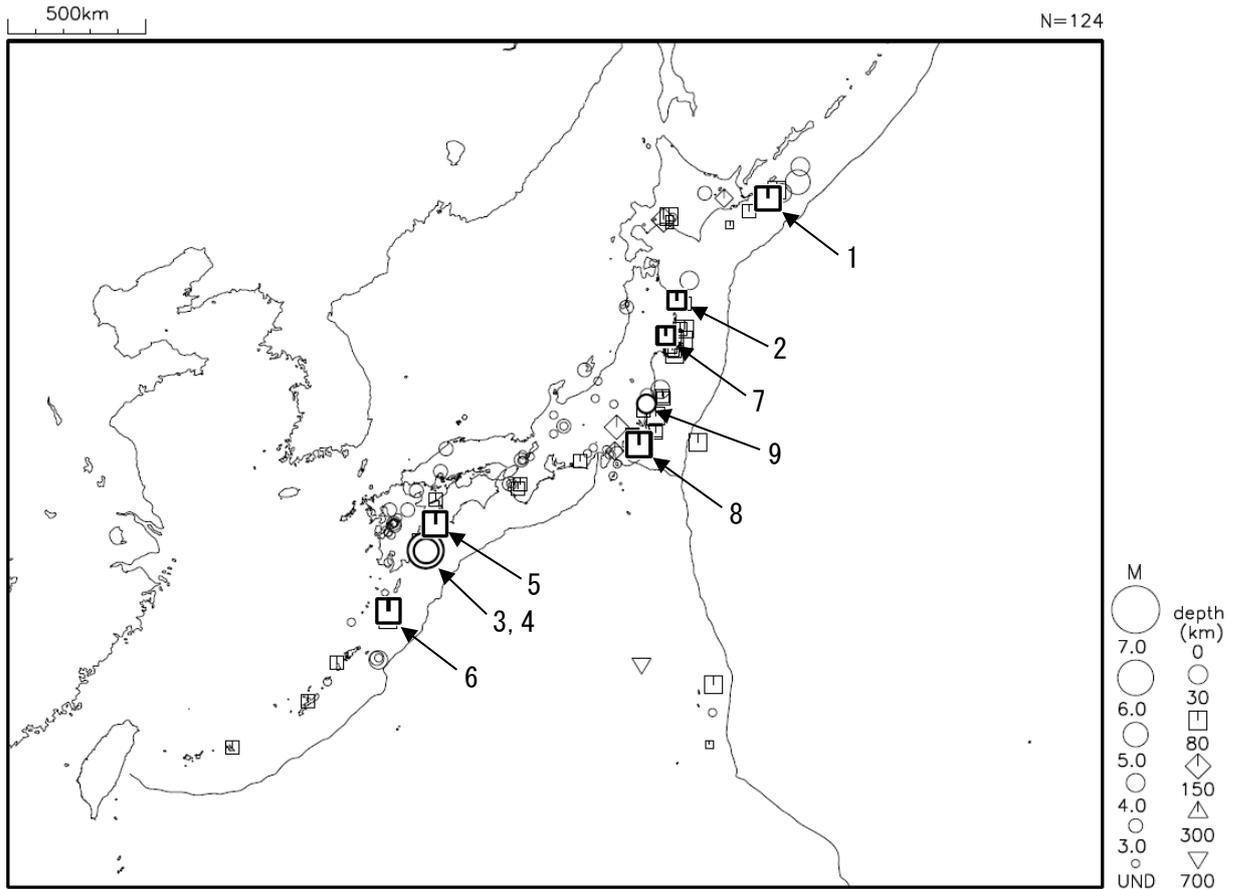


図2 令和元年5月に震度1以上を観測した地震（図中の番号は、表の番号に対応）

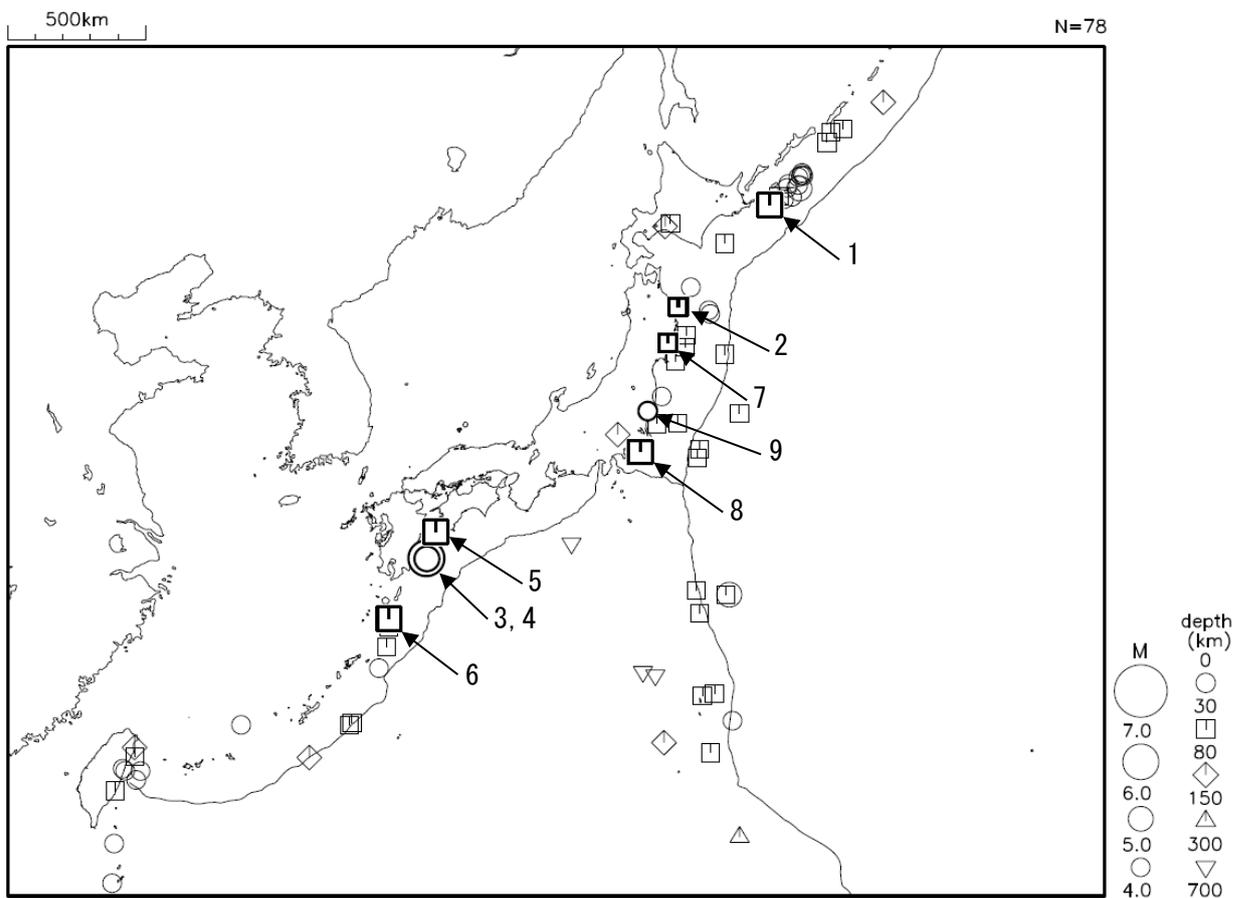
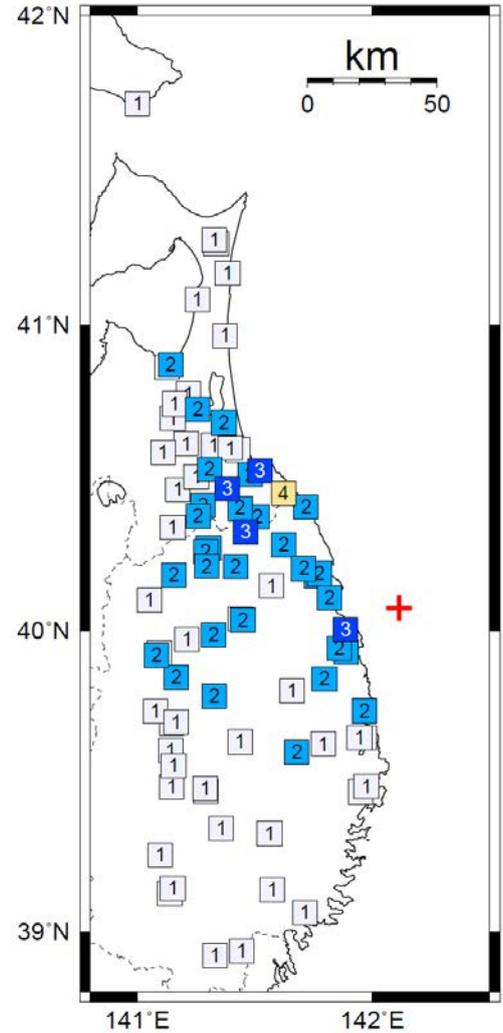
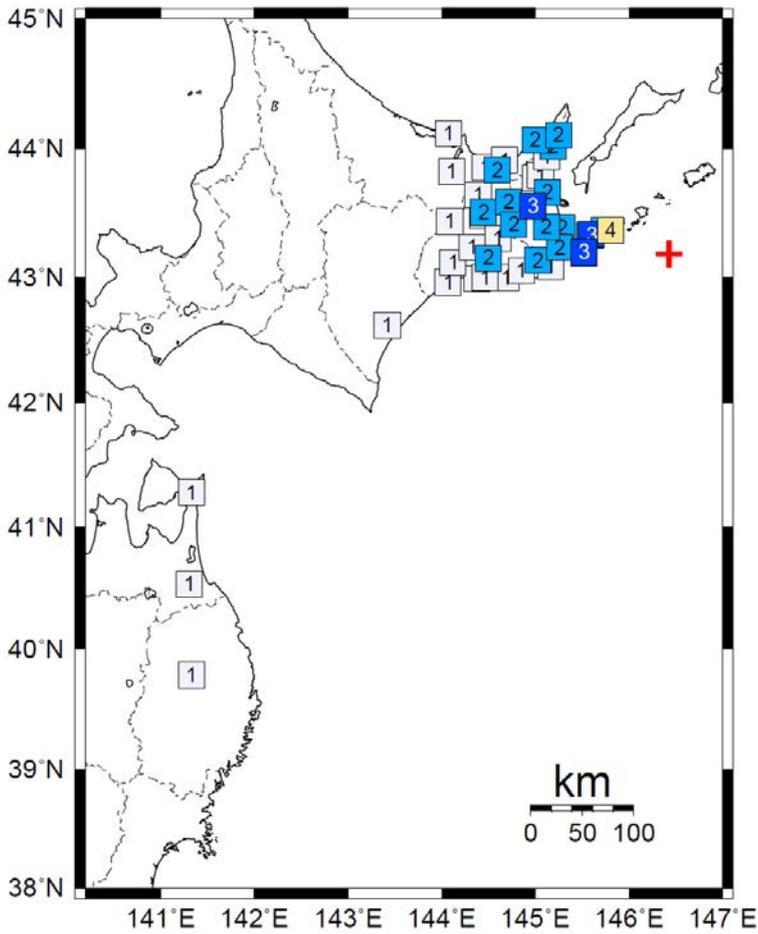


図3 令和元年5月に発生したM4.0以上の地震（図中の番号は、表の番号に対応）

1 5月5日01時40分 根室半島南東沖
(M5.3、深さ52km、最大震度4)

2 5月8日09時20分 岩手県沖
(M4.4、深さ48km、最大震度4)

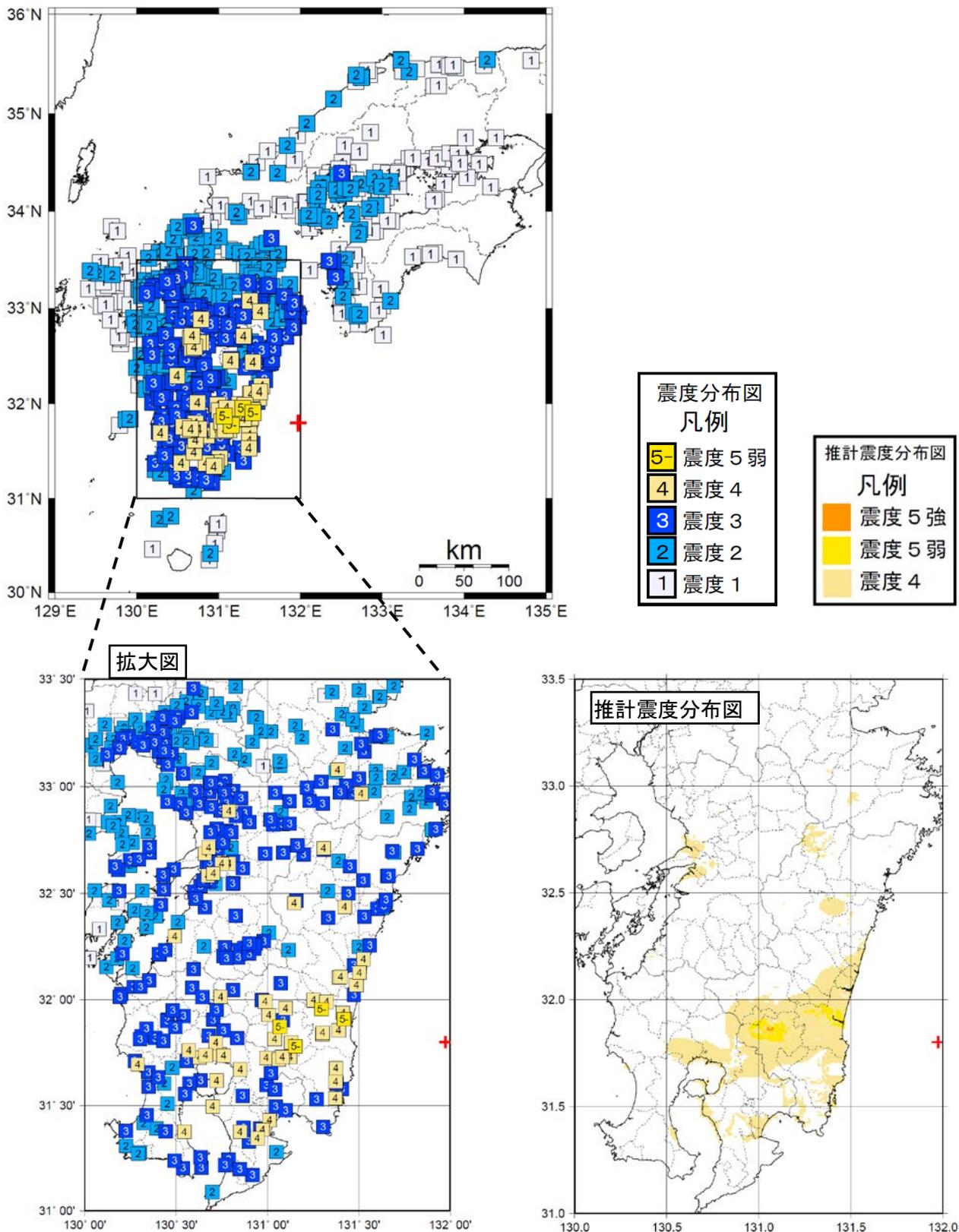


震度分布図 凡例	
4	震度 4
3	震度 3
2	震度 2
1	震度 1

図4 震度分布図及び推計震度分布図（続く）
(各図の左上の数字は表1、図2、図3の番号に対応する。+印は震央を示す)

※その他の地震の震度分布図については、気象庁HPの震度データベース
(<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>) をご覧ください。

4 5月10日 08時48分 日向灘
(M6.3、深さ25km、最大震度5弱)



＜推計震度分布図について＞
地震の際に観測される震度は、ごく近い場所でも地盤の違いなどにより1階級程度異なることがある。また、このほか震度を推計する際にも誤差が含まれるため、推計された震度と実際の震度が1階級程度ずれることがある。
このため、個々のメッシュの位置や震度の値ではなく、大きな震度の面的な広がり具合とその形状に着目して利用されたい。

図4 震度分布図及び推計震度分布図（続き）
（各図の左上の数字は表1、図2、図3の番号に対応する。+印は震央を示す）

5 5月11日 08時59分 日向灘
 (M5.0、深さ36km、最大震度4)

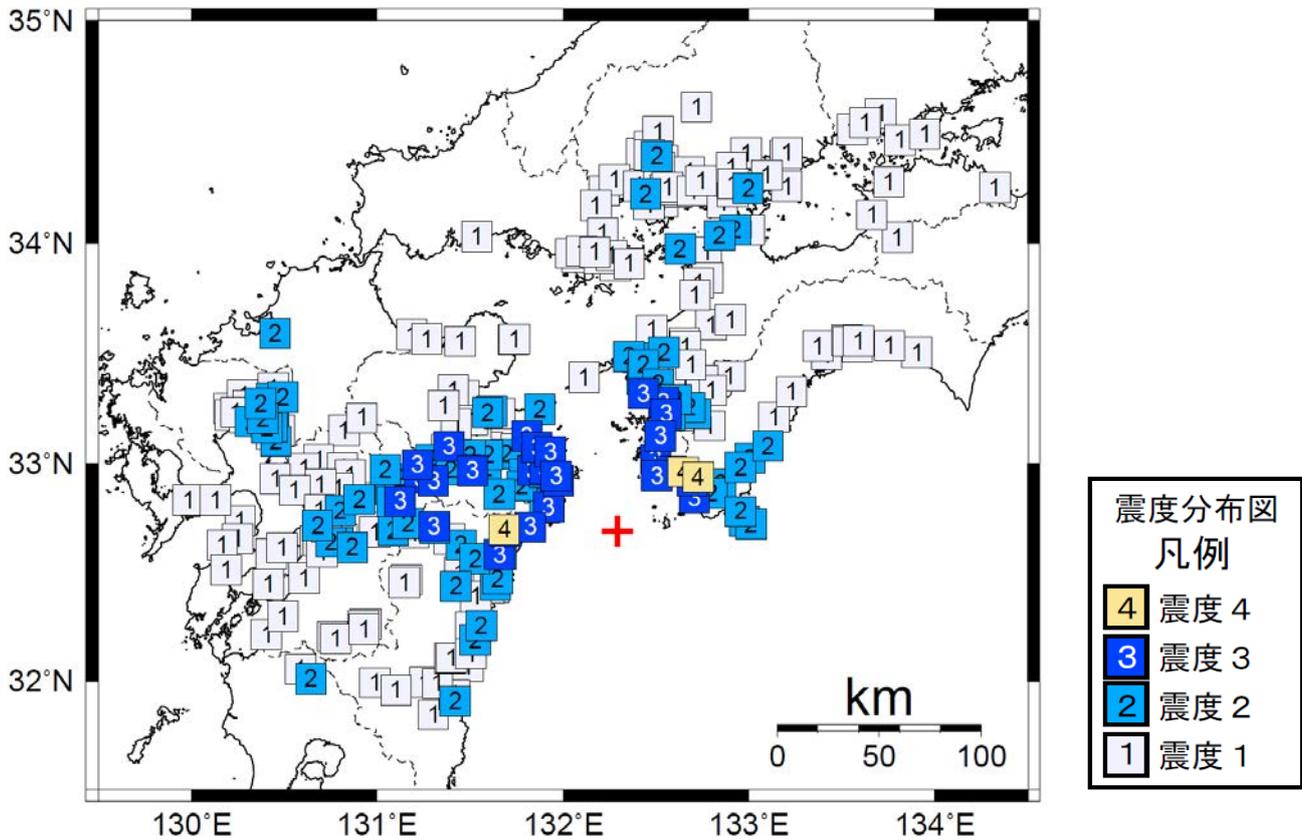
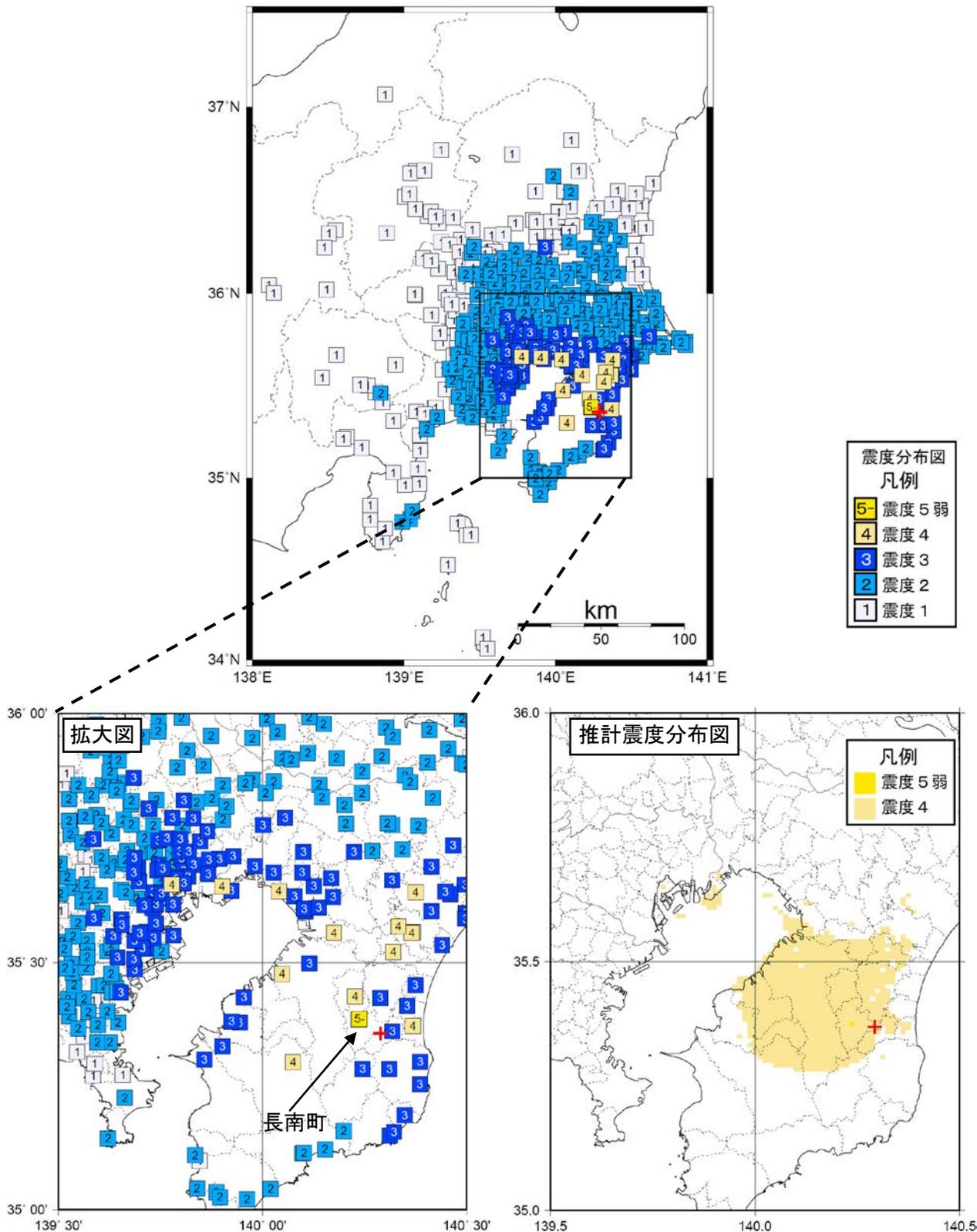


図4 震度分布図及び推計震度分布図（続き）
 （各図の左上の数字は表1、図2、図3の番号に対応する。+印は震央を示す）

8 5月25日15時20分 千葉県北東部
 (M5.1、深さ38km、最大震度5弱)



＜推計震度分布図について＞
 地震の際に観測される震度は、ごく近い場所でも地盤の違いなどにより1階級程度異なることがある。また、このほか震度を推計する際にも誤差が含まれるため、推計された震度と実際の震度が1階級程度ずれることがある。
 このため、個々のメッシュの位置や震度の値ではなく、大きな震度の面的な広がり具合とその形状に着目して利用されたい。

図4 震度分布図及び推計震度分布図（続き）
 （各図の左上の数字は表1、図2、図3の番号に対応する。+印は震央を示す）

9 5月27日 04時04分 茨城県北部
(M4.3、深さ11km、最大震度4)

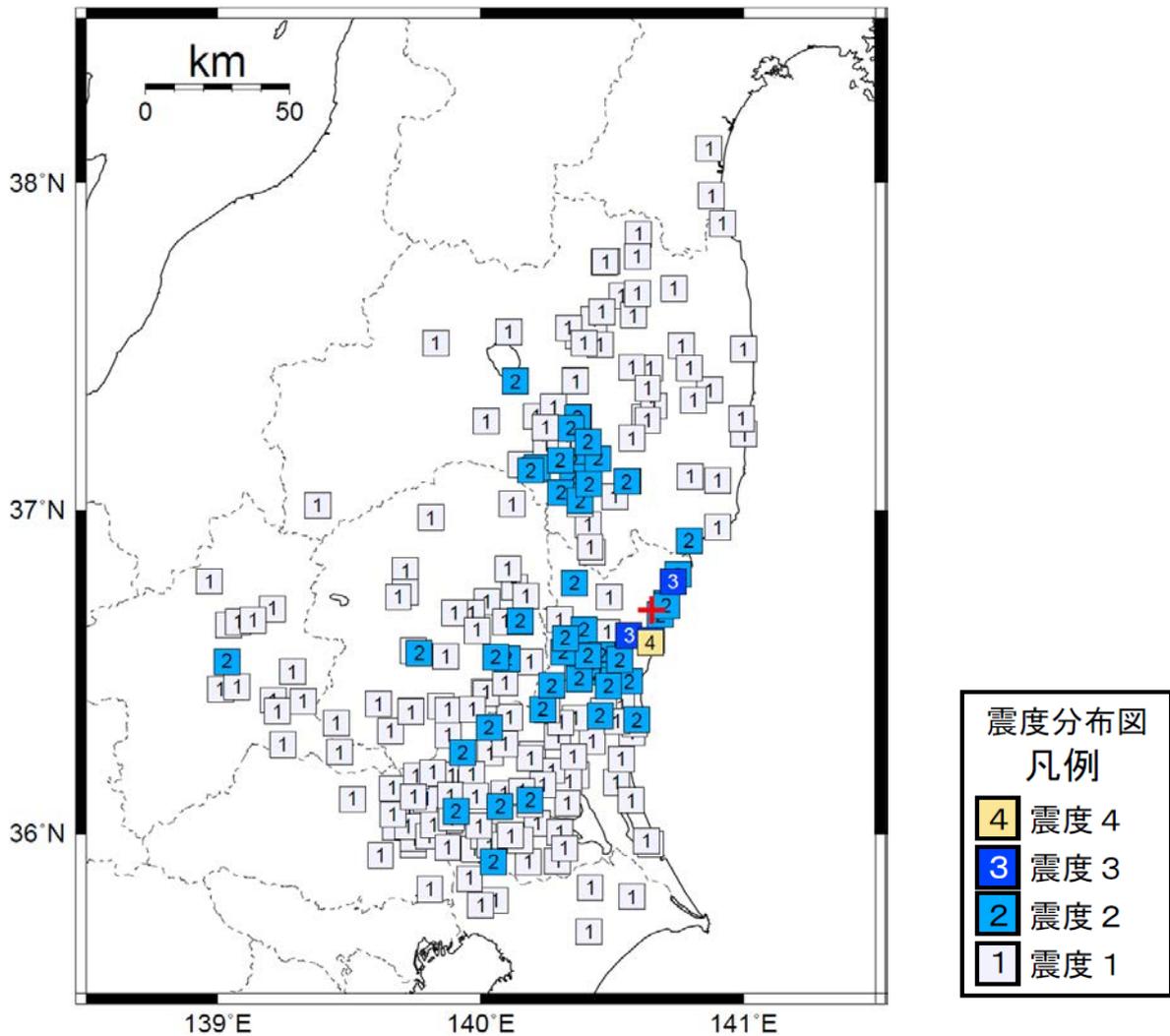


図4 震度分布図及び推計震度分布図（続き）
(各図の左上の数字は表1、図2、図3の番号に対応する。+印は震央を示す)

○北海道地方の地震活動

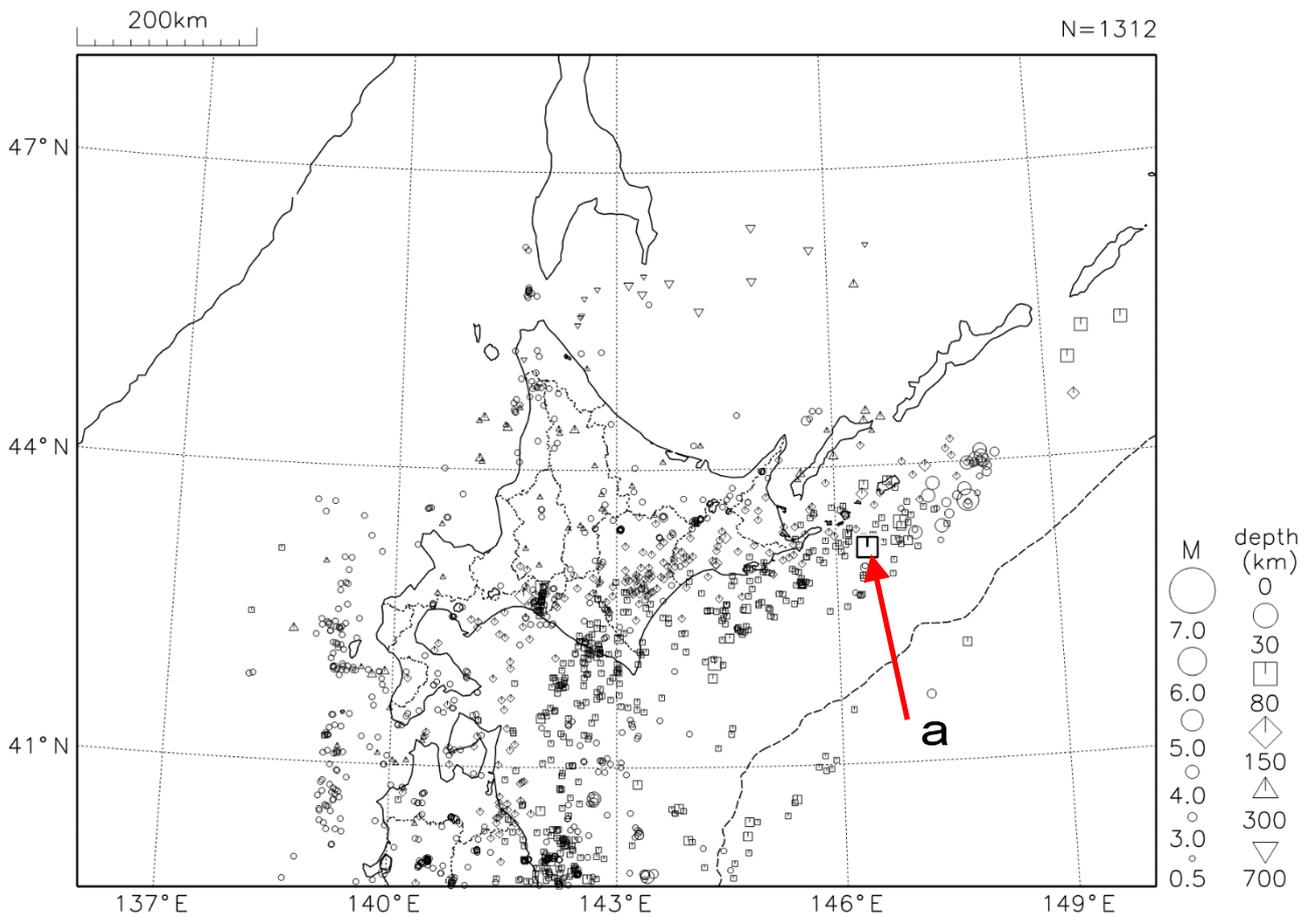


図5 北海道地方の震央分布図（2019年5月1日～5月31日、 $M \geq 0.5$ ）

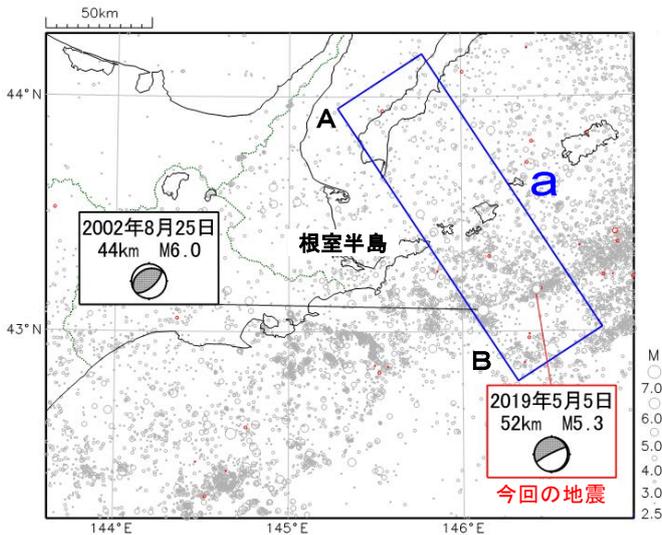
〔概況〕

5月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は15回（4月は23回）であった。
5月中の主な地震活動は次のとおりである。

5日 01時40分に根室半島南東沖の深さ52kmでM5.3の地震（図5中のa）が発生し、北海道根室市で最大震度4を観測したほか、北海道、青森県、岩手県で震度3～1を観測した（p. 4、10参照）。

5月5日 根室半島南東沖の地震

震央分布図
 (2001年10月1日～2019年5月31日、
 深さ0～200km、 $M \geq 2.5$)
 2019年5月の地震を○で表示
 図中の発震機構はCMT解

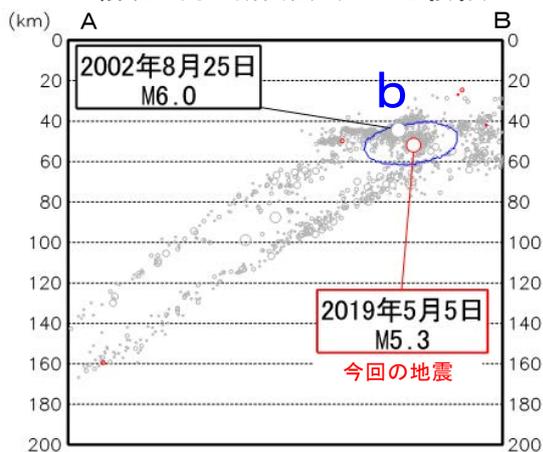


2019年5月5日01時40分に根室半島南東沖の深さ52kmで $M5.3$ の地震（最大震度4）が発生した。この地震は発震機構（CMT解）が北西-南東方向に張力軸を持つ型で、太平洋プレート内部で発生した。

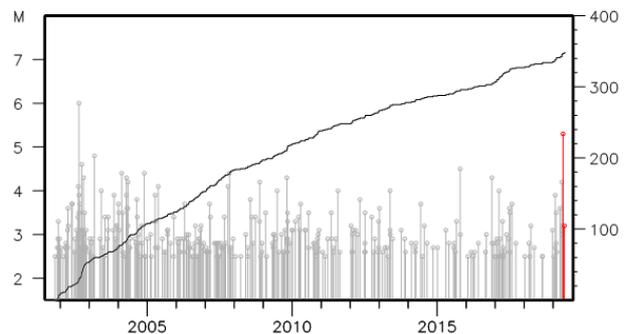
2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、2002年8月25日に $M6.0$ の地震（最大震度4）が発生した。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、 $M7.0$ 以上の地震が4回発生しており、最大規模の地震は1994年10月4日の「平成6年（1994年）北海道東方沖地震」（ $M8.2$ 、最大震度6）で、根室市花咲で168cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測するなど、北海道から沖縄県の太平洋沿岸で津波を観測した。この地震により、北海道では負傷者436人、住家被害7,519棟等の被害が生じた（「平成6・7年災害記録 北海道」による）。

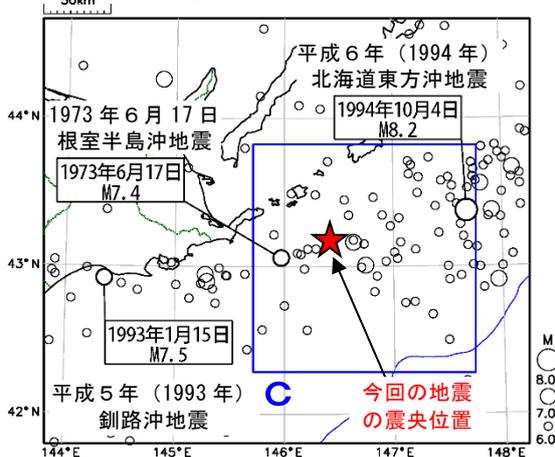
領域a内の断面図（A-B投影）



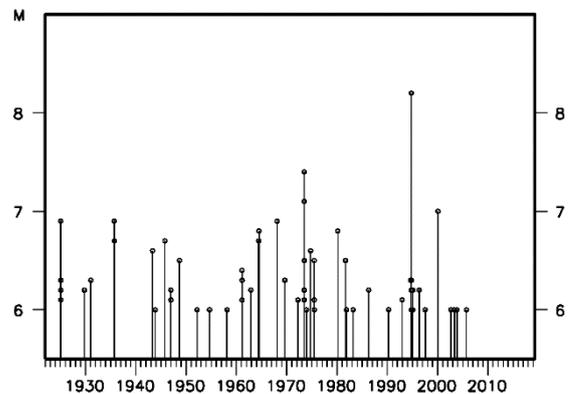
領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
 (1922年1月1日～2019年5月31日、
 深さ0～200km、 $M \geq 6.0$)



領域c内のM-T図



○東北地方の地震活動

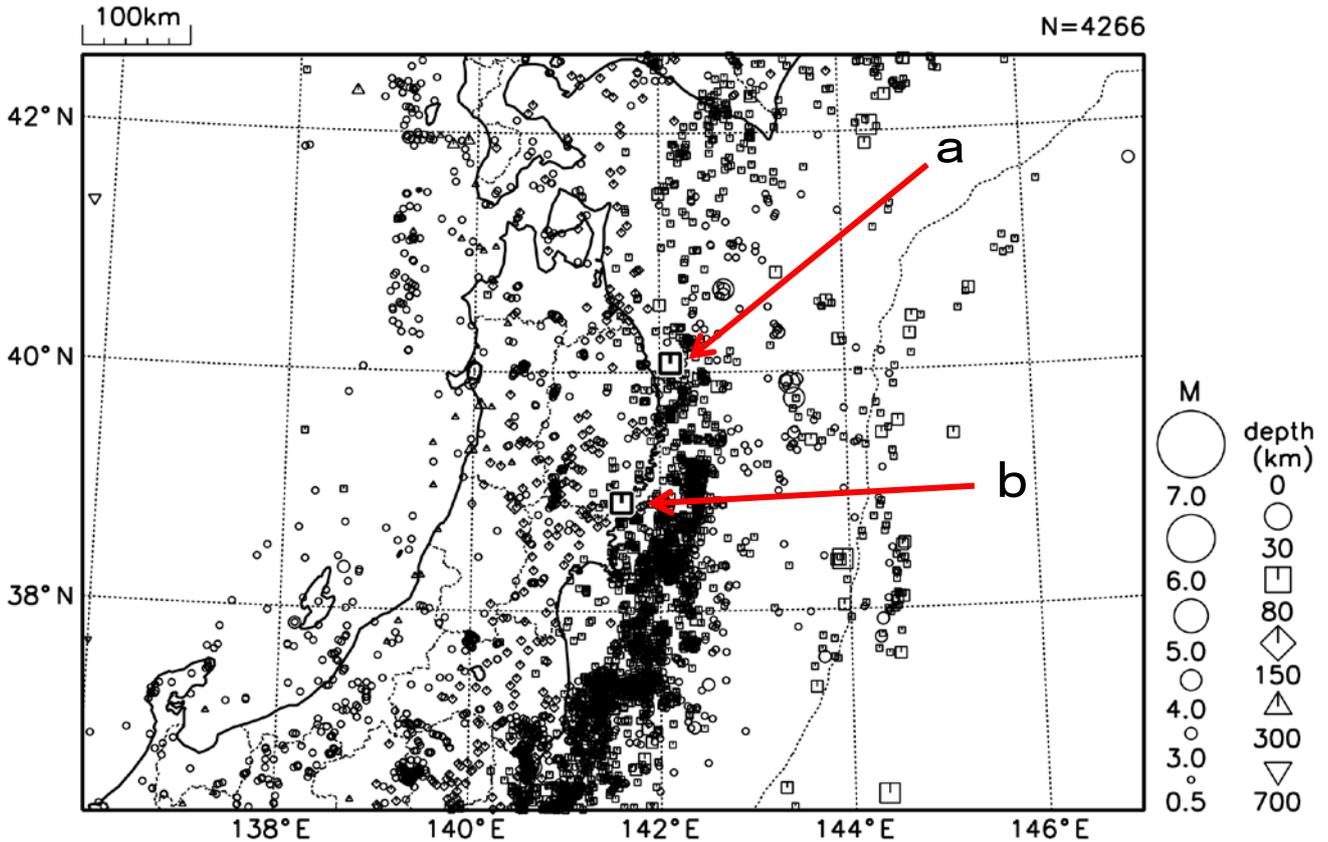


図6 東北地方の震央分布図（2019年5月1日～5月31日、M \geq 0.5）

[概況]

5月に東北地方で震度1以上を観測した地震は26回（4月は38回）であった。
5月中の主な活動は次のとおりである。

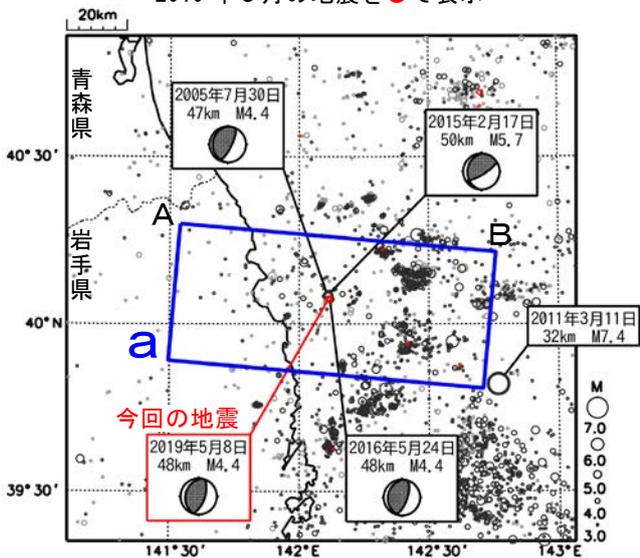
8日09時20分に岩手県沖の深さ48kmでM4.4の地震（図6中のa）が発生し、青森県階上町で震度4を観測したほか、北海道から岩手県にかけて震度3～1を観測した（p. 4、12参照）。

18日10時18分に宮城県北部の深さ78kmでM4.6の地震（図6中のb）が発生し、岩手県、宮城県で震度3を観測したほか、東北地方で震度2～1を観測した（p. 13参照）。

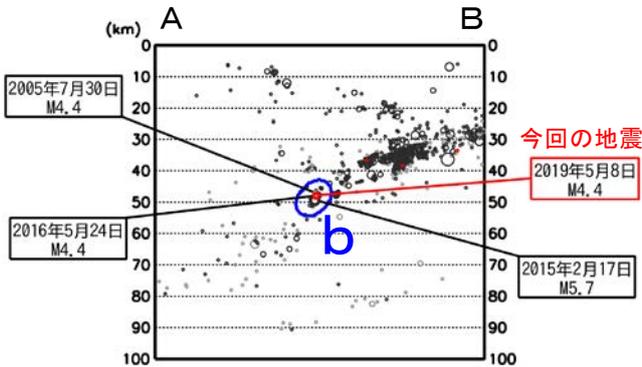
5月8日 岩手県沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2019年5月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 3.0$ 、)
2011年3月10日以前の地震を○、
2011年3月11日以降の地震を○、
2019年5月の地震を○で表示

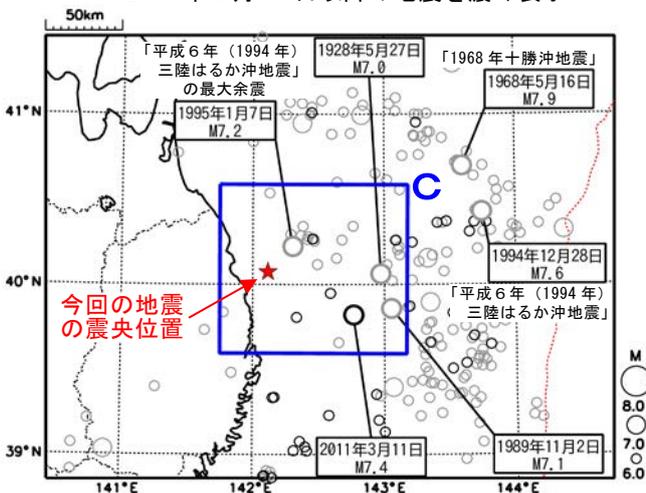


領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図

(1922年1月1日～2019年5月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 6.0$ 、)
2011年3月11日以降の地震を濃く表示

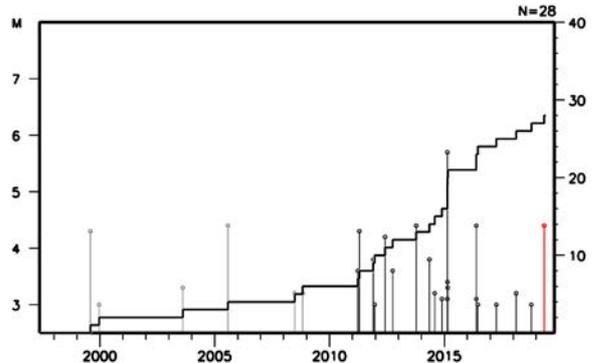


2019年5月8日09時20分に岩手県沖の深さ48kmでM4.4の地震 (最大震度4) が発生した。この地震は発震機構が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

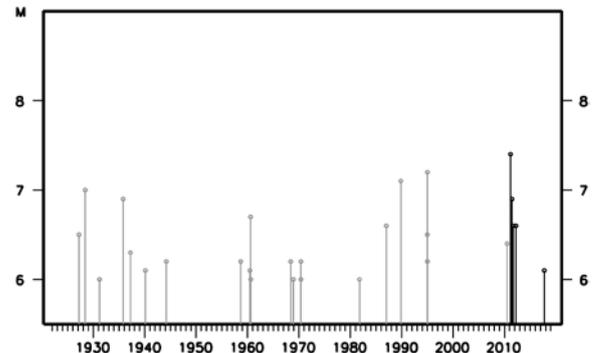
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、M4.0以上の地震が時々発生しており、2015年2月17日にはM5.7の地震 (最大震度5強) が発生した。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、M6.0以上の地震がしばしば発生している。1995年1月7日には「平成6年 (1994年) 三陸はるか沖地震」の最大余震であるM7.2の地震 (最大震度5) が発生した。

領域b内のM-T図及び回数積算図

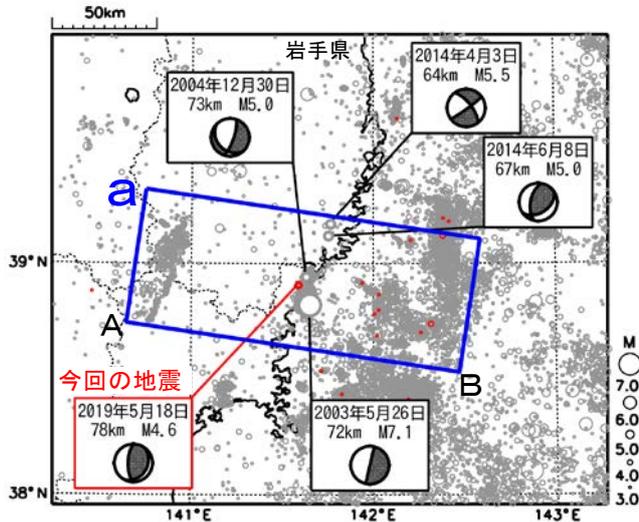


領域c内のM-T図



5月18日 宮城県北部の地震

震央分布図
 (1997年10月1日～2019年5月31日、
 深さ0～150km、 $M \geq 3.0$)
 2019年4月以前の地震を○、
 2019年5月の地震を○で表示

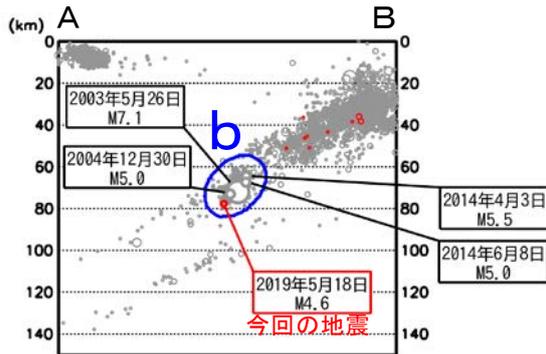


2019年5月18日10時18分に宮城県北部の深さ78kmで $M 4.6$ の地震（最大震度3）が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。発震機構は太平洋プレートの沈み込む方向に圧力軸を持つ型である。

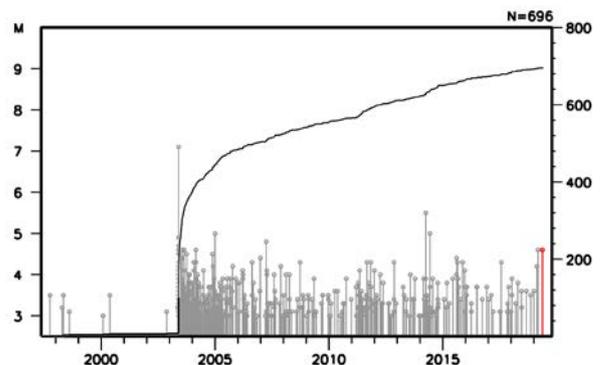
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、2003年5月26日に $M 7.1$ の地震（最大震度6弱）が発生し、以降地震活動が活発化している。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、 $M 6.5$ 以上の地震が時々発生している。このうち2003年5月26日に発生した $M 7.1$ の地震（最大震度6弱）では、負傷者174人、住家全壊2棟、半壊21棟、一部破損2,404棟の被害が生じた（総務省消防庁による）。

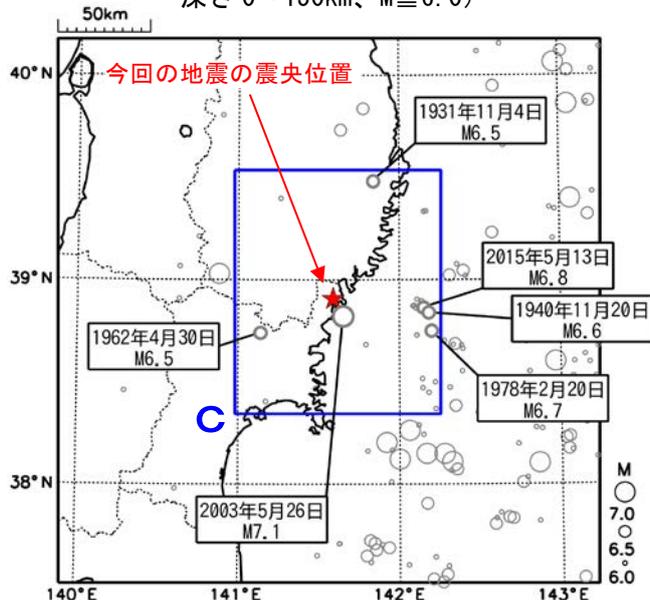
領域a内の断面図（A－B投影）



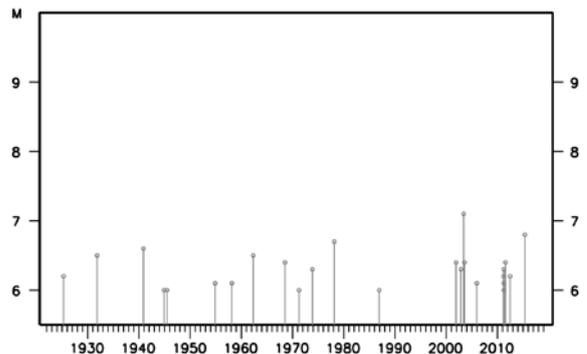
領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
 (1922年1月1日～2019年5月31日、
 深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)



領域c内のM-T図



○関東・中部地方の地震活動

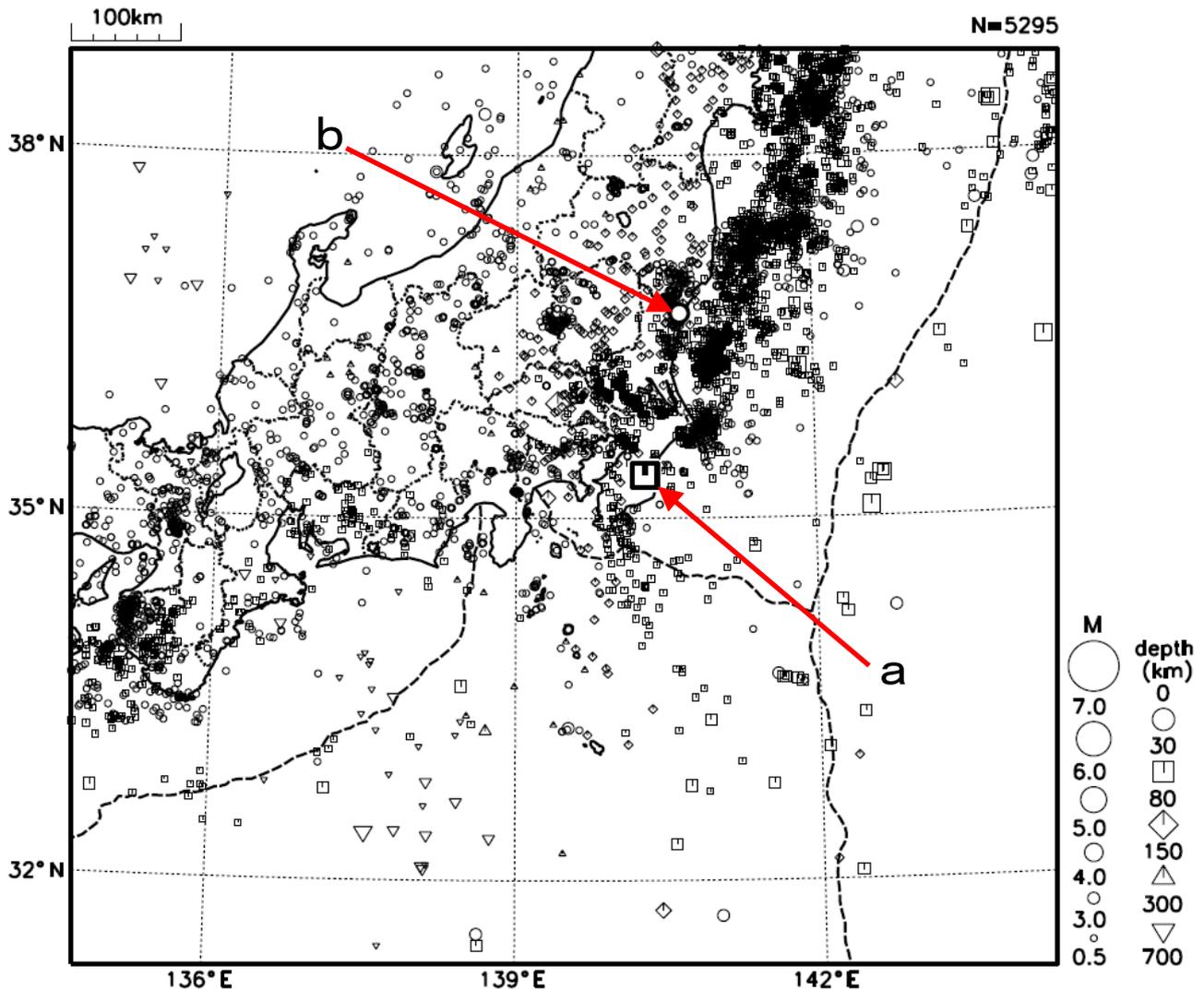


図7 関東・中部地方の震央分布図（2019年5月1日～5月31日、M \geq 0.5）

〔概況〕

5月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度1以上を観測した地震は40回（2019年4月は25回）であった。

5月中の主な活動は次の通りである。

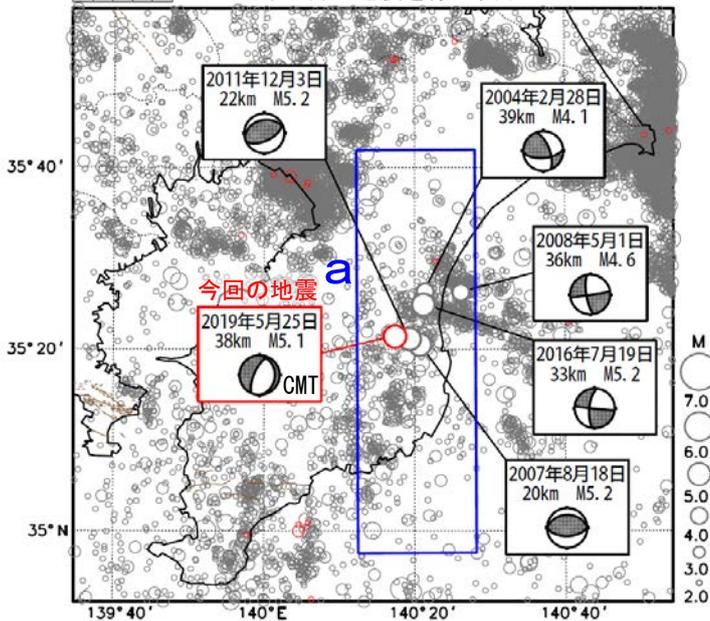
25日15時20分に千葉県北東部の深さ38kmでM5.1の地震（図7中のa）が発生し、千葉県長南町で最大震度5弱を観測したほか、関東甲信越地方及び静岡県で震度4～1を観測した。（p. 7、15参照）。

27日04時04分に茨城県北部の深さ11kmでM4.3の地震（図7中のb）が発生し、茨城県日立市で最大震度4を観測したほか、宮城県、福島県及び関東地方で震度3～1を観測した。（p. 8、16参照）。

5月25日 千葉県北東部の地震

情報発表に用いた震央地名は〔千葉県南部〕である。

震央分布図
(1997年10月1日～2019年5月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 2.0$)
2019年5月の地震を赤く表示

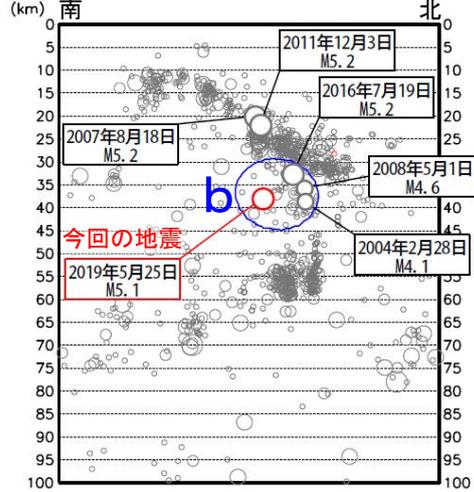


2019年5月25日15時20分に千葉県北東部の深さ38kmで $M 5.1$ の地震(最大震度5弱)が発生した。この地震は、発震機構(CMT解)が西北西-東南東方向に張力軸を持つ正断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した。なお、この地震により、軽傷者1人の被害が生じた(6月3日現在、総務省消防庁による)。

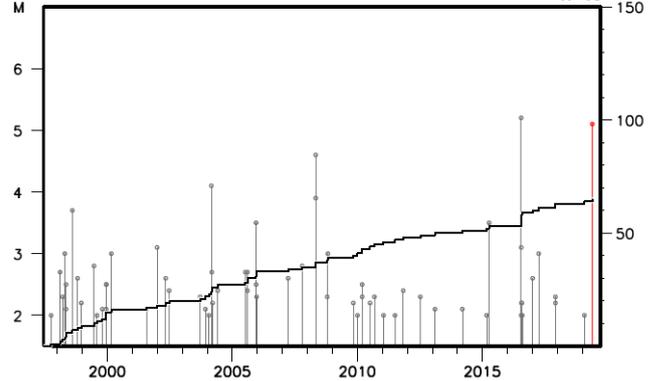
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、あまり地震活動が活発ではないものの、 $M 4.0$ から $M 5.0$ 程度の地震が時々発生しており、2016年7月19日には、深さ33kmで $M 5.2$ の地震(最大震度4)があった。なお、今回の地震の震央付近では、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界におけるゆっくりすべりに伴い、まとまった地震活動が時々みられる。今回の地震は、これらの地震活動よりも深い位置で発生した。

1922年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、 $M 6.0$ 以上の地震が時々発生している。1987年12月17日に発生した $M 6.7$ の地震(最大震度5)では、死者2人、負傷者161人、住家全壊16棟、住家半壊102棟、住家一部破損72,580棟などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。

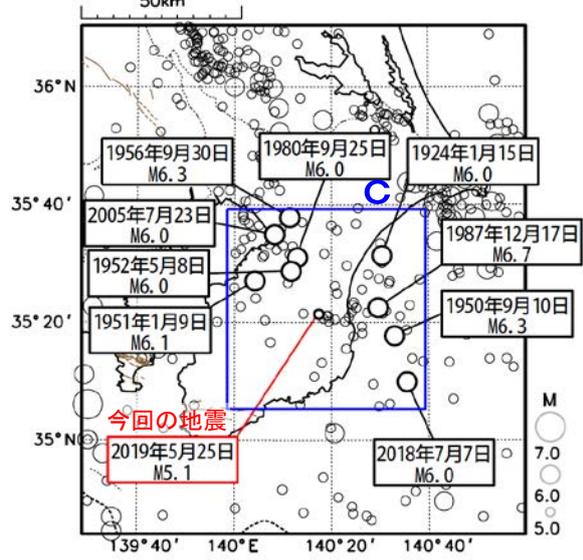
領域a内の断面図 (南北投影)



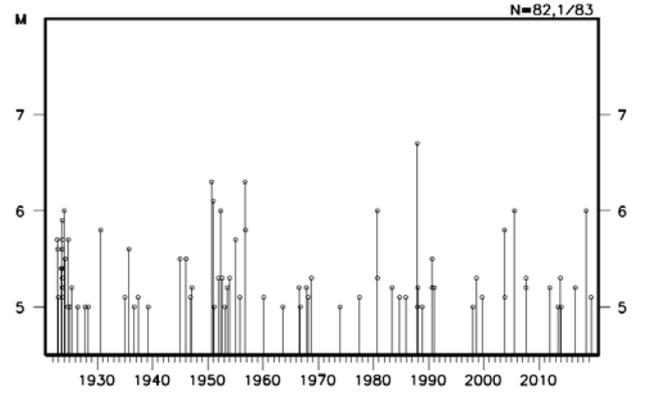
領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
(1922年1月1日～2019年5月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)



領域c内のM-T図

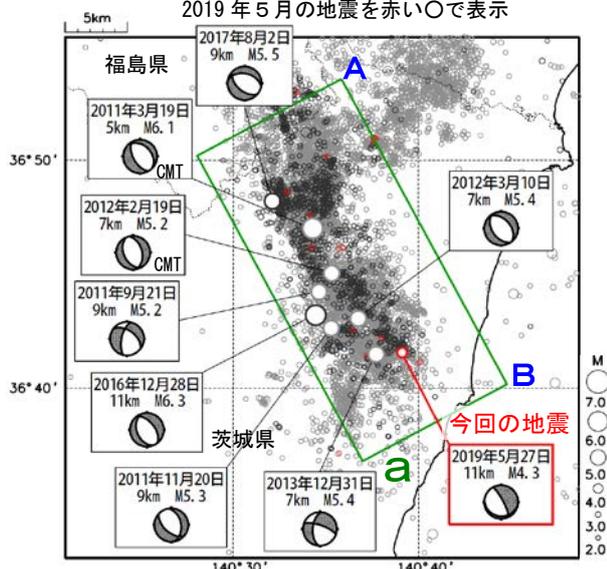


5月27日 茨城県北部の地震

震央分布図

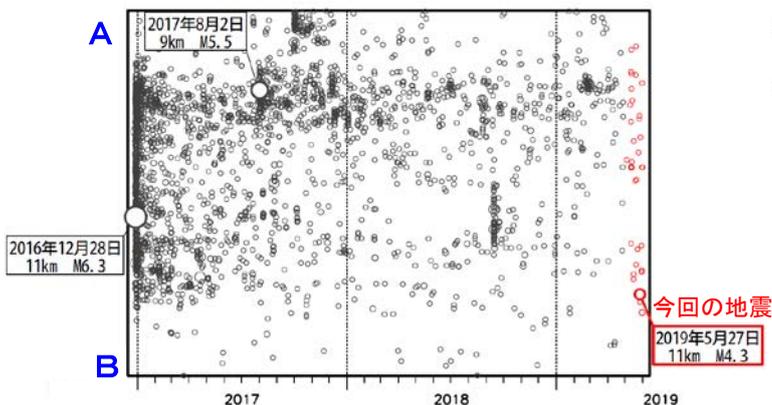
(2011年1月1日～2019年5月31日、
深さ0～20km、 $M \geq 2.0$)

2016年12月27日までの地震を薄い○で表示
2016年12月28日から2019年4月30日の地震を濃い○で表示
2019年5月の地震を赤い○で表示



領域a内の時空間分布図（A-B投影）

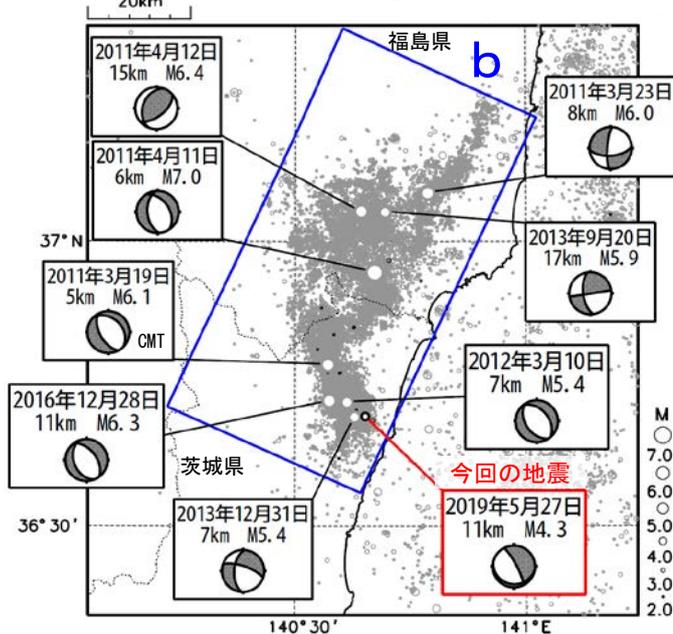
(2016年12月28日～2019年5月31日、 $M \geq 1.5$)



震央分布図

(1997年10月1日～2019年5月31日、
深さ0～30km、 $M \geq 2.0$)

2019年5月の地震を濃く表示

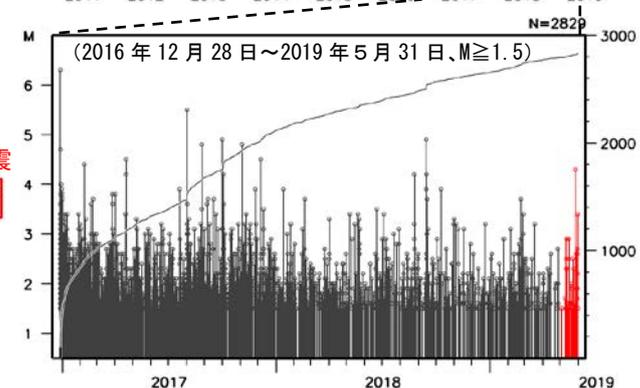
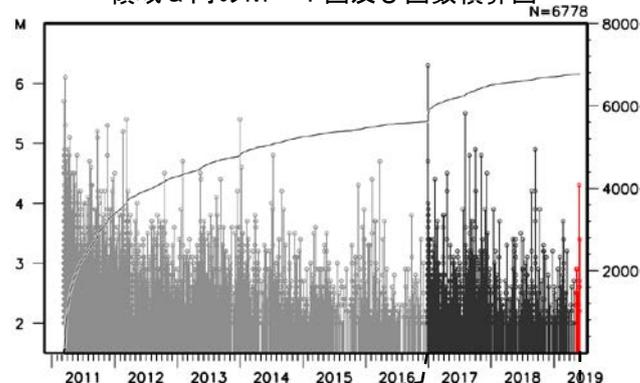


2019年5月27日04時04分に茨城県北部の深さ11kmで $M 4.3$ の地震（最大震度4）が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構は北東-南西方向に張力軸を持つ型であった。

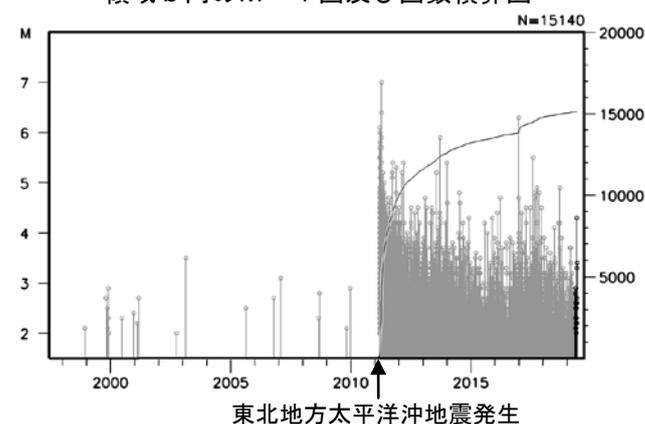
2011年以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域a）では、2016年12月28日に $M 6.3$ の地震（最大震度6弱）が発生するなど、 $M 5.0$ 以上の地震が時々発生している。

1997年10月以降の活動をみると、福島県浜通りから茨城県北部にかけての地殻内（領域b）では、東北地方太平洋沖地震の発生後に地震活動が活発化し、2011年4月11日に発生した $M 7.0$ の地震では、死者4人等の被害が生じた（被害は総務省消防庁による）。この活発な地震活動は徐々に減衰しつつも継続している。

領域a内のM-T図及び回数積算図



領域b内のM-T図及び回数積算図



東北地方太平洋沖地震発生

○近畿・中国・四国地方の地震活動

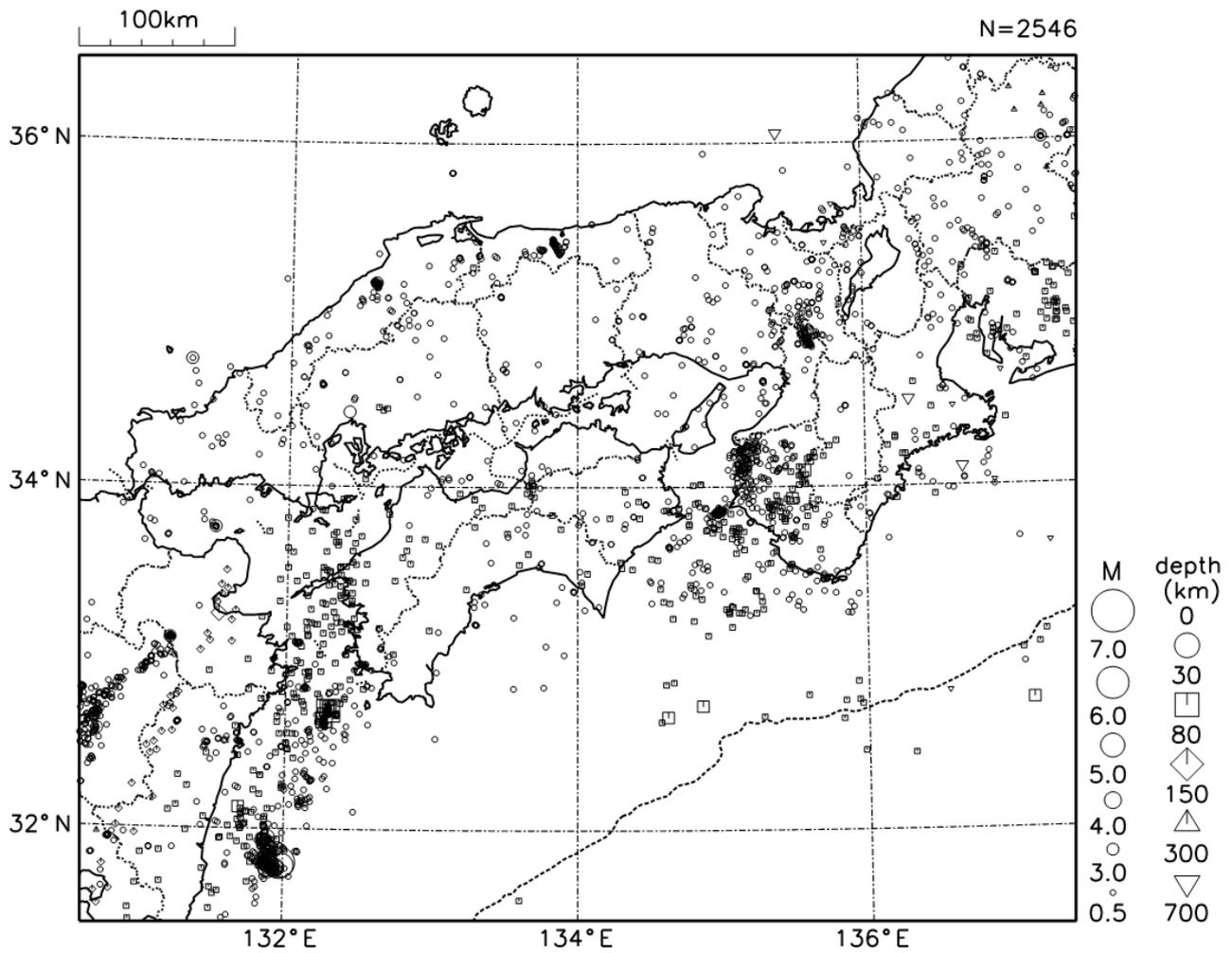


図8 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2019年5月1日～5月31日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

5月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は21回（4月は16回）であった。5月中、特に目立った活動はなかった。

○九州地方の地震活動

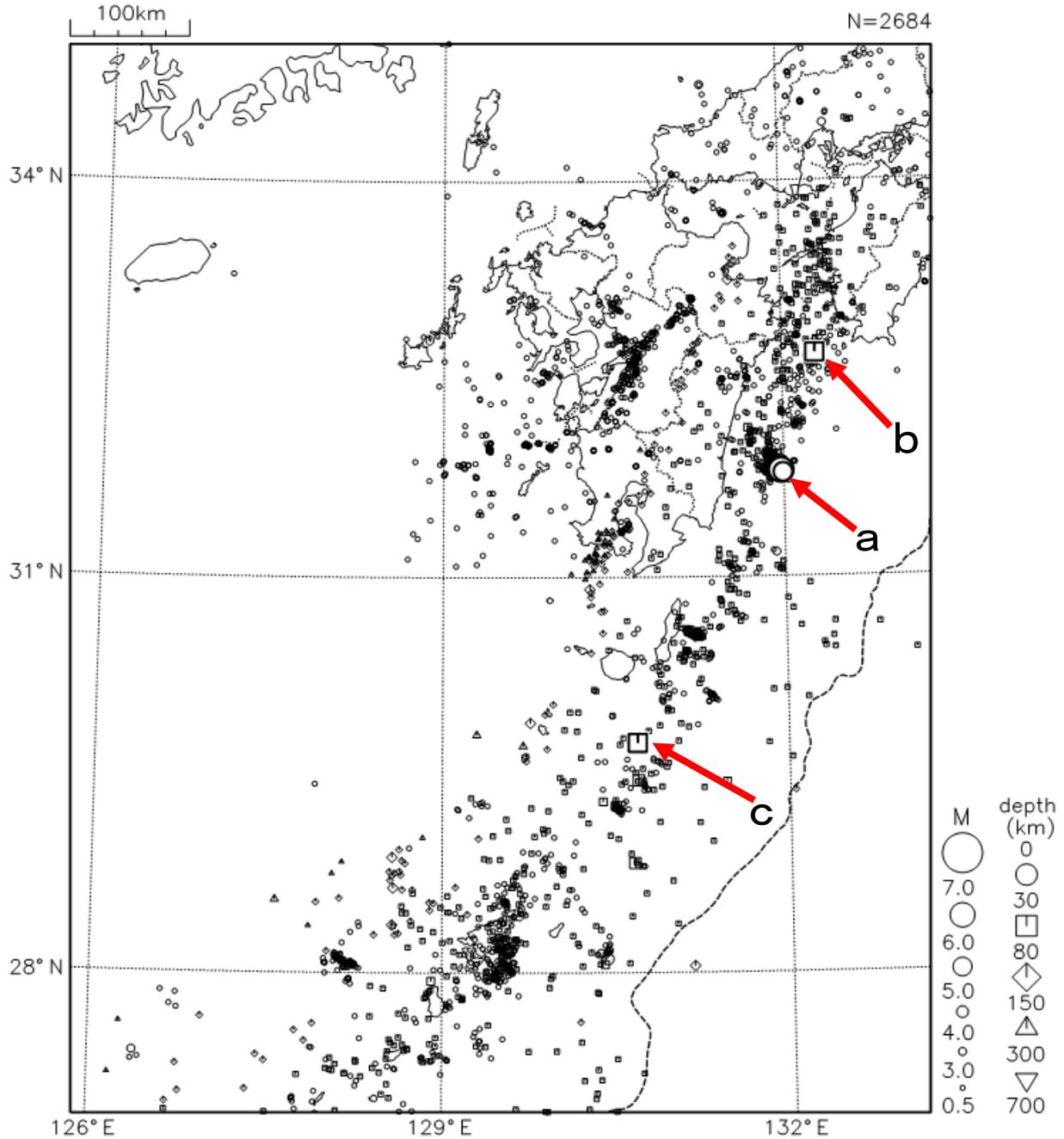


図9 九州地方の震央分布図（2019年5月1日～5月31日、M \geq 0.5）

〔概況〕

5月に九州地方で震度1以上を観測した地震は38回（4月は18回）であった。5月中の主な活動は次のとおりである。

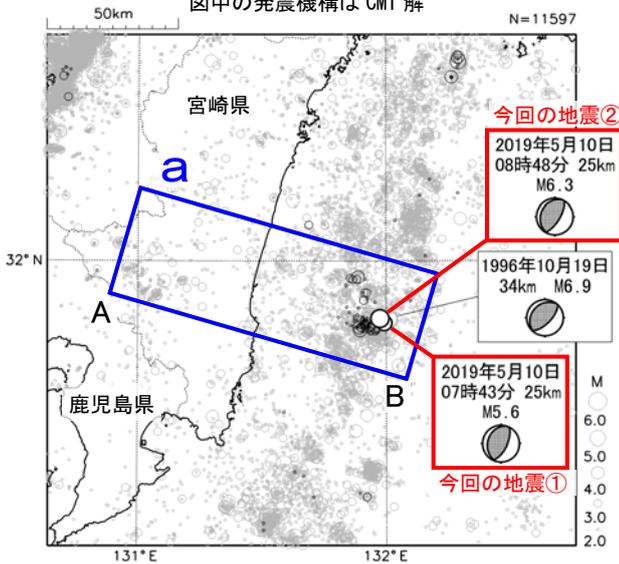
10日07時43分に日向灘の深さ25kmでM5.6の地震（図9中のa）が発生し、宮崎県宮崎市、鹿児島県鹿屋市などで震度3を観測したほか、九州地方、四国地方、中国地方で震度2～1を観測した。また、同日08時48分にほぼ同じ場所でM6.3の地震が発生し、宮崎県の宮崎市、都城市で震度5弱を観測したほか、九州地方から近畿地方の一部にかけて震度4～1を観測した（p. 5、19参照）。

11日08時59分に日向灘の深さ36kmでM5.0の地震（図9中のb）が発生し、宮崎県延岡市、愛媛県愛南町、高知県宿毛市で震度4を観測したほか、九州地方、四国地方、中国地方で震度3～1を観測した（p. 6、20参照）。

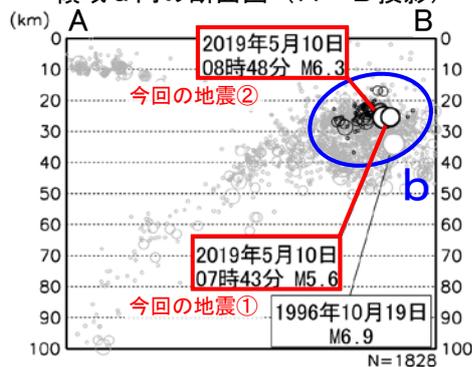
15日14時24分に奄美大島北東沖でM5.7の地震（図9中のc）が発生し、鹿児島県南種子町で震度3を観測したほか、鹿児島県、宮崎県で震度2～1を観測した（p. 21参照）。

5月10日 日向灘の地震

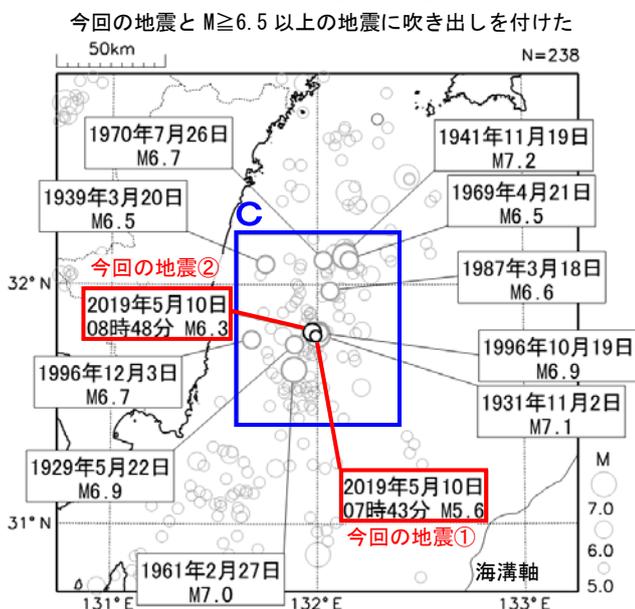
震央分布図
(1994年10月1日～2019年5月31日
深さ0～100km, M \geq 2.0)
2019年5月の地震を濃く表示
図中の発震機構はCMT解



領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図
(1922年1月1日～2019年5月31日、
深さ0～100km, M \geq 5.0)
2019年5月の地震を濃く表示
今回の地震とM \geq 6.5以上の地震に吹き出しを付けた

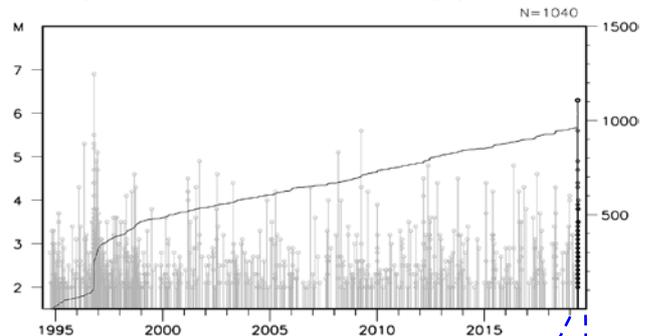


2019年5月10日07時43分に日向灘の深さ25kmでM5.6の地震（最大震度3、今回の地震①）が発生した。また、同日08時48分にはほぼ同じ場所でM6.3の地震（最大震度5弱、今回の地震②）が発生した。これらの地震は、発震機構（CMT解）が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。この地震により、軽傷者2人の被害が生じた（5月17日現在、総務省消防庁による）。

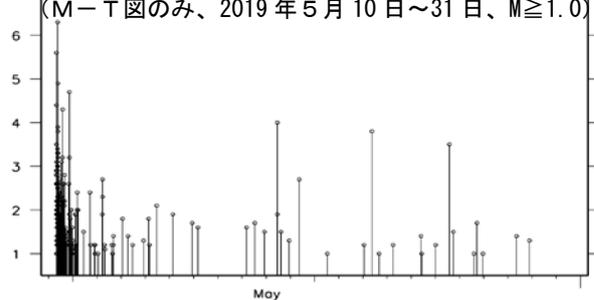
1994年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）ではM5.0以上の地震が時々発生している。1996年10月19日に今回の地震とほぼ同じ場所で発生したM6.9の地震（最大震度5弱）では、高知県の室戸岬で最大27cm（最大全振幅）の津波を観測した。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）ではM6.0以上の地震が時々発生している。1931年11月2日に発生したM7.1の地震では、死者1人、負傷者29人などの被害が生じたほか、高知県の室戸岬で最大85cm（最大全振幅）の津波を観測した（被害は「日本被害地震総覧」による）。

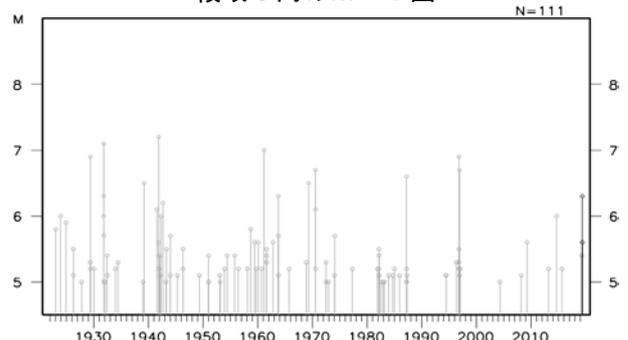
領域b内のM-T図及び回数積算図



M-T図のみ、2019年5月10日～31日、M \geq 1.0

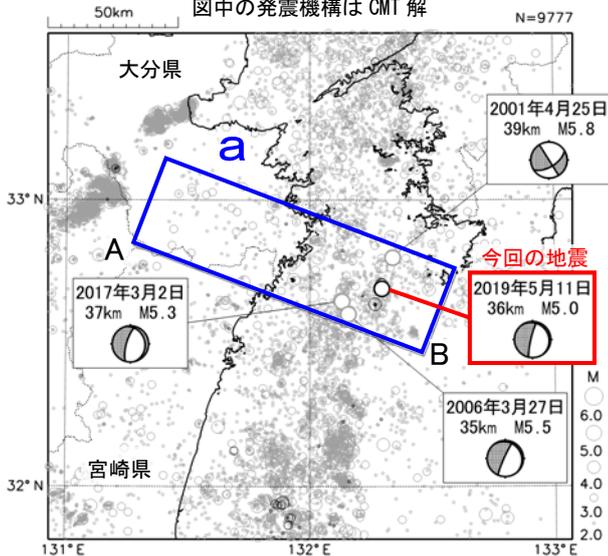


領域c内のM-T図

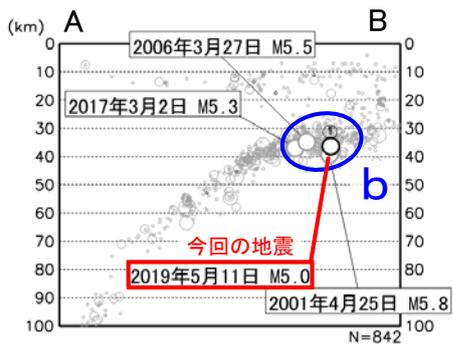


5月11日 日向灘の地震

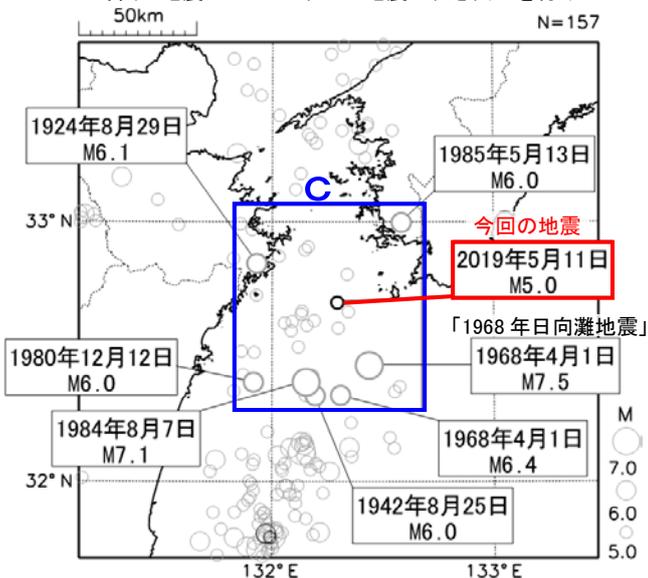
震央分布図
 (1994年10月1日～2019年5月31日
 深さ0～100km、M \geq 2.0)
 2019年5月の地震を濃く表示
 図中の発震機構はCMT解



領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図
 (1922年1月1日～2019年5月31日、
 深さ0～100km、M \geq 5.0)
 2019年5月の地震を濃く表示
 今回の地震とM \geq 6.0以上の地震に吹き出しを付けた

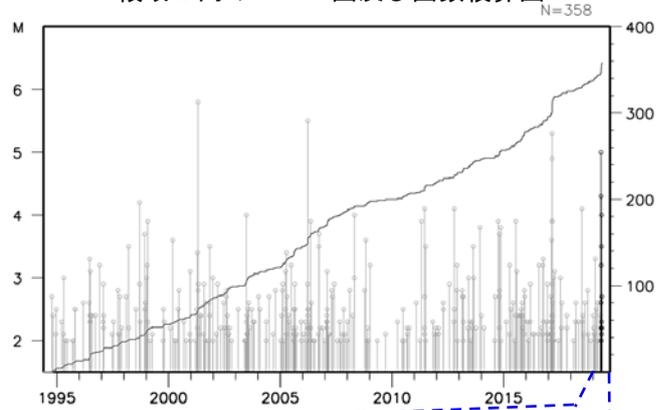


2019年5月11日08時59分に日向灘の深さ36kmでM5.0の地震（最大震度4）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が東西方向に張力軸を持つ正断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した。

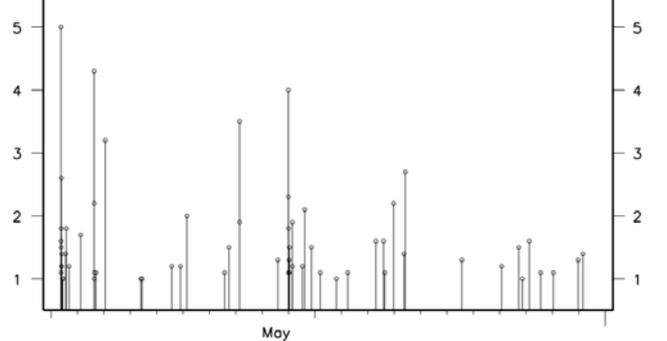
1994年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）ではM5.0以上の地震が時々発生している。近年では、2017年3月2日にM5.3の地震（最大震度4）が発生した。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）ではM6.0以上の地震が7回発生している。「1968年日向灘地震」（M7.5、最大震度5）では、負傷者57人、住家被害7,423棟などの被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。また、この地震により大分県の蒲江で240cm（最大全振幅）の津波を観測した（「日本被害津波総覧」による）。

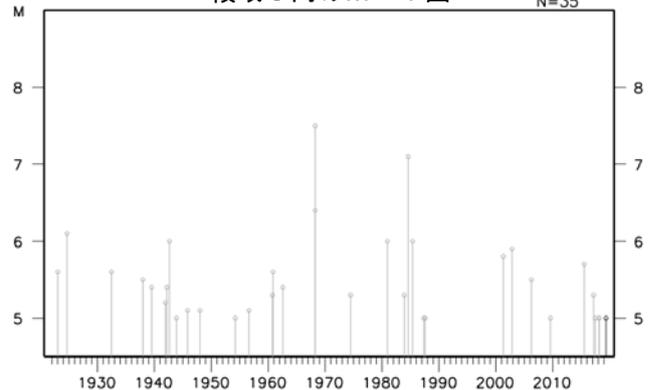
領域b内のM-T図及び回数積算図



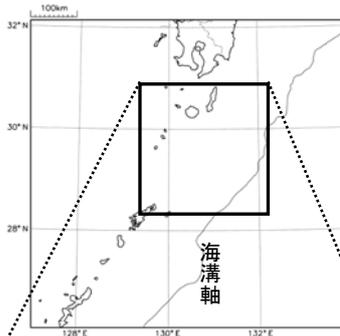
(M-T図のみ、2019年5月11日～31日、M \geq 1.0) (N=61)



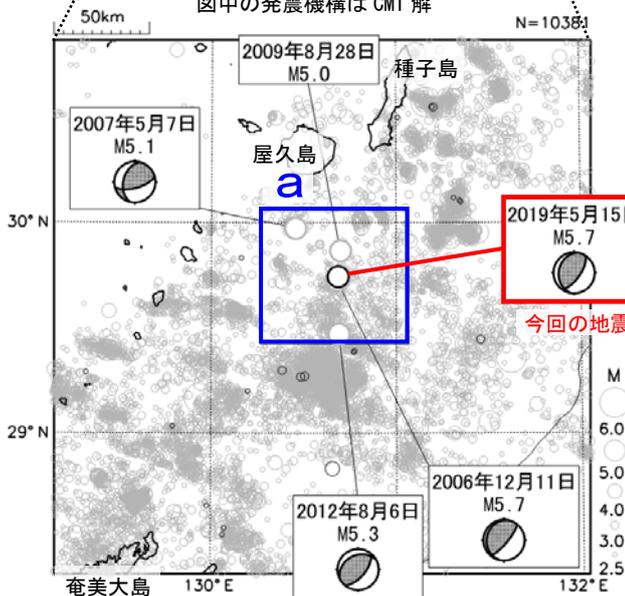
領域c内のM-T図 (N=35)



5月15日 奄美大島北東沖の地震



震央分布図
 (1997年10月1日～2019年5月31日、
 深さ0～90km、 $M \geq 2.5$)
 2019年5月の地震を濃く表示
 図中の発震機構はCMT解

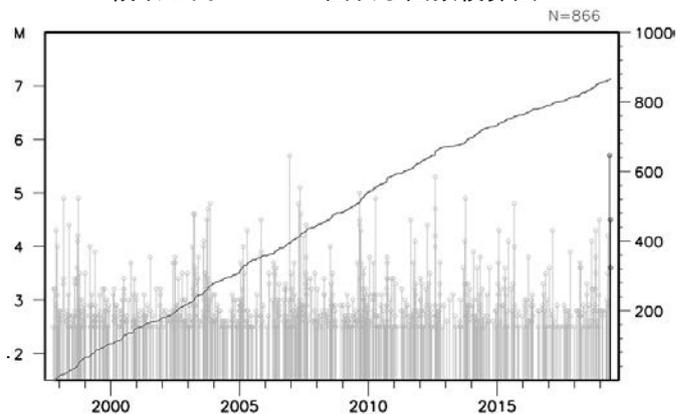


2019年5月15日14時24分に奄美大島北東沖でM5.7の地震（最大震度3）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は、西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

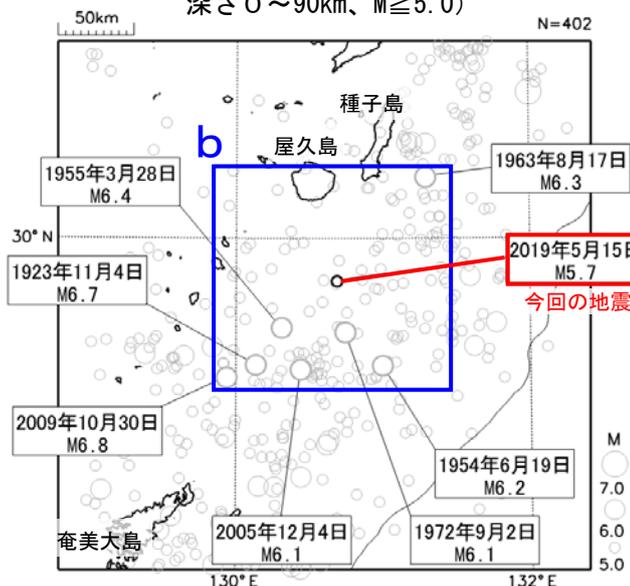
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）ではM5.0以上の地震が時々発生している。2006年12月11日には、今回の地震とほぼ同じ場所でM5.7の地震（最大震度3）が発生した。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M6.0以上の地震が7回発生している。2009年10月30日にはM6.8の地震（最大震度4）が発生し、鹿児島県の枕崎で18cmの津波を観測した。

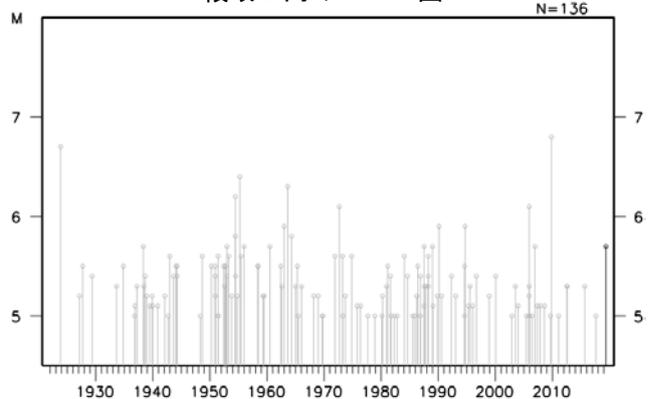
領域a内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
 (1922年1月1日～2019年5月31日、
 深さ0～90km、 $M \geq 5.0$)



領域b内のM-T図



○沖縄地方の地震活動

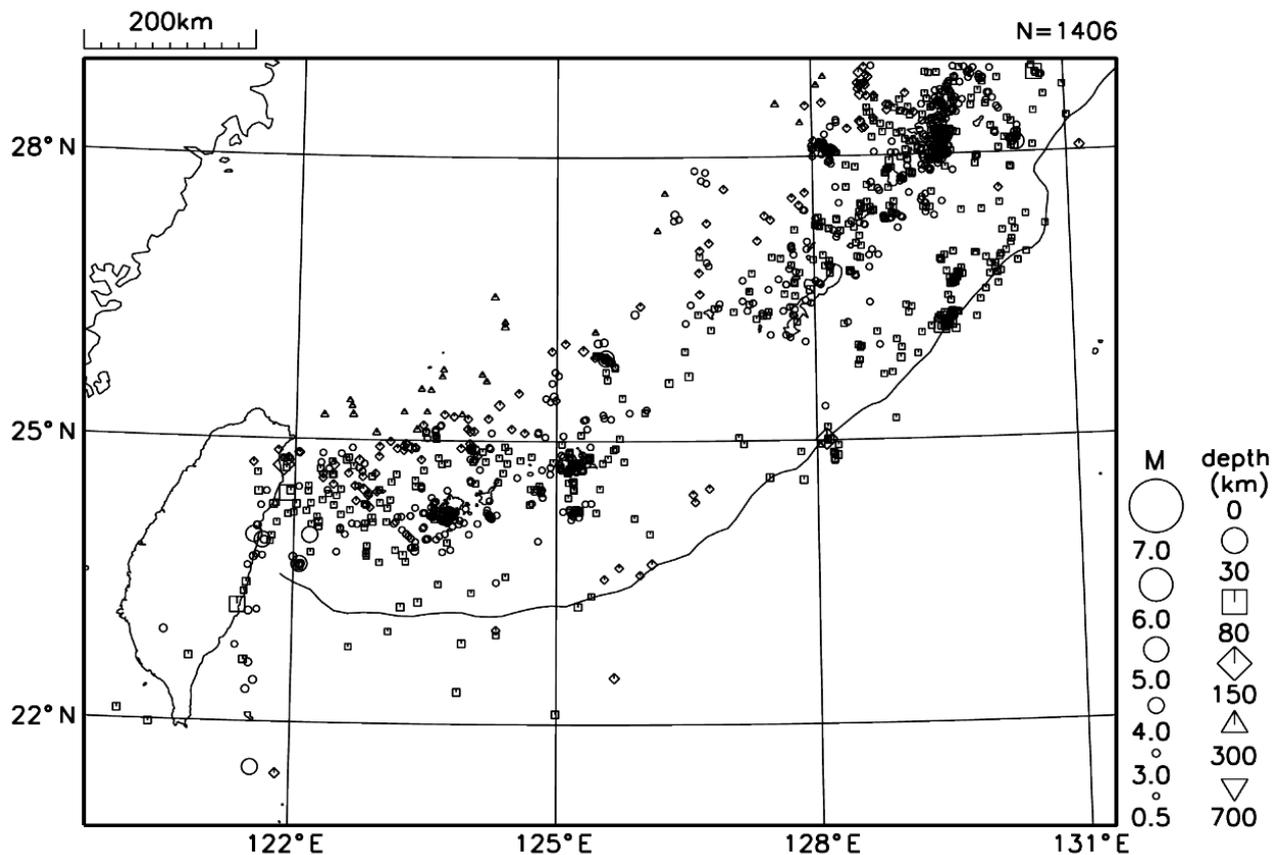


図10 沖縄地方の震央分布図（2019年5月1日～5月31日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

5月に沖縄地方で震度1以上を観測した地震は2回（4月は7回）であった。
5月中、特に目立った活動はなかった。

○その他の地域の地震活動

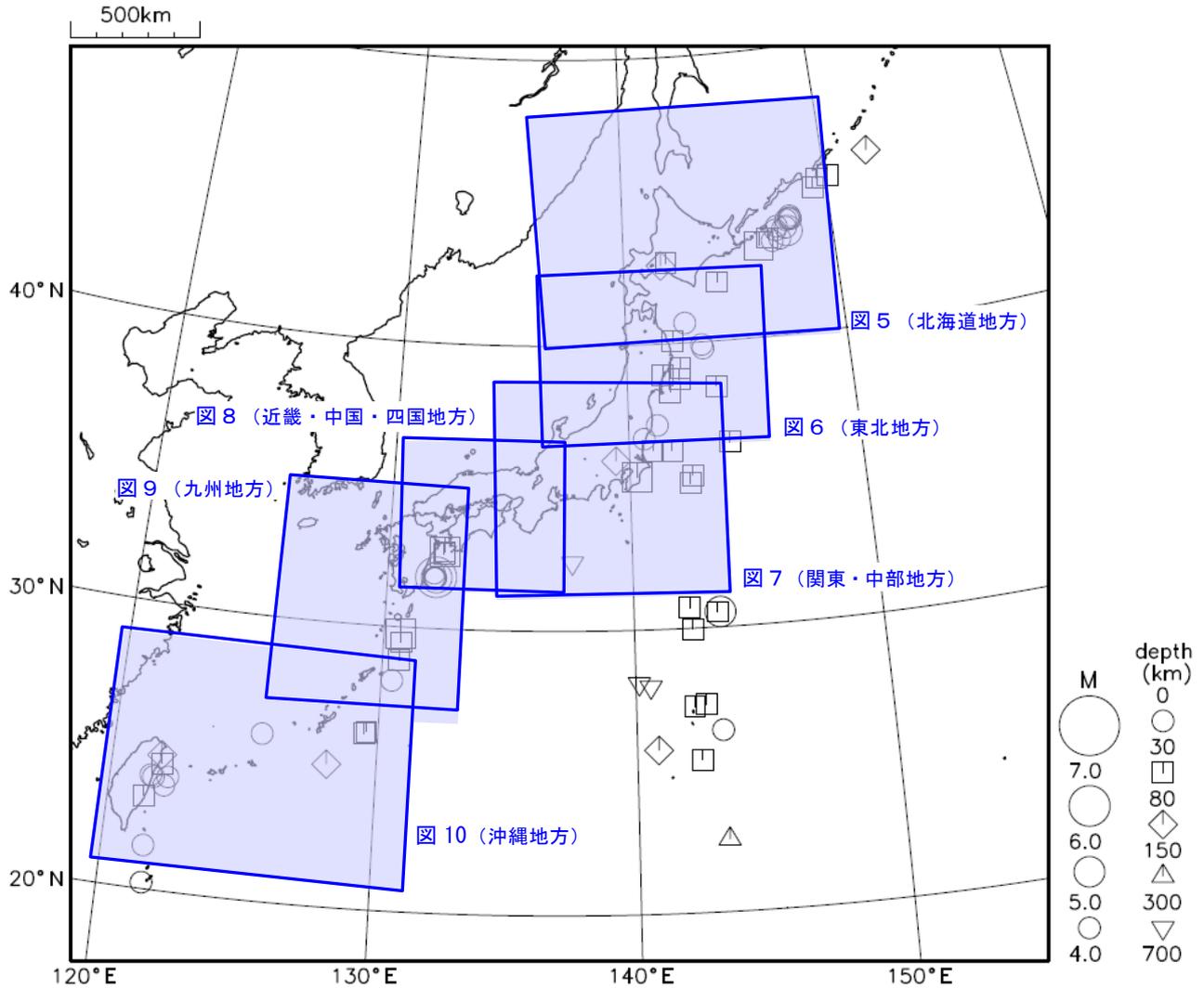


図11 日本周辺で発生した主な地震の震央分布図（2019年5月1日～5月31日、 $M \geq 4.0$ ）

[概況]

5月に日本周辺で発生したM6.0以上の地震は1回であった（4月は2回）。

5月中に図5～10の領域外で特に目立った活動はなかった。

●南海トラフ周辺の地殻活動

令和元年 6 月 7 日に気象庁において第 20 回南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、第 398 回地震防災対策強化地域判定会（定例）を開催し、気象庁は「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として次の内容の南海トラフ地震関連解説情報を発表した。これに関連する資料を p. 26～62 に掲載する。

現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時^(注)と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

（注）南海トラフ沿いの大規模地震（M8～M9 クラス）は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率が70～80%であり、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から既に70年以上が経過していることから切迫性の高い状態です。

1. 地震の観測状況

（顕著な地震活動に関する現象）

5月10日08時48分に日向灘の深さ25kmを震源とするM6.3の地震が発生しました。また、この地震発生前の同日07時43分にはほぼ同じ場所でM5.6の地震が発生しました。これらの地震は、発震機構が西北西・東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生しました。

5月11日08時59分に、日向灘の深さ36kmを震源とするM5.0の地震が発生しました。この地震は、発震機構が東西方向に張力軸を持つ正断層型で、フィリピン海プレート内部で発生しました。

（ゆっくりすべりに関係する現象）

プレート境界付近を震源とする深部低周波地震（微動）のうち、主なものは以下のとおりです。

- （1）四国中部から東部：5月1日から12日
- （2）東海：5月5日から10日
- （3）四国中部：5月11日から24日
- （4）四国西部：5月11日から21日

2. 地殻変動の観測状況

（顕著な地震活動に関する現象）

5月10日の日向灘の地震に伴い、GNS S観測で小さな地殻変動を観測しています。

（ゆっくりすべりに関係する現象）

上記（1）から（4）の深部低周波地震（微動）とほぼ同期して、周辺に設置されている複数のひずみ計でわずかな地殻変動を観測しました。

2018年春頃から九州北部のGNS S観測で、また、2018年秋頃から四国西部のGNS S観測及びひずみ観測で、それまでの傾向とは異なる地殻変動を観測しています。

（長期的な地殻変動）

GNS S観測等によると、御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺では長期的な沈降傾向が継続しています。

（その他の現象）

これらとは別に、5月10日から12日にかけて四国西部に設置されているひずみ計でごくわずかな変化を観測しました。

3. 地殻活動の評価

（顕著な地震活動に関する現象）

5月10日に発生した日向灘の2回の地震、5月11日に発生した日向灘の地震は、その規模等から南海トラフ沿いのプレート間の固着状態の特段の変化を示す現象ではないと考えられます。

（ゆっくりすべりに関係する現象）

上記（1）から（4）の深部低周波地震（微動）と地殻変動は、想定震源域のプレート境界深部において発生した短期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。

2018年春頃からの九州北部の地殻変動及び2018年秋頃からの四国西部の地殻変動は、日向灘北部及び豊後水道周辺のプレート境界深部における長期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。

これらの深部低周波地震（微動）、短期的ゆっくりすべり、および長期的ゆっくりすべりは、それぞれ、従来からも繰り返し観測されてきた現象です。

（長期的な地殻変動）

御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺で見られる長期的な沈降傾向はフィリピン海プレートの沈み込みに伴うもので、その傾向に大きな変化はありません。

（その他の現象）

5月10日から12日にかけて四国西部のひずみ計で観測されたごくわずかな変化は、地震の揺れによって生じる観測点周辺の地下の状態変化（例えば地下水流動の変化）に起因するものであったと考えられます。

上記観測結果を総合的に判断すると、南海トラフ地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すようなデータは今のところ得られておらず、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていないと考えられます。

気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催して委員の意見提供等を受け、現在の状況を「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として取りまとめ南海トラフ地震関連解説情報を発表している。

【「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」についての頁で使われる用語】

・「想定震源域」

南海トラフ沿いの大規模地震発生時に、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が破壊されると想定される領域。「想定震源域」全体もしくは一部が破壊されると考えられている。

・「クラスタ」、「クラスタ除去」

地震は時間空間的に群（クラスタ：cluster）をなして起きることが多くある。「本震とその後起きる余震」、「群発地震」などが典型的なクラスタで、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。例えば、相互の震央間の距離が3km以内で、相互の発生時間差が7日以内の地震群をクラスタとして扱い、その中の最大の地震をクラスタに含まれる地震の代表とし、地震が1つ発生したと扱う。

・「長期的ゆっくりすべり（長期的スロースリップ）」

想定震源域の深部で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が数ヶ月～数年間かけてゆっくりとすべる現象で、数年～十年程度の間隔で繰り返し発生していると考えられている。例えば、東海地域では、前々回は2000年秋頃～2005年夏頃にかけて発生し、前回は2013年はじめ頃から2017年はじめ頃にかけて発生した。

・「深部低周波地震（微動）」

深さ約30km～40kmで発生する、通常の地震より長周期の波が卓越する地震を「深部低周波地震」と言う。長野県南部～日向灘にかけては帯状につながる深部低周波地震の震央分布が見られる。深部低周波微動は、P波やS波が明瞭ではなく震動が継続するもので、現象的には深部低周波地震と同じであるが、解析手法に違いがあるため、深部低周波地震が観測されない場合にも観測されることがある。

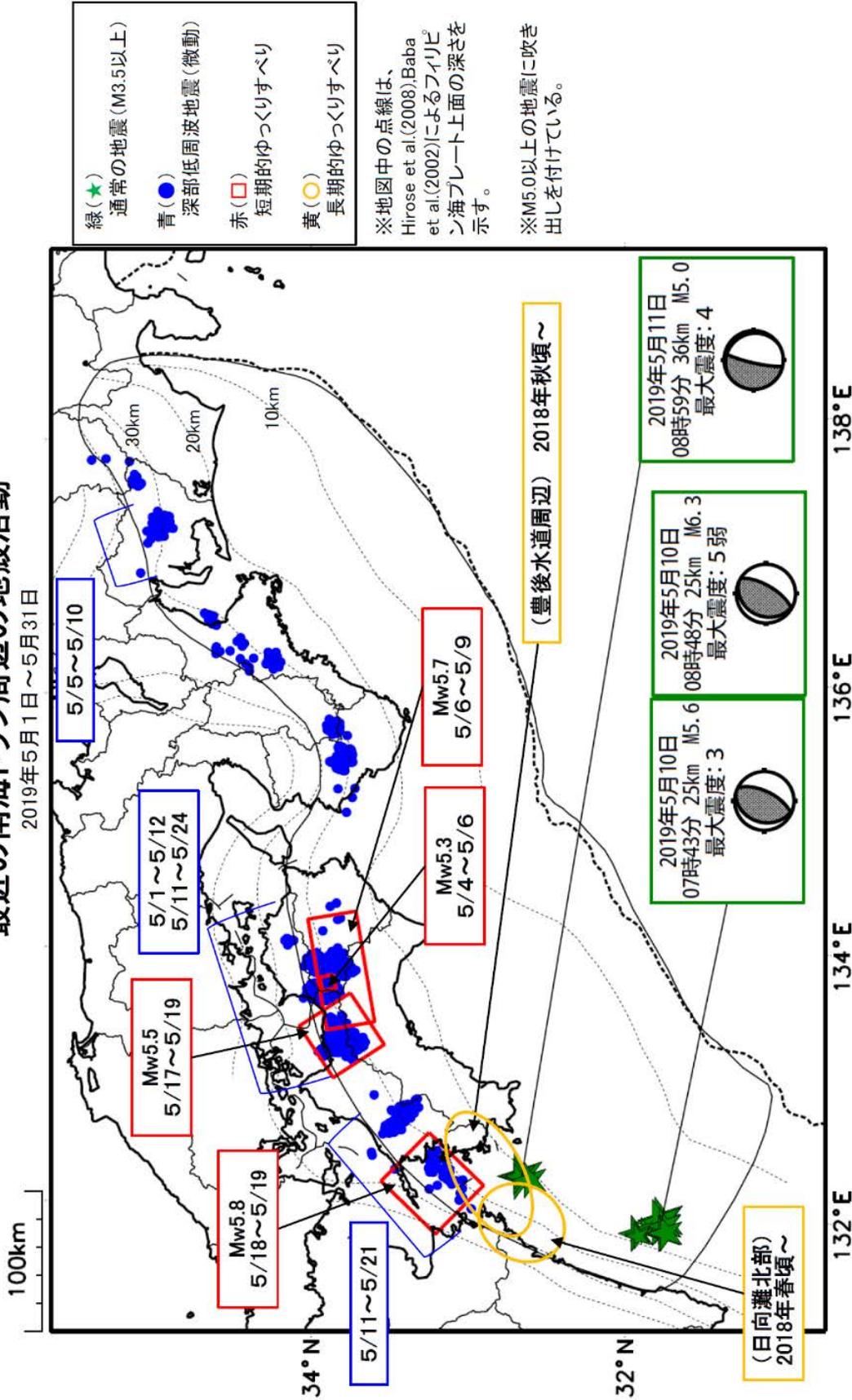
・「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」

「短期的ゆっくりすべり」は、長期的ゆっくりすべりが発生する領域のさらに深部の、深部低周波地震（微動）の発生領域とほぼ同じ領域でのフィリピン海プレートと陸のプレートの境界のすべりと考えられている。数日～1週間程度継続する「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」が観測されるときは、ほぼ同時に深部低周波地震（微動）活動が観測されることが多い。短期的ゆっくりすべりは、数ヶ月から1年程度の間隔で繰り返し発生している。

注）地震活動および地殻活動の解析にはHirose et al. (2008)、Baba et al. (2002)によるフィリピン海プレートと陸のプレートの境界データを使用している。

最近の南海トラフ周辺の地殻活動

2019年5月1日～5月31日



通常の地震 (M3.5以上)……………気象庁の解析結果による。
 深部低周波地震 (微動)……………(震源データ) 気象庁の解析結果による。 (活動期間) 防災科学技術研究所及び気象庁の解析結果による。
 短期的ゆっくりすべり……………産業技術総合研究所の解析結果による。
 長期的ゆっくりすべり……………【日向灘北部】(豊後水道周辺) 国土地理院の解析結果を元におよその場所を表示している。

気象庁作成

令和元年5月1日～令和元年6月5日の主な地震活動

○南海トラフ巨大地震の想定震源域およびその周辺の地震活動：

【最大震度3以上を観測した地震もしくはM3.5以上の地震及びその他の主な地震】

月/日	時:分	震央地名	深さ (km)	M	最大 震度	発生場所
5/10 ～	5月10日 07:43	日向灘	25	5.6	3	フィリピン海プレートと陸のプレートの境界
	5月10日 08:48	日向灘	25	6.3	5弱	フィリピン海プレートと陸のプレートの境界
・上記の2つの地震とほぼ同じ場所で、5月10日07時43分以降、M3.5以上の地震が12回（上記の2つの地震を含む）発生している（5月31日24時現在）。						
5/11 ～	5月11日 08:59	日向灘	36	5.0	4	フィリピン海プレート内部
	・上記の地震とほぼ同じ場所で、5月11日08時59分以降、M3.5以上の地震が4回（上記の地震を含む）発生している（5月31日24時現在）。					

※震源の深さは、精度がやや劣るものは表記していない。

○深部低周波地震（微動）活動期間

四国	紀伊半島	東海
■四国東部 <u>5月1日～2日</u> <u>5月4日～12日</u> } ……(1) 5月15日、5月19日～21日 5月23日、5月28日～6月1日 ■四国中部 <u>5月1日～4日</u> ……(1) <u>5月11日～14日</u> <u>5月16日～23日</u> ^{注1)} } ……(3) ■四国西部 5月2日～3日 5月7日～9日 <u>5月11日～21日</u> ……(4) 5月23日～24日 5月29日、6月1日～3日 6月5日～（継続中）	■紀伊半島北部 5月8日～9日 5月11日～12日 5月14日～17日 5月20日、5月23日～25日 5月29日 ■紀伊半島中部 5月20日～21日 5月26日、5月29日 6月3日 ■紀伊半島西部 5月9日、5月12日～13日 5月18日～19日 5月21日～22日 5月26日～27日 6月2日～（継続中）	<u>5月5日～10日</u> ……(2) 5月12日～17日 5月27日

※深部低周波地震（微動）活動は、気象庁一元化震源を用い、地域ごとの一連の活動（継続日数2日以上または活動日数1日の場合で複数個検知したもの）について、活動した場所ごとに記載している。

※ひずみ変化と同期して観測された深部低周波地震（微動）活動を赤字で示す。

※上の表中（1）～（4）を付した活動は、今期間、主な深部低周波地震（微動）活動として取り上げたもの。

注1）防災科学技術研究所による解析では、5月24日頃まで継続。

気象庁作成

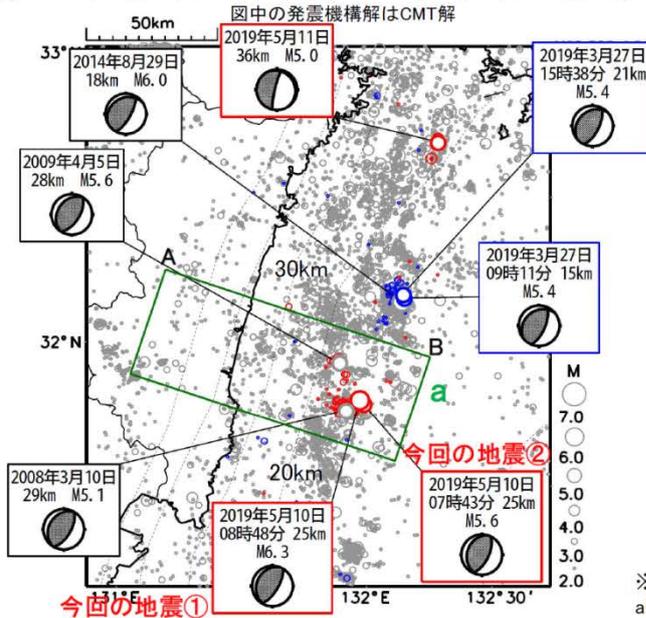
5月10日 日向灘の地震

5月10日08時48分に、日向灘でM6.3の地震（深さ25km、最大震度5弱、今回の地震①）が発生した。この地震の発生前の同日07時43分にほぼ同じ場所でM5.6の地震（深さ25km、最大震度3、今回の地震②）が発生した。これらの地震は、いずれも発震機構（CMT解）が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。07時43分の地震発生以降、付近でややまとまった活動となった。

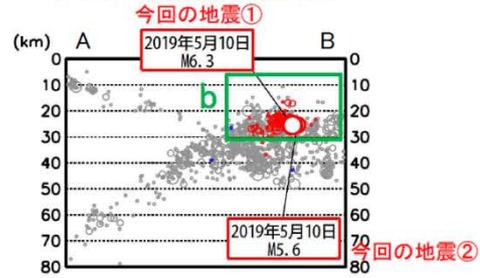
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域b内）は、定常的に地震活動が見られる。日向灘では、2019年3月27日にM5.4の地震が2回発生したが、今回の地震は、3月27日の地震とは異なる場所で発生した。また、2019年5月11日に発生したM5.0の地震（深さ36km、最大震度3）は、フィリピン海プレート内部で発生した地震である。

1922年以降の日向灘の地震活動を見ると、M5.0以上の地震はしばしば発生している。今回の地震の震源付近では、1931年11月2日にM7.1の地震、1996年10月19日にM6.9の地震が発生した。M6.5以上の地震は時々発生しているが、1997年以降は発生していない。M6.0以上の地震が発生したのは、2014年8月29日のM6.0の地震以来であった。

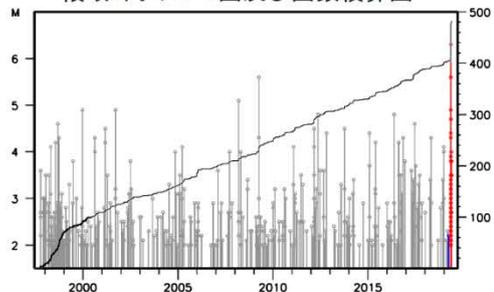
震央分布図
(1997年10月1日～2019年5月31日、M \geq 2.0、深さ0～80km)
青：2019年3月27日～5月9日、赤：2019年5月10日～5月31日



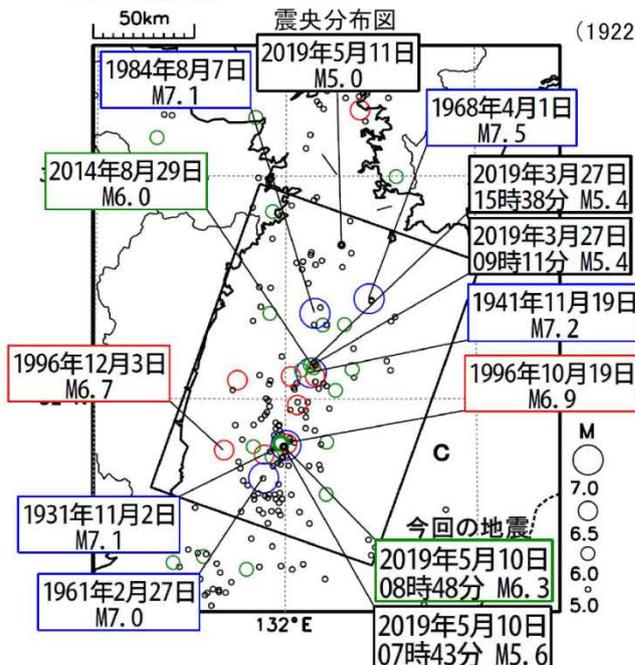
領域a内の断面図（AB投影）



領域b内のM-T図及び回数積算図



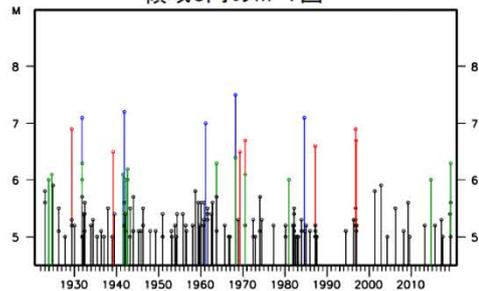
※震央分布図中の点線は、Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)によるフィリピン海プレート上面の深さを示す。



(1922年1月1日～2019年5月31日、M \geq 5.0、深さ0～100km)

黒：5.0 \leq M<6.0、緑：6.0 \leq M<6.5、
赤：6.5 \leq M<7.0、青：7.0 \leq M

領域c内のM-T図



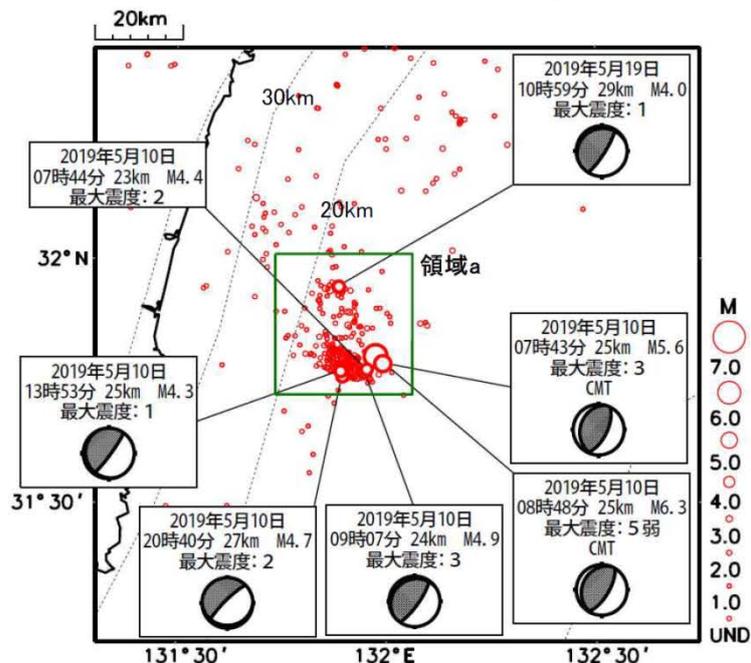
※M7.0以上の地震、1990年以降に発生したM6.0以上の地震、2019年に発生した地震に吹き出しを付加している。

気象庁作成

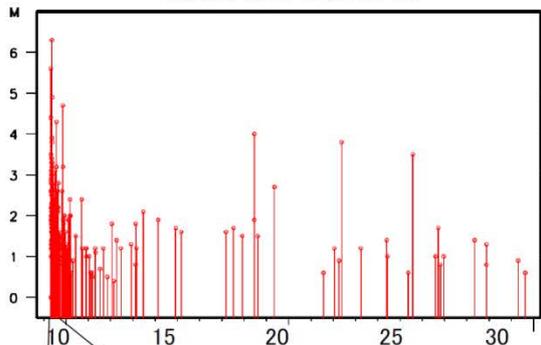
5月10日の日向灘の地震発生前後の地震活動の状況

震央分布図

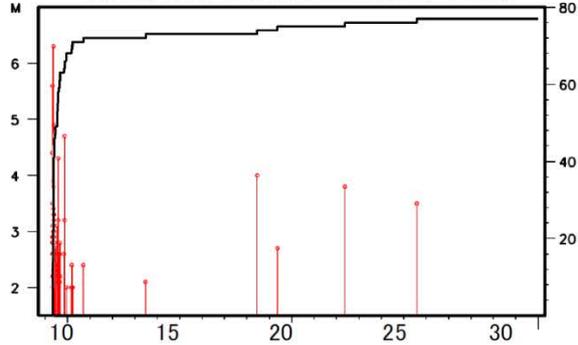
（2019年5月10日～2019年5月31日、M全て、深さ0～40km）



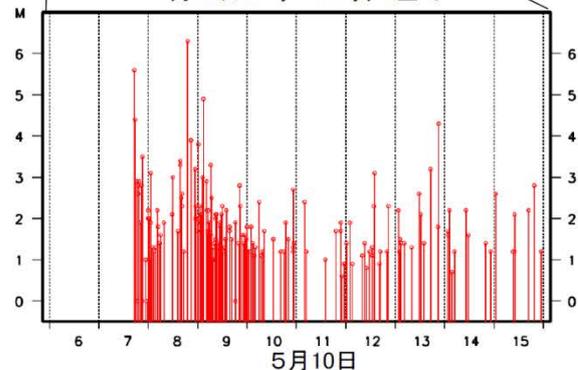
領域a内のMT図(M全て)



領域a内のMT図及び回数積算図(M ≥ 2.0)



5月10日06時～16時、M全て



※震央分布図中の点線は、Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)によるフィリピン海プレート上面の深さを示す。

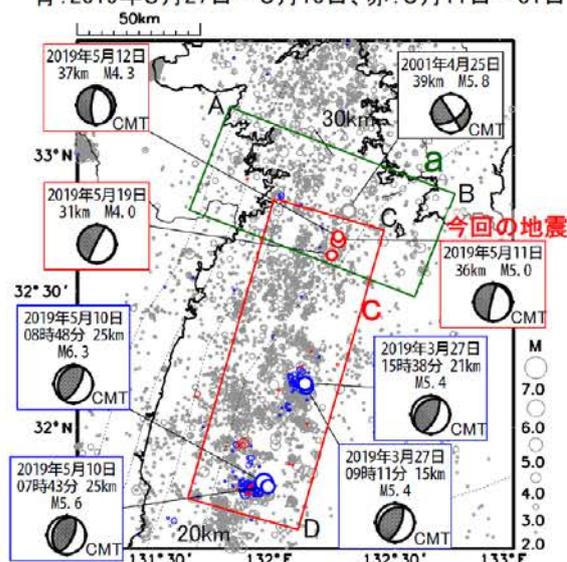
5月11日 日向灘の地震

5月11日08時59分に、日向灘でM5.0の地震（深さ36km、最大震度4）が発生した。この地震は発震機構が東西方向に張力軸を持つ正断層型でフィリピン海プレート内部で発生した。この地震の発生後ややまとまった活動となり、M3.5以上の地震が今回の地震を含め4回発生した。

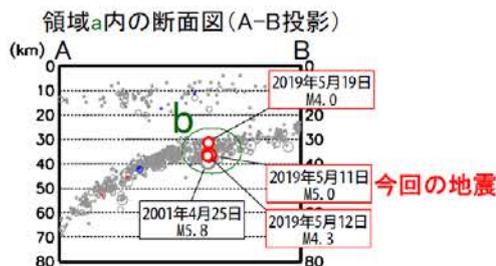
日向灘では、2019年3月27日にM5.4の地震が2回発生し、2019年5月10日にM6.3の地震が発生したが、今回の地震は5月10日の地震とは北北東に約100km離れた場所で発生した。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域b内）は、定常的に地震活動がみられ、2001年4月25日にM5.8の地震（最大震度4）が発生した。

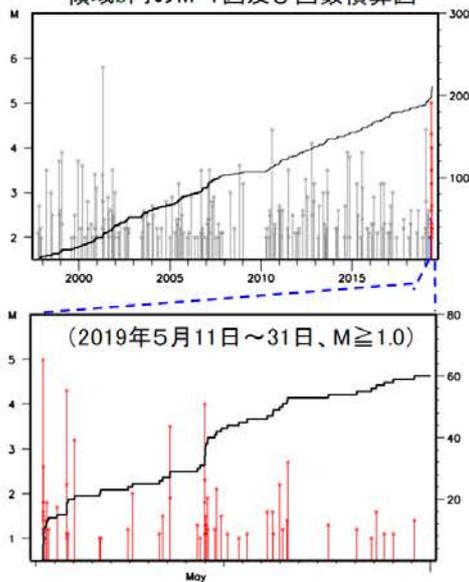
震央分布図
（1997年10月1日～2019年5月31日、 $M \geq 2.0$ 、深さ0～80km）
青：2019年3月27日～5月10日、赤：5月11日～31日



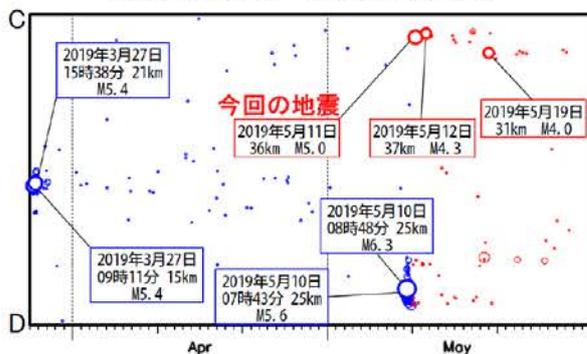
※震央分布図中の点線は、Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)によるフィリピン海プレート上面の深さを示す。



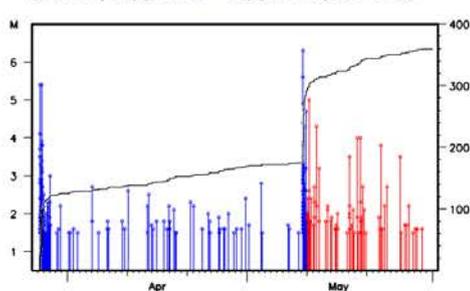
領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内の時空間分布図
（2019年3月27日～5月31日、 $M \geq 1.5$ ）



領域c内のM-T図及び回数積算図
（2019年3月27日～5月31日、 $M \geq 1.5$ ）



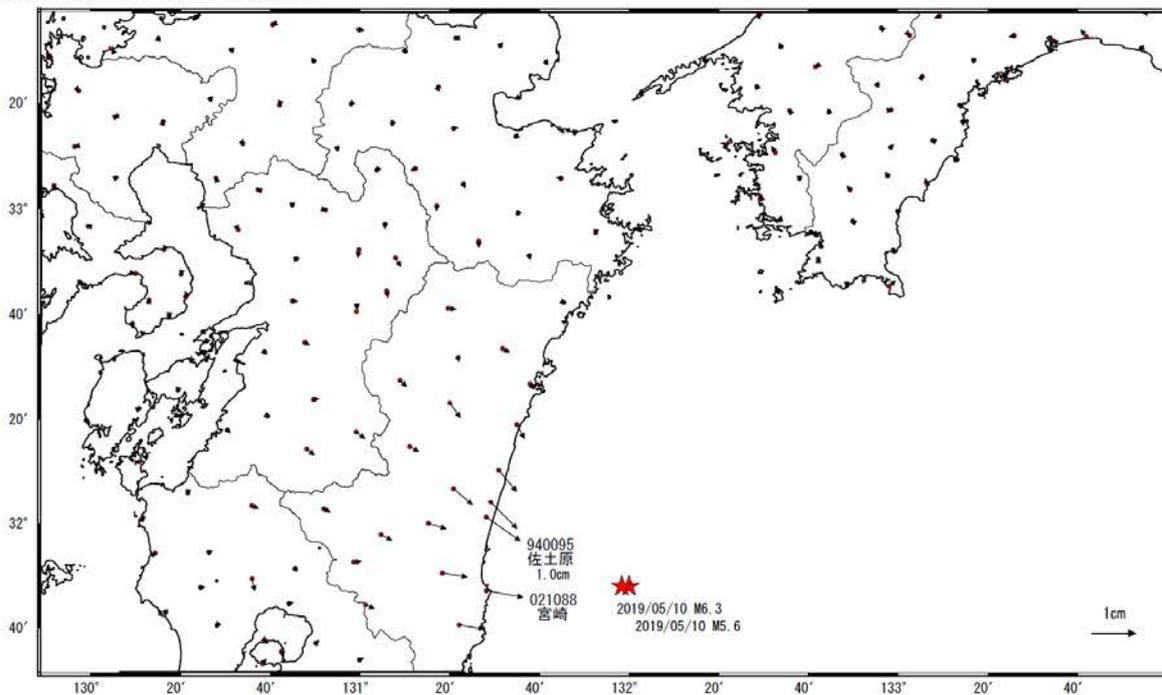
気象庁作成

日向灘の地震(5月10日 M5. 6, M6. 3)前後の観測データ

この地震に伴い小さな地殻変動が観測された。

地殻変動（水平）

基準期間:2019/05/02~2019/05/08[F3:最終解]
比較期間:2019/05/10~2019/05/16[F3:最終解]

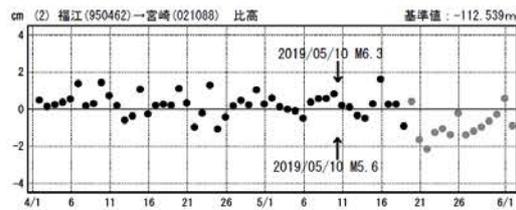
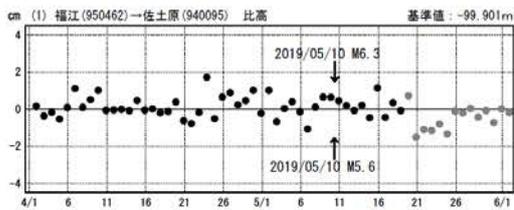
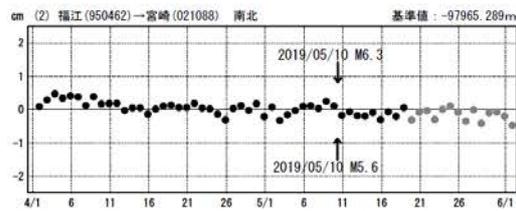
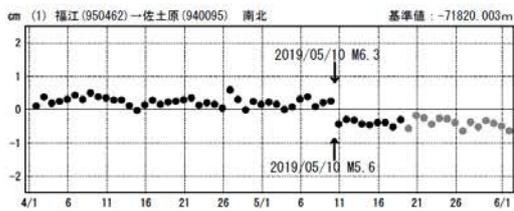
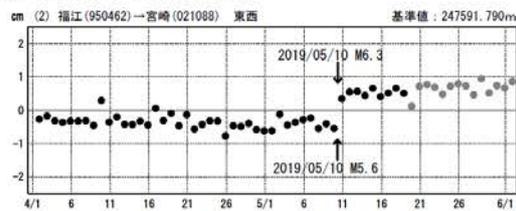
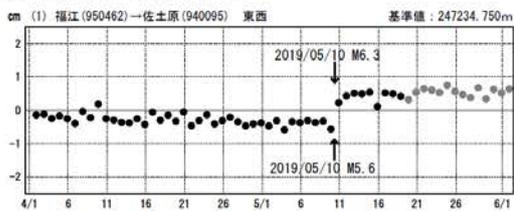


☆ 固定局:福江(950462) ☆ 震央

成分変化グラフ

期間: 2019/04/01~2019/06/01 JST

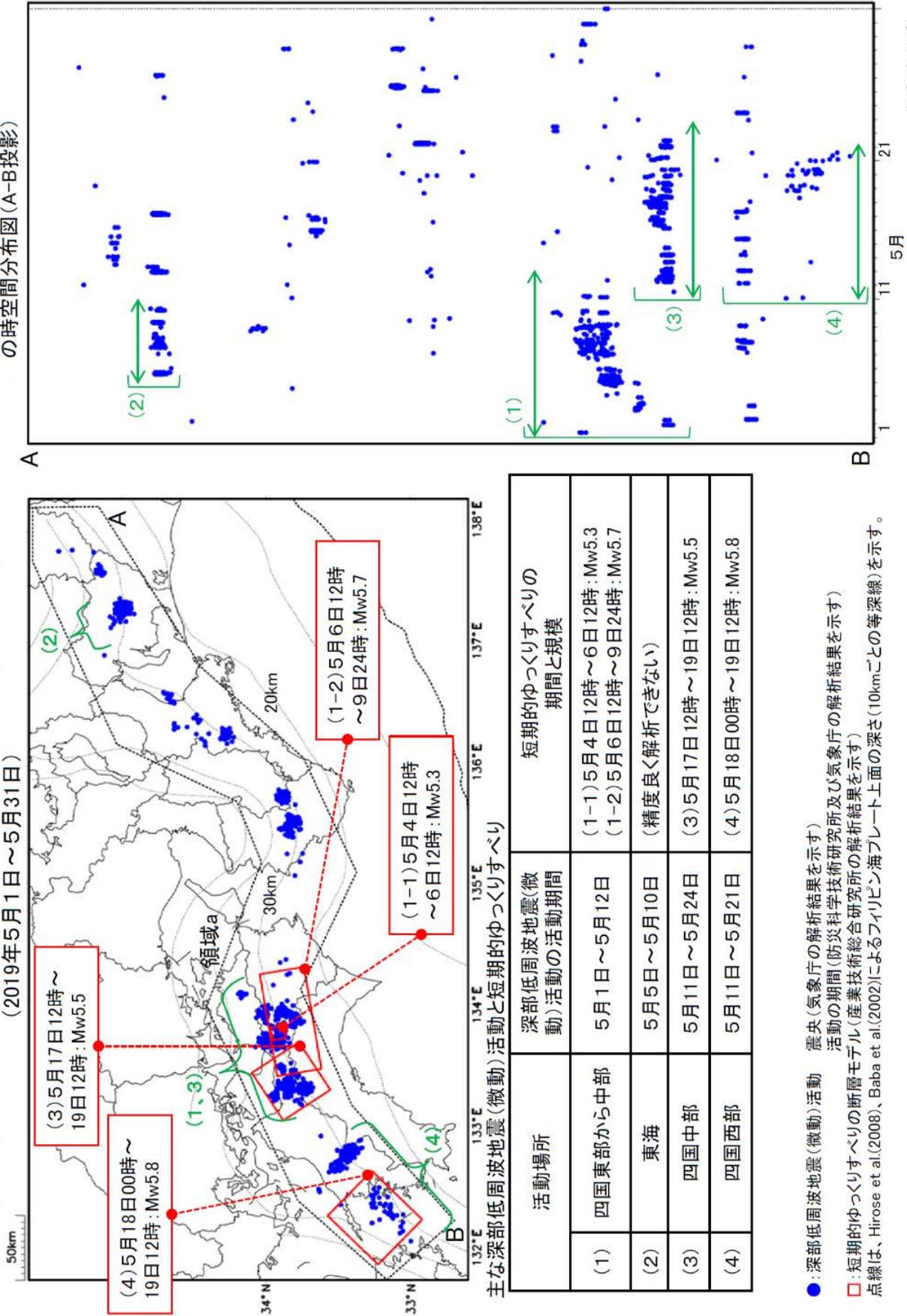
期間: 2019/04/01~2019/06/01 JST



●—[F3:最終解] ●—[R3:速報解]

深部低周波地震（微動）活動と短期的ゆっくりすべりの全体概要

深部低周波地震（微動）の震央分布図と短期的ゆっくりすべりの断層モデル
 領域a（点線領域）内の深部低周波地震（微動）の時空間分布図（A-B投影）



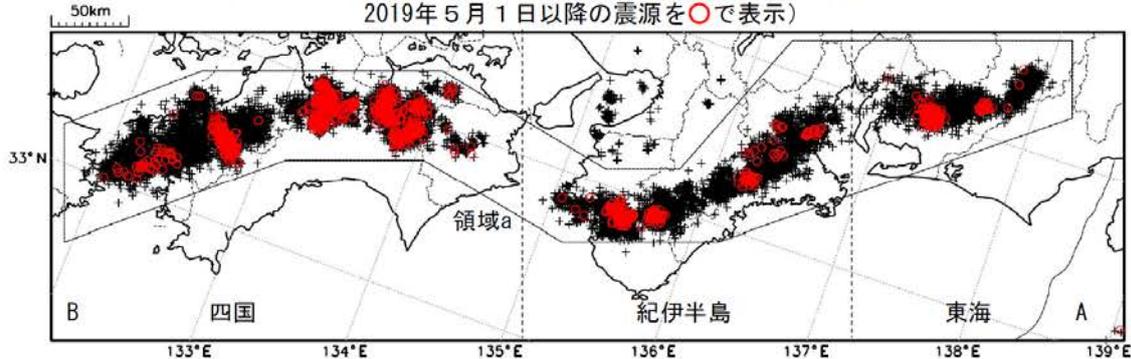
- : 深部低周波地震(微動)活動 震央(気象庁の解析結果を示す)
- : 短期的ゆっくりすべりの断層モデル(産業技術総合研究所の解析結果を示す)
- 点線は、Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)によるフィリピン海プレート上面の深さ(10kmごとの等深線)を示す。

気象庁作成

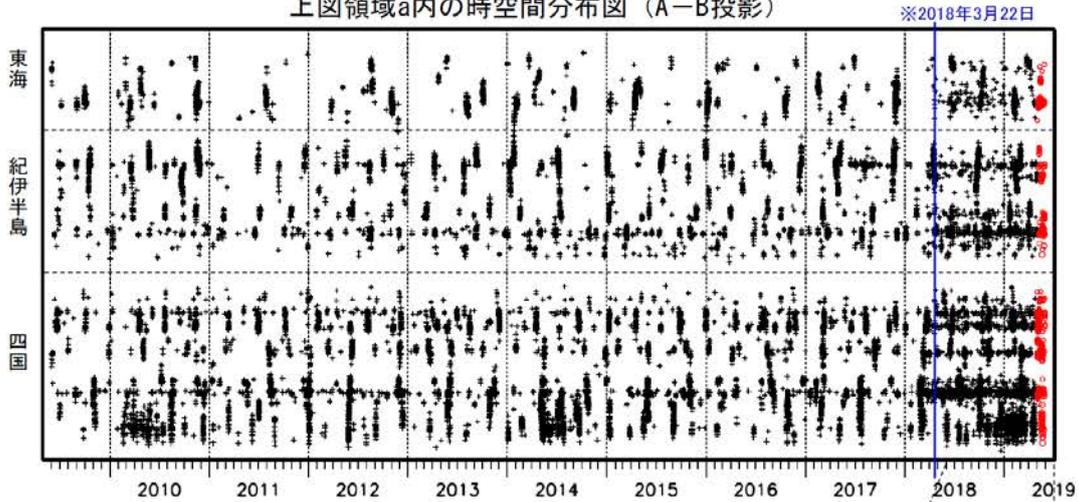
深部低周波地震（微動）活動（2009年6月1日～2019年5月31日）

深部低周波地震（微動）は、「短期的ゆっくりすべり」に密接に関連する現象とみられており、プレート境界の状態の変化を監視するために、その活動を監視している。

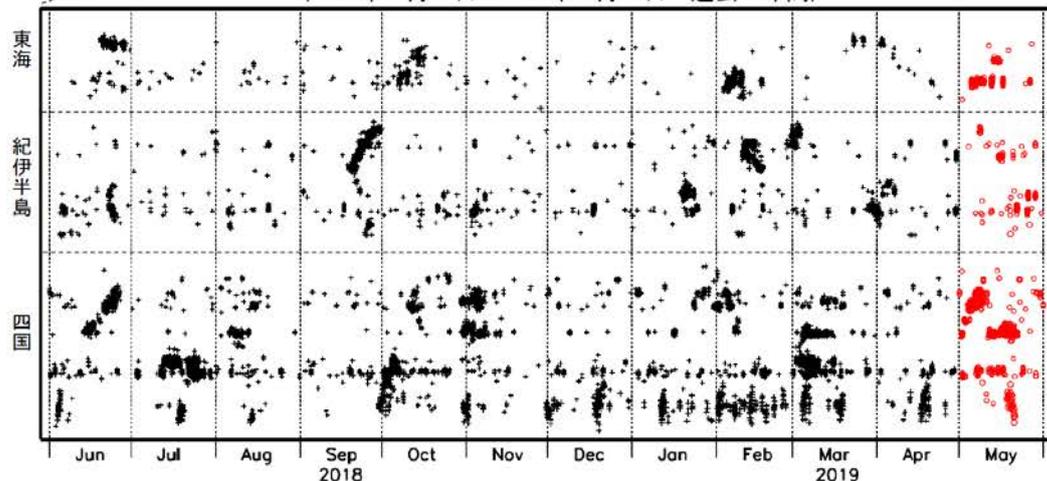
震央分布図（2009年6月1日～2019年5月31日：過去10年間
2019年5月1日以降の震源を○で表示）



上図領域a内の時空間分布図（A-B投影）



（2018年6月1日～2019年5月31日：過去1年間）



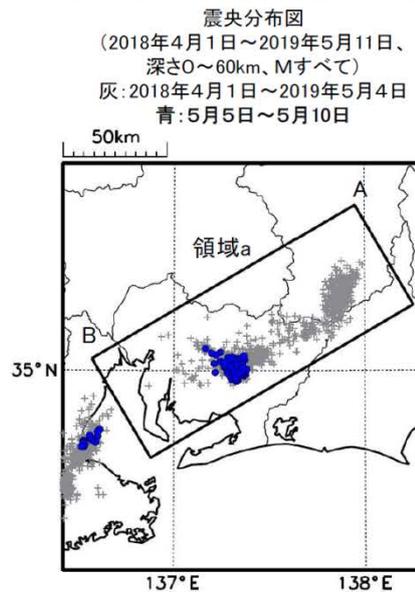
※2018年3月22日から、深部低周波地震（微動）の処理方法の変更（Matched Filter法の導入）により、それ以前と比較して検知能力が変わっている。

気象庁作成

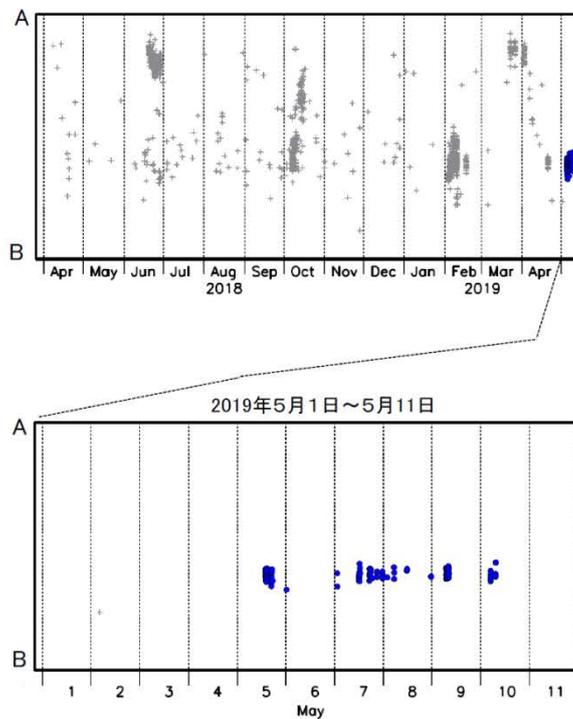
東海の深部低周波地震（微動）活動と 短期的ゆっくりすべり

5月5日から5月10日にかけて東海で深部低周波地震（微動）を観測した。周辺に設置されているひずみ計で、深部低周波地震（微動）に関連すると思われるわずかな地殻変動が観測された。

深部低周波地震（微動）活動



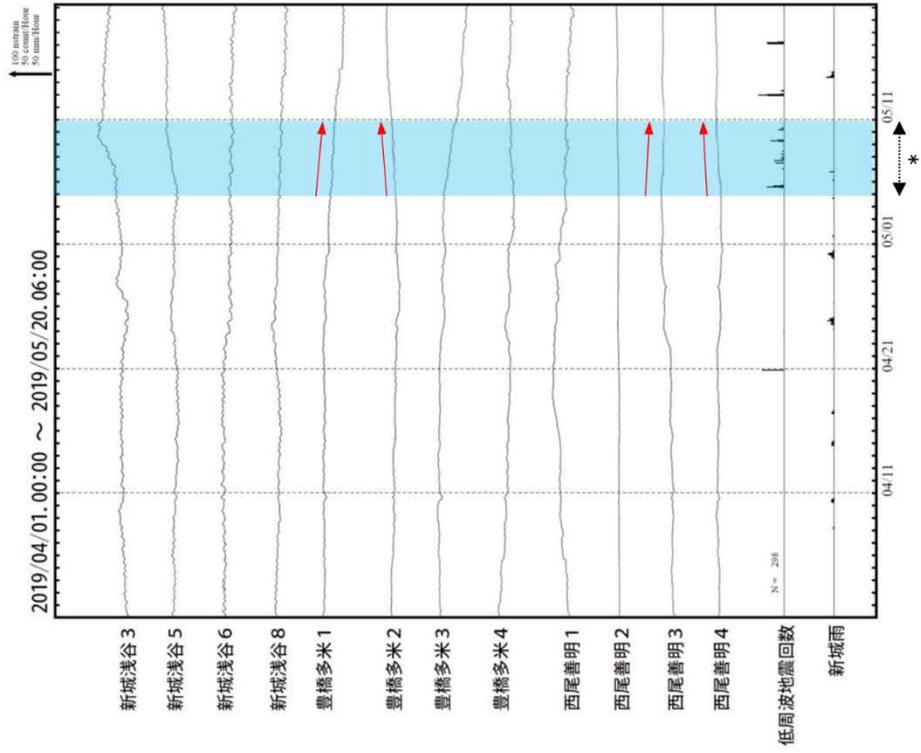
震央分布図の領域a内の時空間分布図（AB投影）



気象庁作成

東海で観測したひずみ変化（5月5日～10日）

愛知県で観測されたひずみ変化



*の期間にひずみの変化はみられるものの、断層モデルを精度よく求められなかった。

豊橋多米及び西尾善明は産業技術総合研究所のひずみ計である。

気象庁作成

四国の深部低周波地震(微動)活動とゆっくりすべり

【四国東部、四国中部】

(A) 5月1日から12日にかけて四国中部から四国東部で深部低周波地震(微動)を観測した。

(B) 5月11日から23日にかけて四国中部で深部低周波地震(微動)を観測した。

周辺に設置されているひずみ計で、深部低周波地震(微動)に関連すると思われるわずかな地殻変動が観測された。

【四国西部】

(C) 5月11日から21日にかけて四国西部で深部低周波地震(微動)を観測した。このうち、5月18日から21日にかけて豊後水道付近(領域b)で、まとまった活動がみられた。周辺に設置されているひずみ計で、深部低周波地震(微動)に関連すると思われるわずかな地殻変動が観測された。

四国西部の南西側(領域b:豊後水道とその付近)では、2018年秋頃から深部低周波地震(微動)活動が活発になっている。また、2018年秋頃から、周辺に設置されている複数のひずみ計で地殻変動を観測している。これは、豊後水道周辺のプレート境界深部において発生している長期的ゆっくりすべりに起因すると推定される。豊後水道周辺では、2003年～2004年、2010年、2014年にも深部低周波地震(微動)活動が活発となった。これらの時期は、豊後水道周辺で長期的ゆっくりすべりが発生した(国土地理院, 2015, 地震予知連絡会会報第94巻)。

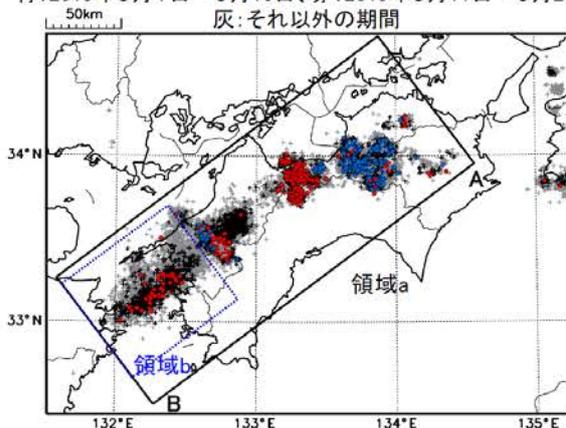
震央分布図

(2002年1月1日～2019年5月31日、深さ0～60km、Mすべて)

黒:2018年9月1日～2019年4月30日、

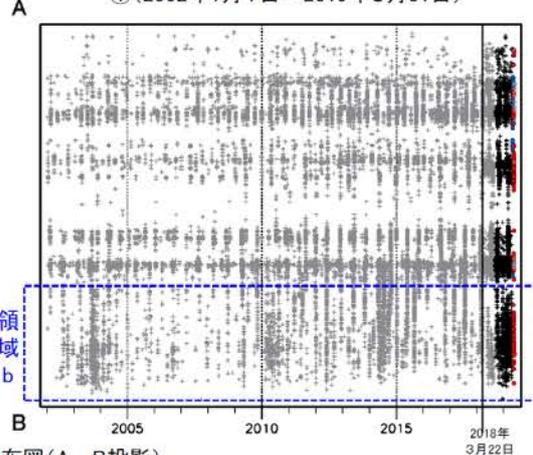
青:2019年5月1日～5月10日、赤:2019年5月11日～5月23日

灰:それ以外の期間



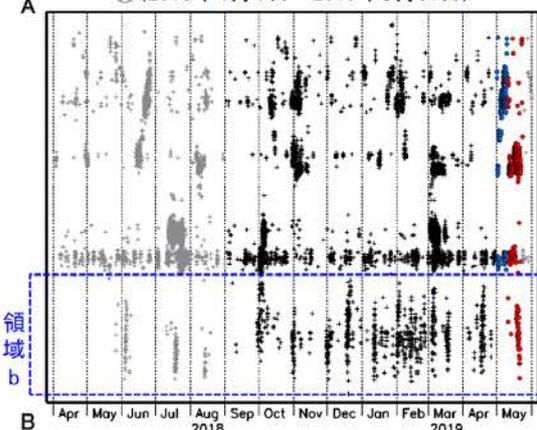
震央分布図の領域a内の時空間分布図(A-B投影)

①(2002年1月1日～2019年5月31日)

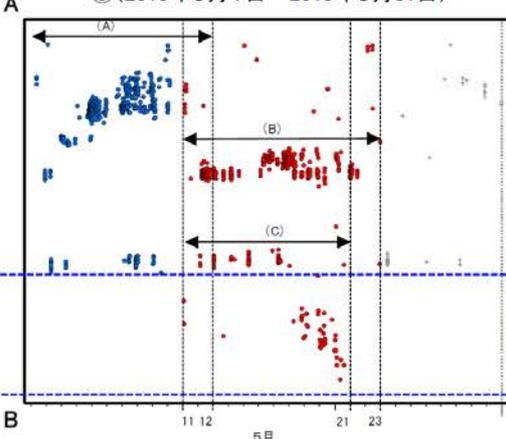


震央分布図の領域a内の時空間分布図(A-B投影)

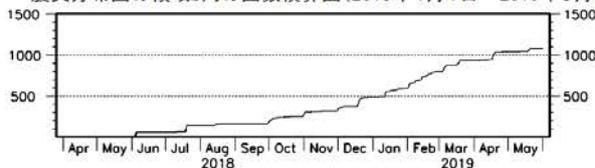
②(2018年4月1日～2019年5月31日)



③(2019年5月1日～2019年5月31日)



震央分布図の領域b内の回数積算図(2018年4月1日～2019年5月31日)



※2018年3月22日から、深部低周波地震(微動)の処理方法の変更(Matched Filter法の導入)により、それ以前と比較して検知能力が変わっている。

気象庁作成

四国の深部低周波微動活動状況（2019年5月）

- 5月2～11日頃に四国中部から東部において、活発な微動活動。
- 5月16～24日頃に四国中部において、やや活発な微動活動。

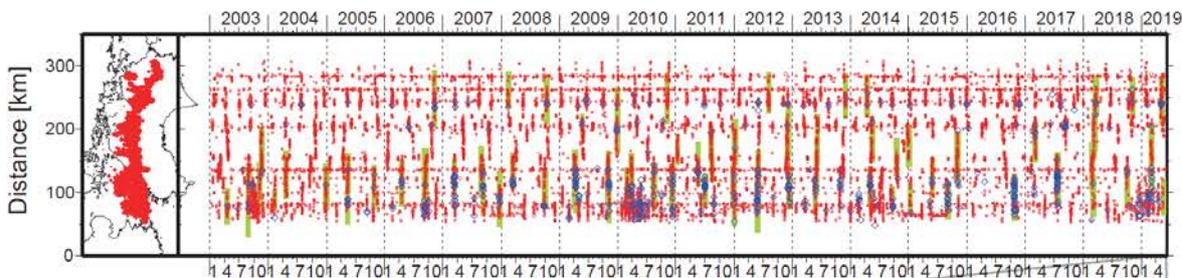


図1. 四国における2003年1月～2019年6月4日までの深部低周波微動の時空間分布(上図). 赤丸はエンベロープ相関・振幅ハイブリッド法 (Maeda and Obara, 2009) およびクラスタ処理 (Obara et al., 2010) によって1時間毎に自動処理された微動分布の重心である.

青菱形は周期20秒に卓越する超低周波地震 (Ito et al., 2007) である. 黄緑色太線は、これまでに検出された短期的スロースリップイベント (SSE) を示す. 下図は2019年5月を中心とした期間の拡大図である. 5月2～11日頃には、愛媛県東部から徳島県中部において活発な微動活動がみられた. この活動は愛媛県東部での開始後、5月4日頃から愛媛・徳島県境付近で活発化し、東方向への活動域の移動がみられた. この活動に際し傾斜変動から短期的SSEの断層モデルが推定されている. 5月16～24日頃には愛媛県東部においてやや活発な活動がみられ、活動域は沈み込みの深部側から浅部側に拡大した. 活動に際し近傍の点で傾斜変動がみられるものの、断層モデル推定には至っていない. 5月18～20日頃には豊後水道において小規模な活動がみられ、活動に際し傾斜変動から短期的SSEの断層モデルが推定されている. 5月9～10日頃には豊後水道において、5月11日頃には伊予灘において、5月15日頃には徳島県中部において、5月23日頃には香川県において、5月28日頃には香川・徳島県境付近において、それぞれごく小規模な活動がみられた.

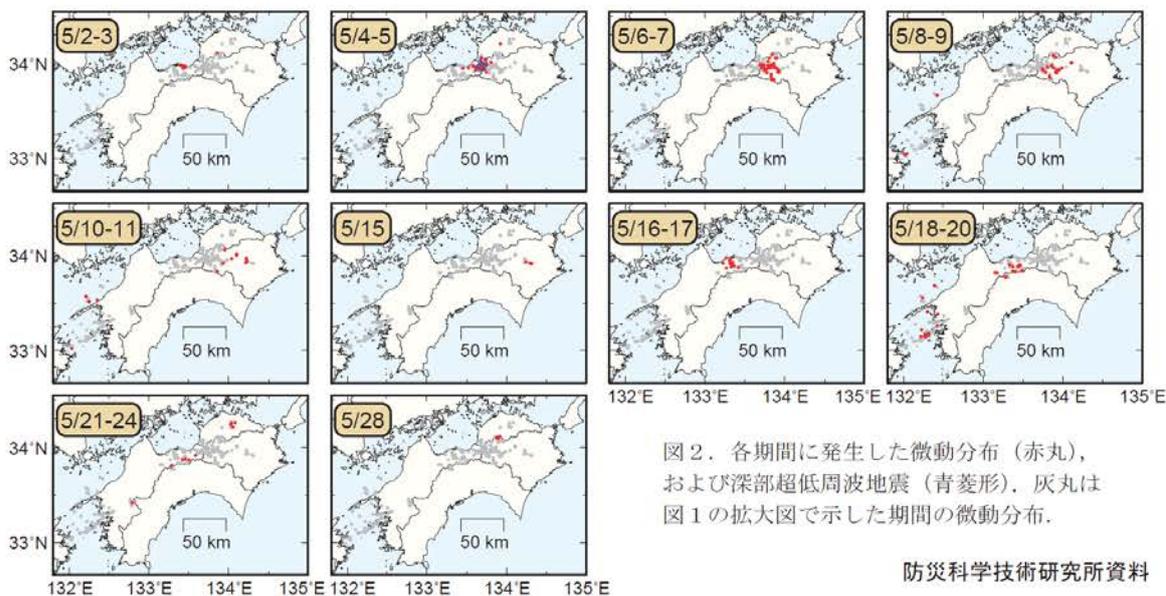


図2. 各期間に発生した微動分布 (赤丸), および深部超低周波地震 (青菱形). 灰丸は図1の拡大図で示した期間の微動分布.

防災科学技術研究所資料

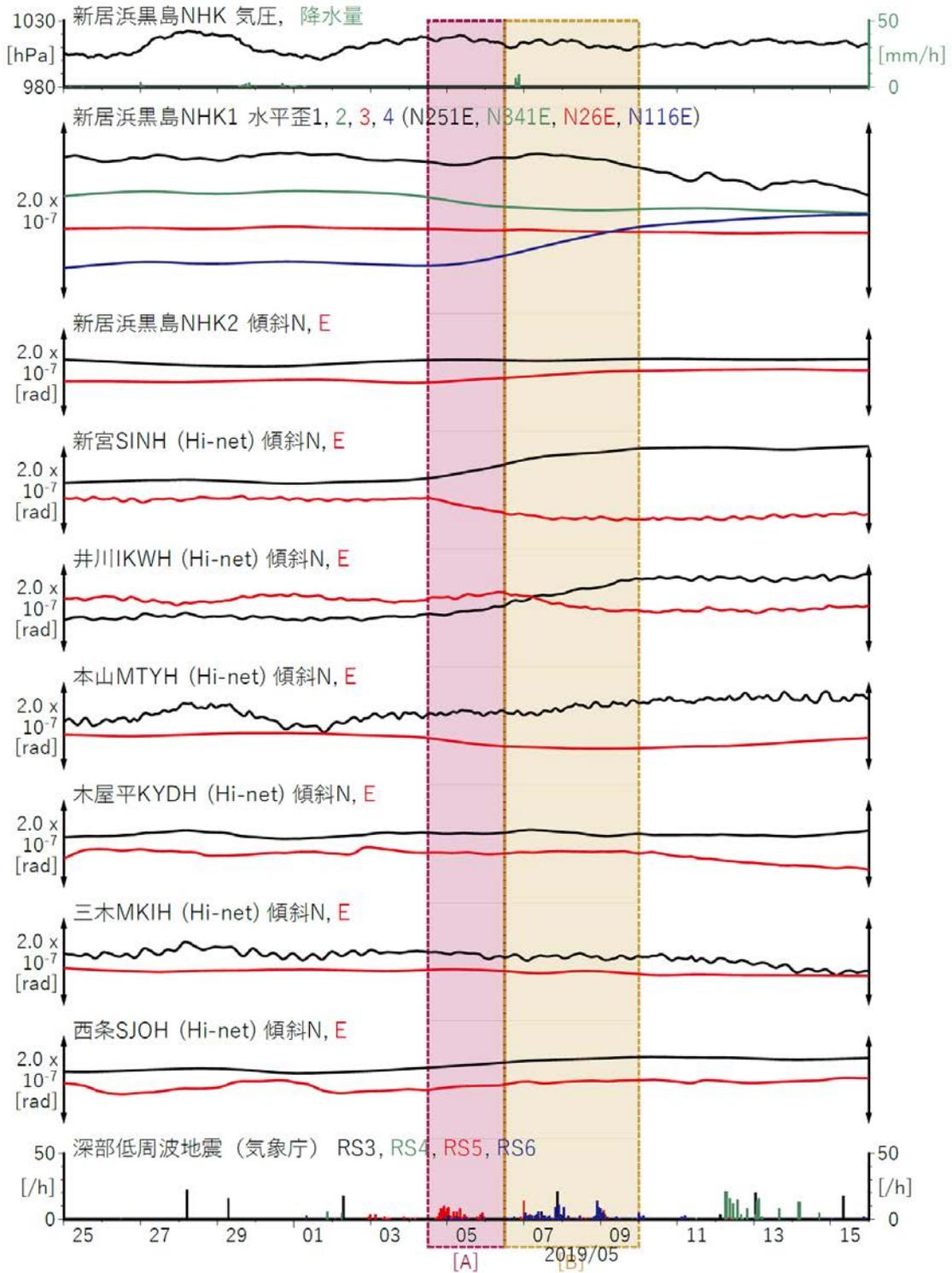
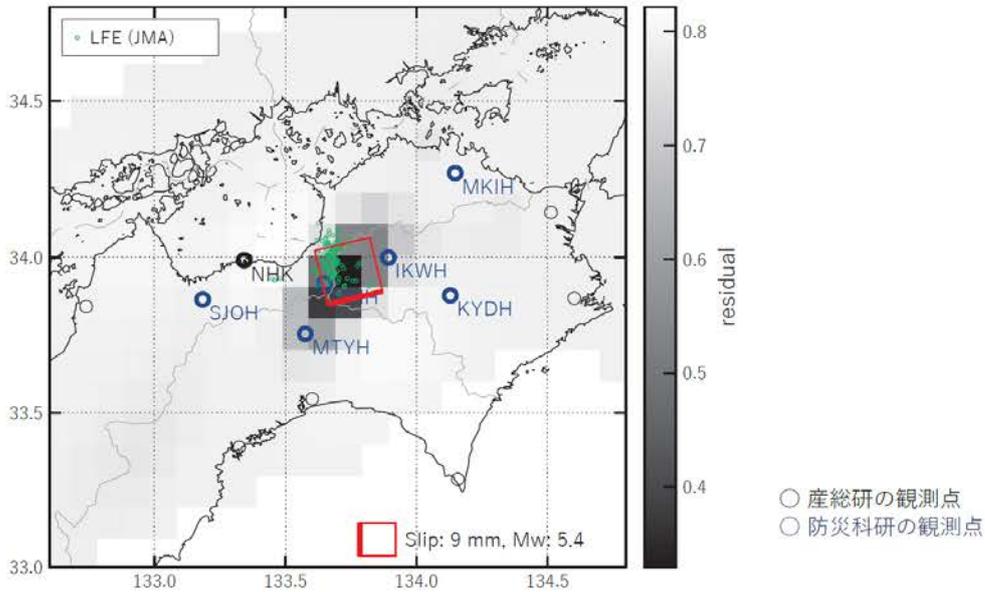


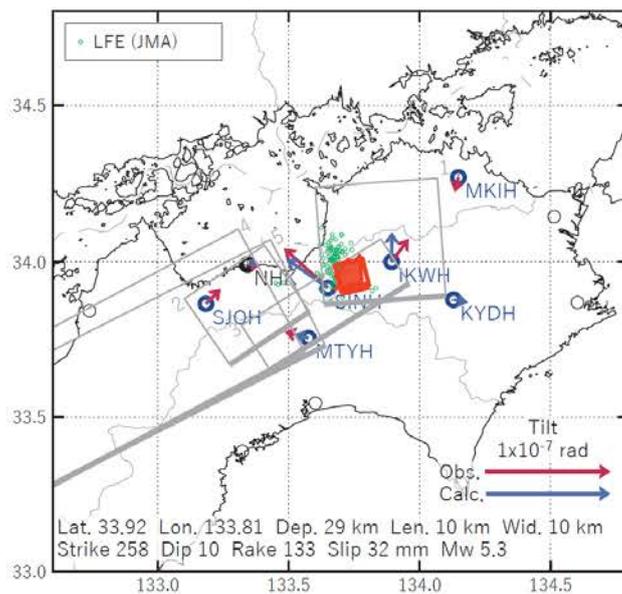
図2 四国地方における歪・傾斜観測結果（2019/04/25 00:00 - 2019/05/16 00:00 (JST)）

[A] 2019/05/04PM-06AM

(a) 断層の大きさを固定した場合の断層モデルと残差分布



(b1) 推定された断層モデル



(b2) 主歪

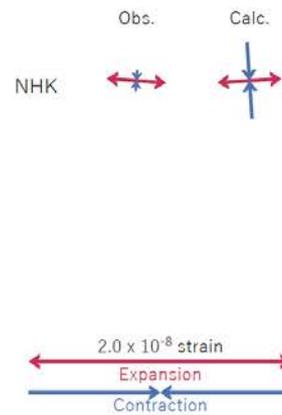


図3 2019/05/04PM-06AMの歪・傾斜変化（図2[A]）を説明する断層モデル。

(a) プレート境界面に沿って分布させた20×20kmの矩形断層面を移動させ、各位置で残差の総和を最小とするすべり量を選んだ時の残差の総和の分布。赤色矩形が残差の総和が最小となる断層面の位置。

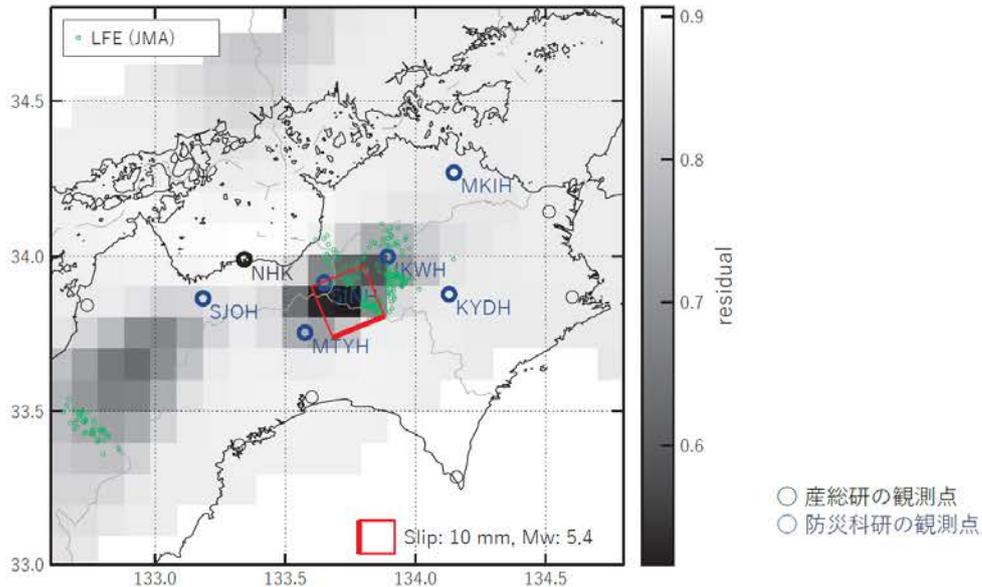
(b1) (a)の位置付近をグリッドサーチして推定した断層面（赤色矩形）と断層パラメータ。灰色矩形は最近周辺で発生したイベントの推定断層面。

1: 2018/10/10PM-15 (Mw5.8), 2: 2018/10/31-11/03 (Mw5.5), 3: 2018/11/04-08AM (Mw5.5)
4: 2019/03/04PM-06 (Mw6.2), 5: 2019/03/07-09 (Mw6.0)

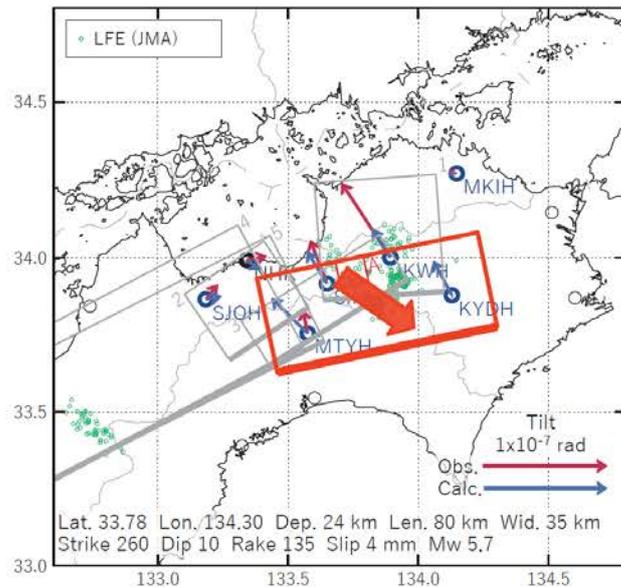
(b2) 主歪の観測値と(b1)に示した断層モデルから求めた計算値との比較。

[B] 2019/05/06PM-09

(a) 断層の大きさを固定した場合の断層モデルと残差分布



(b1) 推定された断層モデル



(b2) 主歪

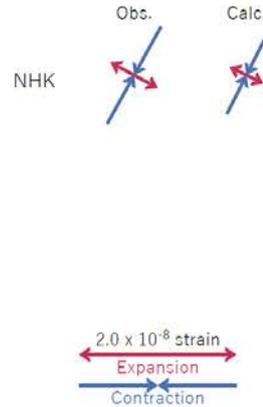


図4 2019/05/06PM-09の歪・傾斜変化（図2[B]）を説明する断層モデル。

(a) プレート境界面に沿って分布させた20×20kmの矩形断層面を移動させ、各位置で残差の総和を最小とするすべり量を選んだ時の残差の総和の分布。赤色矩形が残差の総和が最小となる断層面の位置。

(b1) (a)の位置付近をグリッドサーチして推定した断層面（赤色矩形）と断層パラメータ。灰色矩形は最近周辺で発生したイベントの推定断層面。

1: 2018/10/10PM-15 (Mw5.8), 2: 2018/10/31-11/03 (Mw5.5), 3: 2018/11/04-08AM (Mw5.5)

4: 2019/03/04PM-06 (Mw6.2), 5: 2019/03/07-09 (Mw6.0)

A: 2019/05/04PM-06AM (Mw5.3)

(b2) 主歪の観測値と(b1)に示した断層モデルから求めた計算値との比較。

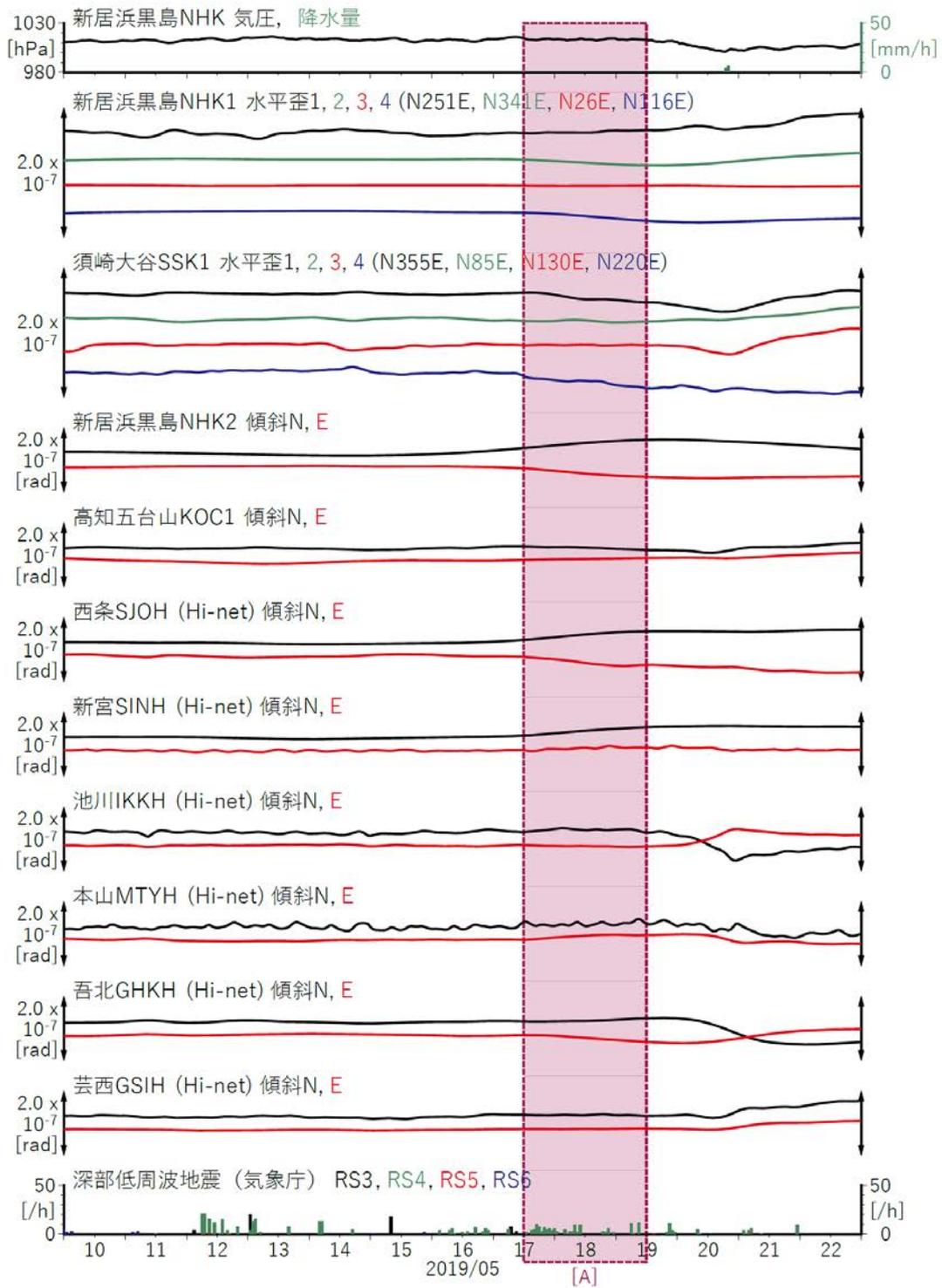
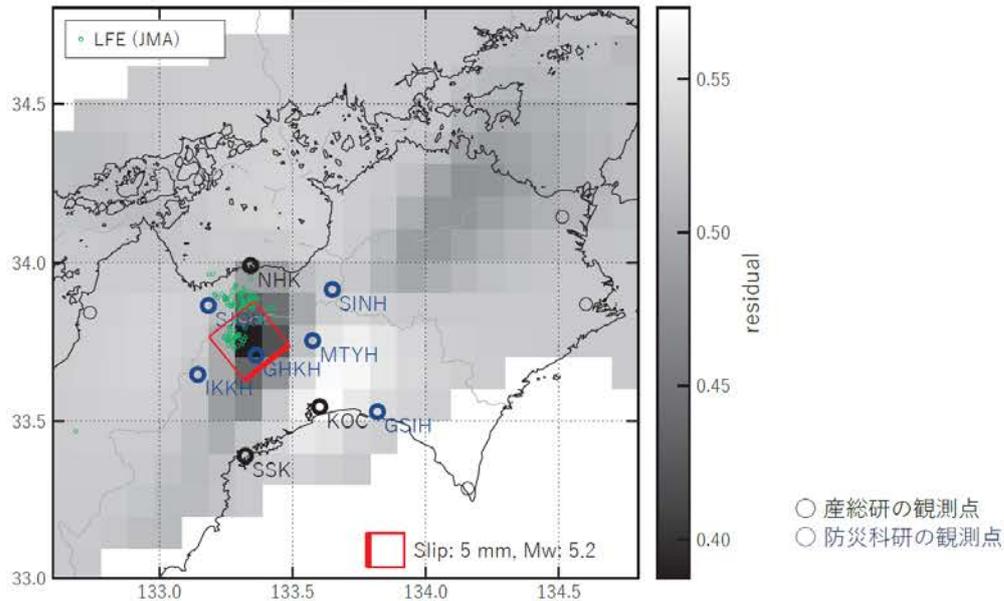


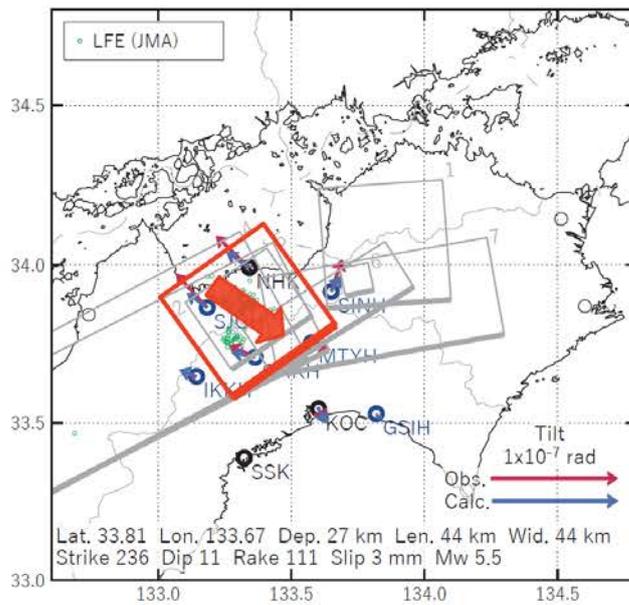
図6 四国地方における歪・傾斜観測結果（2019/05/10 00:00 - 2019/05/23 00:00 (JST)）

[A] 2019/05/17PM-19AM

(a) 断層の大きさを固定した場合の断層モデルと残差分布



(b1) 推定された断層モデル



(b2) 主歪

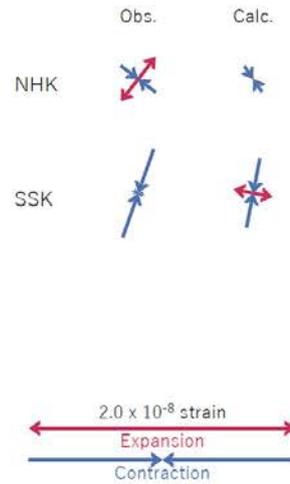


図7 2019/05/17PM-19AMの歪・傾斜変化（図6[A]）を説明する断層モデル。

(a) プレート境界面に沿って分布させた20×20kmの矩形断層面を移動させ、各位置で残差の総和を最小とするすべり量を選んだ時の残差の総和の分布。赤色矩形が残差の総和が最小となる断層面の位置。

(b1) (a)の位置付近をグリッドサーチして推定した断層面（赤色矩形）と断層パラメータ。灰色矩形は最近周辺で発生したイベントの推定断層面。

1: 2018/10/10PM-15 (Mw5.8), 2: 2018/10/31-11/03 (Mw5.5), 3: 2018/11/04-08AM (Mw5.5)

4: 2019/03/04PM-06 (Mw6.2), 5: 2019/03/07-09 (Mw6.0), 6: 2019/05/04PM-06AM (Mw5.3)

7: 2019/05/06PM-09 (Mw5.7)

(b2) 主歪の観測値と(b1)に示した断層モデルから求めた計算値との比較。

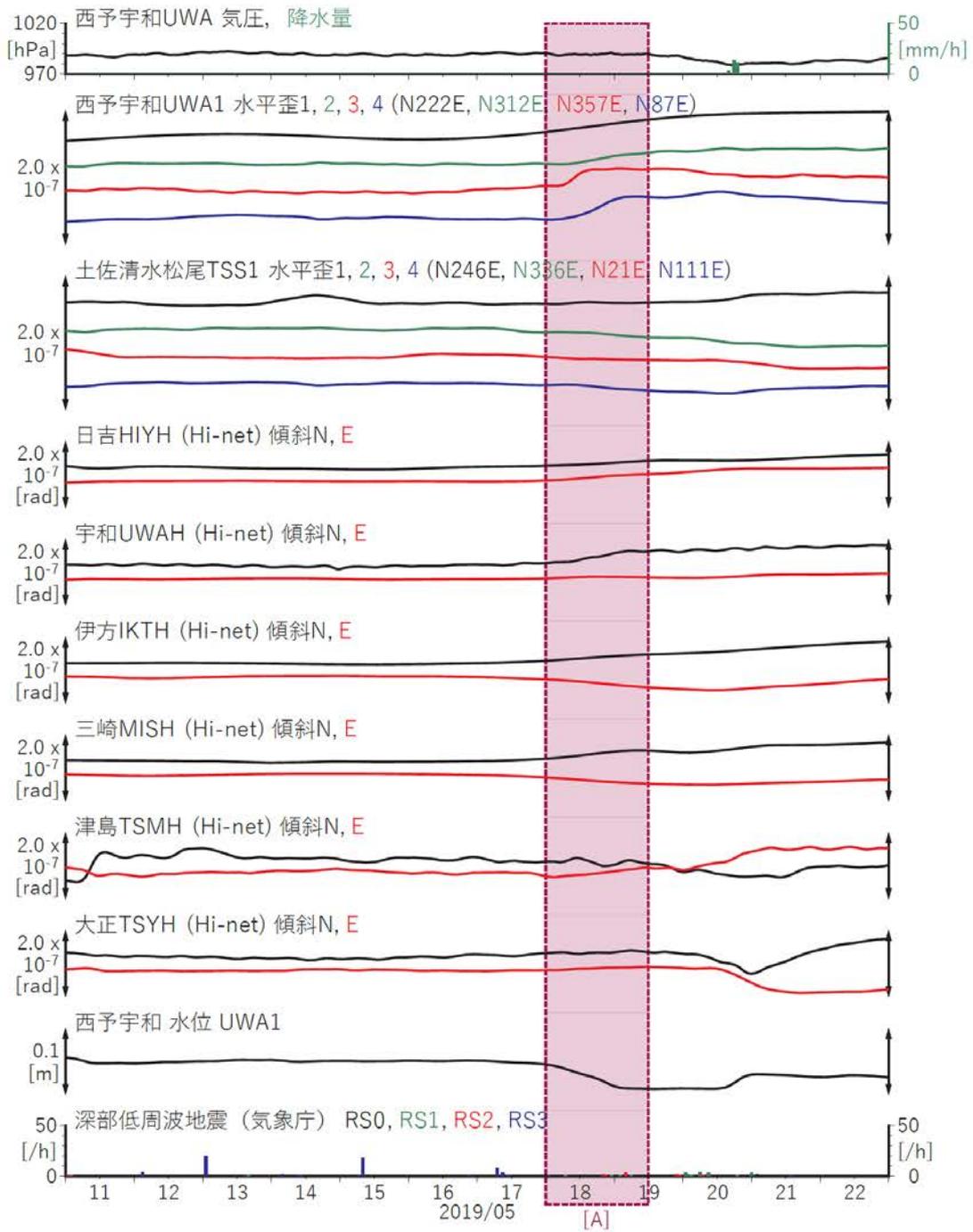
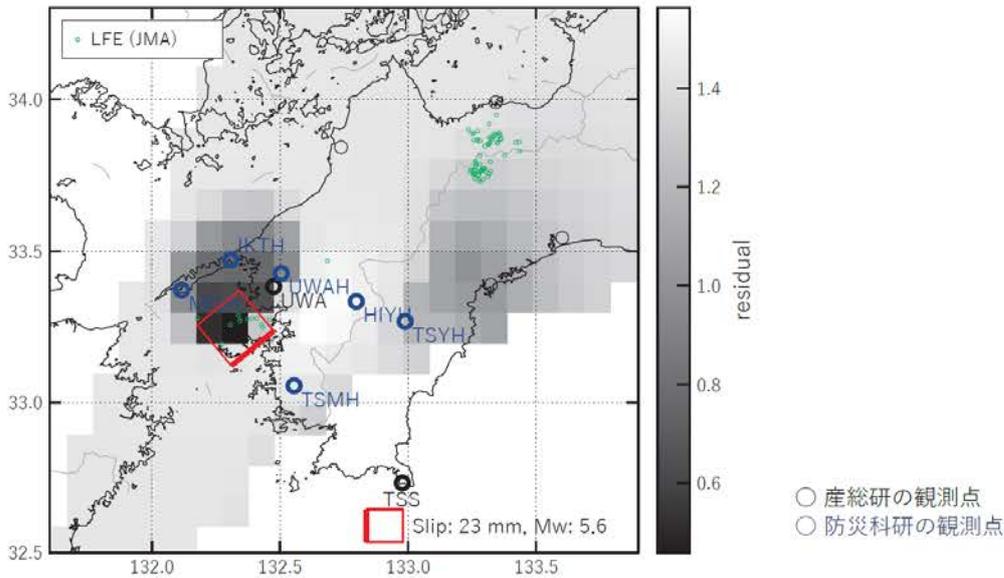


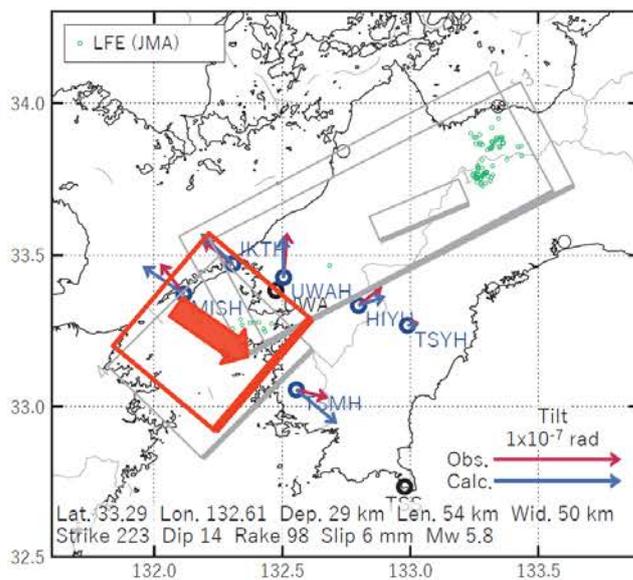
図9 四国地方における歪・傾斜観測結果 (2019/05/11 00:00 - 2019/05/23 00:00 (JST))

[A] 2019/05/18-19AM

(a) 断層の大きさを固定した場合の断層モデルと残差分布



(b1) 推定した断層モデル



(b2) 主歪



(b3) 体積歪

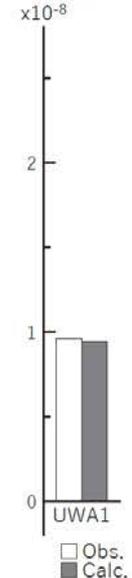


図10 2019/05/18-19AMの歪・傾斜変化（図9[A]）を説明する断層モデル。

(a) プレート境界面に沿って分布させた20×20kmの矩形断層面を移動させ、各位置で残差の総和を最小とするすべり量を選んだ時の残差の総和の分布。赤色矩形が残差の総和が最小となる断層面の位置。

(b1) (a)の位置付近をグリッドサーチして推定した断層面(赤色矩形)と断層パラメータ。灰色矩形は最近周辺で発生したイベントの推定断層面。

1: 2019/03/02-04AM (Mw5.6), 2: 2019/03/04PM-06 (Mw6.2), 3: 2019/03/07-09 (Mw6.0)

4: 2019/04/17-18 (Mw5.7)

(b2) 主歪の観測値と(b1)に示した断層モデルから求めた計算値との比較。

(b3) 体積歪の観測値と(b1)に示した断層モデルから求めた計算値との比較。地下水圧は体積歪に変換して計算している。

四国東部の短期的スロースリップ活動状況（2019年5月）



- ・四国東部を活動域とする短期的スロースリップイベント (M_w 5.8)
- ・2018年10～11月 (M_w 5.8) 以来約6ヶ月ぶり

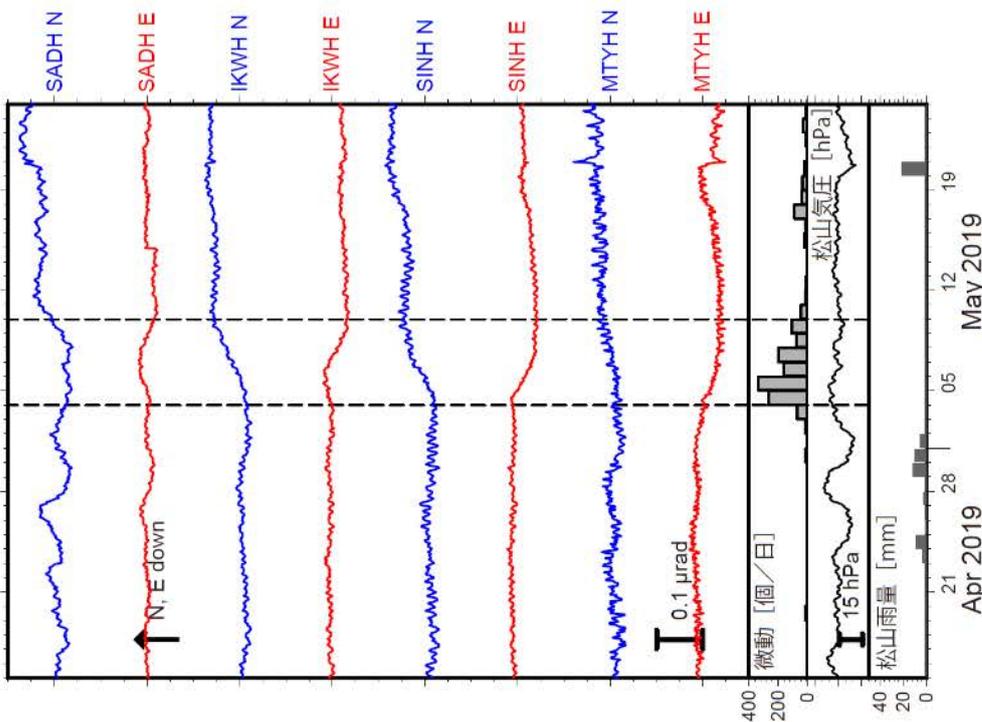


図1：2019年4月15日～5月24日の傾斜時系列。上方への変化が北・東下がり
の傾斜変動を表し、BAYTAP-Gにより潮汐・気圧応答成分を除去した。5月4
日～9日の傾斜変化ベクトルを図2に示す。四国東部の微動活動度・気象庁松
山観測点の気圧・雨量をあわせて示す。

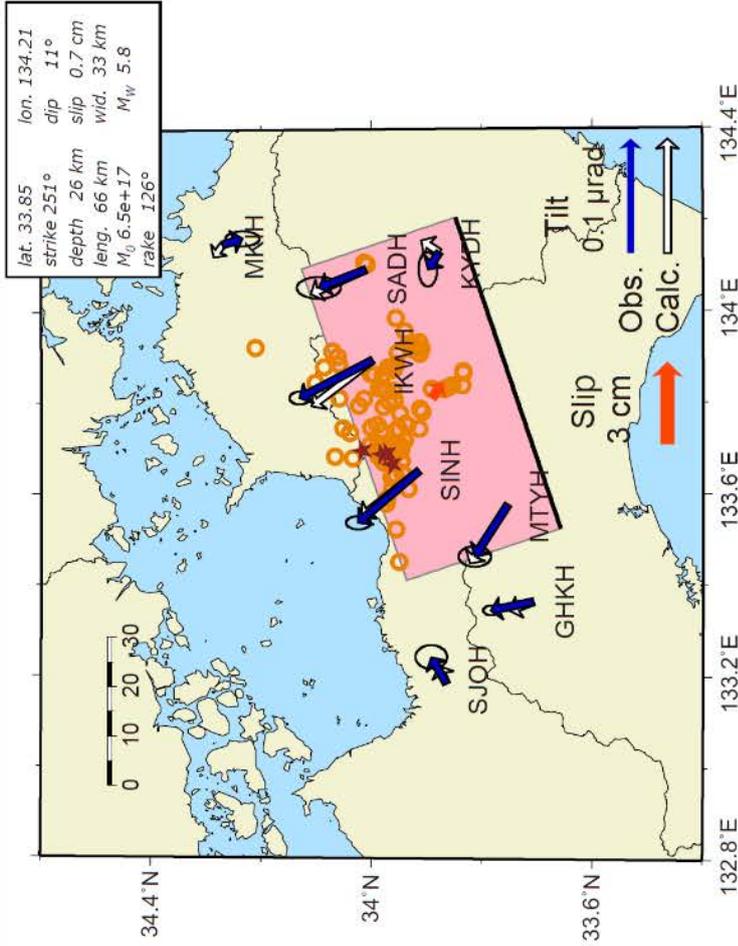


図2：5月4日～9日に観測された傾斜変化ベクトル（青矢印）、推定されたスロースリップイベントの断
層モデル（赤矩形・矢印）、モデルから計算される傾斜変化ベクトル（白抜き矢印）を示す。1時間ごとの
微動エネルギーの重心位置（橙丸）もあわせて示す。すべり角はプレート相対運動方向に固定している。

謝辞

気象庁のWEBページで公開されている気象データを使用させて頂きました。記して感謝いたします。

防災科学技術研究所資料

豊後水道の短期的スローリップ活動状況（2019年5月）



- ・豊後水道を活動域とする短期的スローリップイベント (Mw 5.8)
- ・2018年9月～10月 (Mw 6.1) 以来約6ヶ月ぶり

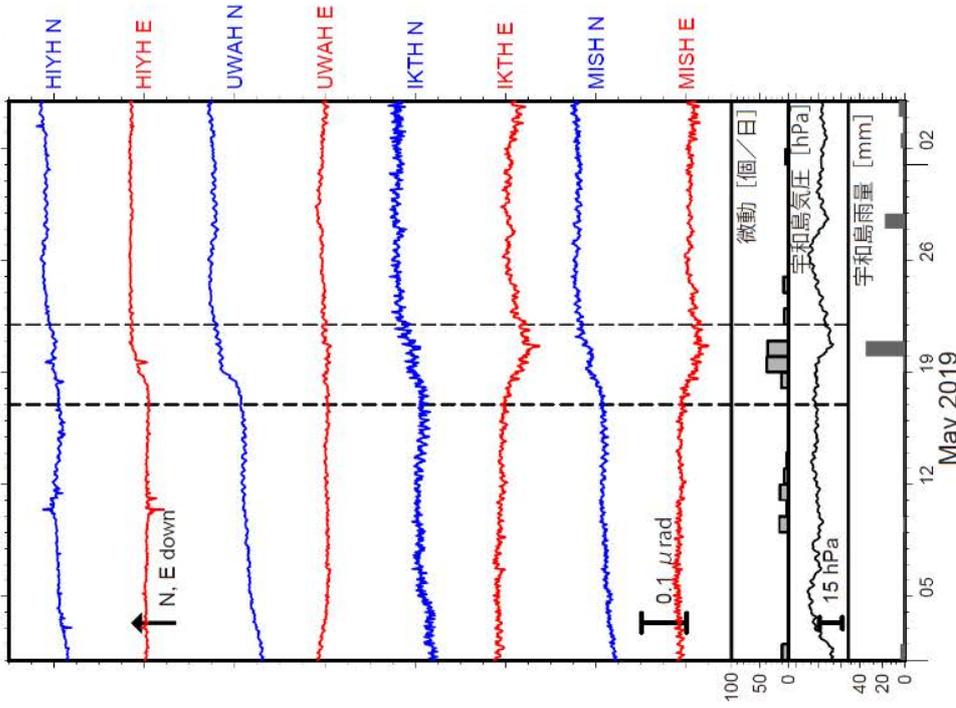


図1：2019年5月1日～6月4日の傾斜時系列。上方向への変化が北・東下がり
の傾斜変動を表し、BAYTAP-Gにより潮汐・気圧応答成分を除去した。5月17日
～21日の傾斜変化ベクトルを図2に示す。豊後水道での微動活動度、気象庁宇和
島観測点の気圧・雨量をあわせて示す。

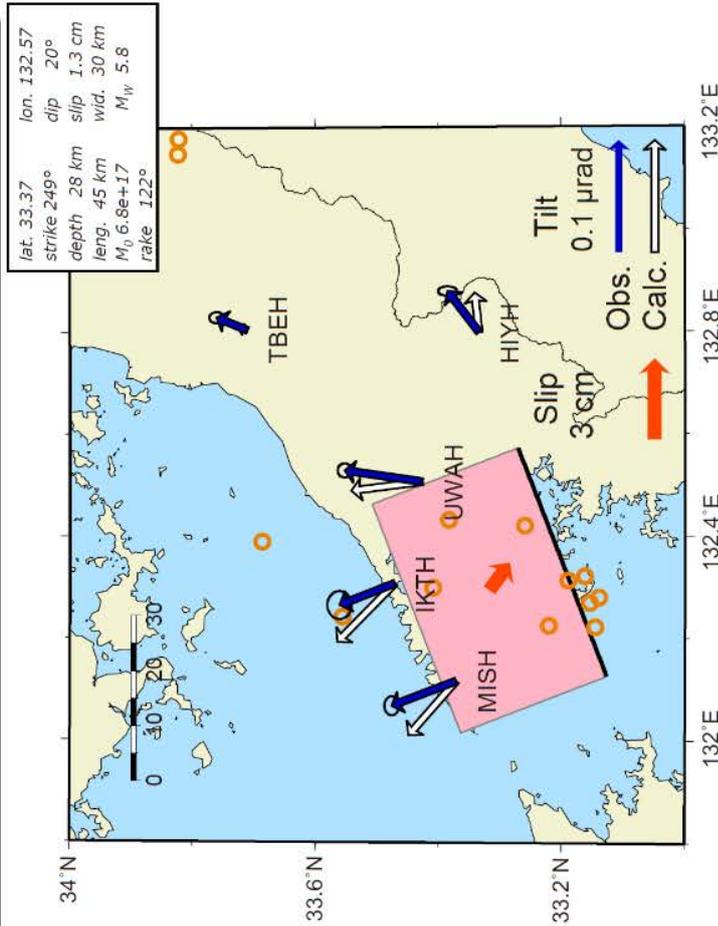


図2：5月17日～21日に観測された傾斜変化ベクトル（青矢印）、推定されたスローリップイベントの
断面モデル（赤矩形・矢印）、モデルから計算される傾斜変化ベクトル（白抜き矢印）を示す。1時間ごと
の微動エネルギーの重心位置（橙丸）もあわせて示す。すべり角はプレート相対運動方向に固定している。

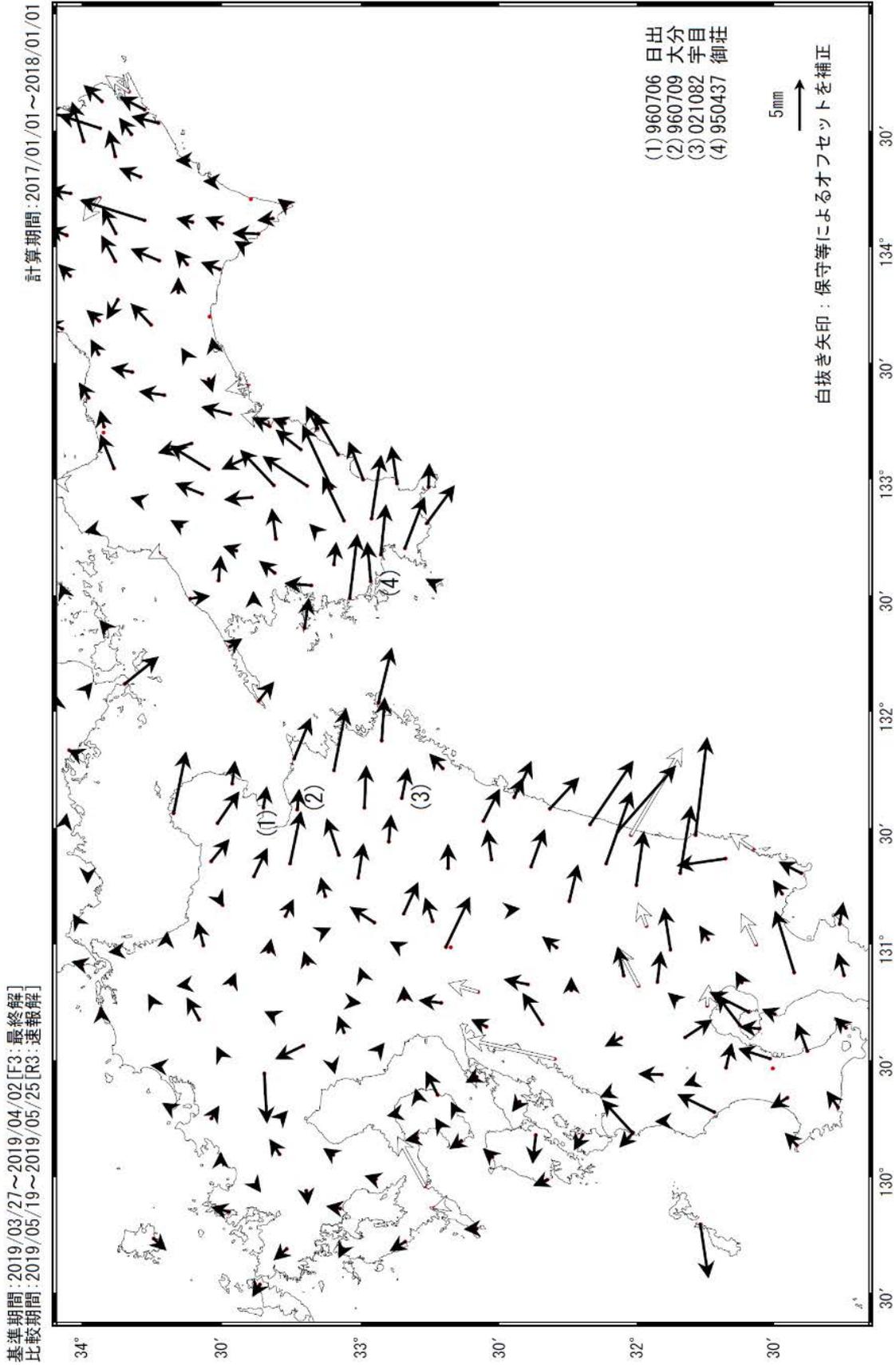
謝辞

気象庁のWEBページで公開されている気象データを使用させて頂きました。記して感謝いたします。

防災科学技術研究所資料

（国土地理院による GNSS 解析）

九州北部・四国西部の非定常水平地殻変動（1次トレント・年周期・半年周期除去後）



国土地理院

☆ 固定局：福江 (950462)

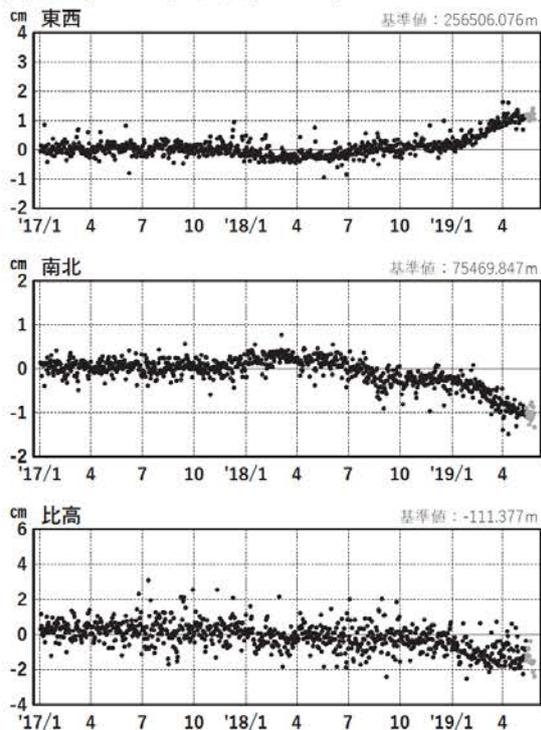
九州北部・四国西部 G N S S 連続観測時系列

1次トレンド・年周成分・半年周成分除去後グラフ

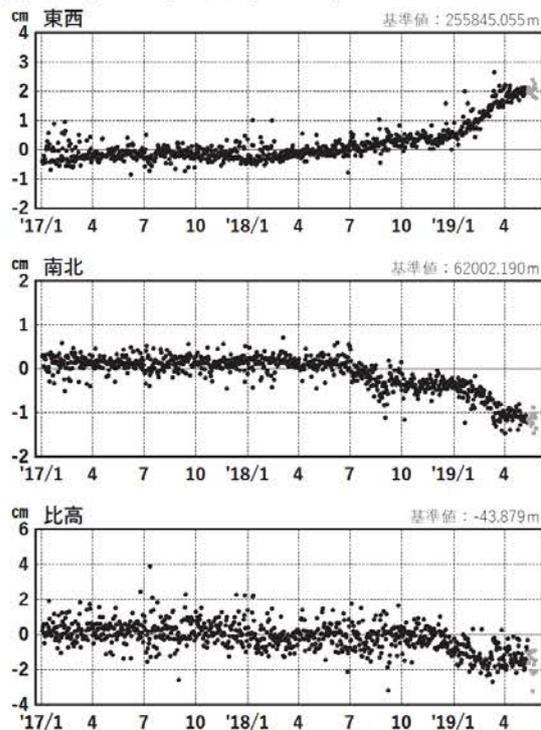
期間: 2017/01/01~2019/05/27 JST

計算期間: 2017/01/01~2018/01/01

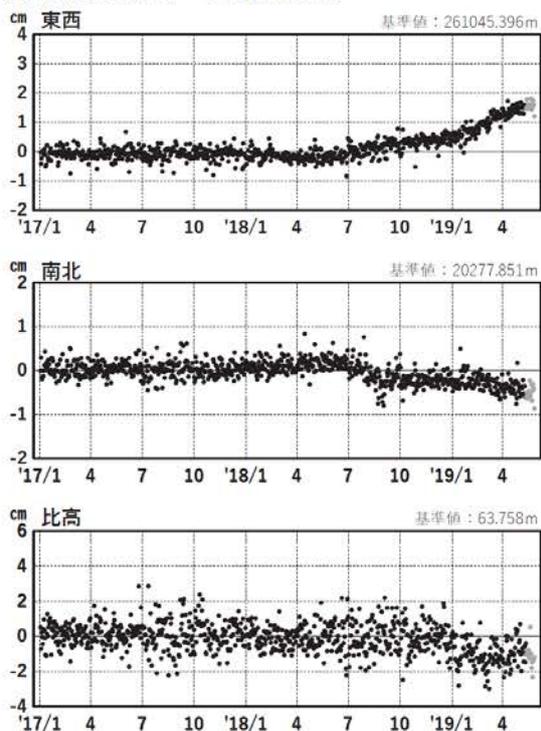
(1) 福江(950462)―日出(960706)



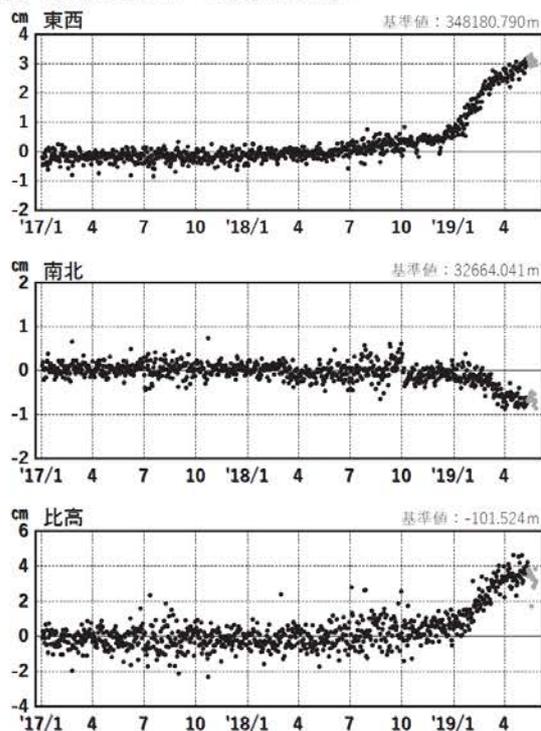
(2) 福江(950462)―大分(960709)



(3) 福江(950462)―宇目(021082)



(4) 福江(950462)―御荘(950437)

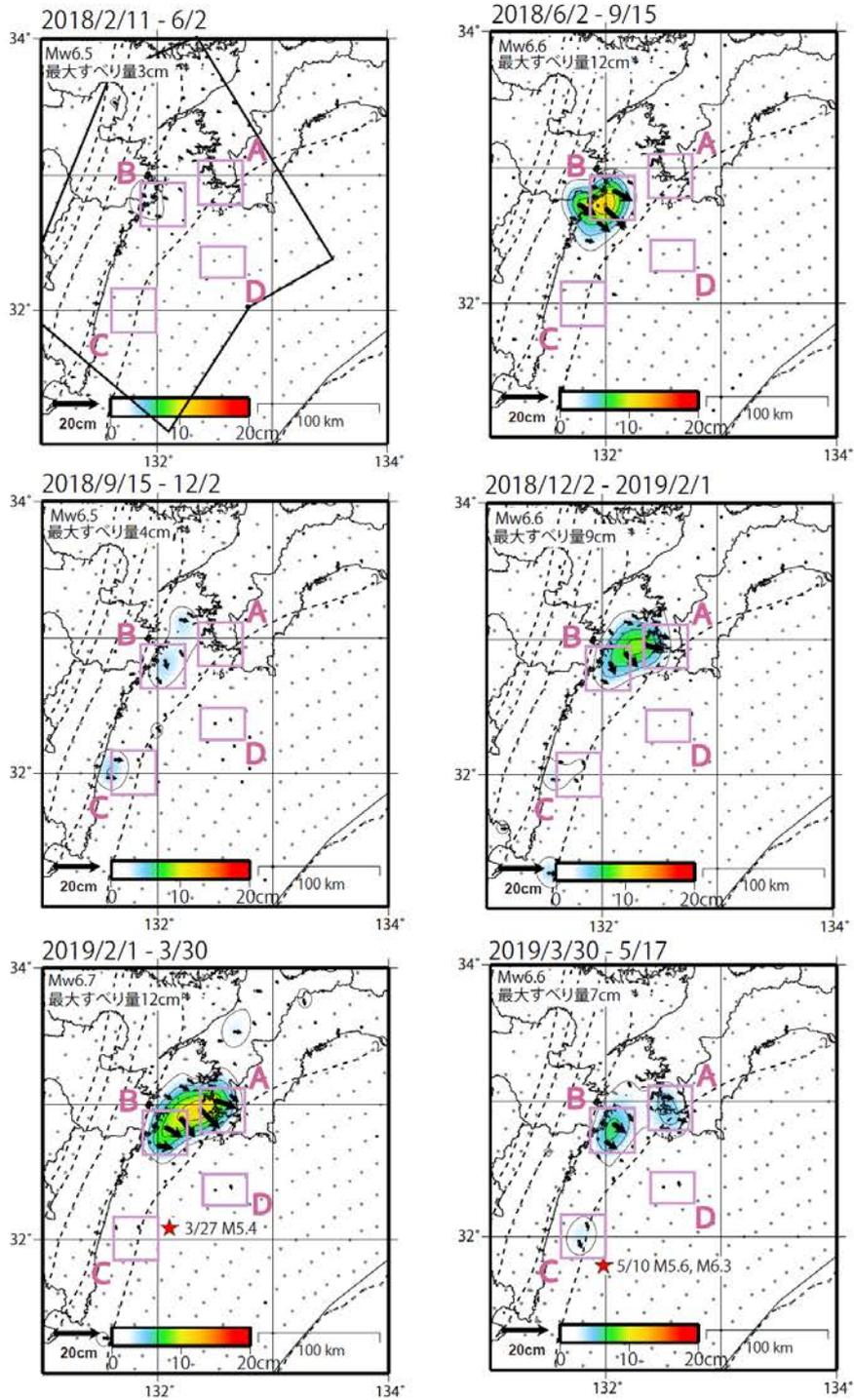


●---[F3:最終解] ●---[R3:速報解]

国土地理院

GNSSデータから推定された日向灘・豊後水道の長期的ゆっくりすべり(暫定)

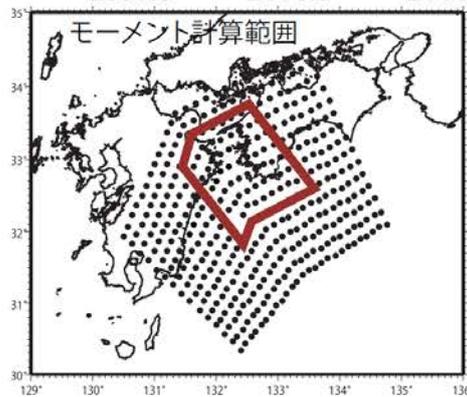
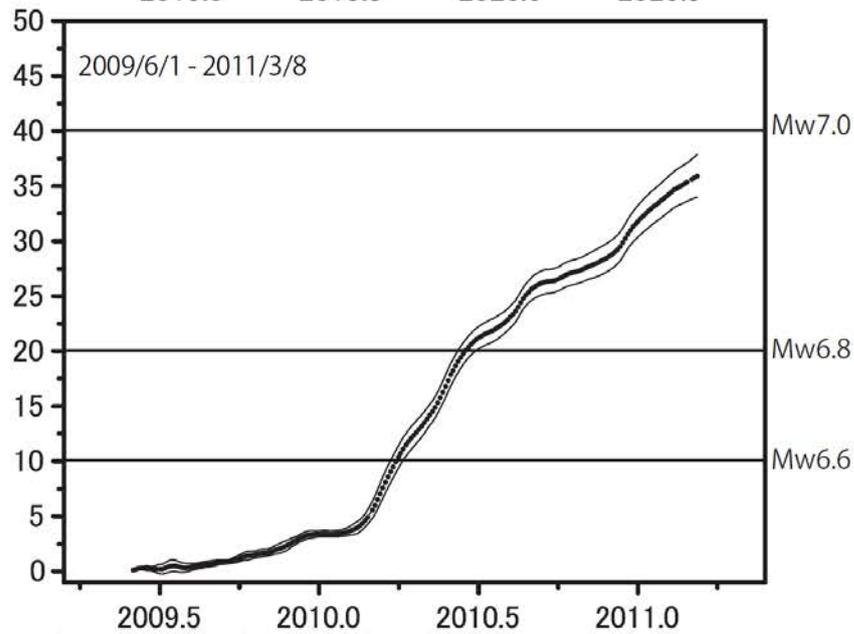
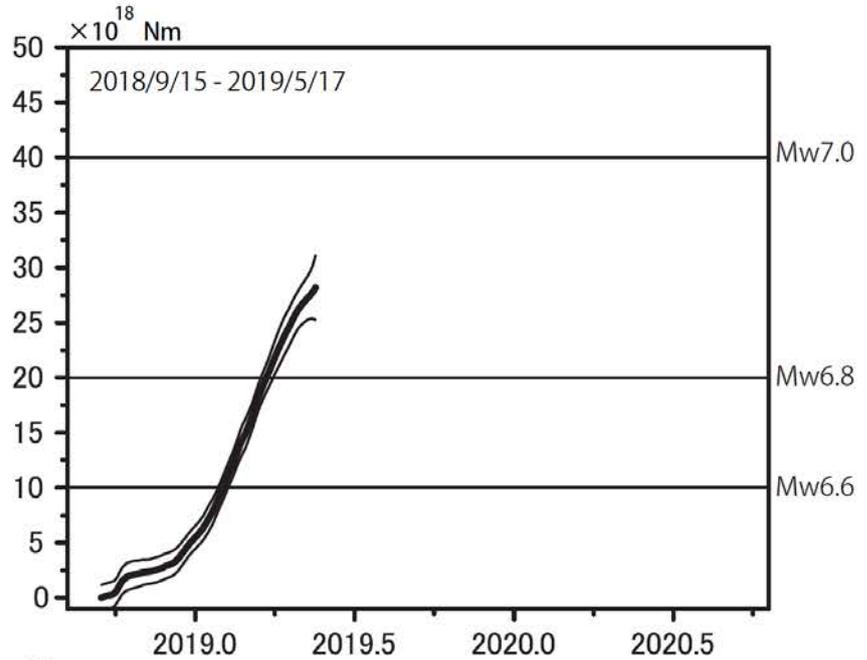
推定すべり分布



※推定したすべり量が、標準偏差(σ)の3倍未満のグリッドを灰色で表示している。

データ:F3解(~2019/5/4)+R3解(2019/5/5~5/17)
 トレンド期間:2017/1/1 - 2018/1/1
 モーメント計算範囲:左上図の黒枠内側
 黒破線:フィリピン海プレート上面の等深線(弘瀬・他、2007)
 コンター間隔:2cm
 固定局:福江

モーメント^{*}積算図(試算)



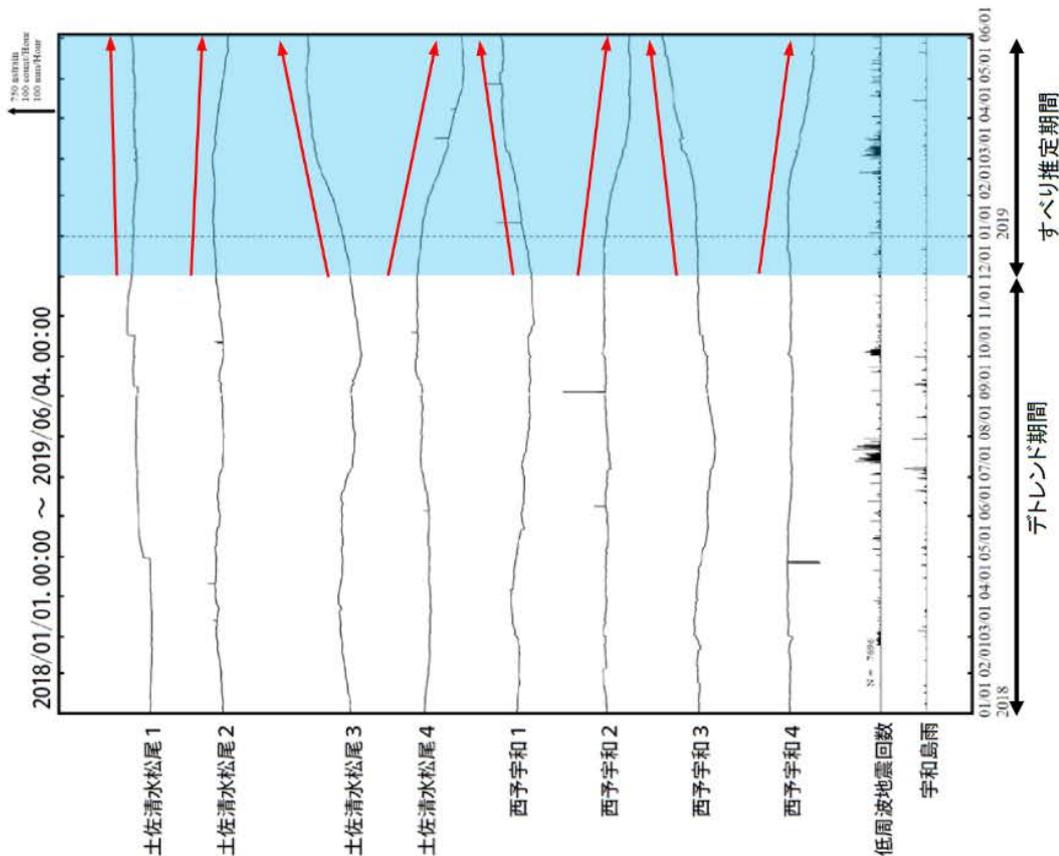
モーメント積算図には、標準偏差 (σ) の3倍を誤差として表示。

※モーメント
断層運動のエネルギーの目安となる量。
地震の場合のMw（モーメント・マグニチュード）
に換算できる。

国土地理院

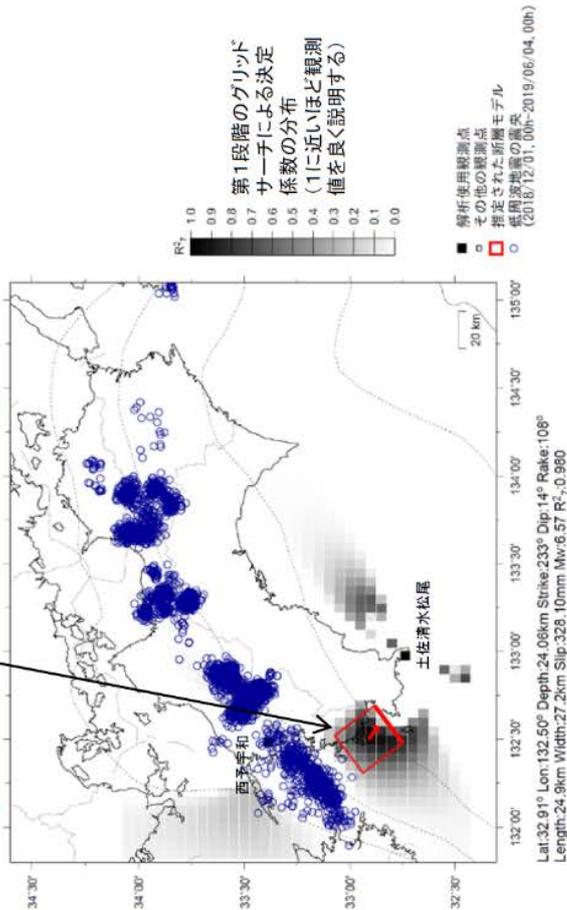
豊後水道で発生している長期的ゆっくりすべり

愛媛県から高知県で観測されたひずみ変化



ひずみ変化から推定される断層モデル

2018年12月1日～2019年6月3日
Mw6.6



左図に観測されたひずみ変化のうち、赤矢印を付した観測点での変化量を元にすべり推定を行ったところ、上図に示す領域にすべり領域が求まった。

断層モデルの推定は、産総研の解析方法（板場ほか、2012）を参考に以下の2段階で行う。
 ・断層サイズを20km × 20kmに固定し、位置を0.05度単位でグリッドサーチにより推定する。
 ・その位置を中心に、他の断層パラメータの最適解を求める。

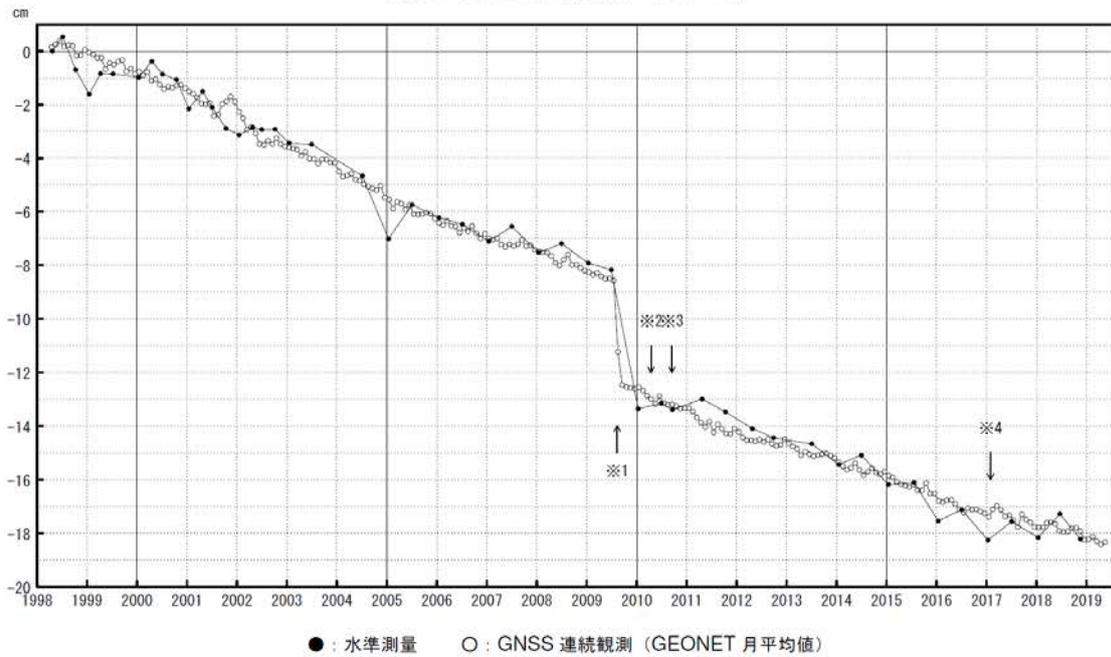
土佐清水松尾及び西予宇和は産業技術総合研究所のひずみ計である。

気象庁作成

御前崎 電子基準点の上下変動
水準測量と GNSS 連続観測

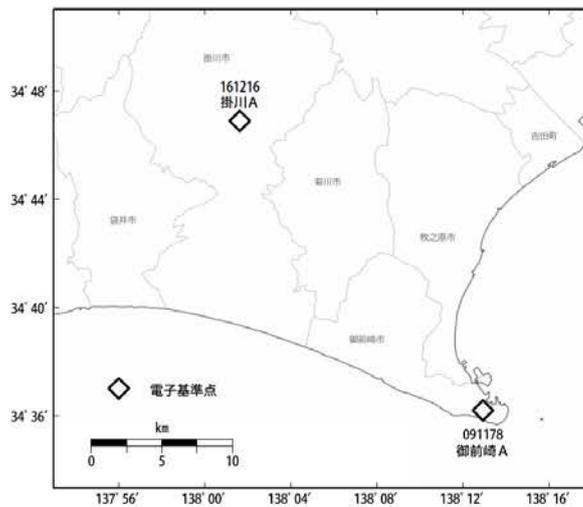
掛川に対して、御前崎が沈降する長期的な傾向が続いている。

掛川 A (161216) - 御前崎 A (091178)



・最新のプロット点は 05/01~05/11 の平均。

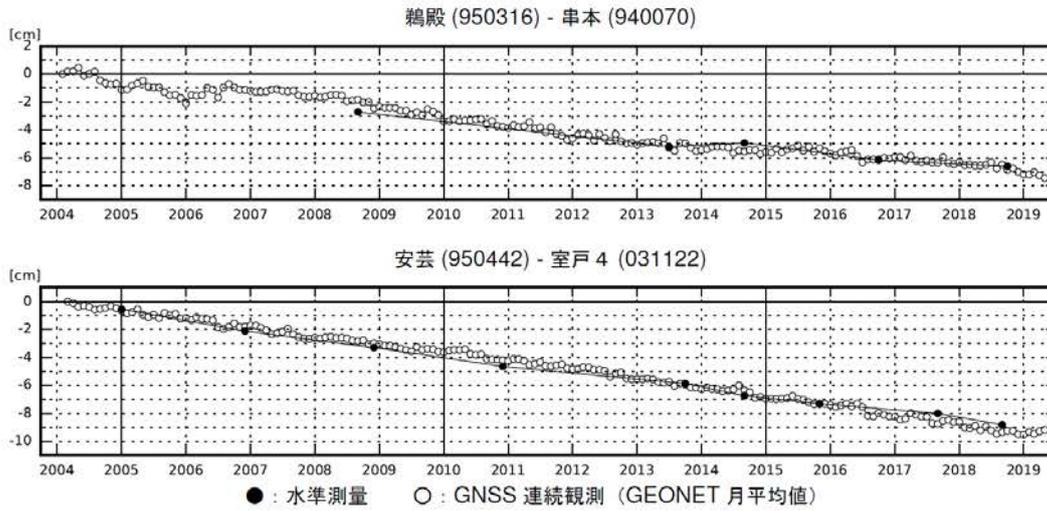
- ※1 電子基準点「御前崎」は 2009 年 8 月 11 日の駿河湾の地震 (M6.5) に伴い、地表付近の局所的な変動の影響を受けた。
- ※2 2010 年 4 月以降は、電子基準点「御前崎」をより地盤の安定している場所に移転し、電子基準点「御前崎 A」とした。上記グラフは電子基準点「御前崎」と電子基準点「御前崎 A」のデータを接続して表示している。
- ※3 水準測量の結果は移転後初めて変動量が計算できる 2010 年 9 月から表示している。
- ※4 2017 年 1 月 30 日以降は、電子基準点「掛川」は移転し、電子基準点「掛川 A」とした。上記グラフは電子基準点「掛川」と電子基準点「掛川 A」のデータを接続して表示している。



国土地理院

紀伊半島及び室戸岬周辺 電子基準点の上下変動

潮岬周辺及び室戸岬周辺の長期的な沈降傾向が続いている。

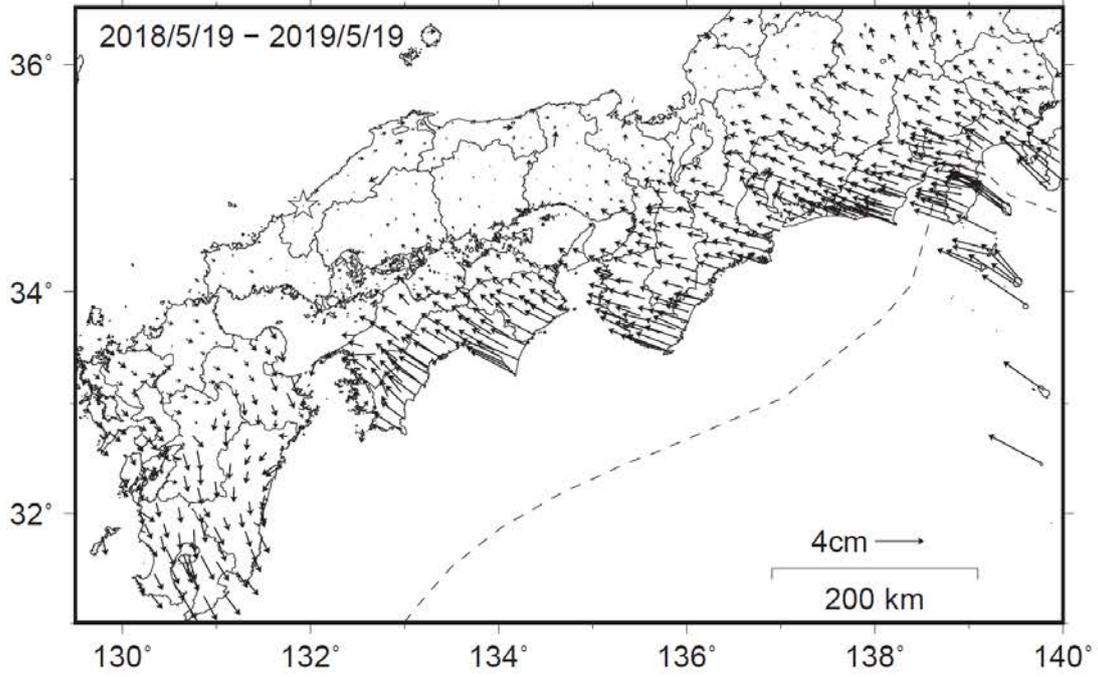


- ・ 最新のプロット点は 5/1~5/11 の平均。
- ・ 水準測量による結果については、最寄りの一等水準点の結果を表示している。

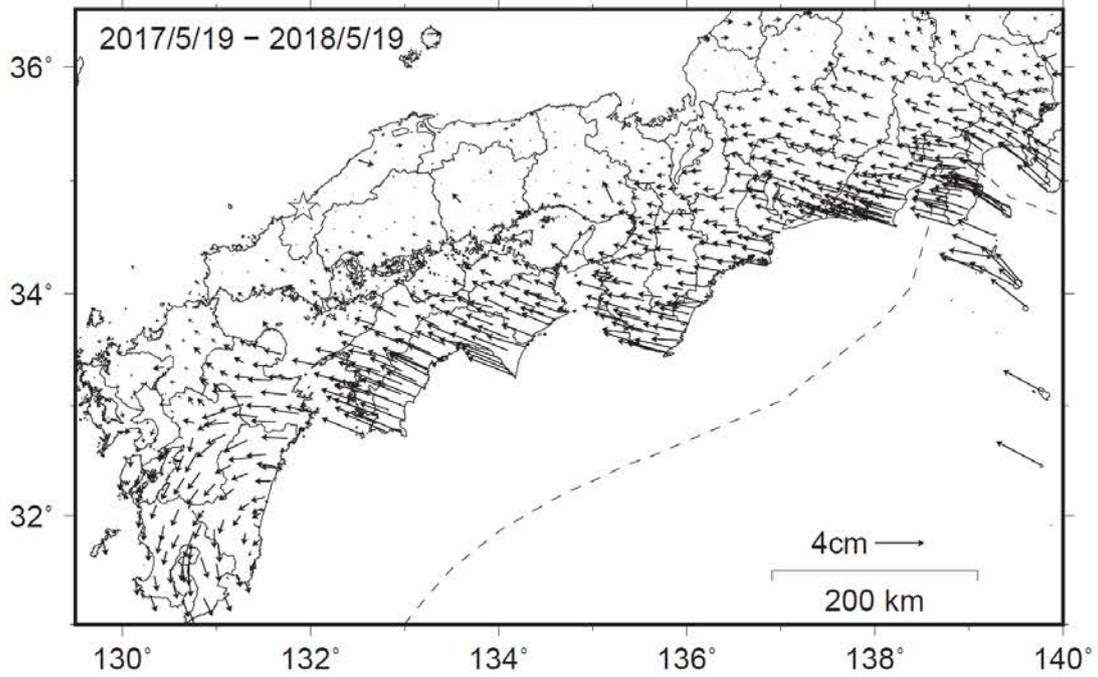


南海トラフ沿いの水平地殻変動【固定局：三隅】

【最近1年間】



【1年前の1年間】



国土地理院

2019年5月10日日向灘の地震（M6.3）後に観測された歪変化について

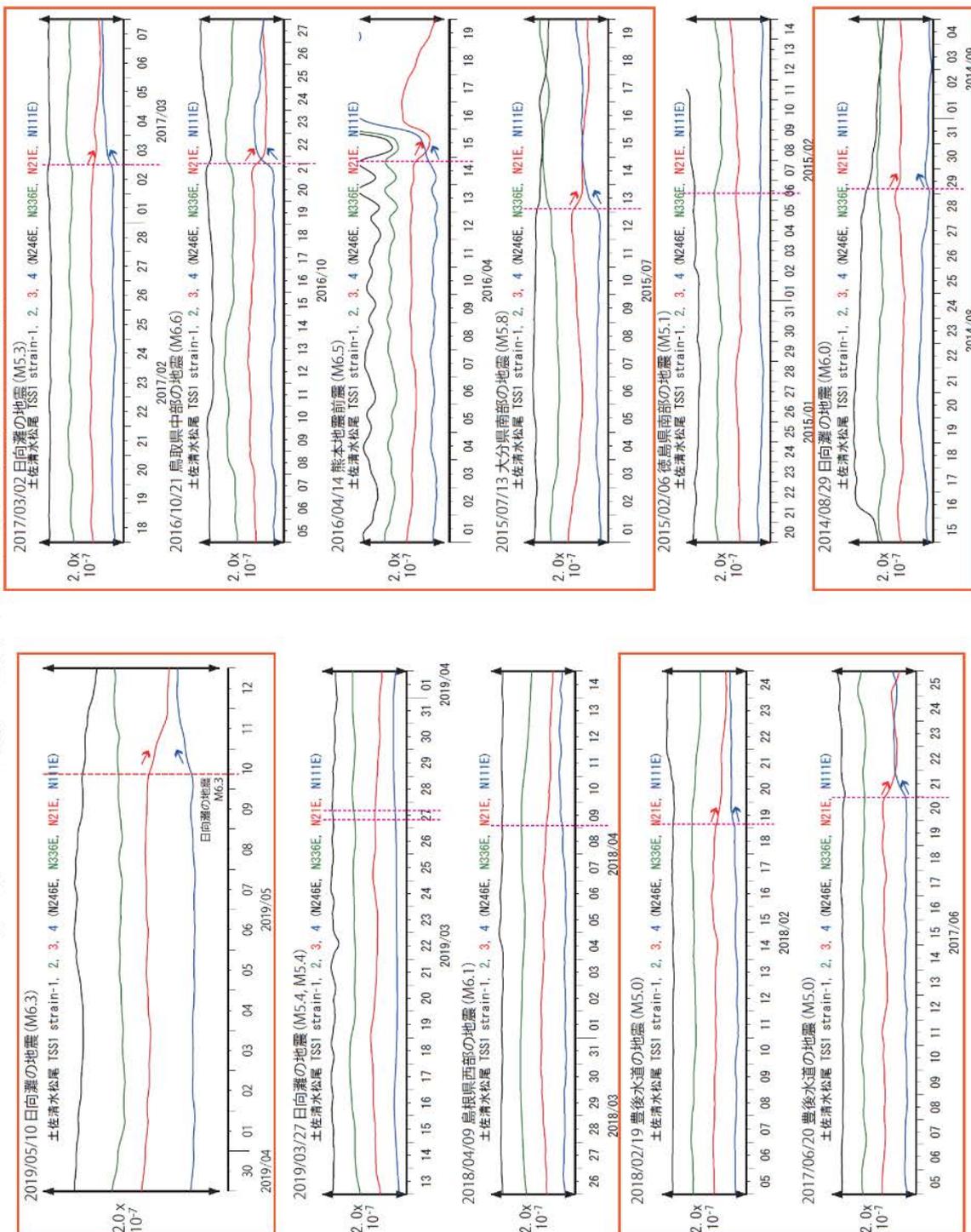


図1: 過去5年間の地震前後のTSS1における歪変化。潮汐・気圧応答成分および地震前までの1次トレンドを除去している。産業技術総合研究所 資料-11

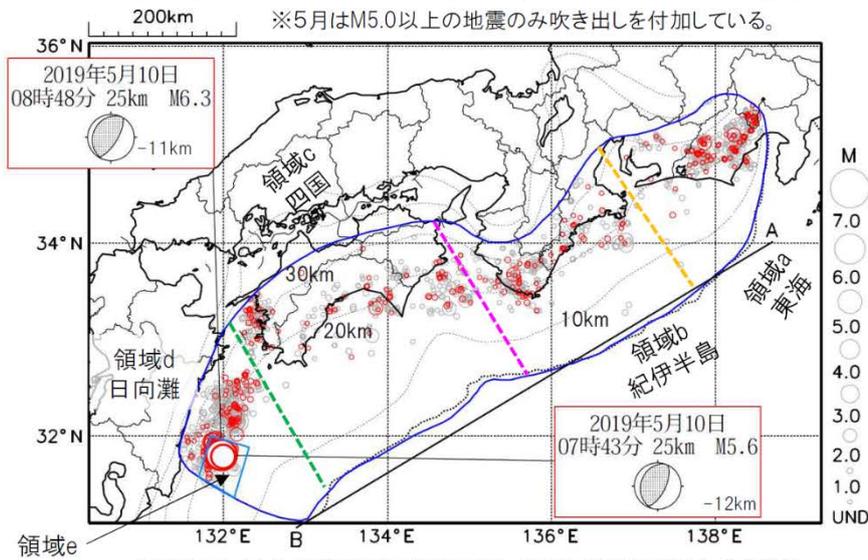
プレート境界とその周辺の地震活動

フィリピン海プレート上面の深さから±6km未満の地震を表示している。
日向灘の領域e内のみ、深さ20km～30kmの地震を追加している。

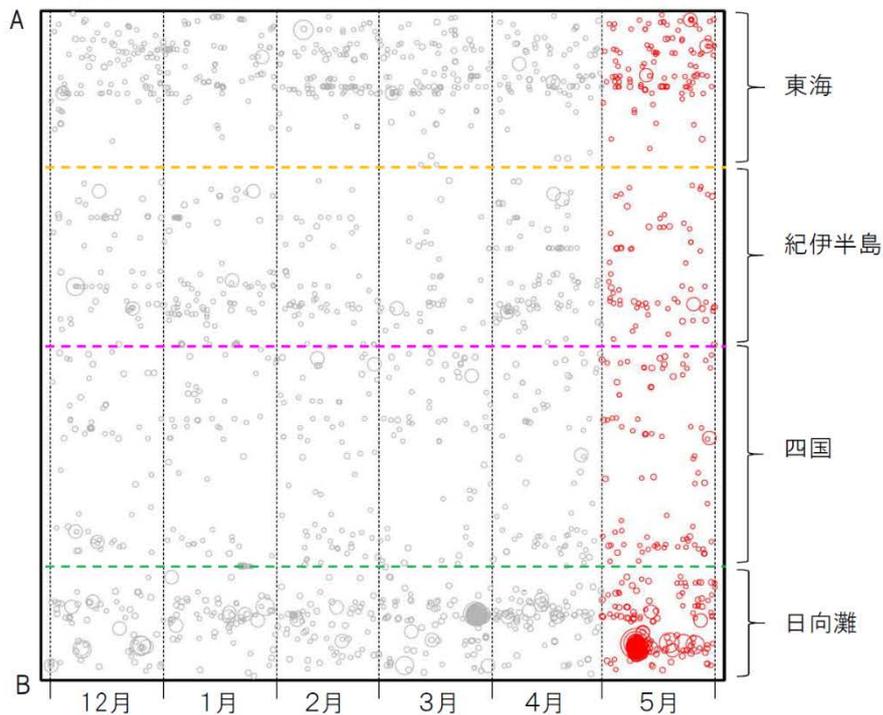
震央分布図

(2018年12月1日～2019年5月31日、M全て、2019年5月の地震を赤く表示)

※5月はM5.0以上の地震のみ吹き出しを付加している。



南海トラフ巨大地震の想定震源域内の時空間分布図(A-B投影)



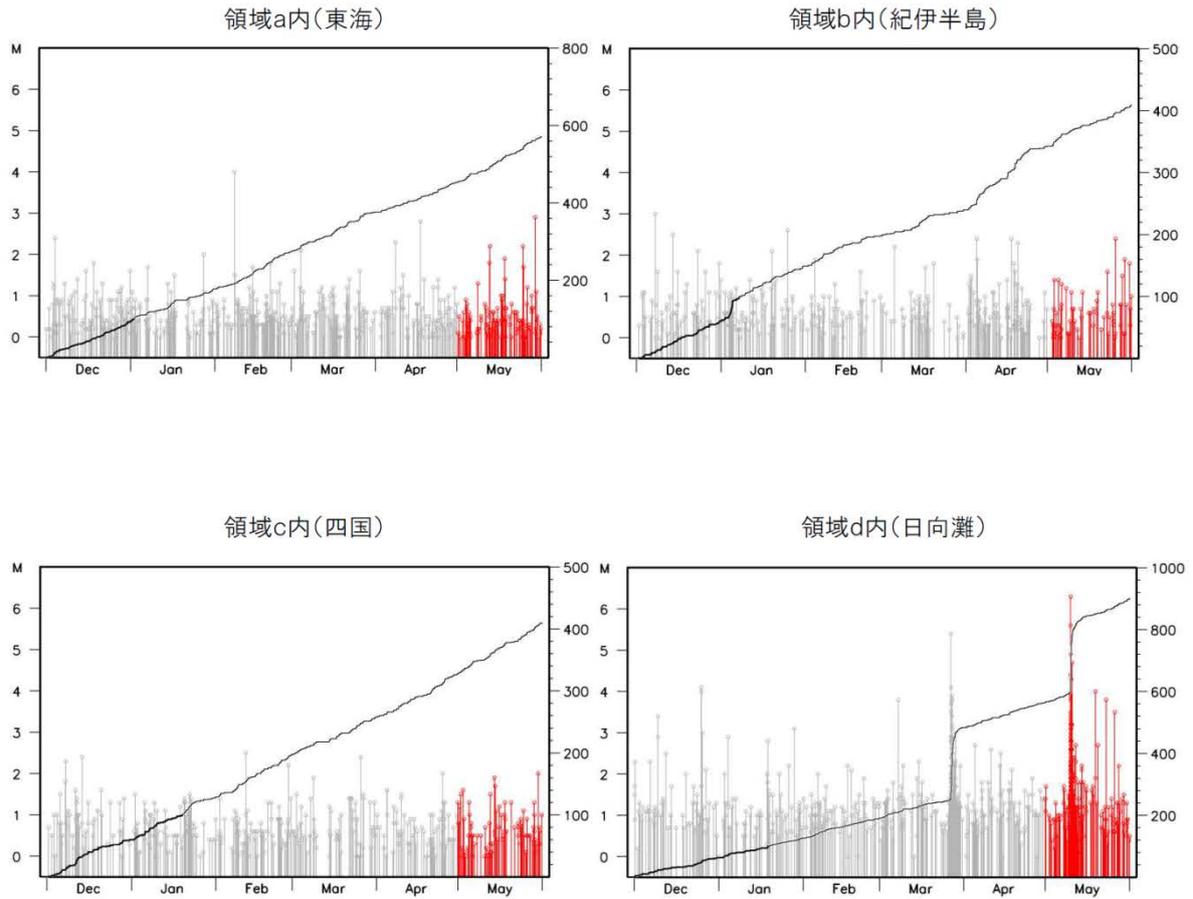
- ・フィリピン海プレート上面の深さは、Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)による。震央分布図中の点線は10kmごとの等深線を示す。
- ・今期間の地震のうち、M3.2以上の地震で想定南海トラフ地震の発震機構解と類似の型の地震に吹き出しを付している。吹き出しの右下の数値は、フィリピン海プレート上面の深さからの差(+は浅い、-は深い)を示す。
- ・発震機構解の横に「S」の表記があるものは、精度がやや劣るものである。

気象庁作成

プレート境界とその周辺の地震活動

フィリピン海プレート上面の深さから±6km未満の地震を表示している。

震央分布図の各領域内のMT図・回数積算図



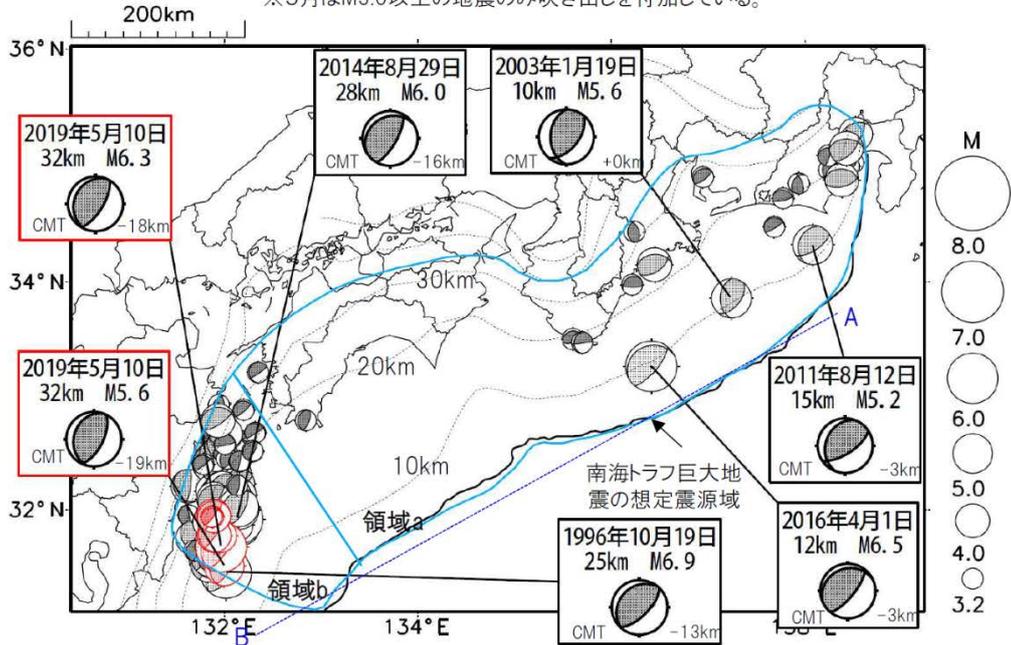
※M全ての地震を表示していることから、検知能力未満の地震も表示しているため、回数積算図は参考として表記している。

気象庁作成

想定南海トラフ地震の発震機構解と類似の型の地震

震央分布図(1987年9月1日～2019年5月31日、M \geq 3.2、2019年5月の地震を赤く表示)

※5月はM5.0以上の地震のみ吹き出しを付加している。



・フィリピン海プレート上面の深さは、Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)による。震央分布図中の点線は10kmごとの等深線を示す。

・今期間に発生した地震(赤)、日向灘のM6.0以上、その他の地域のM5.0以上の地震に吹き出しを付けている。

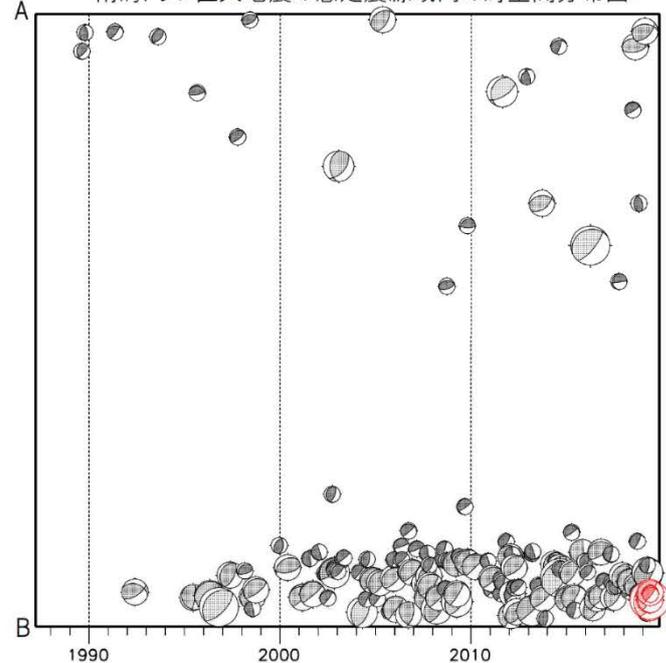
・発震機構解の横に「S」の表記があるものは、精度がやや劣るものである。

・吹き出しの右下の数値は、フィリピン海プレート上面の深さからの差を示す。+は浅い、-は深いことを示す。

・吹き出しに「CMT」と表記した地震は、発震機構解と深さはCMT解による。Mは気象庁マグニチュードを表記している。

・発震機構解の解析基準は、解析当時の観測網等に応じて変遷しているため一定ではない。

南海トラフ巨大地震の想定震源域内の時空間分布図



プレート境界型の地震と類似の型の発震機構解を持つ地震は以下の条件で抽出した。

【抽出条件】

- ・M3.2以上の地震
- ・領域a内(南海トラフの想定最大規模の想定震源域内)で発生した地震
- ・発震機構解が以下の条件を全て満たしたものを抽出した。

P軸の傾斜角が45度以下

P軸の方位角が65度以上180度以下(※)

T軸の傾斜角が45度以上

N軸の傾斜角が30度以下

※以外の条件は、東海地震と類似の型を抽出する条件と同様

・発震機構解は、CMT解と初動解の両方で検索をした。

・同一の地震で、CMT解と初動解の両方がある場合はCMT解を選択している。

・東海地方から四国地方(領域a)は、フィリピン海プレート上面の深さから±10km未満の地震のみ抽出した。日向灘(領域b)は、+10km～20km未満の震源を抽出した。CMT解はセントロイドの深さを使用した。

気象庁作成

南海トラフ巨大地震の想定震源域とその周辺の地震活動指数

2019年5月31日

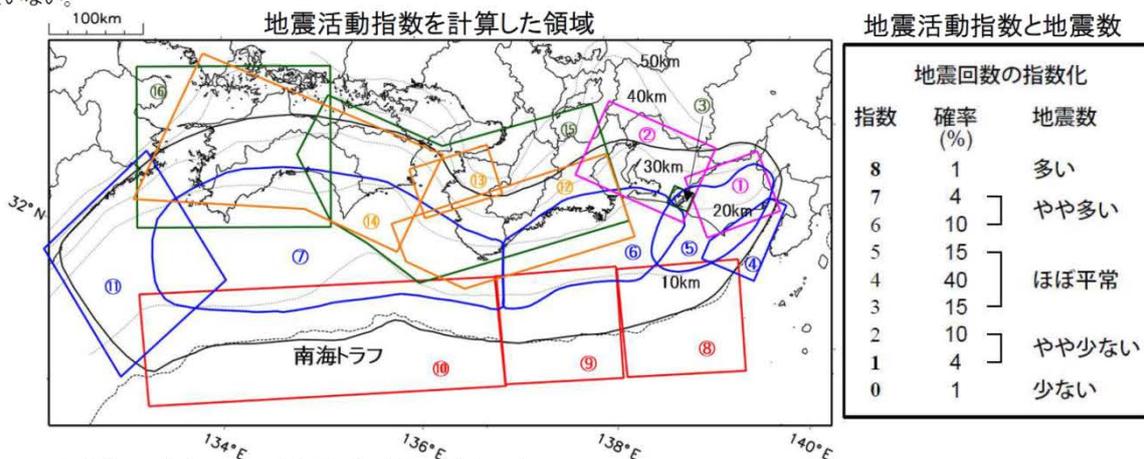
領域	①静岡県 中西部		②愛知県		③浜名湖 周辺	④駿河 湾	⑤ 東海	⑥東南 海	⑦ 南海
	地	プ	地	プ	プ	全	全	全	全
地震活動指数	4	4	1	4	5	4	4	1	4
平均回数	16.3	18.4	26.5	13.6	13.1	13.3	18.2	19.6	21.3
MLきい値	1.1		1.1		1.1	1.4	1.5	2.0	2.0
クラスタ 除去	距離		3km		3km	10km	10km	10km	10km
	日数		7日		7日	10日	10日	10日	10日
対象期間	60日	90日	60日	30日	360日	180日	90日	360日	90日
深さ	0～ 30km	0～ 60km	0～ 30km	0～ 60km	0～ 60km	0～ 60km	0～ 60km	0～ 100km	0～ 100km

領域	南海トラフ沿い		⑪日向 灘	⑫紀伊 半島	⑬和歌 山	⑭四国	⑮紀伊半 島	⑯四国
	⑧東側	⑩西側	全	地	地	地	プ	プ
	全	全	全	地	地	地	プ	プ
地震活動指数	6	4	4	1	1	8	5	5
平均回数	12.0	15.1	20.5	23.0	42.3	30.3	27.7	28.1
MLきい値	2.5	2.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
クラスタ 除去	距離		10km	10km	10km	3km	3km	3km
	日数		10日	10日	10日	7日	7日	7日
対象期間	720日	360日	60日	120日	60日	90日	30日	30日
深さ	0～ 100km	0～ 100km	0～ 100km	0～ 20km	0～ 20km	0～ 20km	20～ 100km	20～ 100km

* 基準期間は、全領域1997年10月1日～2019年5月23日

* 領域欄の「地」は地殻内、「プ」はフィリピン海プレート内で発生した地震であることを示す。ただし、震源の深さから便宜的に分類しただけであり、厳密に分離できていない場合もある。「全」は浅い地震から深い地震まで全ての深さの地震を含む。

* ⑨の領域(三重県南東沖)は、2004年9月5日以降の地震活動の影響で、地震活動指数を正確に計算できないため、掲載していない。



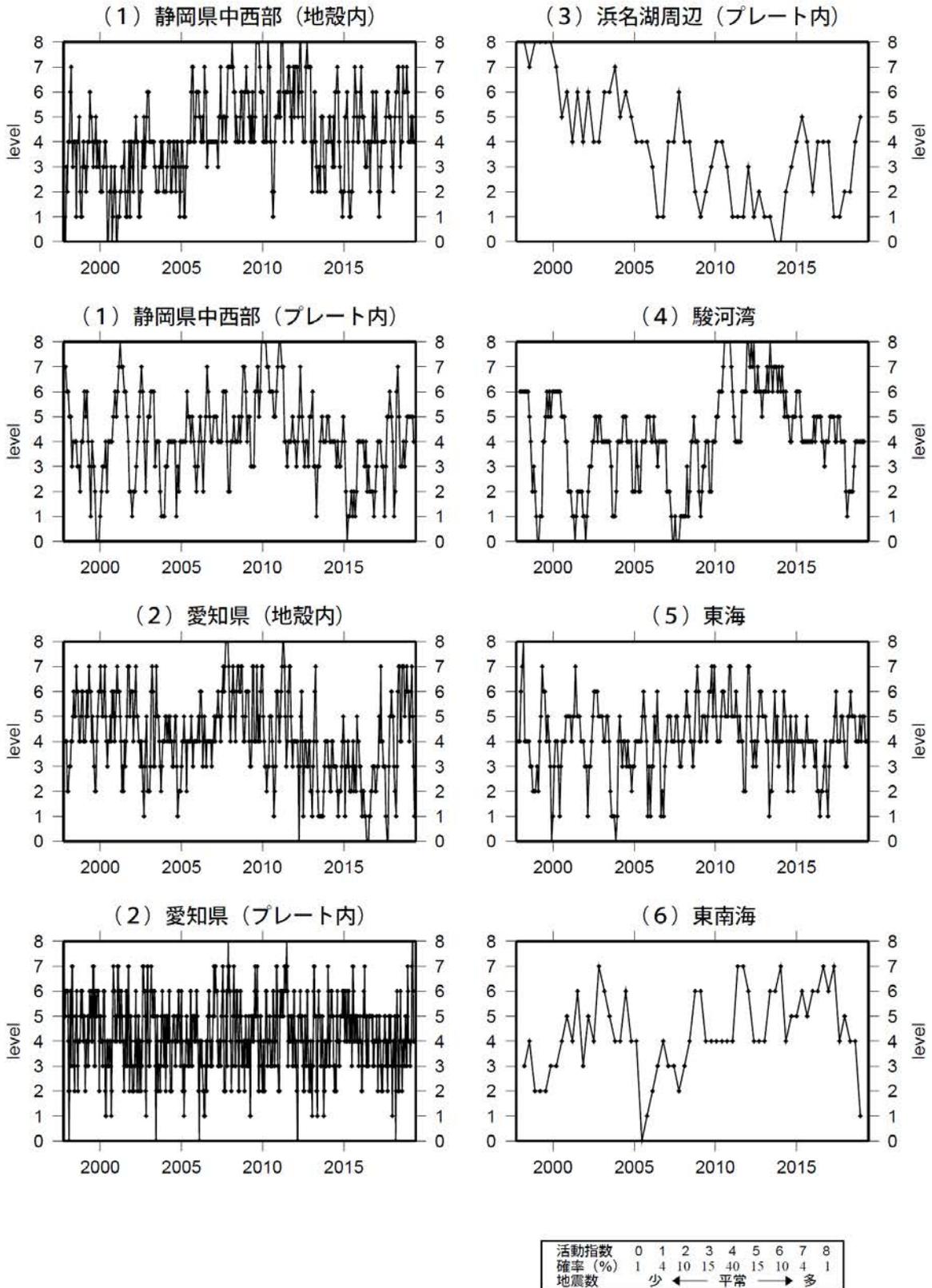
* 黒色実線は、南海トラフ巨大地震の想定震源域を示す。

* Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)によるプレート境界の等深線を破線で示す。

気象庁作成

地震活動指数一覧

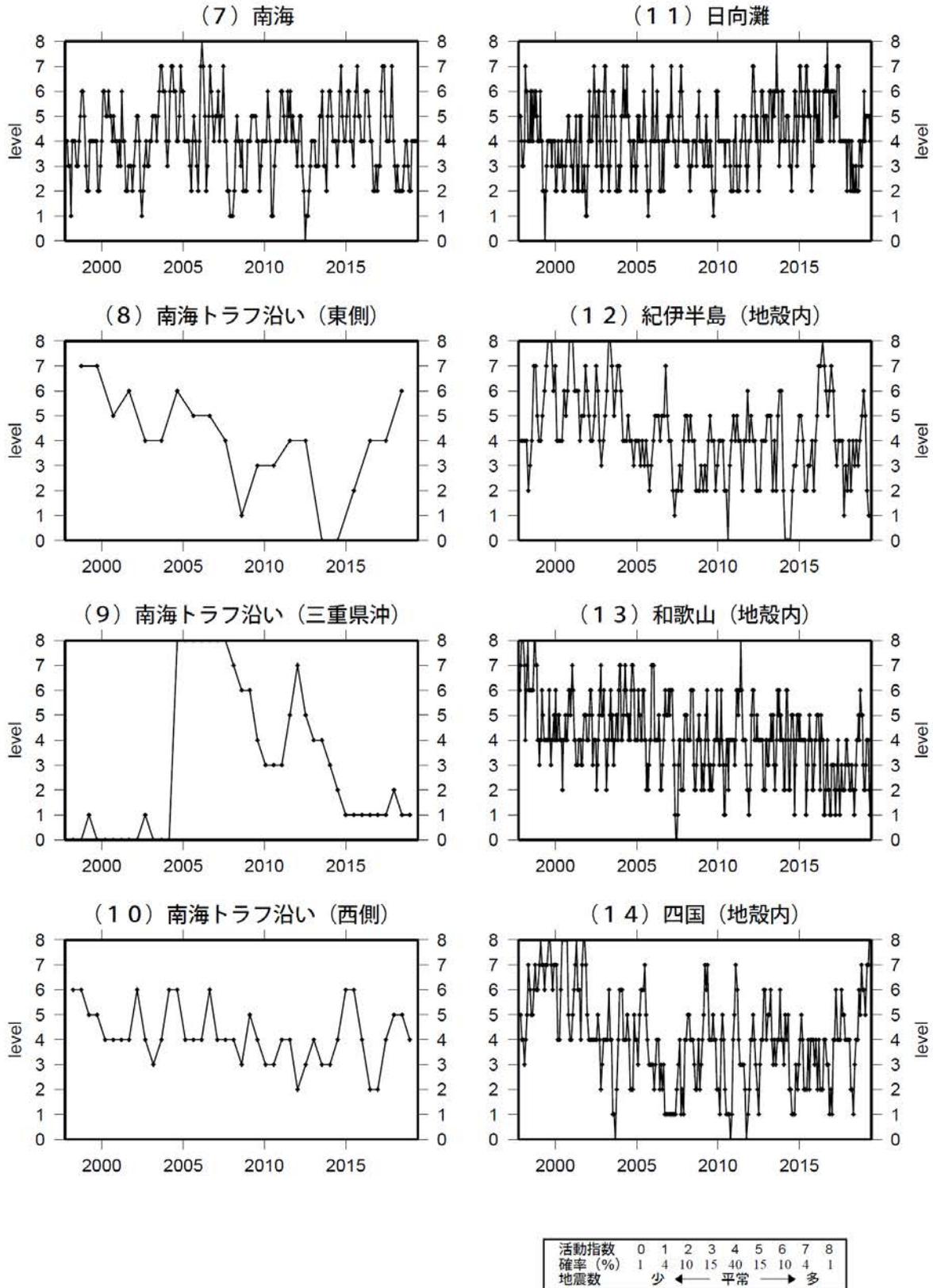
2019年05月31日



気象庁作成

地震活動指数一覧

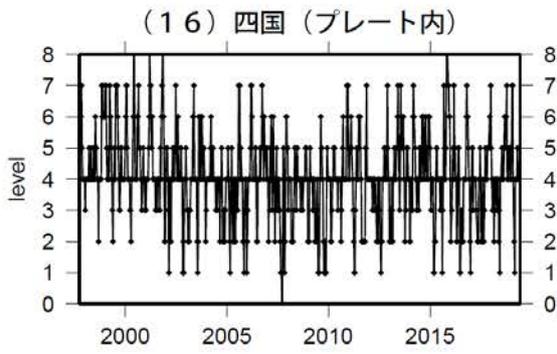
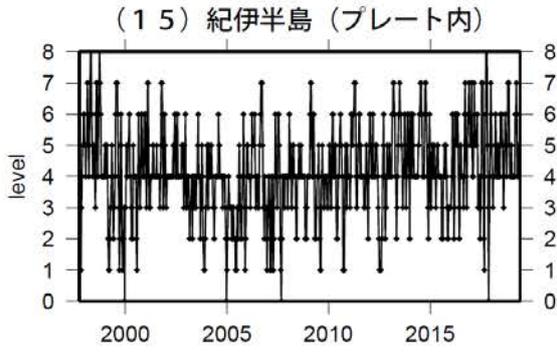
2019年05月31日



気象庁作成

地震活動指数一覧

2019年05月31日



活動指数	0	1	2	3	4	5	6	7	8
確率 (%)	1	4	10	15	40	15	10	4	1
地震数	少		← 平常 →				多		

気象庁作成

● 日本の主な火山活動

全国月間火山概況（令和元年5月）

警報・予報事項に変更のあった火山は以下の通りです。その他の火山では、警報・予報事項に変更はありません（令和元年6月10日14時現在）。

吾妻山では、火山活動の活発化が認められることから、9日18時40分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）に引き上げました。

箱根山では、大涌谷周辺の想定火口域内に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があるため、19日02時15分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）に引き上げました。

表1 令和元年6月10日現在の火山現象に関する警報及び予報の発表状況

特別警報・警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島、口永良部島
	レベル2（火口周辺規制）	吾妻山、草津白根山（白根山（湯釜付近））、箱根山、阿蘇山、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	西之島、硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	福徳岡ノ場※
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、大雪山、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山、岩木山、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、蔵王山、安達太良山、磐梯山、那須岳、日光白根山、草津白根山（本白根山）、浅間山、新潟焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山、富士山、伊豆東部火山群、伊豆大島、三宅島、八丈島、青ヶ島、鶴見岳・伽藍岳、九重山、雲仙岳、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（新燃岳）、霧島山（御鉢）、薩摩硫黄島
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、恐山、八甲田山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳、高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、新島、神津島、御蔵島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福徳堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄鳥島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、挾捉焼山、挾捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

※印を付した火山は火山現象に関する海上警報も発表

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>



図1 火山現象に関する警報を発表中の火山

【各火山の活動状況及び警報・予報事項】（5月1日～6月10日）

全国の主な火山の活動状況及び警報・予報事項は以下のとおりです。その他の火山については、火山活動に特段の変化はなく、警報・予報事項に変更はありません。

吾妻山【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】 ←9日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引上げ

5日頃から火山性地震が多い状態で経過し、9日17時30分頃からは大穴火口方向上がりの明瞭な傾斜変動がみられるなど、火山活動の活発化が認められることから、9日18時40分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）に引き上げました。

10日以降、火山性地震は減少傾向がみられており、傾斜変動も19日頃から概ね停滞しています。

大穴火口から概ね1.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

また、大穴火口の風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石、火山ガスに注意してください。

草津白根山（白根山（湯釜付近））【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

湯釜付近浅部の火山性地震は増減を繰り返しており、傾斜変動も続いているなど、火山活動は高まった状態が続いています。今後、小規模な水蒸気噴火が発生する可能性があります。

湯釜火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。噴火時には、風下側で火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

箱根山【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】 ←19日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引上げ

箱根山では、火山活動が活発化しています。18日05時頃から火山性地震が増加しました。また、大涌谷周辺の想定火口域内では活発な噴気活動が続いており、GNSS連続観測では一部の基線で伸びが認められています。

これらのことから、大涌谷周辺の想定火口域内に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があるため、19日02時15分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）に引き上げました。

大涌谷周辺の想定火口域内では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るため注意してください。

西之島【火口周辺警報（火口周辺危険）】

西之島では、噴火が確認されていた2018年7月中旬ごろに比べ、火山活動は明らかに低下していません。噴火の可能性は低くなっていますが、火口付近に噴気が確認されており、今後の火山活動の推移に注意が必要です。火口から概ね500mの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。また、これまでの噴火で流れ出した溶岩は、表面が冷え固まっていますが、地形的に崩れやすくなっている可能性が考えられますので、火口から概ね500mを超える範囲でも注意してください。

硫黄島【火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報】

GNSS連続観測によると、隆起を示す地殻変動がみられています。また、硫黄島の島内は全体に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生しています。火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では噴火に警戒してください。

福徳岡ノ場【噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報】

海上保安庁、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福徳岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されるなど、活動はやや活発な状態で経過しています。今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では海底噴火に警戒してください。また、周辺海域では海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

阿蘇山【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

阿蘇山では、中岳第一火口で3日15時40分から5日06時20分まで継続する噴火が発生し、噴煙は最高で火口縁上2,000mまで上がりました。4日に実施した降灰調査では、火口周辺及び熊本県高森町、南阿蘇村、山都町の一部で降灰を確認しました。9日、12日から16日、29日、31日にも噴火しました。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、多い状態で経過していますが、4月下旬から5月上旬にかけて一時的に非常に多い状態となりました。

中岳第一火口内では熱活動の高まった状態が続いています。

GNSS連続観測では、深部にマグマだまりがあると考えられている草千里を挟む基線で、わずかな伸びの傾向が認められます。

このように火山活動が高まっていますので、中岳第一火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスに注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

桜島【火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）】

南岳山頂火口では、引き続き噴火（爆発を含む）が発生しています。13日20時32分の爆発では、噴煙は火口縁上1,100mまで上がり、弾道を描いて飛散する大きな噴石は5合目（南岳山頂火口より1,000mから1,300m）まで達しました。12日06時34分の噴火では、噴煙が火口縁上2,900mまで上がりました。

桜島では、今後も南岳山頂火口を中心に、噴火活動が継続すると考えられます。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

口永良部島【火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）】

口永良部島では、2月3日以降、噴火は観測されていません。

令和元年5月 地震・火山月報（防災編）

口永良部島では、2018年12月以降やや規模の大きな噴火を繰り返しており、今後も噴火が発生する可能性があります。

新岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では、火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

諏訪之瀬島【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

御岳^{おたけ}火口では、5日、30日、31日に噴火が発生しました。

諏訪之瀬島では、今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

（火山の順は日本活火山総覧（第4版）による）

令和元年5月 地震・火山月報（防災編）

資料1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ（令和元年6月10日現在）

(1) 主な活火山

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	雌阿寒岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年9月29日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日噴火予報（平常） 2008年11月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常） 2015年7月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年11月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年12月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	大雪山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年3月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	十勝岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年12月16日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年2月24日噴火予報（レベル1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	倶多楽	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年10月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	有珠山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年6月9日噴火予報（レベル1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	恵山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	東北地方	岩木山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
秋田焼山		噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年7月25日噴火予報（レベル1、平常）
八甲田山		噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）
十和田		噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）
岩手山		噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
秋田駒ヶ岳		噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年10月27日噴火予報（レベル1、平常）
鳥海山		噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年3月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
栗駒山		噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
蔵王山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年4月13日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年6月16日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年1月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年3月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	

令和元年5月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
東北地方	吾妻山	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常) 2014年12月12日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2016年10月18日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意) 2018年9月15日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2019年4月22日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意) 2019年5月9日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	安達太良山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2009年3月31日噴火予報(レベル1、平常)
	磐梯山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2009年3月31日噴火予報(レベル1、平常)
関東・中部地方	那須岳	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2009年3月31日噴火予報(レベル1、平常)
	日光白根山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2016年12月6日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	草津白根山	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2018年11月27日噴火予報(活火山であることに留意)
	草津白根山(白根山(湯釜付近))	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常) 2009年4月10日噴火予報(レベル1、平常)切替 2014年6月3日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2017年6月7日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意) 2018年4月22日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2018年9月21日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意) 2018年9月28日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2018年11月27日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	草津白根山(本白根山)	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2018年1月23日火口周辺警報(火口周辺危険) 2018年1月23日火口周辺警報(入山危険) 2018年3月16日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2018年11月27日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2019年4月5日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	浅間山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常) 2008年8月8日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年2月1日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2009年2月3日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2009年4月7日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2010年4月15日噴火予報(レベル1、平常) 2015年6月11日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2018年8月30日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	新潟焼山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2011年3月31日噴火予報(レベル1、平常)
	弥陀ヶ原	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2019年5月30日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	焼岳	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2011年3月31日噴火予報(レベル1、平常)
	乗鞍岳	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2019年3月18日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	御嶽山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2008年3月31日噴火予報(レベル1、平常) 2014年9月27日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2014年9月28日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2015年1月19日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2015年3月31日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2015年6月26日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2017年8月21日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	白山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2015年9月2日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	富士山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常)

令和元年5月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	箱根山	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2009年3月31日噴火予報(レベル1、平常) 2015年5月6日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2015年6月30日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2015年9月11日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2015年11月20日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意) 2019年5月19日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	伊豆東部火山群	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2011年3月31日噴火予報(レベル1、平常)
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常)
	新島	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常)
	神津島	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常)
	三宅島	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日火口周辺警報(火口周辺危険) 2008年3月31日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2015年6月5日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	八丈島	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2018年5月30日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	青ヶ島	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2018年5月30日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	ベヨネース列岩	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2017年3月24日噴火警報(周辺海域警戒) 2018年10月31日噴火予報(活火山であることに留意)
	西之島	火口周辺警報(火口周辺危険)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2013年11月20日火口周辺警報(火口周辺危険) 2014年6月3日火口周辺警報(入山危険) 2014年6月11日火口周辺警報(入山危険)切替 2015年2月24日火口周辺警報(入山危険)切替 2016年2月17日火口周辺警報(入山危険)切替 2016年8月17日火口周辺警報(火口周辺危険) 2017年2月14日噴火予報(活火山であることに留意) 2017年4月20日火口周辺警報(入山危険) 2018年6月20日火口周辺警報(火口周辺危険) 2018年7月13日火口周辺警報(入山危険) 2018年10月31日火口周辺警報(火口周辺危険)
	硫黄島	火口周辺警報(火口周辺危険)	2007年12月1日火口周辺警報(火口周辺危険)
	福徳岡ノ場	噴火警報(周辺海域警戒)	2007年12月1日噴火警報(周辺海域警戒)
九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2016年7月26日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	九重山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常)
	阿蘇山	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常) 2011年5月16日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2011年6月20日噴火予報(レベル1、平常) 2013年9月25日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2013年10月11日噴火予報(レベル1、平常) 2013年12月27日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2014年3月12日噴火予報(レベル1、平常) 2014年8月30日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2015年9月14日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2015年11月24日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2016年10月8日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2016年12月20日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2017年2月7日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意) 2019年3月12日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2019年3月29日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意) 2019年4月14日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)

令和元年5月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	雲仙岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	霧島山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年12月6日噴火予報（活火山であることに留意）
	霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2014年10月24日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年5月1日噴火予報（平常） 2016年2月28日火口周辺警報（火口周辺危険） 2016年3月29日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2016年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年1月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2017年5月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年10月31日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年2月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年4月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2018年5月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（新燃岳）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月29日噴火予報（レベル1、平常） 2010年3月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月16日噴火予報（レベル1、平常） 2010年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年1月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2011年1月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年3月22日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年6月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2013年10月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年5月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2017年10月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年10月11日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2017年10月15日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2017年10月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月15日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年6月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年1月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年2月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2018年2月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年3月15日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）

令和元年5月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	桜島	火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	2007年12月1日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年2月3日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2008年2月20日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年4月8日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2008年7月14日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年7月28日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2008年8月28日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年2月2日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年2月19日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年3月2日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年3月10日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2009年4月24日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年7月19日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2010年9月30日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2010年10月13日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2012年3月12日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2012年3月21日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2015年8月15日噴火警報 (レベル4、避難準備) 2015年9月1日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2015年11月25日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2016年2月5日火口周辺警報 (レベル3、入山規制)
	薩摩硫黄島	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2012年11月29日噴火予報 (レベル1、平常) 2013年6月4日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2013年7月10日噴火予報 (レベル1、平常) 2017年1月5日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2017年2月24日噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意) 2018年3月19日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2018年4月27日噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)
	口永良部島	火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	2007年12月1日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年1月25日噴火予報 (レベル1、平常) 2008年9月4日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年10月27日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年3月18日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年8月4日噴火予報 (レベル1、平常) 2009年9月27日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年10月30日噴火予報 (レベル1、平常) 2011年12月15日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2012年1月20日噴火予報 (レベル1、平常) 2014年8月3日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2014年8月7日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2015年5月29日噴火警報 (レベル5、避難) 2015年10月21日噴火警報 (レベル5、避難) 切替 2016年6月14日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2018年4月18日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2018年8月15日噴火警報 (レベル4、避難準備) 2018年8月29日火口周辺警報 (レベル3、入山規制)
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)

注) 特別警報、警報及び予報の発表履歴欄には、2007年12月1日の火山現象に関する警報・予報及び噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示しています。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示しています。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルを示しています。

（2）その他の活火山

以下の活火山（*印を除く）では2007年12月1日に噴火予報（平常）を発表しました。また、*印の活火山では、活火山として選定された2011年6月7日に噴火予報（平常）を発表し、**印の活火山では、活火山として選定された後の2017年12月5日に噴火予報（活火山であることに留意）を発表しました。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、男体山**、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、アカンダナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄鳥島、西表島北北東海底火山

注）2015年5月18日から（平常）は（活火山であることに留意）に変更しました。

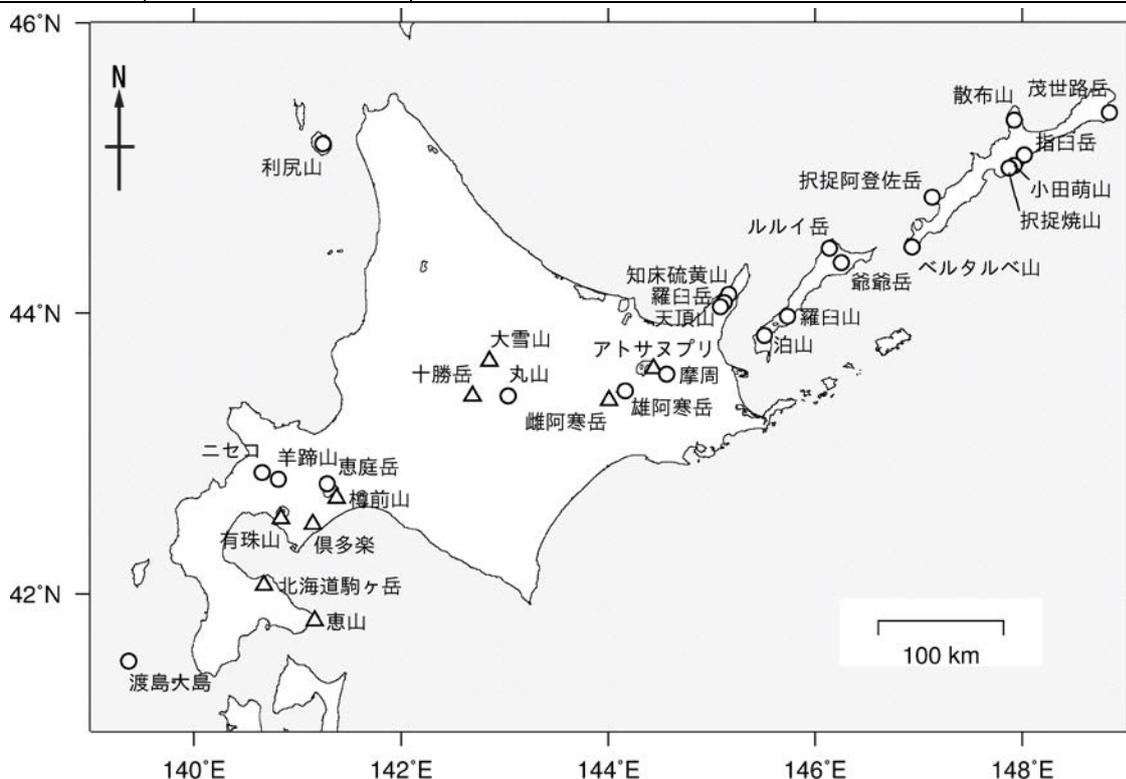
○ 北海道地方の火山活動

管内月間火山概況（令和元年5月）

札幌管区气象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（5月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、大雪山、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山



凡例				
噴火警戒レベル対象火山	▲	噴火警報発表中	△	噴火予報発表中
噴火警戒レベル対象外の火山	●	噴火警報発表中	○	噴火予報発表中

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は札幌管区气象台のホームページ(<https://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。
<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省北海道開発局、国土地理院、北海道大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、北海道、地方独立行政法人北海道立総合研究機構地質研究所及び森町のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政区・海岸線）』を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。

各火山の活動状況及び予報警報事項（5月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

摩周〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

アトサヌプリ〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

雌阿寒岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

丸山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

大雪山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十勝岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

2006年以降継続していた山体浅部の膨張を示す地殻変動は、2017年秋以降停滞しています。一方、長期的にみると、噴煙高の高い状態、地熱域の拡大や温度上昇、地震の一時的な増加など、火山活動の活発化を示唆する現象が観測されていますので、今後の活動の推移に注意が必要です。

樽前山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

一方、山頂溶岩ドーム周辺では、1999年以降、高温の状態が続いていますので、突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

倶多楽〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

有珠山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

北海道駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

恵山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

○ 東北地方の火山活動

管内月間火山概況（令和元年5月）

仙台管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（5月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル2（火口周辺規制）	吾妻山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	岩木山、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、蔵王山、安達太良山、磐梯山
	活火山であることに留意	恐山、八甲田山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳

各火山の活動状況及び予報警報事項（5月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

吾妻山では、9日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げました。

栗駒山では、30日の噴火警戒レベルの運用開始に伴い、噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）を発表しました。

その他の予報警報事項に変更はありません。

岩木山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

八甲田山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十和田〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

秋田焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

岩手山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

秋田駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はありませんでした。

おなめだけ
男女岳山頂付近では、2017年9月以降、火山性地震の活動



がやや活発な状況が引き続き認められ、また、^{めづ}女岳では地熱活動及び噴気活動が続いていることから、今後の火山活動の推移に注意してください。

鳥海山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

栗駒山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕 ←30日に噴火警戒レベル運用開始

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

30日の噴火警戒レベル運用開始に伴い、噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）を発表しました。予報事項に変更はありません。

蔵王山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はありませんでした。

蔵王山では、2013年以降、時々、火山性地震や火山性微動が発生し、地殻変動がみられるなど、火山活動が高まることがありますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

吾妻山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕 ←9日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げ

5日頃から火山性地震が多い状態で経過し、9日17時30分頃からは大穴火口方向上がりの明瞭な傾斜変動がみられるなど、火山活動の活発化が認められることから、9日18時40分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）に引き上げました。

10日以降、火山性地震は減少傾向がみられており、傾斜変動も19日頃から概ね停滞しています。

大穴火口から概ね1.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

また、大穴火口の風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石、火山ガスに注意してください。

安達太良山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

磐梯山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報警報事項に変更はありません。

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は、仙台管区気象台のホームページ (<https://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、東北大学、弘前大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、青森県及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。

○ 関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動

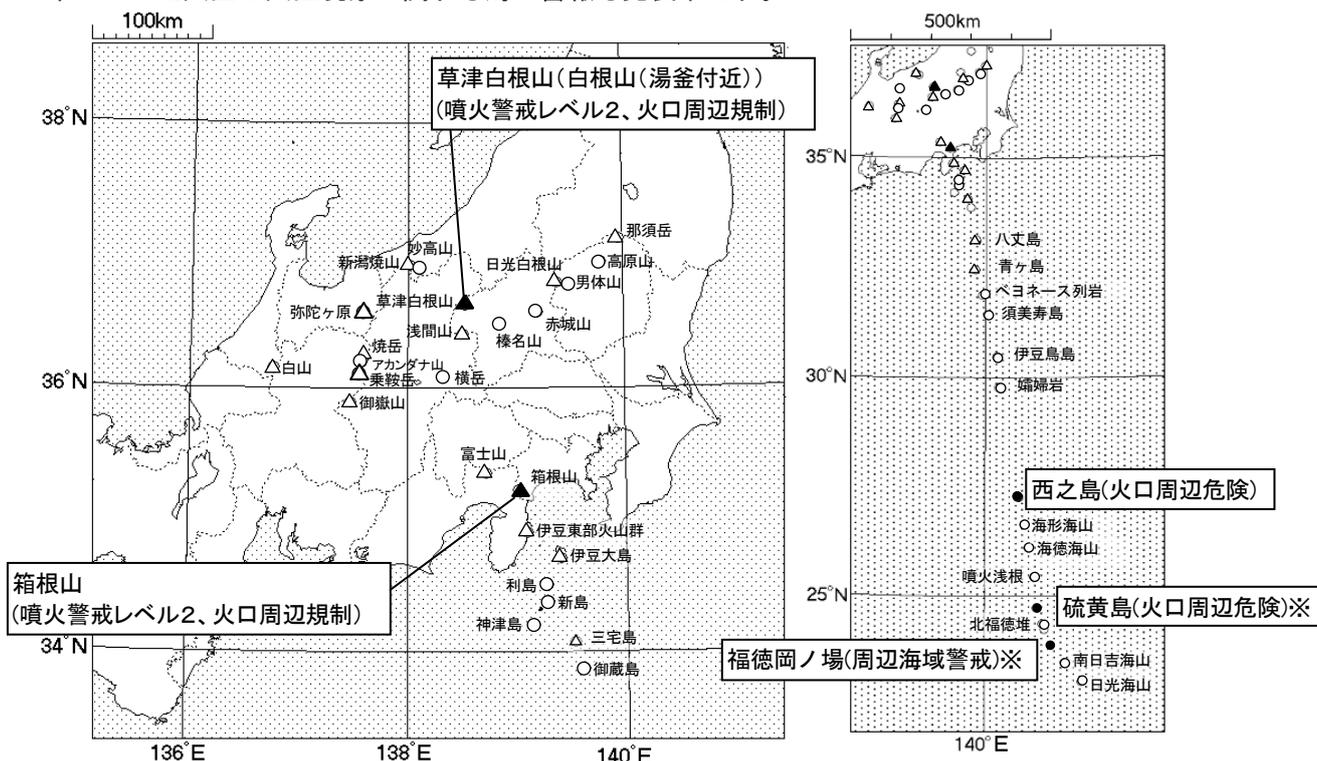
管内月間火山概況（令和元年5月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（5月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル2（火口周辺規制）	草津白根山（白根山（湯釜付近））、箱根山
	火口周辺危険	西之島、硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	福德岡ノ場※
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	那須岳、日光白根山、草津白根山（本白根山）、浅間山、新潟焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山、富士山、伊豆東部火山群、伊豆大島、三宅島、八丈島、青ヶ島
	活火山であることに留意	高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、新島、神津島、御蔵島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山

※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中です。



凡 例	
噴火警戒レベル対象火山	▲：噴火警報発表中 △：噴火予報発表中
噴火警戒レベル対象外の火山	●：噴火警報発表中 ○：噴火予報発表中

*噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、北陸地方整備局、関東地方整備局、中部地方整備局、国土地理院、海上保安庁、海上自衛隊、東北大学、東京大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、東京都、新潟県、長野県、岐阜県、神奈川県温泉地学研究所及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）。

各火山の活動状況及び予報警報事項（5月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

19日に箱根山に火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）を発表しました。

弥陀ヶ原では、30日の噴火警戒レベルの運用開始に伴い、噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることを留意）を発表しました。

その他の火山では、予報警報事項に変更はありません。

那須岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることを留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

日光白根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることを留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

草津白根山（白根山（湯釜付近））〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

湯釜付近浅部の火山性地震は増減を繰り返しており、傾斜変動も続いているなど、火山活動は高まった状態が続いています。今後、小規模な水蒸気噴火が発生する可能性があります。

湯釜火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。噴火時には、風下側で火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

草津白根山（本白根山）〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることを留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

ただし、2018年1月のように突発的に噴火が発生したことを踏まえ、今後も火口付近では、突発的な噴出に注意する必要があります。地元自治体の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

浅間山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることを留意）〕

火山性地震は概ねやや少ない状態で、浅間山の西側の膨張を示すと考えられる地殻変動もみられていません。また、山頂火口からの噴煙や火山ガス（二酸化硫黄）の放出量も少ない状態となっています。火口から500mの範囲に影響を及ぼす程度のごく小規模な噴火が発生する可能性はあるものの、それを上回る規模の噴火の可能性は低い状態です。火山灰噴出や火山ガス等に注意してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

新潟焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることを留意）〕

噴煙活動及び地震活動は低下した状態が続いています。

しかしながら、新潟焼山はこれまでも噴気活動の活発化を繰り返しているため、今後の活動の推移に注意してください。

弥陀ヶ原〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることを留意）〕

立山地獄谷では熱活動が活発な状態が続いています。2012年6月以降の観測で噴気の拡大・活発化や温度の上昇が確認されていますので、今後の火山活動の推移に注意してください。また、この付近では火山ガスに注意してください。

30日の噴火警戒レベルの運用開始に伴い、噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることを留意）を発表しました。予報事項に変更はありません。

焼岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることを留意）〕

噴気活動や山頂付近の地震活動は低調に経過しており、火山活動に高まりは認められません。

しかし、2017年8月上旬には、山頂付近の小さな低周波地震と黒谷火口からの弱い噴気が観測され、その後も、弱い噴気が時々観測されています。また、山頂付近の地震計のみで観測される微小な地震活動は続いていることから、今後の火山活動の推移に注意して下さい。

乗鞍岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることを留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

御嶽山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることを留意）〕

噴煙活動や山頂直下付近の地震活動は緩やかな低下が続いており、火山活動の静穏化の傾向が続いて

います。

ただし、2014年に噴火が発生した火口列の一部の噴気孔では、引き続き噴気が勢いよく噴出しています。状況によっては、火山灰等のごく小規模な噴出が突発的に発生する可能性があります。

噴気活動の活発な噴気孔から概ね500mの範囲では、突発的な火山灰等のごく小規模な噴出に注意が必要です。

地元自治体等が行う立入規制等に留意し、登山する際はヘルメットを持参するなどの安全対策をしてください。

白山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

富士山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

箱根山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕 ←19日に噴火警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）へ引上げ

箱根山では、火山活動が活発化しています。18日05時頃から火山性地震が増加しました。また、大涌谷周辺の想定火口域内では活発な噴気活動が続いており、GNSS連続観測では一部の基線で伸びが認められています。

これらのことから、大涌谷周辺の想定火口域内に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があるため、5月19日02時15分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）に引き上げました。

大涌谷周辺の想定火口域内では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るため注意してください。

伊豆東部火山群〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

伊豆大島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地殻変動観測によると、短期的な膨張と収縮を繰り返しながら、長期的には地下深部へのマグマ供給によると考えられる島全体の膨張傾向が続いています。ただちに噴火が発生する兆候は認められませんが、長期的には山体の膨張が継続していることから、今後の火山活動の推移に注意してください。

新島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

神津島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

三宅島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山ガス放出量は、2016年6月以降は1日あたり数十トン以下に減少しており、少ない状態で経過しています。

主火孔における噴煙活動が継続していることから、火口内では火山灰等が突発的に噴出する可能性がありますので、山頂火口内及び主火孔から500m以内では火山灰噴出に警戒してください。

また、火山ガスの放出がわずかながら継続していることから、風下にあたる地域では火山ガスに注意してください。

八丈島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

青ヶ島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

西之島〔火口周辺警報（火口周辺危険）〕

西之島では、噴火が確認されていた2018年7月中旬ころに比べ、火山活動は明らかに低下していま

す。噴火の可能性は低くなっていますが、火口付近に噴気が確認されており、今後の火山活動の推移に注意が必要です。火口から概ね500mの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。また、これまでの噴火で流れ出た溶岩は、表面が冷え固まっていますが、地形的に崩れやすくなっている可能性が考えられますので、火口から概ね500mを超える範囲でも注意してください。

硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報〕

GNSS連続観測によると、隆起を示す地殻変動がみられています。また、硫黄島の島内は全体に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生しています。火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では噴火に警戒してください。

福徳岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

海上保安庁、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福徳岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されるなど、活動はやや活発な状態で経過しています。今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では海底噴火に警戒してください。また、周辺海域では海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

○ 近畿・中国・四国地方の火山活動

管内月間火山概況（令和元年5月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
大阪管区气象台地震火山課

噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況（5月31日現在）

三瓶山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）。

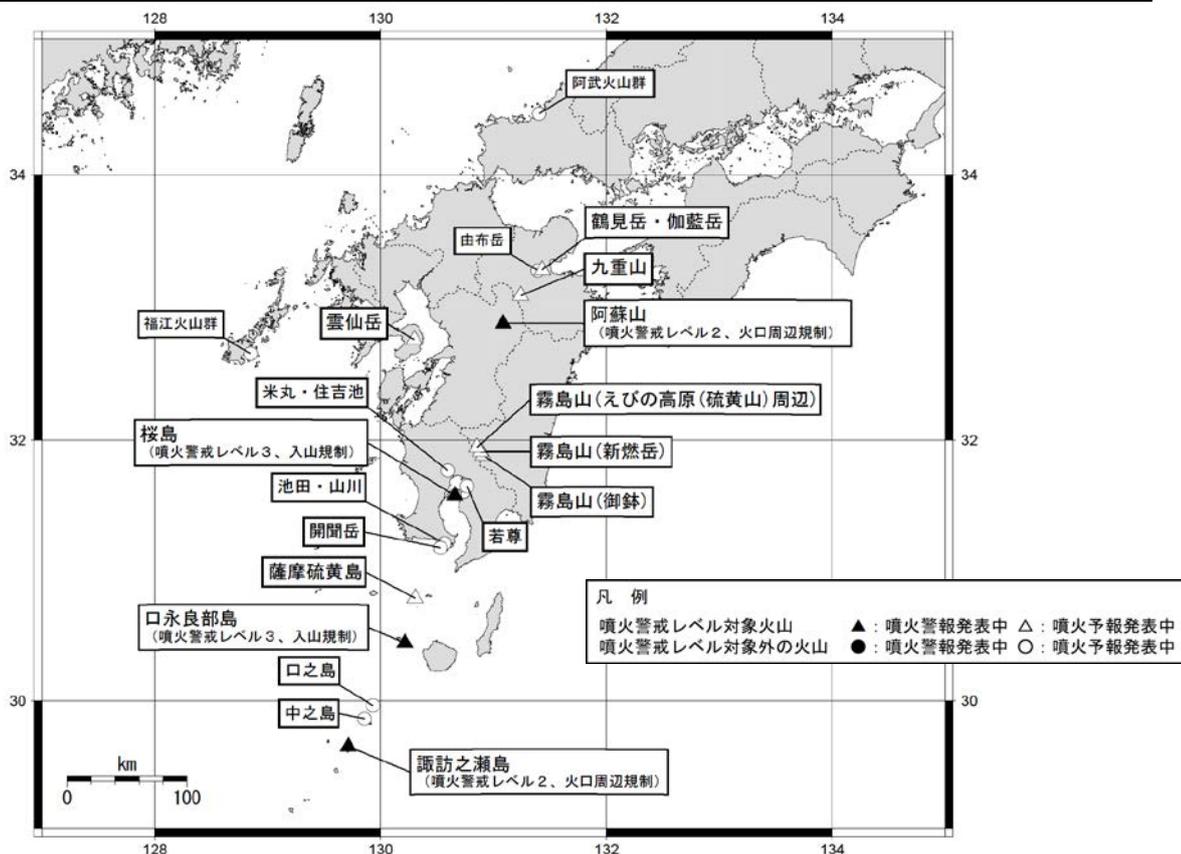
○ 九州地方の火山活動

管内月間火山概況（令和元年5月）

福岡管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（5月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島、口永良部島
	レベル2（火口周辺規制）	諏訪之瀬島、阿蘇山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	鶴見岳・伽藍岳、九重山、雲仙岳、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（新燃岳）、霧島山（御鉢）、薩摩硫黄山
	活火山であることに留意	阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島



米国海洋大気庁 (NOAA) の『高解像度地形（世界の海岸線、湖沼）ベクトルデータ』を使用

噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は福岡管区気象台ホームページ (<https://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>) や気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、九州地方整備局、国土地理院、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、大分県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、屋久島町、三島村、十島村及び阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）。

各火山の活動状況及び予報警報事項（5月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

つるみだけ がらんだけ 鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

くじゅうざん 九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態で経過しました。2014年以降、硫黄山付近の噴気孔群地下の温度上昇を示唆する全磁力の変化がみられており、2017年6月頃からはB型地震¹⁾が時折発生しています。これらのことから、わずかに火山活動が高まっている可能性があります。今後の火山活動に留意してください。

あそざん 阿蘇山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

阿蘇山では、中岳第一火口で3日15時40分から5日06時20分まで継続する噴火が発生し、噴煙は最高で火口縁上2,000mまで上がりました。4日に実施した降灰調査では、火口周辺及び熊本県高森町、南阿蘇村、山都町の一部で降灰を確認しました。9日、12日から16日、29日、31日にも噴火しました。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、多い状態で経過していますが、4月下旬から5月上旬にかけて一時的に非常に多い状態となりました。

中岳第一火口内では熱活動の高まった状態が続いています。

GNSS連続観測では、深部にマグマだまりがあると考えられている草千里を挟む基線で、わずかな伸びの傾向が認められます。

このように火山活動が高まっていますので、中岳第一火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスに注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

うんぜんだけ 雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はありませんが、2010年頃から普賢岳から平成新山直下の深さ1～2kmを震源とする火山性地震が時々発生していますので、今後の火山活動に留意してください。

きりしまやま こうげん いおうやま しゅうへん 霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

硫黄山では活発な噴気活動が続いていますが、火山性地震は少ない状態で経過しています。また、GNSS連続観測では、硫黄山近傍の基線の伸びは2019年2月頃から停滞しています。

硫黄山では、火山活動の活発化を示す兆候は認められません。

現在活発な噴気活動がみられている硫黄山の西側500mの噴気地帯から概ね100mの範囲、及び硫黄山火口内では、熱水・熱泥等が飛散する可能性がありますので注意してください。また、火山ガスにも注意が必要です。地元自治体等が行う立ち入り規制に従うとともに、火口周辺や噴気孔の近くには留まらないでください。

きりしまやま しんもえだけ 霧島山（新燃岳） [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

新燃岳では、火口直下を震源とする火山性地震が10日から16日にかけてやや増加しましたが、それ以外は少ない状態で経過しました。また、GNSS連続観測では、霧島山の深い場所でのマグマの蓄積を示すと考えられる基線の伸びは2019年2月以降停滞しています。

新燃岳では、火山活動の活発化を示す兆候は認められません。活火山であることから、火口内及び西側斜面の割れ目付近では、火山灰の噴出や火山ガス等に注意してください。

なお、これまでの噴火により登山道等が危険な状態となっている可能性があるため、引き続き地元自治体等が行う立入規制等に留意してください。

きりしまやま おはち 霧島山（御鉢） [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

さくらじま

桜島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

南岳山頂火口では、引き続き噴火（爆発を含む）が発生しています。13日20時32分の爆発では、噴煙は火口縁上1,100mまで上がり、弾道を描いて飛散する大きな噴石は5合目（南岳山頂火口より1,000mから1,300m）まで達しました。12日06時34分の噴火では、噴煙が火口縁上2,900mまで上がりました。

桜島では、今後も南岳山頂火口を中心に、噴火活動が継続すると考えられます。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

きつまいおうじま

薩摩硫黄島 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態でした。火山性微動は観測されていません。

火山活動に特段の変化はありませんが、硫黄岳山頂火口では噴煙活動が続いていますので、火口内では火山灰等が噴出する可能性があります。火口付近では火山ガスに注意してください。なお、地元自治体実施している立入規制等に留意してください。

くちのえらぶじま

口永良部島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

口永良部島では、2月3日以降、噴火は観測されていません。

口永良部島では、2018年12月以来やや規模の大きな噴火を繰り返しており、今後も噴火が発生する可能性があります。

新岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では、火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

すわのせじま

諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

御岳^{おたけ}火口では、5日、30日、31日に噴火が発生しました。

諏訪之瀬島では、今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

上記以外の火山の活動状況に変化はなく、予報事項に変更はありません。

- 1) 火山性地震のうち、P波、S波の相が不明瞭で、比較的周期が長く、火口周辺の比較的浅い場所で発生する地震と考えられています。火道内の火山ガスの移動やマグマの発泡など火山性流体の動きで発生すると考えられています。B型地震の増加は、山体浅部の火山活動の活発化を意味していることから発生状況には注意が必要です。

○ 沖縄地方の火山活動

管内月間火山概況（令和元年5月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
沖縄気象台地震火山課

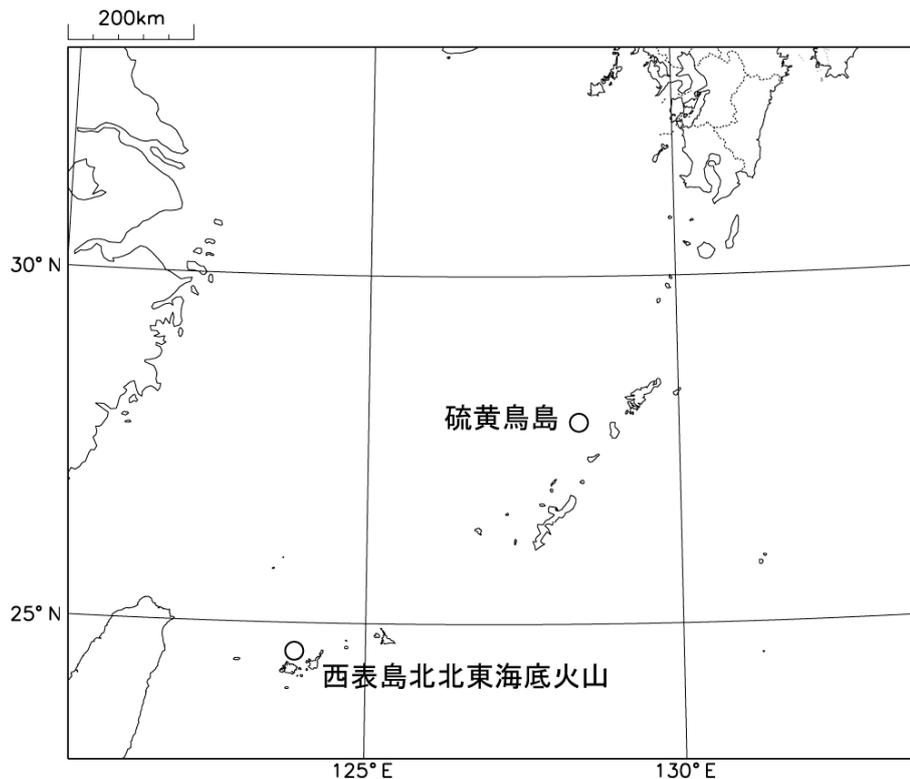
噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況（5月31日現在）

硫黄島 [噴火予報（活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

西表島北北東海底火山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。
<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平29情使、第798号）。

表 令和元年5月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報		概要
		種類、号数等	発表日時	
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、入山規制)	解説情報 第35号～43号	3日、7日、10日、 13日、17日、20日、 24日、27日、31日 16時00分	噴火の状況。噴煙、火山性地震・微動等火山活動の状況。 現地調査による火山ガス等の状況。
		降灰予報（速報）	12日 06時43分	噴火発生から1時間以内に予想される降灰量分布や小さな噴石の落下範囲を予想。
		降灰予報（詳細）	12日 07時00分 07時20分 09時30分	噴火発生から6時間先までに予想される降灰量分布や降灰開始時刻を予想。
口永良部島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、入山規制)	解説情報 第52号～60号	3日、7日、10日、 13日、17日、20日、 24日、27日、31日 16時00分	噴煙、火山性地震等火山活動の状況。 現地調査による火山ガス等の状況。
吾妻山	噴火予報 (噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)	解説情報（臨時） 第33号～36号	7日 10時00分 16時10分 8日、9日 16時00分	火山性地震・微動、地殻変動等火山活動の状況。 現地調査による熱活動等の状況。
		火山活動解説資料	7日 12時00分 8日 12時40分	
	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	火口周辺警報	9日 18時40分	小規模な噴火の可能性があると判断し、9日に火口周辺警報を発表して、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）に引上げ。 火山性地震・微動、地殻変動等火山活動の状況。 現地調査による熱活動等の状況。
		解説情報 第37号～44号	10日 09時45分 16時00分 13日、17日、20日、 24日、27日、31日 16時00分	
		火山活動解説資料	9日 19時40分 10日 16時40分	
草津白根山 (白根山(湯釜付近))	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	解説情報 第35号～52号	3日、6日、10日、 13日、17日 16時00分 18日 13時05分 19日、20日、21日、 22日、23日、24日、 25日、26日、27日、 28日、29日、31日 16時00分	火山性地震、地殻変動等火山活動の状況。
箱根山	噴火予報 (噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)	解説情報（臨時） 第1号	19日 01時30分	火山性地震、地殻変動等火山活動の状況。
	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	火口周辺警報	19日 02時15分	想定火口域内に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があると判断し、19日に火口周辺警報を発表して、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）に引上げ。 火山性地震、地殻変動等火山活動の状況。 現地調査による地熱域、噴気等の状況。
		火山活動解説資料	19日 04時00分 17時20分	
		解説情報 第2号～15号	19日 10時10分 16時10分 20日、21日、22日、 23日、24日、25日、 26日、27日、28日、 29日、30日、31日 16時00分	

令和元年5月 地震・火山月報（防災編）

阿蘇山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第56号～66号	1日、3日 16時00分 4日 16時30分 7日、10日、13日、 17日、20日、24日、 27日、31日 16時00分	噴火の状況。火山性地震・微動等火山活動の状況。 現地調査による火山ガス等の状況。
		火山活動解説資料	4日 18時50分	
		降灰予報（速報）	12日 10時53分	
		降灰予報（詳細）	12日 11時06分	
諏訪之瀬島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第18号～22号	3日、10日、17日、 24日、31日 16時00分	噴火の状況。噴煙、火山性地震等火山活動の状況。
栗駒山	噴火予報 (噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意)	噴火予報	30日 14時00分	噴火警戒レベルの運用を開始。
弥陀ヶ原	噴火予報 (噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意)	噴火予報	30日 14時00分	噴火警戒レベルの運用を開始。
霧島山 (新燃岳)	噴火予報 (噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意)	解説情報 第19号～24号	11日、12日、13日、 15日、17日 16時10分 20日 16時00分	10日からやや増加した火山性地震の状況。

注) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。草津白根山（白根山（湯釜付近））、阿蘇山、桜島、口永良部島、諏訪之瀬島においては、毎日02時から3時間毎に8回降灰予報（定時）を発表している。吾妻山においては、9日20時以降毎日02時から3時間毎に8回降灰予報（定時）を発表している。

● 世界の主な地震

令和元年（2019年）5月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0以上または被害を伴った地震の震央分布を図1に示す。また、その震源要素等を表1に示す。

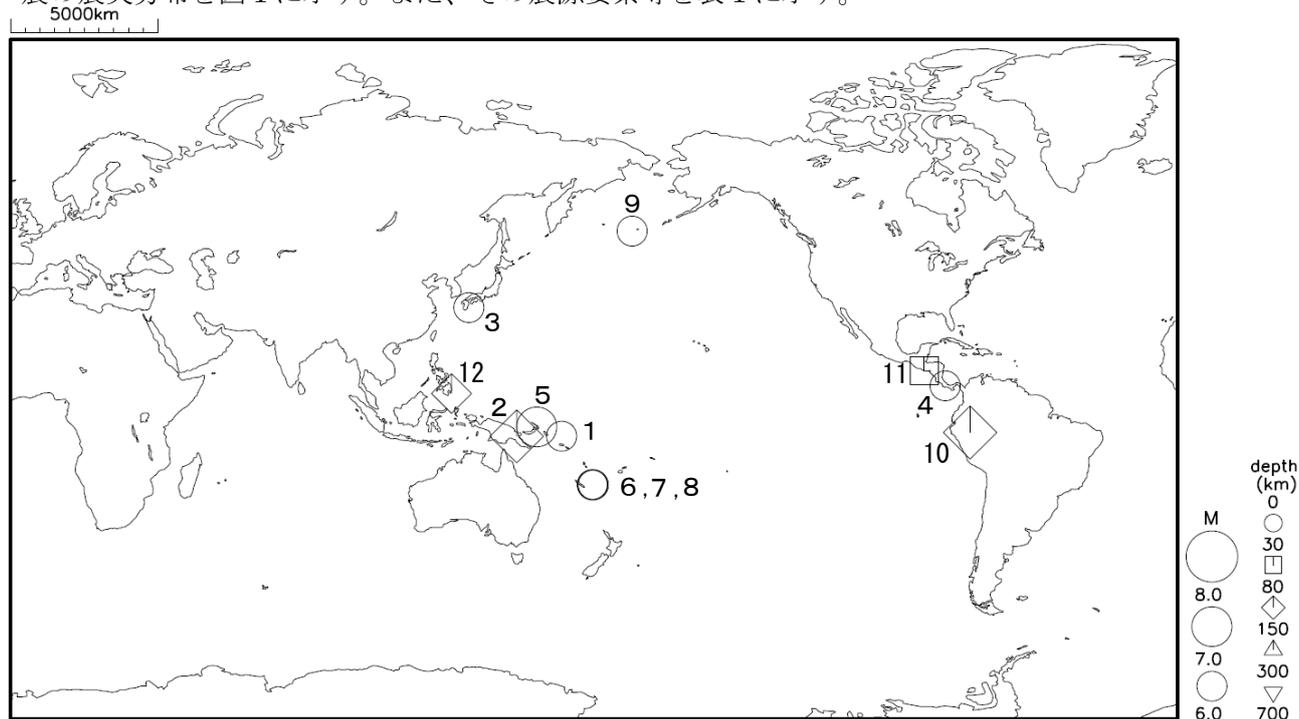


図1 令和元年（2019年）5月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震央分布

表1 令和元年（2019年）5月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	遠地
1	03日16時25分	S06° 55.6′	E160° 08.3′	10			6.2	ブーゲンビルーソロモン諸島			
2	07日06時19分	S06° 58.4′	E146° 27.0′	146			(7.1)	バブアニューギニア、ニューギニア東部		○	○
3	10日08時48分	N31° 48.0′	E131° 58.4′	25		6.3	(6.2)	日向灘	軽傷者2人		
4	13日04時24分	N08° 36.5′	W082° 50.3′	19			6.1	パナマーコスタリカ国境			
5	14日21時58分	S04° 04.8′	E152° 34.1′	10			(7.6)	バブアニューギニア、ニューブリテン		○	○
6	19日10時23分	S21° 40.2′	E169° 48.2′	20			6.3	ローヤリティー諸島南東方			
7	19日23時27分	S21° 44.3′	E169° 34.4′	20			6.0	ローヤリティー諸島南東方			
8	19日23時56分	S21° 36.4′	E169° 28.1′	20			6.3	ローヤリティー諸島南東方			
9	23日17時45分	N51° 21.7′	W178° 19.8′	28			6.1	アリューシャン列島アンドリアノフ諸島			
10	26日16時41分	S05° 48.4′	W075° 15.8′	123			(7.9)	ペルー北部	死者2人など		○
11	30日18時03分	N13° 14.5′	W089° 16.3′	65			6.6	エルサルバドル			
12	31日19時12分	N06° 15.8′	E126° 33.1′	90			6.1	フィリピン諸島、ミンダナオ			

- ・震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2019年5月31日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mjの欄に記載したマグニチュード、Mwの欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。
- ・被害状況は、出典のないものはOCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs : 国連人道問題調整事務所)、国内は、総務省消防庁による。
- ・地震発生時刻は日本時間 [日本時間=協定世界時+9時間] である。
- ・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA) (※) を発表したことを表す。
- ※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」(<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/joho/nwpta.html>) 参照。
- ・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。
- ・深さに「*」を付したものは、気象庁によるCMT解のセントロイドの深さを表す。

5月7日 パプアニューギニア、ニューギニア東部の地震

2019年5月7日06時19分（日本時間、以下同じ）にパプアニューギニア、ニューギニア東部の深さ146kmでMw7.1の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は、北北東-南南西方向に張力軸を持つ型である。

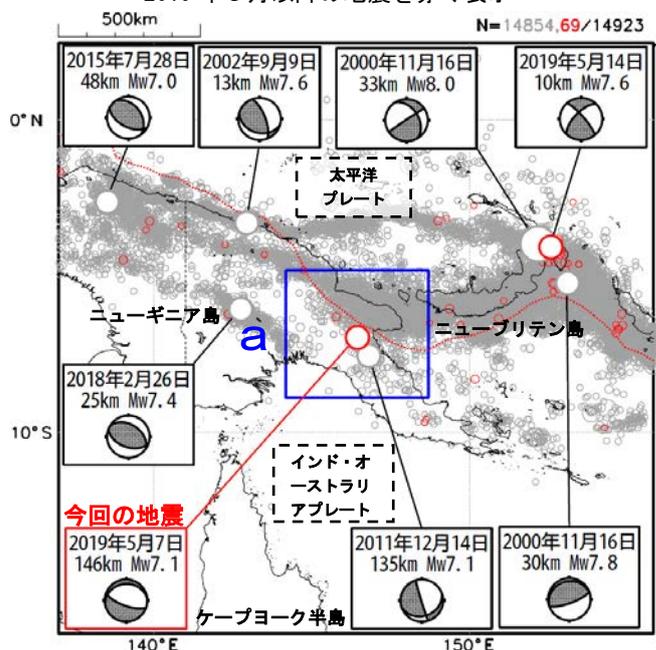
気象庁は、この地震に対して、同日06時46分に遠地地震に関する情報（津波の心配なし）を発表した。

2000年以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域a）では、M6.0以上の地震が時々発生している。また、M7.0以上の地震では、2011年12月14日にMw7.1の地震が発生した。

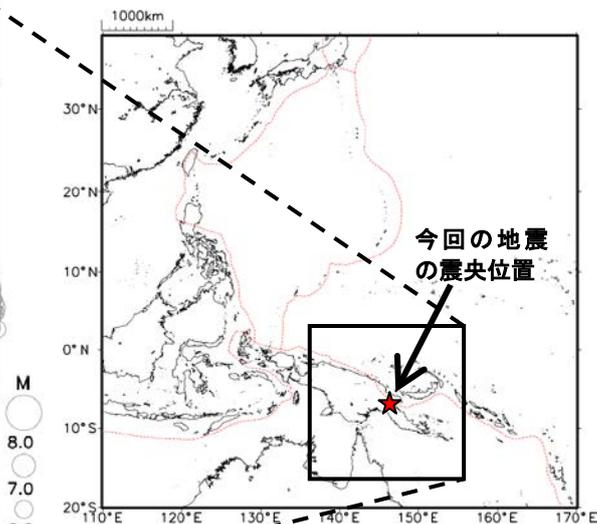
領域aに隣接する地域でもM7.0を超える地震が幾度か発生している。最近では、2018年2月26日にMw7.4の地震が発生し、多数の死傷者と物的被害が生じた。

1970年以降の活動をみると、今回の地震が発生した地域ではM7.0以上の地震が頻繁に発生しており、1996年2月17日にはMw8.2の地震が発生し、父島で104cm、串本（和歌山県）で96cmなど、日本でも津波を観測した。

震央分布図
(2000年1月1日~2019年5月31日、深さ0~150km、M≥4.0)
2019年5月以降の地震を赤く表示

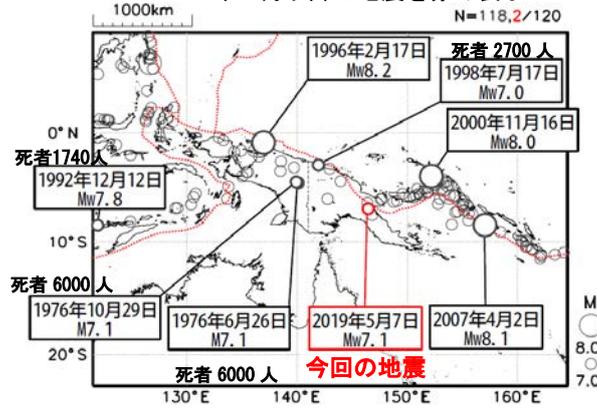
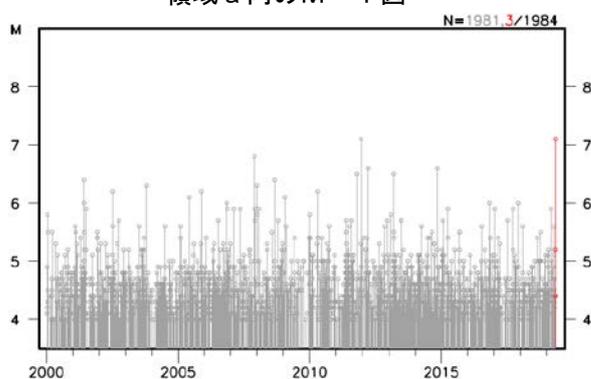


■■■■■ プレート境界の位置



震央分布図
(1970年1月1日~2019年5月31日、深さ0~150km、M≥7.0)
2019年5月以降の地震を赤く表示

領域a内のM-T図



今回の地震、M8.0以上の地震、及び死者1000人以上の地震に吹き出しを付けた。

※本資料中、震央分布図に吹き出しの注釈がある2009年4月以降の地震（今回の地震を含む）の発震機構及びMwは気象庁、その他の地震の発震機構はGlobal CMTによる。また、1970年以降の地震のM及び震源要素は米国地質調査所（USGS）による（2019年5月31日現在）。プレート境界の位置はBird（2003）より引用。2018年2月26日のMw7.4の地震の被害はOCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs：国連人道問題調整事務所）による。その他の過去の被害は、宇津及び国立研究開発法人建築研究所国際地震工学センターによる「世界の被害地震の表」による。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

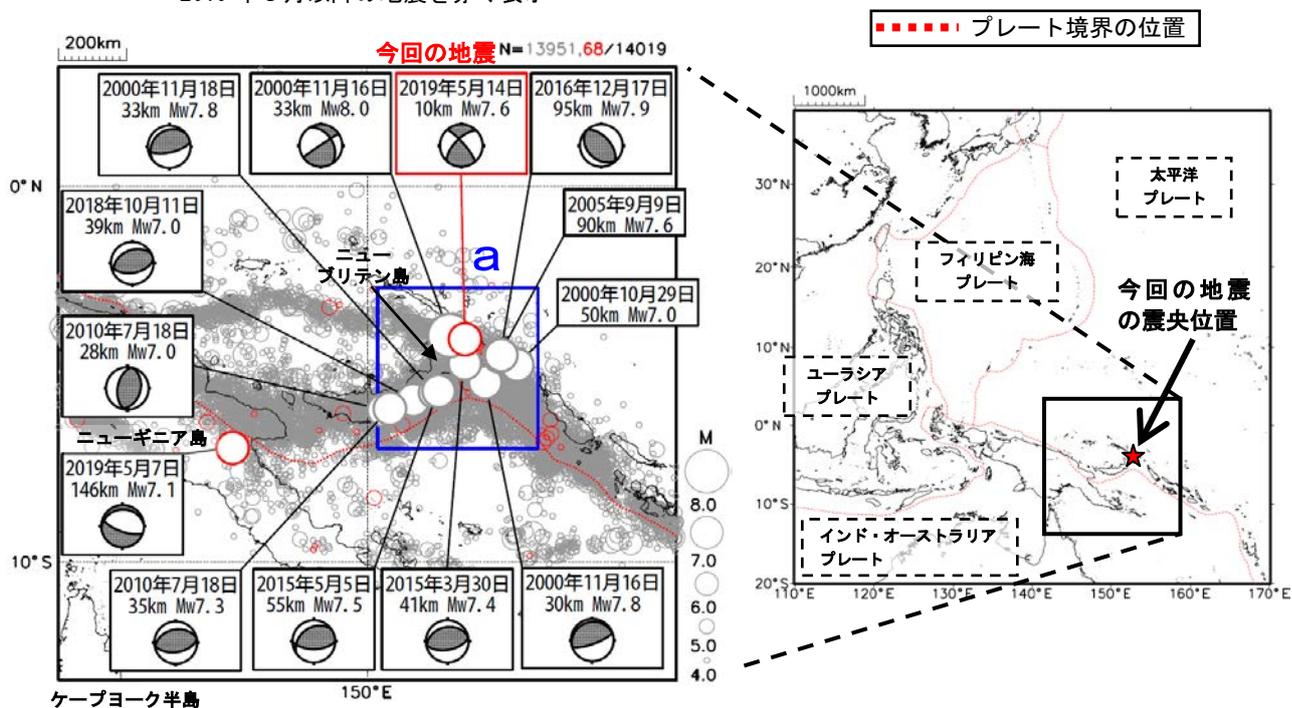
5月14日 パプアニューギニア、ニューブリテンの地震

2019年5月14日21時58分（日本時間、以下同じ）にパプアニューギニア、ニューブリテンの深さ10kmでMw7.6の地震が発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は、東西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。

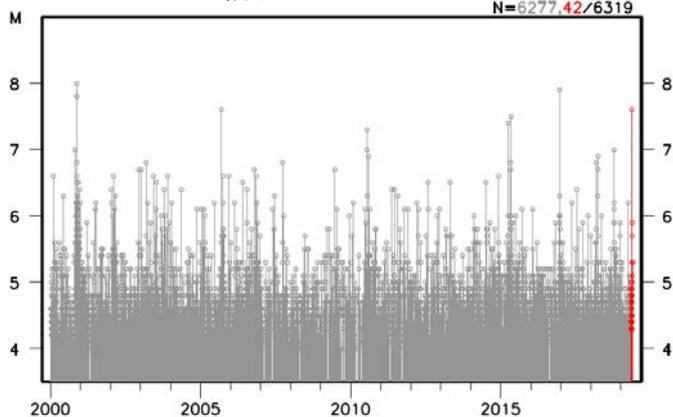
気象庁は、この地震に対して、遠地震に関する情報を同日22時25分（日本への津波の有無については現在調査中）、翌15日00時10分（津波の心配なし）に発表した。

2000年以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域a）では、M7.0以上の地震が度々発生するなど活発な地震活動がみられる。被害を伴う地震も発生しており、2000年11月16日にMw8.0、Mw7.8、11月18日にMw7.8の地震が連続して発生し、11月16日のMw8.0の地震では、津波が観測され、死者2人のほか、住家に多数の被害を生じた。

震央分布図
(2000年1月1日～2019年5月31日、深さ0～150km、 $M \geq 4.0$)
2019年5月以降の地震を赤く表示



領域a内のM-T図 N=6277.42/6319



※本資料中、震央分布図に吹き出しの注釈がある2009年4月以降の地震（今回の地震を含む）の発震機構及びMwは気象庁、その他の地震の発震機構はGlobal CMTによる。また、2000年以降の地震のM及び震源要素は米国地質調査所 (USGS) による (2019年5月31日現在)。プレート境界の位置はBird (2003) より引用。過去の被害は、宇津及び国立研究開発法人建築研究所国際地震工学センターによる「世界の被害地震の表」による。

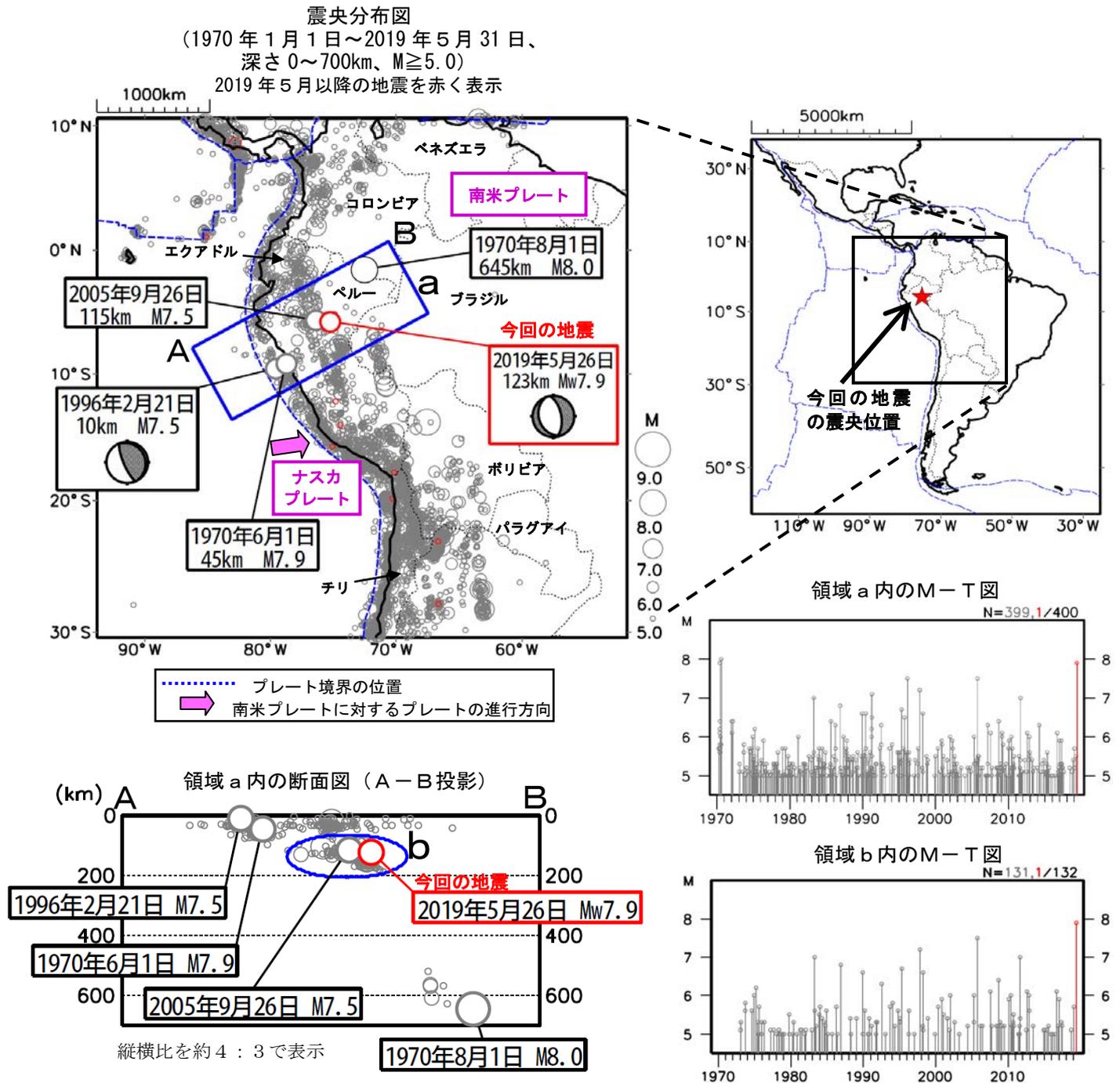
*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4 (3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

5月26日 ペルー北部の地震

2019年5月26日16時41分（日本時間、以下同じ）にペルー北部の深さ123kmでMw7.9の地震が発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は、ナスカプレートの沈み込む方向に張力軸を持つ型で、南米プレートの下に沈み込むナスカプレート内部で発生した地震である。この地震により、死者2人、負傷者15人等の被害があった（5月30日17時現在）。

気象庁は、この地震に対して、同日17時11分に遠地地震に関する情報（津波の心配なし）を発表した。

1970年以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M7.0以上の地震が時々発生しており、2005年9月26日の地震（M7.5、深さ115km）では死者5人の被害があった。今回の地震の震央付近（領域a）では、M7.5以上の地震が1970年以降5回発生しているが、そのうち1970年6月1日に発生した地震（M7.9、深さ45km）では、死者66794人等の被害が生じた。



※本資料中、今回の地震の発震機構及びMwは気象庁、その他の地震の発震機構はGlobal CMTによる。また、1970年以降の地震のM及び震源要素は米国地質調査所(USGS)による(2019年5月31日現在)。プレート境界の位置と進行方向はBird(2003)より引用。1970年6月1日の被害は宇津の「世界の被害地震の表」、その他の地震の被害はOCHA(UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所)による。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

● 世界の主な火山活動

令和元年（2019年）5月に顕著な被害を伴った噴火が報告された主な火山（日本を除く）*は以下のとおり。

今期間、顕著な被害を伴った噴火の報告はなかった。



図 令和元年（2019年）5月に顕著な被害を伴った噴火が発生した主な火山（日本を除く）*

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ“Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” (http://www.volcano.si.edu/reports_weekly.cfm) による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。

● 付録 1. 震度 1 以上を観測した地震の表

※ 震度データは、震度データベース検索 [気象庁ホームページ: <http://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>] で確認できる。震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ: <http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/bulletin/index.html>] に掲載する。

※ 震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度（平成 25 年 12 月 地震・火山月報（防災編）の付録 2 参照）を記す。なお、* のついてる地点は、地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点、（注）を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に「D」を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。また、本文中で震源の深さに CMT 解による深さを採用している場合があり、本表の震源決定による深さと異なる場合がある。震度 3 以上を観測した地震については、震源要素を太字で表示する。

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
1	1 00 43	茨城県沖 茨城県 2 水戸市千波町*1.8 日立市助川小学校*1.8 ひたちなか市南神敷台*1.8 水戸市内原町*1.6 笠間市石井*1.5 銚田市汲上*1.5 1 水戸市金町*1.4 水戸市栗崎町*1.4 東海村東海*1.4 ひたちなか市山ノ上町*1.2 茨城町小堤*1.2 常陸太田市金井町*1.2 土浦市常名*1.2 茨城鹿嶋市宮中*1.2 銚田市造谷*1.2 城里町小勝*1.1 笠間市中央*1.1 石岡市柿岡*1.1 日立市役所*1.0 那珂市福田*1.0 石岡市若宮*1.0 笠間市笠間*1.0 潮来市堀之内*1.0 小美玉市堅倉*1.0 小美玉市上玉里*1.0 小美玉市小川*0.9 ひたちなか市東石川*0.9 かすみがうら市上土田*0.9 行方市山田*0.9 銚田市銚田*0.9 常陸大宮市上小瀬*0.9 下妻市本城町*0.9 茨城鹿嶋市鉢形*0.9 城里町石塚*0.8 大洗町磯浜町*0.8 行方市麻生*0.8 稲敷市須賀津*0.7 笠間市下郷*0.7 土浦市藤沢*0.7 常陸大宮市北町*0.6 筑西市舟生*0.6 筑西市門井*0.6 稲敷市江戸崎甲*0.6 かすみがうら市大和田*0.6 下妻市鬼怒*0.5 桜川市真壁*0.5 取手市寺田*0.5 栃木県 1 大田原市湯津上*1.0 益子町益子*0.8 茂木町茂木*0.6 芳賀町祖母井*0.6 那須烏山市中央*0.6 真岡市石島*0.6 千葉県 1 八千代市大和田新田*1.2 香取市仁良*0.9 習志野市鷺沼*0.9 芝山町小池*0.8 香取市役所*0.7 千葉中央区千葉市役所*0.5 成田国際空港*0.5	36° 16.0' N	141° 00.4' E	42km	M: 4.5
2	2 06 22	和歌山県南部 和歌山県 2 田辺市中辺路町栗栖川*1.5 1 湯浅町青木*0.7 みなべ町土井*0.7 田辺市本宮町本宮*0.7	33° 55.8' N	135° 29.3' E	52km	M: 3.1
3	2 16 15	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 芦北町芦北*0.6	32° 19.6' N	130° 29.4' E	6km	M: 2.2
4	2 21 12	京都府南部 京都府 1 京都中京区西ノ京*0.5	35° 03.9' N	135° 38.7' E	8km	M: 2.5
5	4 09 19	岩手県沖 岩手県 2 遠野市青笹町*1.6 大船渡市大船渡町*1.6 釜石市中妻町*1.6 1 一関市室根町*1.4 住田町世田米*1.3 一関市千厩町*1.3 大船渡市猪川町*1.3 山田町大沢*1.2 一関市藤沢町*1.2 奥州市胆沢*1.2 釜石市只越町*1.2 花巻市東和町*1.1 陸前高田市高田町*1.0 一関市花泉町*1.0 大船渡市盛町*0.9 宮古市川井*0.9 宮古市五月町*0.7 花巻市大迫町*0.6 宮古市鉾ヶ崎*0.6 盛岡市藪川*0.6 奥州市水沢大鐘町*0.6 北上市相去町*0.5 遠野市宮守町*0.5 宮古市茂市*0.5 花巻市山島谷町*0.5 宮古市田老*0.5 宮城県 2 気仙沼市笹か陣*1.8 気仙沼市唐桑町*1.7 気仙沼市赤岩*1.6 南三陸町志津川*1.6 1 石巻市桃生町*1.3 塩竈市旭町*1.2 登米市米山町*0.9 大崎市田尻*0.9 登米市迫町*0.8 栗原市栗駒*0.8 栗原市若柳*0.7 南三陸町歌津*0.7 大崎市古川三日町*0.6 大崎市古川大崎*0.6 大崎市古川北町*0.6 栗原市築館*0.6 岩沼市桜*0.6 登米市中田町*0.5	39° 07.1' N	142° 22.9' E	36km	M: 4.4
6	4 11 41	宮城県沖 宮城県 3 石巻市北上町*2.5 2 気仙沼市笹か陣*2.1 石巻市鮎川浜*2.0 気仙沼市唐桑町*1.8 南三陸町志津川*1.8 南三陸町歌津*1.8 石巻市桃生町*1.8 石巻市大街道南*1.7 気仙沼市赤岩*1.7 石巻市雄勝町*1.7 登米市豊里町*1.6 宮城川崎町前川*1.6 涌谷町新町裏*1.5 登米市東和町*1.5 女川町女川浜*1.5 1 登米市中田町*1.4 気仙沼市本吉町西川内*1.3 登米市津山町*1.3 大崎市田尻*1.3 名取市増田*1.3 石巻市泉町*1.3 東松島市矢本*1.3 東松島市小野*1.3 七ヶ浜町東宮浜*1.3 柴田町船岡*1.2 栗原市若柳*1.2 栗原市栗駒*1.1 仙台空港*1.1 松島町高城*1.1 岩沼市桜*1.1 大河原町新南*1.1 大崎市古川大崎*1.0 栗原市一迫*1.0 登米市南方町*1.0 登米市迫町*1.0 仙台青葉区大倉*0.9 気仙沼市本吉町津谷*0.9 石巻市相野谷*0.9 登米市石越町*0.9 大崎市古川三日町*0.9 栗原市瀬峰*0.9 大衡村大衡*0.9 大崎市古川北町*0.9 大崎市松山*0.9 大崎市鹿島台*0.9 栗原市高清水*0.9 栗原市金成*0.9 宮城美里町北浦*0.8 栗原市築館*0.8 登米市登米町*0.8 仙台泉区将監*0.8 大崎市鳴子*0.8 登米市米山町*0.8 石巻市前谷地*0.8 栗原市志波姫*0.8 白石市互理町*0.7 互理町下小路*0.7 仙台宮城野区五輪*0.7 仙台宮城野区苦竹*0.7 蔵王町円田*0.7 石巻市大瓜*0.6 角田市角田*0.5 岩手県 2 一関市千厩町*2.4 一関市室根町*2.2 一関市藤沢町*1.9 大船渡市大船渡町*1.8 住田町世田米*1.7 大船渡市猪川町*1.7 釜石市中妻町*1.6 一関市大東町*1.6 1 釜石市只越町*1.4 一関市東山町*1.4 陸前高田市高田町*1.3 奥州市前沢*1.2 一関市花泉町*1.2 大船渡市盛町*1.1 盛岡市藪川*1.1 平泉町平泉*1.1 北上市相去町*1.0 遠野市青笹町*1.0 花巻市東和町*0.9 北上市柳原町*0.9 奥州市胆沢*0.9 奥州市衣川*0.9	38° 17.9' N	141° 53.0' E	46km	M: 4.5

令和元年5月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		矢巾町南矢幅*0.8 一関市川崎町*0.8 遠野市宮守町*0.8 宮古市田老*0.8 奥州市江刺*0.7 宮古市区界*0.7 金ヶ崎町西根*0.7 宮古市五月町*0.7 山田町大沢*0.6 盛岡市洪民*0.6 花巻市大迫町=0.5 花巻市石鳥谷町*0.5 八幡平市田頭*0.5 一関市竹山町*0.5 山田町八幡町=0.5 1 階上町道仏*0.9 福島県 1 相馬市中村*1.3 飯館村伊丹沢*1.3 田村市大越町*1.1 福島伊達市梁川町*1.1 福島伊達市霊山町*1.1 川俣町五百田*1.0 田村市船引町=1.0 田村市都路町*1.0 南相馬市鹿島区西町*1.0 双葉町両竹*0.9 国見町藤田*0.8 田村市滝根町*0.8 檜葉町北田*0.8 本宮市本宮*0.7 新地町谷地小屋*0.7 玉川村小高*0.7 南相馬市鹿島区栴窪=0.7 福島市五老内町*0.6 田村市常葉町*0.6 二本松市針道*0.6 浪江町幾世橋=0.6 南相馬市原町区高見町*0.6 福島市桜木町*0.6 福島伊達市月館町*0.5 福島広野町下北迫大谷地原*0.5 小野町小野新町*0.5 富岡町本岡*0.5 福島市松木町=0.5 二本松市油井*0.5 南相馬市原町区三島町=0.5 桑折町東大隅*0.5				
7	4 21 34	胆振地方中東部 北海道 2 安平町早来北進*1.7 安平町追分柏が丘*1.7 三笠市幸町*1.6 むかわ町穂別*1.5 浦幌町桜町*1.5 1 函館市新浜町*1.3 厚真町鹿沼=1.0 新ひだか町静内山手町=1.0 日高地方日高町門別*0.9 札幌北区太平*0.9 新千歳空港=0.8 札幌東区元町*0.7 千歳市支笏湖温泉*0.7 新ひだか町三石旭町*0.6 千歳市若草*0.6 函館市泊町*0.5 本別町北2丁目=0.5 白糠町西1条*0.5 別海町常盤=0.5 札幌厚別区もみじ台*0.5 美唄市西3条*0.5 青森県 1 階上町道仏*0.7 東通村砂子又沢内*0.6	42° 43.7' N	141° 44.2' E	133km	M: 4.2
8	5 00 45	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 八代市鏡町*1.1 宇城市不知火町*1.1 宇城市松橋町=0.9 八代市松江城町*0.8 八代市東陽町*0.8 八代市千丁町*0.7 宇城市小川町*0.7 氷川町島地*0.6 八代市坂本町*0.5	32° 36.5' N	130° 38.9' E	10km	M: 2.7
9	5 01 40	根室半島南東沖 北海道 4 根室市瑤瑠*3.8 3 根室市落石東*3.2 中標津町丸山*3.1 根室市牧の内*2.8 2 標津町北2条*2.4 根室市豊里=2.4 別海町常盤=2.3 浜中町茶内*2.2 根室市厚床*2.2 別海町本別海*2.1 別海町西春別*2.0 根室市弥栄=1.9 羅臼町岬町*1.9 標茶町塘路*1.9 中標津町養老牛=1.8 弟子屈町弟子屈*1.6 斜里町ウトロ香川*1.6 羅臼町緑町*1.5 清里町羽衣町*1.5 1 厚岸町真栄*1.4 浜中町湯沸=1.4 標津町薫別*1.4 羅臼町春日=1.4 釧路町別保*1.3 鶴居村鶴居東*1.3 弟子屈町サワチサップ*1.2 標津町古多糠=1.2 斜里町本町=1.2 標茶町川上*1.2 厚岸町尾幌=1.1 釧路市阿寒町中央*1.1 美幌町東3条=1.1 弟子屈町美里=1.0 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*1.0 十勝大樹町生花*0.9 白糠町西1条*0.9 北見市常呂町常呂*0.9 釧路市幸町=0.8 小清水町小清水*0.7 青森県 1 五戸町古館=1.2 東通村砂子又沢内*0.7 岩手県 1 盛岡市薮川*0.8	43° 10.6' N	146° 25.6' E	52km	M: 5.3
10	5 04 51	宮城県沖 岩手県 2 住田町世田米*1.9 釜石市中妻町*1.5 大船渡市猪川町=1.5 1 一関市千厩町*1.4 一関市藤沢町*1.3 盛岡市薮川*1.2 釜石市只越町=1.2 一関市室根町*1.2 陸前高田市高田町*1.1 遠野市青笹町*1.1 宮古市田老*1.0 大船渡市大船渡町=1.0 山田町大沢*0.9 平泉町平泉*0.9 北上市相去町*0.7 花巻市大迫町=0.7 遠野市宮守町*0.7 花巻市石鳥谷町*0.7 一関市東山町*0.7 八幡平市田頭*0.6 宮古市五月町*0.6 一関市竹山町*0.6 宮古市区界*0.5 盛岡市山王町=0.5 宮古市鉄ヶ崎=0.5 大船渡市盛町*0.5 一関市大東町=0.5 山田町八幡町=0.5 宮城県 2 気仙沼市赤岩=1.8 気仙沼市笹が陣*1.7 気仙沼市唐桑町*1.6 石巻市桃生町*1.6 1 登米市登米町*1.3 登米市迫町*1.3 涌谷町新町裏=1.2 南三陸町志津川=1.1 宮城美里町木間塚*1.1 岩沼市桜*1.1 石巻市前谷地*1.1 栗原市栗駒=1.0 登米市南方町*1.0 大河原町新南*1.0 石巻市北上町*1.0 石巻市相野谷*1.0 登米市中田町=0.9 大崎市古川三日町=0.9 大崎市田尻*0.9 大崎市松山*0.8 栗原市築館*0.8 登米市米山町*0.8 石巻市大街道南*0.8 栗原市若柳*0.8 大崎市古川大崎=0.8 大崎市古川北町*0.8 大崎市鹿島台*0.7 名取市増田*0.7 栗原市一迫*0.7 丸森町鳥屋*0.7 色麻町四竈*0.7 松島町高城=0.7 登米市東和町*0.6 石巻市雄勝町*0.6 栗原市志波姫*0.6 仙台宮城野区苦竹*0.5 石巻市鮎川浜*0.5 栗原市高清水*0.5 南三陸町歌津*0.5 角田市角田*0.5 大衡村大衡*0.5 青森県 1 階上町道仏*0.8	38° 44.3' N	142° 18.8' E	38km	M: 4.7
11	5 16 38	佐渡付近 新潟県 2 佐渡市小木町*1.7 佐渡市羽茂本郷*1.5 佐渡市相川三丁目=1.5 1 佐渡市相川栄町*1.0 佐渡市真野新町*0.6 長岡市寺泊一里塚*0.6 佐渡市赤泊*0.5 佐渡市畑野*0.5	37° 51.6' N	138° 09.4' E	14km	M: 3.7
12	5 20 51	茨城県北部 茨城県 1 日立市助川小学校*1.2 常陸太田市町屋町=0.7	36° 37.1' N	140° 35.7' E	8km	M: 2.8
13	6 09 50	滋賀県南部 滋賀県 1 栗東市安養寺*1.3 草津市草津*0.9 大津市南郷*0.9 甲賀市信楽町*0.9 湖南市石部中央西庁舎*0.8 大津市国分*0.8 湖南市中央東庁舎*0.6 京都府 1 京都市科区安朱川向町*0.6	34° 59.8' N	135° 57.0' E	9km	M: 2.8

令和元年5月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
14	6 10 26	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 芦北町芦北=1.0 球磨村渡*=0.5	32° 19.7' N	130° 29.5' E	6km	M: 2.6
15	6 14 13	宮城県沖 岩手県 2 大船渡市猪川町=1.6 1 一関市室根町*=1.4 大船渡市大船渡町=1.3 一関市大東町=1.3 一関市千厩町*=1.2 一関市藤沢町*=1.1 陸前高田市高田町*=1.0 釜石市中妻町*=0.8 住田町世田米*=0.7 釜石市只越町=0.7 遠野市宮守町*=0.6 花巻市大迫町=0.6 遠野市青笹町*=0.6 北上市相去町*=0.5 大船渡市盛町*=0.5 宮城県 1 気仙沼市赤岩=1.4 気仙沼市笹が陣*=1.2 気仙沼市唐桑町*=1.2 登米市東和町*=1.2 南三陸町志津川=1.2 大崎市田尻*=0.8 気仙沼市本吉町津谷*=0.7	38° 54.9' N	141° 56.2' E	51km	M: 3.8
16	6 19 12	和歌山県北部 和歌山県 2 有田市初島町*=2.3 湯浅町青木*=1.9 海南市下津*=1.5 1 有田市箕島=1.3 和歌山広川町広*=1.3 紀美野町下佐々*=0.8	34° 05.5' N	135° 08.4' E	6km	M: 3.1
17	7 12 30	熊本県熊本地方 熊本県 2 宇城市不知火町*=2.2 宇土市浦田町*=1.9 宇城市豊野町*=1.6 宇城市松橋町=1.5 1 甲佐町豊内*=1.0 宇城市小川町*=0.9 八代市松江城町*=0.8 熊本美里町馬場*=0.8 八代市坂本町*=0.8 氷川町島地*=0.7 八代市東陽町*=0.6 八代市平山新町=0.6 氷川町宮原*=0.5 球磨村渡*=0.5	32° 38.3' N	130° 41.6' E	14km	M: 3.1
18	7 21 06	岩手県沖 岩手県 1 宮古市田老*=0.6	39° 56.5' N	142° 25.2' E	38km	M: 3.4
19	7 22 22	宮城県沖 岩手県 2 一関市千厩町*=1.7 1 大船渡市猪川町=1.4 釜石市中妻町*=1.3 釜石市只越町=1.2 一関市室根町*=1.1 一関市藤沢町*=1.1 陸前高田市高田町*=1.0 大船渡市大船渡町=0.9 住田町世田米*=0.8 宮城県 2 気仙沼市笹が陣*=1.5 1 気仙沼市唐桑町*=1.1 気仙沼市赤岩=0.8	38° 46.9' N	142° 00.3' E	36km	M: 3.8
20	7 23 42	関東東方沖 福島県 1 郡山市湖南町*=0.6	35° 21.1' N	142° 40.0' E	59km	M: 4.8
21	8 02 58	択捉島南東沖 北海道 1 根室市落石東*=0.9 別海町常盤=0.7 根室市瑤瑤瑠*=0.7 標津町北2条*=0.6	44° 06.2' N	148° 02.2' E	0km	M: 4.9
22	8 08 24	宮古島近海 沖縄県 2 宮古島市下地*=1.7 宮古島市平良狩俣*=1.5 1 宮古島市上野支所*=1.4 宮古島市城辺福北=1.3 宮古島市平良西里*=1.2 宮古島市平良池間=1.1 宮古島市平良下里=1.0 宮古島市城辺福西*=0.9 宮古島市伊良部国仲=0.6	24° 49.4' N	125° 22.8' E	50km	M: 3.9
23	8 09 20	岩手県沖 青森県 4 階上町道仏*=4.1 3 青森南部町苦米地*=2.8 八戸市湊町=2.7 2 八戸市内丸*=2.4 八戸市南郷*=2.2 三戸町在府小路町*=2.1 五戸町古館=2.1 東北町上北南*=1.8 三沢市桜町*=1.7 野辺地町田狭沢*=1.6 青森南部町沖田面*=1.5 八戸市島守=1.5 1 五戸町倉石中市*=1.4 おいらせ町中下田*=1.4 十和田市奥瀬*=1.3 東通村砂子又沢内*=1.2 東通村白糠*=1.1 野辺地町野辺地*=1.1 七戸町森ノ上*=1.1 横浜町林ノ脇*=1.0 おいらせ町上明堂*=0.9 東北町塔ノ沢山*=0.8 十和田市西二番町*=0.8 田子町田子*=0.8 七戸町七戸*=0.8 六戸町大落瀬*=0.7 東通村砂子又蒲谷地=0.6 新郷村戸来*=0.6 六ヶ所村尾駮=0.5 岩手県 3 普代村銅屋*=2.6 軽米町軽米*=2.5 2 久慈市枝成沢=2.4 岩手洋野町種市=2.4 野田村野田*=2.1 久慈市川崎町=2.0 田野畑村田野畑=2.0 盛岡市渋民*=2.0 八幡平市田頭*=2.0 九戸村伊保内*=2.0 久慈市長内町*=1.9 二戸市石切所*=1.9 一戸町高善寺*=1.9 宮古市田老*=1.9 盛岡市藪川*=1.9 岩手洋野町大野*=1.8 葛巻町消防分署*=1.6 宮古市川井*=1.6 岩泉町岩泉*=1.6 二戸市浄法寺町*=1.5 葛巻町葛巻元木=1.5 二戸市福岡=1.5 田野畑村役場*=1.5 1 久慈市山形町*=1.4 紫波町紫波中央駅前*=1.4 盛岡市山王町=1.3 葛巻町役場*=1.3 宮古市五月町*=1.2 宮古市区界*=1.2 矢巾町南矢幅*=1.2 滝沢市鶴飼*=1.1 岩手町五日市*=1.0 八幡平市大更=1.0 岩泉町大川*=1.0 宮古市茂市*=1.0 一関市千厩町*=1.0 宮古市鉾ヶ崎=0.9 盛岡市馬場町*=0.9 花巻市石鳥谷町*=0.9 遠野市青笹町*=0.9 花巻市大迫町=0.8 遠野市宮守町*=0.8 住田町世田米*=0.7 北上市相去町*=0.7 山田町大沢*=0.7 八幡平市叭田*=0.7 花巻市大迫総合支所*=0.6 山田町八幡町=0.6 大船渡市大船渡町=0.6 一関市室根町*=0.6 奥州市水沢大鐘町=0.5 奥州市水沢佐倉河*=0.5 北海道 1 函館市泊町*=0.5	40° 04.4' N	142° 06.9' E	48km	M: 4.4
24	8 09 22	青森県東方沖 青森県 1 五戸町古館=0.6 岩手県 1 盛岡市藪川*=0.6	40° 41.4' N	142° 42.1' E	21km	M: 4.2

令和元年5月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
25	8 18 02	熊本県熊本地方 熊本県 2 宇城市豊野町*=1.8 1 宇城市不知火町*=0.6 熊本南区富合町*=0.6	32° 39.7' N	130° 43.3' E	7km	M: 2.0
26	9 09 44	宮城県沖 岩手県 1 大船渡市猪川町=0.5	38° 47.9' N	142° 01.7' E	45km	M: 3.2
27	9 12 04	熊本県熊本地方 熊本県 1 宇土市浦田町*=0.8	32° 39.5' N	130° 41.4' E	9km	M: 2.1
28	9 14 06	熊本県熊本地方 熊本県 1 合志市竹迫*=0.8 菊陽町久保田*=0.7	32° 50.0' N	130° 50.1' E	9km	M: 2.5
29	9 16 03	詳細不明 東京都 1 小笠原村母島=0.7				
30	9 21 02	相模湾 千葉県 東京都 神奈川県 1 市原市姉崎*=0.6 1 東京千代田区大手町=0.6 東京渋谷区宇田川町*=0.5 1 三浦市城山町*=0.6	35° 10.2' N	139° 19.1' E	148km	M: 3.7
31	9 21 42	千葉県東方沖 千葉県 1 銚子市川口町=0.6 銚子市小畑新町=0.5	35° 48.2' N	140° 59.0' E	30km	M: 3.0
32	10 07 43	日向灘 宮崎県 3 宮崎市松橋*=3.2 宮崎市橋通東*=3.0 日南市南郷町南町*=3.0 都城市高崎町大牟田*=3.0 高原町西麓*=2.9 宮崎市高岡町内山*=2.7 宮崎市霧島=2.7 国富町本庄*=2.7 都城市山之口町花木*=2.6 都城市山田町山田*=2.6 宮崎美郷町田代*=2.6 都城市菖蒲原=2.6 串間市都井*=2.6 小林市真方=2.5 宮崎市田野町体育館*=2.5 都城市北原*=2.5 日南市吾田東*=2.5 高鍋町上江*=2.5 2 西都市聖陵町*=2.4 高千穂町三田井=2.4 綾町南俣健康センター*=2.4 綾町役場*=2.4 都城市姫城町*=2.4 小林市野尻町東麓*=2.4 日南市中央通*=2.3 川南町川南*=2.3 新富町上富田=2.2 三股町五本松*=2.2 宮崎市清武町船引*=2.2 西都市上の宮*=2.2 日南市油津=2.1 えびの市加久藤*=2.0 日南市北郷町郷之原*=1.9 都城市高城町穂満坊*=1.9 宮崎都農町役場*=1.9 宮崎市田野支所*=1.9 小林市細野*=1.8 日南市北郷町大藤=1.8 串間市奈留=1.8 椎葉村総合運動公園*=1.8 木城町高城*=1.7 都城市高崎町江平=1.7 椎葉村下福良*=1.7 宮崎市佐土原町下田島*=1.7 延岡市北川町川内名白石*=1.6 延岡市北方町卯*=1.6 延岡市東本小路*=1.6 小林市役所*=1.6 小林市中原*=1.6 門川町本町*=1.5 日向市大王谷運動公園=1.5 高千穂町寺迫*=1.5 延岡市天神小路=1.5 1 延岡市北浦町古江*=1.4 延岡市北方町未=1.3 日向市富高*=1.3 日向市東郷町山陰*=1.3 五ヶ瀬町三ヶ所*=1.3 日向市龜崎=1.2 宮崎美郷町宇納間*=1.1 宮崎美郷町神門*=1.1 諸塚村家代*=0.9 宮崎都農町川北=0.8 日之影町岩井川*=0.7 西米良村板谷*=0.6	31° 47.1' N	131° 59.5' E	25km	M: 5.6
		鹿児島県 3 肝付町新富*=2.8 錦江町田代支所*=2.7 鹿屋市新栄町=2.6 始良市加治木町本町*=2.5 2 霧島市国分中央*=2.4 大崎町仮宿*=2.4 鹿児島市喜入町*=2.3 鹿児島空港=2.3 伊佐市菱刈前目*=2.3 鹿児島市桜島赤水新島*=2.2 鹿屋市串良町岡崎*=2.2 東串良町川西*=2.2 曾於市財部町南俣*=2.2 霧島市福山町牧之原*=2.1 始良市蒲生町上久徳*=2.1 始良市宮島町*=2.1 鹿屋市札元*=2.1 鹿屋市吾平町麓*=2.1 垂水市田神*=2.1 南さつま市金峰町尾下*=2.1 錦江町城元*=2.1 南大隅町根占*=2.1 薩摩川内市祁答院町*=2.0 曾於市末吉町二之方*=2.0 鹿屋市輝北町上百引*=1.9 南大隅町佐多伊座敷*=1.9 さつま町神子*=1.9 指宿市山川新生町=1.8 湧水町吉松*=1.8 錦江町田代麓=1.8 霧島市隼人町内山田=1.8 霧島市牧園町宿窪田*=1.8 志布志市志布志町志布志=1.8 指宿市十町*=1.7 いちき串木野市湊町*=1.7 志布志市松山町新橋*=1.7 霧島市霧島口*=1.6 鹿児島市本城*=1.6 曾於市大隅町中之内*=1.6 肝付町北方*=1.6 鹿児島市東郡元=1.5 薩摩川内市神田町*=1.5 薩摩川内市入来町*=1.5 1 さつま町宮之城保健センタ*=1.4 霧島市溝辺町有川*=1.4 南九州市知覧町郡*=1.4 いちき串木野市緑町*=1.3 南さつま市大浦町*=1.3 南九州市穎娃町牧之内*=1.3 志布志市有明町野井倉*=1.3 さつま町宮之城屋地=1.2 霧島市横川町中ノ*=1.2 阿久根市鶴見町*=1.1 伊佐市大口鳥巢*=1.1 三島村竹島*=1.1 南九州市川辺町平山*=1.0 薩摩川内市中郷=1.0 伊佐市大口山野=1.0 枕崎市高見町=0.5				
		愛媛県 2 西予市明浜町*=1.7				
		福岡県 1 伊方町湊浦*=1.3 宇和島市住吉町=1.0				
		福岡県 1 柳川市三橋町*=1.6 大川市酒見*=1.6 みやま市高田町*=1.6 柳川市本町*=1.5 1 久留米市津福本町=1.4 久留米市城島町*=1.3 小都市小郡*=0.5				
		佐賀県 2 上峰町坊所*=1.8 神埼市千代田*=1.8 白石町有明*=1.7 1 みやき町北茂安*=1.4 佐賀市諸富*=1.3 佐賀市東与賀*=1.3 みやき町三根*=1.2 白石町福富*=1.2 佐賀市久保田*=1.1 小城市芦刈*=1.1 白石町福田*=1.0 神埼市神埼*=1.0 佐賀市駅前中央=0.8				
		長崎県 2 南島原市口之津町*=1.7 1 南島原市西有家町*=1.3 南島原市布津町*=1.3 南島原市加津佐町*=1.3 南島原市深江町*=1.2 南島原市北有馬町*=1.0 諫早市多良見町*=0.9 雲仙市小浜町雲仙=0.9 雲仙市吾妻町*=0.8 南島原市南有馬町*=0.8 諫早市森山町*=0.8 島原市有明町*=0.7 雲仙市小浜町北本町*=0.7				
		熊本県 2 熊本南区富合町*=2.3 合志市竹迫*=2.3 宇城市小川町*=2.2 熊本高森町高森*=2.2 氷川町島地*=2.1 熊本美里町馬場*=2.1 阿蘇市内牧*=2.1 芦北町芦北=2.1 産山村山鹿*=2.0 熊本美里町永富*=1.9 阿蘇市波野*=1.9 和水町江田*=1.9 宇城市松橋町=1.9 熊本北区植木町*=1.9 宇城市豊野町*=1.9 南阿蘇村河陽*=1.9 山都町大平*=1.9 あさぎり町須恵*=1.8				

令和元年5月 地震・火山月報(防災編)

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>多良木町多良木=1.8 多良木町上球磨消防署*=1.8 宇城市三角町*=1.8 あさぎり町岡原*=1.8 西原村小森*=1.7 益城町惣領*=1.7 人吉市西間下町*=1.7 あさぎり町免田東*=1.7 長洲町長洲*=1.6 山都町今*=1.6 山江村山田*=1.6 津奈木町小津奈木*=1.6 天草市五和町*=1.6 八代市千丁町*=1.6 熊本南区城南町*=1.6 八代市鏡町*=1.6 玉名市横島町*=1.6 宇城市不知火町*=1.6 人吉市蟹作町*=1.6 菊池市七城町*=1.6 八代市平山新町=1.5 南阿蘇村吉田*=1.5 南阿蘇村河陰*=1.5 合志市御代志*=1.5 湯前町役場*=1.5 錦町一武*=1.5 1 阿蘇市一の宮町*=1.4 八代市坂本町*=1.4 菊池市泗水町*=1.4 菊池市旭志*=1.4 菊陽町久保田*=1.4 嘉島町上島*=1.4 あさぎり町上*=1.4 相良村深水*=1.4 上天草市大矢野町=1.4 氷川町宮原*=1.3 熊本西区春日=1.3 山鹿市菊鹿町*=1.3 菊池市隈府*=1.3 あさぎり町深田*=1.2 山都町浜町*=1.2 五木村甲*=1.2 上天草市姫戸町*=1.1 山鹿市老人福祉センター*=1.0 水俣市牧ノ内*=0.9 南阿蘇村中松=0.9 玉名市中尾*=0.8 天草市天草町*=0.7 八代市泉町=0.7 2 豊後大野市清川町*=2.2 竹田市直入町*=2.2 佐伯市上浦*=2.0 佐伯市蒲江蒲江浦=2.0 竹田市荻町*=1.9 臼杵市臼杵*=1.9 大分市舞鶴町*=1.8 津久見市宮本町*=1.7 佐伯市春日町*=1.7 大分市新春日町*=1.6 竹田市久住町*=1.6 1 佐伯市米水津*=1.3 竹田市会々*=1.2 竹田市竹田小学校*=1.1 佐伯市弥生*=1.1 竹田市直入小学校*=1.0 佐伯市鶴見*=1.0 大分市明野北=0.9 別府市天間=0.9 津久見市立花町*=0.7 佐伯市蒲江猪串浦=0.7 豊後大野市三重町=0.7 1 府中町大通り*=0.8 江田島市大柿町*=0.7 高知県 1 宿毛市桜町*=0.9 山口県 1 柳井市南町*=0.9 柳井市大島*=0.7 周防大島町東和総合支所*=0.6</p>				
33	10 07 44	日向灘 熊本県 宮崎県	31° 46.4' N	131° 57.2' E	23km	M: 4.4
		<p>2 阿蘇市内牧*=2.0 2 宮崎市松橋*=1.8 宮崎市橋通東*=1.6 都城市高崎町大傘田*=1.6 1 宮崎市霧島=1.4 日南市南郷町南町*=1.3 国富町本庄*=1.3 都城市菖蒲原=1.3 高原町西麓*=1.3 宮崎市高岡町内山*=1.3 小林市真方=1.2 新富町上富田=1.2 宮崎市田野町体育館*=1.2 川南町川南*=1.1 日南市油津=1.1 都城市姫城町*=1.1 日南市吾田東*=1.1 宮崎美郷町田代*=1.1 小林市野尻町東麓*=1.0 綾町役場*=1.0 都城市山之口町花木*=1.0 高鍋町上江*=1.0 西都市上の宮*=0.9 宮崎市清武町船引*=0.9 西都市聖陵町*=0.9 綾町南保健センター*=0.9 日南市北郷町郷之原*=0.8 高千穂町三田井=0.8 門川町本町*=0.7 三股町五本松*=0.7 串間市奈留=0.6 宮崎都農町役場*=0.5 1 佐伯市蒲江蒲江浦=0.5 1 大崎町仮宿*=1.4 霧島市隼人町内山田=1.2 霧島市福山町牧之原*=1.2 鹿屋市新栄町=1.2 鹿屋市礼元*=1.2 錦江町田代支所*=1.1 鹿児島市喜入町*=0.9 鹿児島空港=0.8 垂水市田神*=0.8 志布志市志布志町志布志=0.8 鹿児島市東郡元=0.7 曾於市大隅町中之内*=0.6 錦江町田代麓=0.5</p>				
34	10 08 48	日向灘 宮崎県	31° 48.0' N	131° 58.4' E	25km	M: 6.3
		<p>5弱 都城市高崎町大傘田*=4.8 宮崎市松橋*=4.6 宮崎市高岡町内山*=4.5 都城市山之口町花木*=4.5 4 宮崎市霧島=4.4 宮崎市橋通東*=4.3 日南市南郷町南町*=4.2 都城市菖蒲原=4.2 都城市山田町山田*=4.1 小林市野尻町東麓*=4.1 国富町本庄*=4.1 都城市高城町徳満坊*=4.0 宮崎美郷町田代*=4.0 高鍋町上江*=4.0 都城市姫城町*=4.0 小林市真方=3.9 都城市北原*=3.9 三股町五本松*=3.9 高原町西麓*=3.9 西都市聖陵町*=3.9 綾町役場*=3.8 宮崎市田野町体育館*=3.8 綾町南保健センター*=3.8 椎葉村総合運動公園*=3.7 西都市上の宮*=3.7 宮崎市清武町船引*=3.7 日南市吾田東*=3.7 川南町川南*=3.7 宮崎市田野支所*=3.6 高千穂町三田井=3.6 新富町上富田=3.5 日南市北郷町郷之原*=3.5 3 宮崎市佐土原町下田島*=3.4 日南市油津=3.4 日南市北郷町大藤=3.4 日南市中央通*=3.4 串間市都井*=3.4 えびの市加久藤*=3.4 木城町高城*=3.3 小林市中原*=3.3 小林市役所*=3.2 宮崎都農町役場*=3.2 延岡市北方町末=3.0 延岡市北川町川内名白石*=3.0 延岡市北方町卯*=3.0 椎葉村下福良*=3.0 高千穂町寺迫*=3.0 串間市奈留=2.9 小林市細野*=2.9 延岡市東本小路*=2.8 五ヶ瀬町三ヶ所*=2.8 延岡市天神小路=2.8 日向市大王谷運動公園=2.7 門川町本町*=2.7 宮崎美郷町宇納間*=2.7 都城市高崎町江平=2.7 延岡市北浦町古江*=2.6 宮崎美郷町神門*=2.6 日向市東郷町山陰*=2.6 日向市富高*=2.5 2 日向市亀崎=2.4 諸塚村家代*=2.3 延岡市北川町総合支所*=2.2 日之影町岩井川*=2.2 宮崎都農町川北=2.1 西米良村板谷*=2.1 4 熊本南区富合町*=4.0 宇城市豊野町*=3.7 芦北町芦北=3.7 宇城市小川町*=3.7 宇土市浦田町*=3.6 熊本美里町馬場*=3.6 氷川町島地*=3.6 合志市竹迫*=3.6 3 玉名市横島町*=3.4 和木町江田*=3.4 熊本北区植木町*=3.4 人吉市西間下町=3.4 人吉市蟹作町*=3.4 あさぎり町須恵*=3.4 天草市五和町*=3.4 熊本高森町高森*=3.3 西原村小森*=3.3 あさぎり町上*=3.3 八代市平山新町=3.3 多良木町多良木=3.3 多良木町上球磨消防署*=3.3 山江村山田*=3.3 津奈木町小津奈木*=3.3 八代市鏡町*=3.3 あさぎり町免田東*=3.2 産山村山鹿*=3.2 あさぎり町岡原*=3.2 阿蘇市波野*=3.2 熊本美里町水富*=3.2 湯前町役場*=3.2 宇城市松橋町=3.2 南阿蘇村河陽*=3.2 八代市松江城町*=3.2 八代市千丁町*=3.2 錦町一武*=3.2 益城町惣領*=3.1 宇城市不知火町*=3.1 山都町大平*=3.1 阿蘇市内牧*=3.1 南阿蘇村河陰*=3.1 山鹿市山鹿*=3.1 上天草市大矢野町=3.1 嘉島町上島*=3.0 山鹿市鹿本町*=3.0 阿蘇市一の宮町*=3.0 菊池市七城町*=3.0 菊池市泗水町*=3.0 長洲町長洲*=3.0 合志市御代志*=3.0 熊本西区春日=2.9 熊本南区城南町*=2.9 山都町浜町*=2.9 相良村深水*=2.9 水俣市牧ノ内*=2.9 山都町今*=2.9 氷川町宮原*=2.9 菊池市旭志*=2.9 宇城市三角町*=2.9 熊本東区佐土原*=2.8 南阿蘇村吉田*=2.8 山鹿市鹿央町*=2.8 五木村甲*=2.8 菊池市隈府*=2.8 玉東町木葉*=2.8 玉名市岱明町*=2.7 水俣市陣内*=2.7 山鹿市老人福祉センター*=2.7 上天草市松島町*=2.7 あさぎり町深田*=2.7 大津町引水*=2.7 菊陽町久保田*=2.7 八代市坂本町*=2.7 熊本中央区大江*=2.6 山鹿市菊鹿町*=2.6 八代市泉町=2.5 上天草市姫戸町*=2.5 甲佐町豊内*=2.5 八代市泉支所*=2.5 南関町関町*=2.5</p>				

令和元年5月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
		大分県				2 八代市東陽町*2.4 荒尾市宮内出目*2.4 水上村岩野*2.4 球磨村渡*2.4 天草市天草町*2.4 玉名市中尾*2.3 御船町御船*2.3 南小国町赤馬場*2.2 熊本小国町宮原*2.2 芦北町田浦町*2.2 和水町板桶*2.1 苓北町志岐*2.1 天草市倉岳町*2.1 南阿蘇村中松=2.1 天草市有明町*2.0 天草市栖本町*1.8 玉名市築地=1.8 山鹿市鹿北町*1.6 天草市御所浦町*1.6 上天草市龍ヶ岳町*1.5 天草市本町*1.5 天草市新和町*1.5 1 天草市牛深町=1.4 天草市河浦町*1.4 天草市本渡町本渡*1.2 4 豊後大野市清川町*3.9 竹田市直入町*3.8 3 佐伯市蒲江蒲江浦=3.3 竹田市荻町*3.3 臼杵市臼杵*3.2 佐伯市上浦*3.2 大分市舞鶴町*3.1 佐伯市春日町*3.1 竹田市久住町*3.1 竹田市会々*3.1 津久見市宮本町*3.0 竹田市竹田小学校*3.0 佐伯市米水津*2.9 豊後大野市朝地町*2.9 大分市新春日町*2.9 豊後大野市大野町*2.7 姫島村役場*2.7 佐伯市役所*2.5 佐伯市鶴見*2.5 豊後大野市緒方町*2.5 大分市野津原*2.5 由布市挾間町*2.5 由布市湯布院町川上*2.5 2 大分市明野北=2.4 別府市鶴見=2.4 佐伯市弥生*2.4 別府市天間=2.3 杵築市杵築*2.3 由布市庄内町*2.3 佐伯市直川*2.3 豊後大野市千歳町*2.3 竹田市直入小学校*2.3 佐伯市宇目*2.2 豊後大野市三重町=2.2 日出町役場*2.1 杵築市南杵築*2.0 杵築市山香町*2.0 津久見市立花町*2.0 宇佐市上田*2.0 国東市鶴川=2.0 国東市国見町伊美*2.0 日田市田島*2.0 大分市佐賀関*1.9 別府市上野口町*1.9 日田市中津江村合瀬=1.8 九重町後野上*1.8 臼杵市乙見=1.8 佐伯市堅田=1.8 佐伯市蒲江猪串浦=1.8 中津市植野*1.8 国東市田深*1.8 玖珠町帆足=1.7 豊後高田市御玉*1.7 豊後高田市真玉*1.7 豊後高田市香々地*1.7 佐伯市本匠*1.7 日田市三本松=1.7 日田市前津江町*1.7 臼杵市野津町*1.6 宇佐市安心院町*1.6 豊後大野市大飼町黒松*1.5 日田市天瀬町*1.5 中津市上宮永=1.5 日田市大山町*1.5 中津市豊田町*1.5 国東市国見町西方寺=1.5 国東市安岐町*1.5 国東市武蔵町*1.5
		鹿児島県				1 日田市上津江町*1.3 宇佐市院内町*1.1 4 始良市加治木町本町*4.2 霧島市国分中央*4.1 鹿児島空港=3.8 始良市蒲生町上久徳*3.8 鹿児島市桜島赤水新島*3.7 いちき串木野市湊町*3.7 始良市宮島町*3.7 曾於市財部町南俣*3.7 霧島市福山町牧之原*3.6 鹿児島市喜入町*3.6 鹿屋市新栄町=3.6 垂水市田神*3.6 肝付町新富*3.6 霧島市隼人町内山田=3.5 大崎町仮宿*3.5 東串良町川西*3.5 湧水町吉松*3.5 鹿児島市本城*3.4 南さつま市金峰町尾下*3.4 伊佐市菱刈前目*3.4 鹿屋市輝北町上百引*3.4 曾於市末吉町二之方*3.4 薩摩川内市神田町*3.3 薩摩川内市祁答院町*3.3 霧島市牧園町宿窪田*3.3 鹿屋市礼元*3.3 さつま町神子*3.2 錦江町田代支所*3.2 志布志市松山町新橋*3.2 日置市伊集院町郡*3.1 鹿屋市串良町岡崎*3.1 曾於市大隅町中之内*3.1 鹿児島市東郡元=3.0 薩摩川内市入来町*3.0 いちき串木野市緑町*3.0 霧島市溝辺町有川*3.0 南大隅町根占*3.0 鹿児島出水市野田町*2.9 鹿児島出水市高尾野町*2.9 指宿市山川新生町=2.9 指宿市十町*2.9 長島町伊唐島*2.9 薩摩川内市東郷町*2.9 霧島市霧島口*2.9 伊佐市大口島集*2.9 錦江町城元*2.9 鹿児島市祇園之洲町*2.9 志布志市志布志町志布志=2.9 阿久根市鶴見町*2.9 湧水町栗野*2.8 鹿屋市吾平町麓*2.8 さつま町宮之城屋地=2.8 さつま町宮之城保健センタ*2.8 日置市日吉町日置*2.7 霧島市横川町中ノ*2.7 南九州市頰娃町牧之内*2.7 伊佐市大口山野=2.7 薩摩川内市中郷=2.7 志布志市有明町野井倉*2.7 南さつま市大浦町*2.6 鹿児島市桜島藤野*2.6 薩摩川内市脇脇町*2.6 南九州市知覧町郡*2.6 阿久根市赤瀬川=2.5 鹿児島出水市緑町*2.5 指宿市開開十町*2.5 錦江町田代麓=2.5 さつま町求名*2.5 日置市東市来町長里*2.5 南さつま市加世田川畑*2.4 鹿児島市郡山*2.3 鹿児島市上谷口*2.3 鹿児島出水市桂島*2.3 南大隅町佐多伊座敷*2.3 肝付町北方*2.3 薩摩川内市里町*2.3 長島町鷹巣*2.2 南九州市川辺町平山*2.2 枕崎市高見町=1.9 長島町指江*1.9 薩摩川内市上甕町*1.8 枕崎市若葉町*1.7 三島村竹島*1.7 南種子町中之上*1.7 長島町獅子島*1.6 南さつま市坊津町久志*1.6 鹿児島市下福元=1.5 三島村硫黄島*1.5 1 薩摩川内市鹿島町*1.3 中種子町野間*1.2 屋久島町口永良部島公民館*1.2 西之表市西之表=1.1 西之表市役所*1.1 西之表市住吉=1.0 南種子町西之*0.8 3 府中町大通り*2.5 2 呉市広*2.4 呉市宝町=2.3 江田島市能美町*2.2 竹原市中央*2.1 広島南区宇品海岸*1.9 大竹市小方*1.8 呉市安浦町*1.8 呉市音戸町*1.7 廿日市市大野*1.7 広島中区羽衣町*1.7 尾道市瀬戸田町*1.5 大崎上島町東野*1.5 江田島市大柿町*1.5
		広島県				1 広島中区上八丁堀=1.4 広島安佐南区祇園*1.4 呉市川尻町*1.4 東広島市黒瀬町=1.4 坂町役場*1.4 尾道市向島町*1.3 江田島市沖美町*1.3 三原市円一町=1.3 海田町上市*1.3 呉市二河町*1.2 呉市豊町*1.2 広島安佐北区可部南*1.1 三原市本郷南*1.1 尾道市久保*1.0 福山市神辺町*1.0 安芸高田市向原町*1.0 呉市郷原町*0.9 廿日市市下平良*0.9 広島安芸区中野*0.9 大崎上島町木江*0.9 呉市下蒲刈町*0.8 広島西区己斐*0.8 広島三次市十日市中=0.8 熊野町役場*0.8 広島佐伯区利松*0.8 福山市駅家町*0.8 廿日市市津田*0.7 安芸高田市向原町長田*0.7 北広島町有田=0.6 大崎上島町中野*0.6 福山市松永町=0.5 3 西予市明浜町*2.6 八幡浜市保内町*2.5 伊方町湊浦*2.5 2 西予市宇和町*2.4 松山市中島大浦*2.3 宇和島市住吉町*2.3 宇和島市津島町*2.3 今治市大三島町*2.3 大洲市大洲*2.2 宇和島市吉田町*2.0 伊予市下吾川*1.7 八幡浜市五反田*1.5 今治市大西町*1.5 愛南町一本松*1.5 今治市菊間町*1.5 松山市富久町*1.5 1 松山市北持田町=1.4 西予市三瓶町*1.4 今治市南宝来町二丁目=1.3 西条市丹原町池田*1.3 愛媛松前町筒井*1.3 東温市見奈島*1.3 愛南町船越*1.3 西条市小松町*1.2 愛南町柏*1.2 今治市吉海町*1.1 宇和島市三間町*1.1 上島町弓削*1.1 大洲市脇川町*1.0 内子町内子*1.0 愛南町城辺*1.0 八幡浜市広瀬=1.0 宇和島市丸穂*0.9 伊方町三崎*0.9 西予市野村町=0.9 松山市北条辻*0.9 東温市南方*0.9 内子町平岡*0.8 松野町松丸*0.8 大洲市長浜*0.8 愛媛鬼北町成川=0.5 3 久留米市津福本町=3.2 柳川市三橋町*3.2 柳川市本町*3.1 大川市酒見*3.1
		福岡県				3 久留米市津福本町=3.2 柳川市三橋町*3.2 柳川市本町*3.1 大川市酒見*3.1

令和元年5月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		久留米市北野町*3.0 みやま市高田町*2.9 筑前町篠隈*2.8 柳川市大和町*2.8 久留米市城島町*2.8 大木町八町牟田*2.7 みやま市瀬高町*2.6 水巻町頃末*2.5 久留米市小森野町*2.5 2 大牟田市有明町*2.4 八女市本町*2.4 筑後市山ノ井*2.4 大刀洗町富多*2.3 遠賀町今古賀*2.3 久留米市田主丸町*2.2 八女市吉田*2.2 うきは市吉井町*2.2 朝倉市宮野*2.2 大牟田市笹林*2.2 久留米市城南町*2.2 小郡市小郡*2.1 福岡広川町新代*2.1 中間市長津*2.1 うきは市浮羽町*2.1 筑前町新町*2.1 八女市矢部村*2.1 久留米市三潞町*2.1 大牟田市昭和町*2.0 宗像市江口神原*1.9 筑前町下高場*1.9 嘉麻市上臼井*1.9 みやま市山川町*1.9 福岡中央区大濠*1.8 福岡中央区舞鶴*1.8 新宮町緑ヶ浜*1.8 福岡南区塩原*1.7 春日市原町*1.7 宗像市東郷*1.7 朝倉市杷木池田*1.7 八女市黒木町今*1.7 添田町添田*1.7 糸島市二丈深江*1.6 行橋市今井*1.6 八女市立花町*1.6 福岡西区今宿*1.6 直方市新町*1.6 粕屋町仲原*1.5 福津市津屋崎*1.5 芦屋町幸町*1.5 みやこ町勝山上田*1.5 東峰村小石原*1.5 福岡博多区博多駅前*1.5 福岡早良区百道浜*1.5 八女市上陽町*1.5 1 福岡空港*1.4 豊前市吉木*1.4 大任町大行事*1.4 宮若市宮田*1.4 福岡野井城*1.4 八女市黒木町北木屋*1.4 大野城市曙町*1.3 中間市中間*1.3 糸田町役場*1.3 福岡川崎町田原*1.3 朝倉市堤*1.3 北九州若松区桜町*1.2 みやこ町犀川本庄*1.2 飯塚市立岩*1.2 飯塚市忠隈*1.2 北九州小倉南区横代東町*1.1 福岡早良区板屋*1.0 北九州八幡東区桃園*0.9 飯塚市川島*0.8 糸島市志摩初*0.7 3 白石町有明*3.4 神埼市千代田*3.4 佐賀市川副*3.1 上峰町坊所*3.1 白石町福富*2.9 小城市芦刈*2.7 佐賀市諸富*2.7 佐賀市東与賀*2.6 みやき町北茂安*2.6 佐賀市久保田*2.5 みやき町三根*2.5 2 白石町福田*2.4 神埼市神埼*2.4 佐賀市駅前中央*2.2 吉野ヶ里町三田川*2.2 佐賀市栄町*2.1 鳥栖市宿町*2.1 江北町山口*2.1 小城市牛津*2.0 佐賀市大和*1.9 太良町多良*1.8 みやき町中原*1.8 小城市三日月*1.6 多久市北多久町*1.5 武雄市武雄町武雄*1.5 武雄市北方*1.5 嬉野市塩田*1.5 1 佐賀鹿島市納富分*1.4 唐津市肥前*1.3 武雄市山内*1.3 武雄市武雄町昭和*1.3 基山町宮浦*1.3 唐津市北波多*1.1 小城市小城*1.1 嬉野市下宿乙*1.1 唐津市呼子*1.0 伊万里市立花町*1.0 佐賀市三瀬*1.0 大町町大町*1.0 嬉野市不動山*1.0 唐津市竹木場*0.8 有田町立部*0.8 唐津市相知*0.7 玄海町諸浦*0.6 長崎県 3 南島原市口之津町*2.8 南島原市西有家町*2.8 南島原市深江町*2.8 南島原市加津佐町*2.8 南島原市布津町*2.7 南島原市北有馬町*2.5 2 雲仙市愛野町*2.4 雲仙市小浜町北本町*2.3 南島原市南有馬町*2.3 諫早市森山町*2.3 島原市有明町*2.3 雲仙市千々石町*2.3 島原市下折橋町*2.2 諫早市多良見町*2.2 雲仙市吾妻町*2.1 雲仙市小浜町雲仙*2.0 雲仙市瑞穂町*2.0 雲仙市国見町*2.0 諫早市飯盛町*1.7 大村市玖島*1.7 松浦市志佐町*1.6 雲仙市雲仙出張所*1.6 平戸市生月町*1.6 平戸市鏡川町*1.5 諫早市高来町*1.5 1 長崎市神浦江川町*1.4 諫早市堂崎町*1.4 壱岐市芦辺町芦辺*1.4 佐世保市鹿町町*1.3 平戸市岩の上町*1.3 東彼杵町蔵本*1.3 長崎市伊王島町*1.3 諫早市東小路町*1.3 時津町浦*1.3 佐世保市小佐々町*1.2 佐々町本田原*1.2 平戸市志々伎町*1.1 平戸市田平町*1.1 松浦市鷹島町*1.1 川棚町中組*1.1 長崎市南山手*1.1 長崎市元町*1.1 長崎市香焼町*1.1 長崎市黒浜町*1.0 西海市崎戸町*1.0 西海市大島町*1.0 佐世保市吉井町*1.0 松浦市福島町*1.0 平戸市大島村*0.9 西海市西海町*0.8 長与町嬉里*0.7 佐世保市世知原町*0.7 壱岐市勝本町*0.6 鳥取県 2 境港市東本町*1.9 境港市上道町*1.9 鳥取市福部町細川*1.5 米子市東町*1.5 1 湯梨浜町久留*1.3 北栄町土下*0.9 湯梨浜町龍島*0.7 米子市淀江町*0.6 琴浦町徳万*0.5 鳥取市吉方*0.5 島根県 2 大田市仁摩町仁万*2.1 浜田市殿町*1.8 益田市常盤町*1.8 出雲市大社町杵築南*1.6 出雲市塩冶有原町*1.5 出雲市今市町*1.5 1 出雲市湖陵町二部*1.4 出雲市平田町*1.0 浜田市三隅町三隅*1.0 出雲市斐川町莊原*0.9 安来市安来町*0.9 益田市匹見町石谷*0.5 高知県 2 宿毛市桜町*2.2 黒潮町佐賀*1.7 宿毛市片島*1.6 1 日高村本郷*1.2 高知市本町*1.1 高知市高須東町*1.1 高知市丸ノ内*1.0 大月町弘見*0.9 南国市オオソネ*0.8 四万十市古津賀*0.8 土佐清水市足摺岬*0.7 安芸市西浜*0.7 四万十町大正*0.5 黒潮町入野*0.5 山口県 2 柳井市南町*2.4 山口市阿東徳佐*2.2 柳井市大島*1.9 周防大島町東和総合支所*1.9 宇部市東須恵*1.9 岩国市今津*1.8 周防大島町平野*1.8 周防大島町小松*1.8 周防大島町久賀*1.7 岩国市横山*1.7 平生町平生*1.5 萩市江向*1.5 宇部市常盤町*1.5 岩国市由宇町*1.5 1 岩国市玖珂町阿山*1.4 岩国市玖珂総合支所*1.4 周防大島町西安下庄*1.4 防府市西浦*1.4 山口市小郡下郷*1.3 下関市清末陣屋*1.2 下関市豊北町角島*1.2 山陽小野田市日の出*1.2 上関町長島*1.2 田布施町下田布施*1.2 周南市桜馬場通り*1.2 萩市須佐*1.1 山口市阿知須*1.1 下関市竹崎*1.1 周南市岐山通り*1.1 和木町和木*1.1 萩市土原*1.0 岩国市周東町下久原*0.9 周南市富田*0.9 下松市大手町*0.9 阿武町奈古*0.8 山口市秋徳東*0.7 兵庫県 岡山県 1 豊岡市桜町*0.9 赤穂市加里屋*0.7 1 真庭市蒜山下福田*1.4 真庭市蒜山上福田*1.3 玉野市宇野*1.3 岡山南区浦安南町*1.2 早島町前潟*1.0 倉敷市水島北幸町*1.0 倉敷市玉島阿賀崎*1.0 倉敷市船穂町*0.9 里庄町里見*0.8 赤磐市上市*0.8 岡山南区片岡*0.8 倉敷市児島小川町*0.8 浅口市金光町*0.7 香川県 1 観音寺市瀬戸町*1.2 観音寺市坂本町*1.1 多度津町家中*0.9 高松市扇町*0.9 土庄町甲*0.6 東かがわ市西村*0.5				

令和元年5月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
35	10 08 52	日向灘 宮崎県	31° 46.5' N	131° 56.4' E	24km	M: 3.9
36	10 09 07	日向灘 宮崎県	31° 46.0' N	131° 56.9' E	24km	M: 4.9
		1 宮崎市松橋*=0.9				
		3 宮崎美郷町田代*=2.6				
		2 宮崎市松橋*=2.3 川南町川南*=2.1 宮崎市霧島=2.1 高鍋町上江*=2.1 木城町高城*=2.0				
		高千穂町三田井=1.9 延岡市北川町川内名白石*=1.9 宮崎市高岡町内山*=1.9 国富町本庄*=1.9				
		宮崎市橋通東*=1.8 延岡市天神小路=1.8 延岡市東本小路*=1.7 西都市上の宮*=1.7				
		西都市聖陵町*=1.7 都城市高崎町大牟田*=1.7 高原町西麓*=1.7 日向市大王谷運動公園=1.6				
		綾町役場*=1.6 都城市山之口町花木*=1.6 小林市真方=1.6 宮崎都農町役場*=1.5				
		延岡市北方町卯*=1.5 新富町上富田=1.5 宮崎市田野町体育館*=1.5				
		1 延岡市北方町未=1.4 延岡市北浦町古江*=1.4 門川町本町*=1.4 高千穂町寺迫*=1.4				
		日南市南郷町南郷*=1.4 綾町南俣健康センター*=1.4 都城市山田町山田*=1.4				
		椎葉村総合運動公園*=1.3 都城市菖蒲原=1.3 小林市野尻町東麓*=1.3 都城市姫城町*=1.2				
		都城市北原*=1.2 日向市亀崎=1.2 日向市富高*=1.2 日南市吾田東*=1.1 三股町五本松*=1.1				
		宮崎市佐土原町下田島*=1.1 宮崎市清武町船引*=1.1 椎葉村下福良*=1.0 日南市油津=1.0				
		日南市中央通*=1.0 日向市東郷町山陰*=1.0 日南市北郷町郷之原*=1.0 宮崎市田野支所*=0.8				
		宮崎美郷町宇納間*=0.8 宮崎美郷町神門*=0.7 延岡市北川町総合支所*=0.7 小林市役所*=0.6				
		日南市北郷町大藤=0.5				
		2 熊本南区富合町*=1.9 産山村山鹿*=1.8 阿蘇市波野*=1.7 宇城市豊野町*=1.7				
		熊本高森町高森*=1.6				
		1 熊本美里町永富*=1.3 氷川町島地*=1.3 宇城市松橋町=1.2 西原村小森*=1.2 合志市竹迫*=1.2				
		あさぎり町須恵*=1.2 芦北町芦北=1.1 山都町浜町*=1.1 南阿蘇村吉田*=1.1 多良木町多良木=1.1				
		多良木町上球磨消防署*=1.1 山都町今*=1.0 阿蘇市一の宮町*=1.0 人吉市蟹作町*=1.0				
		人吉市西間下町=0.9 上天草市大矢野町=0.9 熊本西区春日=0.8 八代市平山新町=0.7 五木村甲*=0.6				
		南阿蘇村中松=0.5				
		2 竹田市直入町*=2.2 豊後大野市清川町*=2.2 佐伯市上浦*=1.7 佐伯市春日町*=1.6				
		竹田市荻町*=1.6 佐伯市蒲江蒲江浦=1.6 臼杵市臼杵*=1.5 津久見市宮本町*=1.5				
		大分市舞鶴町*=1.5				
		1 大分市新春日町*=1.3 佐伯市米水津*=1.3 竹田市久住町*=1.3 竹田市会々*=1.2 佐伯市鶴見*=1.1				
		豊後大野市朝地町*=1.1 佐伯市弥生*=1.0 竹田市竹田小学校*=1.0 豊後大野市三重町=0.7				
		津久見市立花町*=0.6 別府市鶴見=0.5				
		1 西予市明浜町*=1.4				
		1 宿毛市桜町*=0.7				
		1 久留米市津福本町=0.8 福岡空港=0.5				
		1 神崎市千代田*=1.2 白石町有明*=1.0 佐賀市川副*=0.9 上峰町坊所*=0.8 みやま町北茂安*=0.7				
		佐賀市諸富*=0.6 白石町福富*=0.5				
		1 鹿児島空港=1.2 霧島市国分中央*=1.2 始良市蒲生町上久徳*=1.1 大崎町仮宿*=1.1				
		鹿屋市新栄町=1.0 鹿児島市喜入町*=0.8 錦江町田代支所*=0.7 曾於市大隅町中之内*=0.6				
		志布志市志布志町志布志=0.5				
37	10 13 53	日向灘 宮崎県	31° 46.1' N	131° 53.4' E	25km	M: 4.3
		1 宮崎市松橋*=1.4 宮崎市霧島=1.3 国富町本庄*=1.1 宮崎美郷町田代*=1.0 西都市上の宮*=1.0				
		宮崎市橋通東*=0.9 宮崎市田野町体育館*=0.9 小林市真方=0.9 都城市姫城町*=0.8				
		川南町川南*=0.8 小林市野尻町東麓*=0.8 高千穂町三田井=0.7 高鍋町上江*=0.7 日南市油津=0.7				
		日南市吾田東*=0.7 綾町南俣健康センター*=0.5 新富町上富田=0.5				
		1 大崎町仮宿*=0.5				
38	10 18 10	秋田県沿岸北部 秋田県	39° 54.1' N	139° 57.8' E	16km	M: 3.7
		2 井川町北川尻*=2.4 潟上市昭和久保*=1.8 潟上市天王*=1.8 男鹿市角間崎*=1.7				
		潟上市飯田川下虹川*=1.7 男鹿市船川*=1.7				
		1 八郎潟町大道*=1.2 五城目町西磯ノ目=1.0 大潟村中央*=1.0 秋田市八橋運動公園*=1.0				
		三種町鶴川*=0.9 男鹿市男鹿中=0.9 能代市追分町*=0.8				
39	10 19 48	茨城県沖 福島県	36° 50.4' N	141° 22.0' E	44km	M: 3.6
		1 白河市新白河*=0.8				
40	10 20 40	日向灘	31° 45.5' N	131° 53.7' E	27km	M: 4.7
(注)	10 20 40	日向灘	31° 47.5' N	131° 54.2' E	31km	M: 4.2
		2 産山村山鹿*=1.6 熊本南区富合町*=1.5				
		1 熊本高森町高森*=1.4 阿蘇市波野*=1.4 合志市竹迫*=1.4 熊本北区植木町*=1.4				
		熊本美里町永富*=1.3 上天草市五和町*=1.2 氷川町島地*=1.2 宇城市松橋町=1.1				
		あさぎり町須恵*=1.1 多良木町多良木=1.1 芦北町芦北=1.1 八代市平山新町=1.0 人吉市西間下町=0.9				
		多良木町上球磨消防署*=0.9 山都町浜町*=0.8 人吉市蟹作町*=0.8 宇城市三角町*=0.7				
		阿蘇市一の宮町*=0.7 上天草市大矢野町=0.7				
		2 豊後大野市清川町*=1.9 竹田市直入町*=1.8				
		1 佐伯市蒲江蒲江浦=1.4 佐伯市春日町*=1.3 竹田市荻町*=1.3 佐伯市米水津*=1.2 佐伯市弥生*=1.1				
		佐伯市鶴見*=1.0 大分市新春日町*=0.9 竹田市竹田小学校*=0.7				
		2 宮崎美郷町田代*=2.2 宮崎市松橋*=2.1 宮崎市霧島=2.0 国富町本庄*=1.9 高鍋町上江*=1.8				
		高千穂町三田井=1.8 宮崎市橋通東*=1.8 宮崎市高岡町内山*=1.8 都城市高崎町大牟田*=1.8				
		川南町川南*=1.7 宮崎市田野町体育館*=1.7 西都市聖陵町*=1.7 小林市真方=1.7 綾町役場*=1.6				
		西都市上の宮*=1.6 綾町南俣健康センター*=1.5 椎葉村総合運動公園*=1.5 木城町高城*=1.5				
		小林市野尻町東麓*=1.5				

令和元年5月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		1 延岡市天神小路=1.4 新富町上富田=1.4 日南市南郷町南町*=1.4 都城市姫城町*=1.4 高原町西麓*=1.4 延岡市東本小路*=1.3 日向市大王谷運動公園=1.3 宮崎都農町役場*=1.3 宮崎市清武町船引*=1.3 都城市葛蒲原=1.3 都城市山之口町花木*=1.3 延岡市北川町川内名白石*=1.3 椎葉村下福良*=1.2 日南市吾田東*=1.2 門川町本町*=1.1 都城市山田町山田*=1.1 延岡市北方町卯*=1.1 三股町五本松*=1.0 日南市北郷町郷之原*=1.0 日南市油津=1.0 延岡市北浦町古江*=1.0 小林市中原*=0.9 延岡市北方町末=0.9 宮崎市佐土原町下田島*=0.9 宮崎市田野支所*=0.9 日向市亀崎=0.9 日向市東郷町山陰*=0.8 高千穂町寺迫*=0.8 小林市役所*=0.7 日向市富高*=0.7 日南市北郷町大藤=0.5 串間市奈留=0.5 高知県 1 宿毛市桜町*=0.5 福岡県 1 久留米市津福本町=0.7 佐賀県 1 神崎市千代田*=0.9 上峰町坊所*=0.7 佐賀市川副*=0.6 鹿児島県 1 霧島市福山町牧之原*=1.3 大崎町仮宿*=1.3 鹿屋市新栄町=1.2 鹿児島市喜入町*=1.1 始良市蒲生町上久徳*=1.0 錦江町田代支所*=1.0 鹿児島空港=0.9 鹿屋市礼元*=0.9 霧島市国分中央*=0.8 垂水市田神*=0.7 錦江町田代麓=0.6 曾於市大隅町中之内*=0.6 志布志市志布志町志布志=0.6				
41	11 00 33	群馬県北部 群馬県	36° 42.8' N	139° 19.5' E	7km	M: 2.5
		1 沼田市利根町*=1.1 片品村鎌田*=0.7				
42	11 08 59	日向灘 愛媛県	32° 41.4' N	132° 17.6' E	36km	M: 5.0
		4 愛南町一本松*=3.5 3 愛南町船越*=3.4 宇和島市津島町*=3.2 愛南町城辺*=3.2 宇和島市住吉町=2.8 愛南町柏*=2.8 西予市明浜町*=2.7 宇和島市吉田町*=2.7 2 愛南町御荘*=2.4 宇和島市三間町*=2.1 西予市宇和町*=2.0 宇和島市丸穂*=2.0 今治市菊間町*=1.9 松野町松丸*=1.8 八幡浜市五反田*=1.8 愛媛鬼北町近永*=1.8 今治市大西町*=1.7 大洲市大洲*=1.7 西予市三瓶町*=1.7 伊方町湊浦*=1.7 松山市中島大浦*=1.6 今治市大三島町*=1.5 八幡浜市保内町*=1.5 1 大洲市肱川町*=1.3 愛媛鬼北町成川=1.3 内子町平岡*=1.2 西予市野村町=1.1 内子町内子*=1.0 上島町弓削*=1.0 愛媛鬼北町下鍵山*=1.0 西予市城川町*=0.9 伊予市下吾川*=0.9 久万高原町久万*=0.9 八幡浜市広瀬=0.8 大洲市長浜*=0.8 今治市南宝来町二丁目=0.8 松山市北持田町=0.7 松山市富久町*=0.7 松山市北条辻*=0.5 砥部町総津津*=0.5 伊方町三崎*=0.5 高知県 4 宿毛市桜町*=3.9 3 宿毛市片島=3.4 大月町弘見*=2.8 2 黒潮町佐賀*=2.0 四万十市古津賀*=2.0 土佐清水市天神町*=1.9 土佐清水市有永=1.7 土佐清水市足摺岬=1.7 三原村来栖野*=1.6 土佐清水市松尾*=1.5 黒潮町入野=1.5 1 高知市本町=1.4 高知市高須東町*=1.4 高知市丸ノ内*=1.2 高知香南市須賀町坪井*=1.2 四万十市西土佐江川崎*=1.2 日高村本郷*=1.1 中土佐町久礼*=1.0 高知市池*=0.8 安芸市西浜=0.7 土佐市蓮池*=0.7 四万十町琴平町*=0.6 梶原町広野*=0.6 宮崎県 4 延岡市北川町川内名白石*=3.5 3 延岡市北浦町古江*=3.1 高千穂町三田井=2.8 延岡市北川町総合支所*=2.6 延岡市天神小路=2.6 2 延岡市東本小路*=2.2 宮崎美郷町田代*=2.2 延岡市北方町卯*=2.0 高千穂町寺迫*=2.0 門川町本町*=1.8 日向市大王谷運動公園=1.6 宮崎都農町役場*=1.6 延岡市北方町末=1.5 川南町川南*=1.5 宮崎市松橋*=1.5 1 日向市富高*=1.4 日向市東郷町山陰*=1.4 西都市聖陵町*=1.4 高鍋町上江*=1.4 椎葉村総合運動公園*=1.4 五ヶ瀬町三ヶ所*=1.3 日向市亀崎=1.2 西都市上の宮*=1.2 椎葉村下福良*=1.1 国富町本庄*=1.1 小林市真方=1.0 小林市野尻町東麓*=1.0 日之影町岩井川*=0.9 宮崎美郷町宇納間*=0.9 宮崎市霧島=0.9 新富町上富田=0.8 宮崎市田野町体育館*=0.8 綾町南侯健康センター*=0.8 宮崎都農町川北=0.5 熊本県 3 熊本高森町高森*=3.0 産山村山鹿*=2.9 阿蘇市波野*=2.5 2 山都町今*=2.1 南阿蘇村吉田*=2.0 阿蘇市内牧*=1.8 西原村小森*=1.8 熊本美里町永富*=1.8 阿蘇市一の宮町*=1.8 山都町大平*=1.7 宇城市豊野町*=1.6 熊本南区富合町*=1.6 益城町惣領*=1.5 熊本美里町馬場*=1.5 南阿蘇村中松=1.5 1 玉名市横島町*=1.4 熊本西区春日=1.4 長洲町長洲*=1.3 宇城市松橋町=1.3 宇城市三角町*=1.3 宇城市小川町*=1.3 合志市竹迫*=1.3 熊本南区城南町*=1.3 熊本北区植木町*=1.3 人吉市蟹作町*=1.3 あさぎり町岡原*=1.3 天草市五和町*=1.3 菊池市旭志*=1.3 南阿蘇村河陽*=1.2 菊池市隈府*=1.2 宇城市不知火町*=1.2 和水町江田*=1.2 人吉市西間下町=1.1 芦北町芦北=1.1 上天草市大矢野町=1.1 甲佐町豊内*=1.1 熊本東区佐土原*=1.1 山都町浜町*=1.0 多良木町多良木=1.0 多良木町上球磨消防署*=1.0 上天草市姫戸町*=1.0 山鹿市老人福祉センター*=0.9 八代市平山新町=0.7 玉名市中尾*=0.7 水俣市牧ノ内*=0.6 3 豊後大野市清川町*=3.3 佐伯市上浦*=2.9 佐伯市鶴見*=2.9 津久見市宮本町*=2.9 佐伯市米水津*=2.8 佐伯市春日町*=2.8 竹田市荻町*=2.7 佐伯市蒲江蒲江浦=2.6 臼杵市臼杵*=2.5 佐伯市弥生*=2.5 竹田市直入町*=2.5 2 津久見市立花町*=2.4 佐伯市宇目*=2.4 佐伯市直川*=2.2 大分市佐賀関*=2.2 佐伯市役所*=2.2 豊後大野市緒方町*=2.2 竹田市会々*=2.2 佐伯市本匠*=2.0 豊後大野市朝地町*=2.0 豊後大野市千歳町*=2.0 豊後大野市大野町*=2.0 竹田市久住町*=2.0 大分市新春日町*=2.0 豊後大野市三重町=1.9 佐伯市蒲江猪串浦=1.9 竹田市竹田小学校*=1.8 臼杵市野津町*=1.6 佐伯市堅田=1.5 大分市舞鶴町*=1.5 1 臼杵市乙見=1.4 大分市明野北=1.3 由布市湯布院町川上*=1.3 別府市天間=1.2 由布市挾間町*=1.1 由布市庄内町*=1.1 日田市前津江町*=1.1 竹田市直入小学校*=1.1 大分市野津原*=1.0 別府市鶴見=1.0 豊後大野市犬飼町黒松*=0.9 国東市鶴川=0.9 国東市田深*=0.9 中津市植野*=0.7 豊後高田市御玉*=0.6 中津市上官永=0.5 2 府中町大通り*=1.8 江田島市能美町*=1.6 1 尾道市瀬戸田町*=1.4 呉市川尻町*=1.2 呉市安浦町*=1.2 尾道市久保*=1.2 呉市宝町=1.2				
		1 尾道市瀬戸田町*=1.4 呉市川尻町*=1.2 呉市安浦町*=1.2 尾道市久保*=1.2 呉市宝町=1.2				
		2 府中町大通り*=1.8 江田島市能美町*=1.6				
		1 尾道市瀬戸田町*=1.4 呉市川尻町*=1.2 呉市安浦町*=1.2 尾道市久保*=1.2 呉市宝町=1.2				

令和元年5月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		呉市二河町*1.2 竹原市中央*1.1 大崎上島町東野*1.1 尾道市向島町*1.1 呉市広*1.1 東広島市黒瀬町=1.1 坂町役場*1.1 江田島市大柿町*1.1 江田島市沖美町*1.0 呉市音戸町*0.9 大竹市小方*0.8 三原市本郷南*0.8 廿日市市大野*0.8 大崎上島町木江*0.7 広島中区上八丁堀=0.7 呉市豊町*0.7 広島安佐南区祇園*0.6 広島安佐北区可部南*0.6 海田町上市*0.6 安芸高田市向原町*0.6 広島西区己斐*0.5 福岡県 2 久留米市津福本町=1.8 柳川市三橋町*1.8 柳川市本町*1.8 大川市酒見*1.8 みやま市高田町*1.7 久留米市城島町*1.6 福岡空港=1.5 大木町八町牟田*1.5 佐賀県 1 柳川市大和町*1.4 みやま市瀬高町*1.3 八女市矢部村*0.9 2 神埼市千代田*2.0 佐賀市川副*1.7 みやま町三根*1.5 1 佐賀市諸富*1.3 佐賀市東与賀*1.3 佐賀市久保田*1.3 佐賀市駅前中央=1.1 小城市芦刈*1.1 佐賀市大和*1.0 小城市牛津*0.9 みやま町中原*0.7 鹿児島県 2 伊佐市菱刈前目*1.7 1 伊佐市大口鳥巢*0.8 岡山県 1 玉野市宇野*1.0 倉敷市児島小川町*0.8 浅口市金光町*0.7 倉敷市船穂町*0.6 里庄町里見*0.6 徳島県 1 徳島三好市池田総合体育館=0.5 香川県 1 観音寺市坂本町=0.9 多度津町家中=0.7 東かがわ市西村=0.5 山口県 1 柳井市南町*1.1 柳井市大島*1.1 周防大島町東和総合支所*1.0 周防大島町平野*0.9 周防大島町小松*0.9 周防大島町久賀*0.9 岩国市由宇町*0.9 防府市西浦*0.8 岩国市横山*0.8 周防大島町西安下庄*0.8 田布施町下田布施=0.7 平生町平生*0.6 長崎県 1 諫早市森山町*1.1 諫早市多良見町*0.9 南島原市加津佐町*0.9 南島原市北有馬町*0.8 雲仙市小浜町雲仙=0.6				
43	11 12 53	茨城県北部 茨城県 1 日立市助川小学校*0.8	36° 42.8' N	140° 36.6' E	7km	M: 2.9
44	11 14 17	釧路沖 北海道 1 釧路市音別町中園*0.5	42° 24.4' N	144° 38.5' E	48km	M: 2.6
45	12 05 46	奄美大島近海 鹿児島県 1 喜界町滝川=1.0	28° 09.0' N	130° 21.5' E	24km	M: 3.2
46	12 15 07	日向灘 高知県 3 宿毛市桜町*2.8 宿毛市片島=2.5 2 大月町弘見*1.7 1 黒潮町佐賀*0.8 土佐清水市有永=0.6 愛媛県 2 宇和島市津島町*2.3 愛南町一本松*2.3 西予市明浜町*2.2 愛南町船越*2.2 愛南町柏*2.0 宇和島市住吉町=1.7 宇和島市吉田町*1.6 愛南町城辺*1.5 1 愛南町御荘*1.3 西予市宇和町*1.2 宇和島市三間町*1.1 伊方町湊浦*1.1 宇和島市丸穂*1.1 愛媛鬼北町近永*1.0 松野町松丸*1.0 愛媛鬼北町成川=0.5 熊本県 2 熊本高森町高森*2.1 阿蘇市波野*1.9 産山村山鹿*1.6 1 山都町今*1.2 西原村小森*1.0 大分県 2 佐伯市蒲江蒲江浦=2.3 佐伯市米水津*2.2 佐伯市鶴見*2.1 津久見市宮本町*2.0 豊後大野市清川町*1.8 佐伯市春日町*1.8 佐伯市上浦*1.8 竹田市荻町*1.7 1 臼杵市臼杵*1.4 佐伯市直川*1.4 佐伯市弥生*1.4 佐伯市役所*1.1 豊後大野市三重町=1.1 津久見市立花町*1.1 佐伯市宇目*1.0 大分市新春日町*1.0 佐伯市蒲江猪串浦=1.0 豊後大野市千歳町*0.9 佐伯市本匠*0.8 大分市明野北=0.6 宮崎県 2 延岡市北川町川内名白石*2.1 高千穂町三田井=1.9 延岡市北浦町古江*1.8 1 延岡市北川町総合支所*1.4 延岡市天神小路=1.3 高千穂町寺迫*1.0 宮崎美郷町田代*1.0 延岡市東本小路*0.8 日向市大王谷運動公園=0.7 延岡市北方町卯*0.6 延岡市北方町未=0.5 佐賀県 1 神埼市千代田*0.7	32° 42.3' N	132° 17.6' E	37km	M: 4.3
47	13 01 13	日向灘 高知県 1 宿毛市桜町*0.8 大分県 1 佐伯市鶴見*0.6	32° 41.7' N	132° 17.7' E	36km	M: 3.2
48	13 11 58	硫黄島近海 東京都 1 小笠原村母島=1.1	25° 22.0' N	142° 29.0' E	69km	M: 4.7
49	13 14 53	熊本県熊本地方 熊本県 1 八代市泉支所*1.4 八代市坂本町*1.3 八代市泉町=0.6 宇城市小川町*0.6 氷川町島地*0.6	32° 33.9' N	130° 42.8' E	9km	M: 3.0
50	13 15 05	宮城県沖 岩手県 1 一関市千厩町*1.3 一関市大東町=0.7 住田町世田米*0.7 一関市東山町*0.7 一関市室根町*0.5 大船渡市猪川町=0.5 宮城県 1 気仙沼市笹が陣*0.6 石巻市大街道南*0.6 石巻市桃生町*0.6 石巻市雄勝町*0.5	38° 23.8' N	141° 53.1' E	55km	M: 3.7
51	13 18 59	福島県沖 福島県 2 相馬市中村*1.7 福島広野町下北迫大谷地原*1.7 川内村上川内早渡*1.7 天栄村下松本*1.6 福島広野町下北迫苗代替*1.5 1 田村市大越町*1.4 田村市滝根町*1.4 郡山市湖南町*1.3 双葉町両竹*1.3 南相馬市鹿島区西町*1.3 川内村上川内小山平*1.2 檜葉町北田*1.2 西会津町登世島*1.2 会津美里町新鶴庁舎*1.2 国見町藤田*1.1 新地町谷地小屋*1.1 いわき市小名浜=1.1	37° 09.3' N	141° 14.8' E	21km	M: 4.7

令和元年5月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		猪苗代町千代田*=1.1 須賀川市岩瀬支所*=1.1 富岡町本岡*=1.0 鏡石町不時沼*=1.0 田村市船引町=1.0 磐梯町磐梯*=1.0 大熊町野上*=0.9 浪江町幾世橋=0.9 白河市新白河*=0.9 玉川村小高*=0.9 いわき市三和町=0.8 大玉村南小屋=0.8 郡山市朝日=0.8 須賀川市八幡山*=0.7 いわき市平四ツ波*=0.7 二本松市油井*=0.7 二本松市針道*=0.7 浅川町浅川*=0.7 飯館村伊丹沢*=0.7 南相馬市鹿島区柝窪=0.7 南相馬市原町区高見町*=0.7 田村市常葉町*=0.7 猪苗代町城南=0.7 本宮市本宮*=0.7 小野町小野新町*=0.6 川俣町五百田*=0.6 田村市都路町*=0.6 福島市桜木町*=0.5 福島伊達市梁川町*=0.5 会津若松市材木町=0.5 福島伊達市霊山町*=0.5 二本松市金色*=0.5 白河市郭内=0.5 棚倉町棚倉中居野=0.5 南相馬市原町区三島町=0.5 宮城県 1 大崎市古川三日町=1.3 大崎市古川北町*=1.3 大崎市田尻*=1.2 岩沼市桜*=1.1 大崎市松山*=1.1 仙台青葉区作並*=1.0 石巻市桃生町*=1.0 色麻町四籠*=1.0 山元町浅生原*=1.0 蔵王町円田*=0.9 宮城川崎町前川*=0.9 宮城美里町木間塚*=0.9 宮城加美町中新田*=0.9 登米市南方町*=0.9 丸森町鳥屋*=0.8 登米市米山町*=0.8 登米市迫町*=0.8 東松島市矢本*=0.7 亶理町下小路*=0.7 大崎市古川大崎=0.7 名取市増田*=0.7 石巻市大街道南*=0.7 石巻市前谷地*=0.7 山形県 1 大崎市三本木*=0.7 栗原市高清水*=0.6 松島町高城=0.6 角田市角田*=0.6 米沢市林泉寺*=1.0 中山町長崎*=0.8 米沢市アルカディア=0.8 上山市河崎*=0.7 高島町高島*=0.6 西川町大井沢*=0.5 山形川西町上小松*=0.5 茨城県 1 日立市助川小学校*=0.5 新潟県 1 阿賀町鹿瀬中学校*=0.7				
52	13 23 54	熊本県球磨地方 熊本県 1 球磨村渡*=1.3	32° 14.9' N	130° 37.1' E	5km	M: 2.3
53	14 05 29	大分県西部 熊本県 2 産山村山鹿*=1.8 1 阿蘇市波野*=1.3 大分県 1 竹田市久住町*=1.4 竹田市直入町*=1.1 由布市湯布院町川上*=0.9 別府市上野口町*=0.9 由布市庄内町*=0.9 豊後大野市三重町=0.7 竹田市直入小学校*=0.5	33° 06.5' N	131° 11.9' E	3km	M: 3.2
54	14 13 24	千葉県東方沖 千葉県 1 銚子市小畑新町=0.5	35° 43.5' N	140° 59.7' E	36km	M: 3.2
55	14 18 30	父島近海 東京都 1 小笠原村父島三日月山=0.8	27° 18.6' N	142° 43.3' E	41km	M: 4.4
56	15 05 55	北海道東方沖 北海道 1 根室市落石東*=1.4 根室市瑛瑠瑠*=1.3 標津町北2条*=0.9 根室市牧の内*=0.6 別海町常盤=0.6 別海町本別海*=0.6	43° 36.2' N	147° 50.1' E	5km	M: 5.0
57	15 14 24	奄美大島北東沖 鹿児島県 3 南種子町中之上*=2.7 2 南種子町西之*=2.2 屋久島町口永良部島公民館*=2.1 肝付町新富*=2.0 中種子町野間*=2.0 南種子町中之下=1.9 鹿児島十島村諏訪之瀬島*=1.9 鹿屋市新栄町=1.9 屋久島町平内=1.7 屋久島町宮之浦*=1.7 錦江町田代支所*=1.7 鹿児島十島村中之島徳之尾=1.6 屋久島町尾之間*=1.5 南大隅町根占*=1.5 大崎町仮宿*=1.5 1 南さつま市金峰町尾下*=1.4 鹿屋市札元*=1.4 錦江町城元*=1.4 鹿児島十島村悪石島*=1.4 指宿市山川新生町=1.3 南さつま市大浦町*=1.3 屋久島町小瀬田=1.3 鹿屋市吾平町麓*=1.2 鹿屋市串良町岡崎*=1.2 鹿児島市東郡元=1.2 鹿児島市喜入町*=1.2 西之表市住吉=1.2 西之表市役所*=1.2 西之表市西之表=1.1 指宿市十町*=1.1 南九州市頰娃町牧之内*=1.0 錦江町田代麓=0.8 奄美市名瀬港町=0.8 垂水市田神*=0.7 志布志市志布志町志布志=0.6 奄美市笠利町里*=0.6 宮崎県 2 日南市南郷町南郷*=1.6 1 宮崎市松橋*=1.2 都城市菖蒲原=1.1 日南市吾田東*=0.8 高原町西麓*=0.8	29° 44.6' N	130° 41.1' E	36km	M: 5.7
58	15 20 53	茨城県北部 茨城県 1 日立市助川小学校*=0.7 高萩市安良川*=0.5	36° 41.4' N	140° 37.1' E	9km	M: 2.9
59	15 21 38	奄美大島近海 鹿児島県 2 喜界町滝川=2.2 1 奄美市笠利町里*=1.3 奄美市名瀬港町=0.6	28° 06.3' N	130° 24.9' E	24km	M: 4.0
60	15 21 39	奄美大島近海 鹿児島県 1 喜界町滝川=0.8	28° 10.2' N	130° 25.4' E	24km	M: 3.4
61	17 01 04	岩手県沖 岩手県 1 釜石市中妻町*=1.3 釜石市只越町=1.3 住田町世田米*=1.2 一関市千厩町*=1.1 大船渡市大船渡町=0.9 一関市室根町*=0.7 山田町八幡町=0.6 山田町大沢*=0.6 一関市大東町=0.5 宮城県 1 気仙沼市笹が陣*=1.4 気仙沼市唐桑町*=0.9 気仙沼市赤岩=0.8 南三陸町志津川=0.8	39° 06.0' N	142° 12.2' E	43km	M: 3.9
62	17 14 42	島根県西部 島根県 2 大田市大田町*=1.6 1 大田市仁摩町仁万*=1.4 大田市温泉津町小浜*=1.3 島根美郷町粕淵*=1.2 島根美郷町都賀本郷*=1.0 雲南市三刀屋町三刀屋*=0.9 川本町川本*=0.8 島根美郷町君谷=0.7	35° 11.1' N	132° 35.3' E	13km	M: 3.3

令和元年5月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
63	17 16 21	大阪府北部 京都府 1 宇治市宇治琵琶=0.7	34° 52.8' N	135° 40.6' E	12km	M: 2.3
64	17 23 00	小笠原諸島西方沖 東京都 1 小笠原村母島=0.6	28° 07.2' N	140° 08.0' E	448km	M: 4.6
65	18 00 18	胆振地方中東部 北海道 1 むかわ町穂別*=1.0	42° 48.3' N	142° 08.1' E	0km	M: 2.0
66	18 03 27	日向灘 愛媛県 高知県 大分県 宮崎県 1 愛南町船越*=1.1 1 宿毛市桜町*=1.2 宿毛市片島=0.6 1 佐伯市蒲江蒲江浦=1.3 佐伯市鶴見*=1.2 佐伯市米水津*=0.9 1 延岡市北浦町古江*=0.7	32° 42.7' N	132° 17.5' E	36km	M: 3.5
67	18 10 18	宮城県北部 岩手県	38° 54.4' N	141° 35.3' E	78km	M: 4.6
		3 釜石市中妻町*=2.9 大船渡市大船渡町=2.8 住田町世田米*=2.8 一関市千厩町*=2.8 一関市室根町*=2.8 一関市東山町*=2.7 平泉町平泉*=2.6 北上市相去町*=2.5 2 奥州市江刺*=2.4 奥州市胆沢*=2.4 奥州市衣川*=2.3 一関市藤沢町*=2.3 山田町大沢*=2.3 花巻市東和町*=2.3 遠野市青笹町*=2.2 矢巾町南矢幅*=2.2 花巻市大迫町=2.1 釜石市只越町=2.1 陸前高田市高田町*=2.1 金ヶ崎町西根*=2.0 紫波町紫波中央駅前*=2.0 遠野市宮守町*=2.0 北上市柳原町=2.0 西和賀町沢内川舟*=1.9 奥州市水沢佐倉河*=1.9 一関市大東町=1.9 一関市花泉町*=1.9 西和賀町沢内太田*=1.8 奥州市水沢大鐘町=1.8 大船渡市猪川町=1.8 花巻市石鳥谷町*=1.8 花巻市大迫総合支所*=1.8 盛岡市渋民*=1.8 八幡平市田頭*=1.7 一関市川崎町*=1.7 山田町八幡町=1.7 宮古市川井*=1.6 宮古市区界*=1.6 西和賀町川尻*=1.6 花巻市材木町*=1.6 盛岡市山王町=1.6 宮古市田老*=1.6 普代村銅屋*=1.5 盛岡市馬場町*=1.5 盛岡市藪川*=1.5 1 大船渡市盛町*=1.4 田野畑村田野畑=1.2 宮古市鍛ヶ崎=1.2 滝沢市鶴飼*=1.2 八幡平市大更=1.1 宮古市五月町*=1.1 大槌町小釜*=1.0 雫石町千刈田=1.0 宮古市茂市*=1.0 久慈市枝成沢=1.0 一関市竹山町*=1.0 二戸市浄法寺町*=0.9 八幡平市叭田*=0.9 宮古市長沢=0.8 九戸村伊保内*=0.7 岩手町五日市*=0.7 葛巻町葛巻元木=0.7 軽米町軽米*=0.7 久慈市川崎町=0.6 久慈市長内町*=0.5 田野畑村役場*=0.5				
		宮城県 3 気仙沼市笹が陣*=2.8 大崎市鳴子*=2.8 気仙沼市唐桑町*=2.7 気仙沼市赤岩=2.6 栗原市高清水*=2.6 大崎市田尻*=2.6 仙台青葉区作並*=2.6 南三陸町志津川=2.5 栗原市栗駒=2.5 栗原市花山*=2.5 栗原市瀬峰*=2.5 2 涌谷町新町裏=2.4 栗原市一迫*=2.4 登米市登米町*=2.4 登米市豊里町*=2.3 大崎市古川大崎=2.3 亘理町下小路*=2.2 仙台青葉区大倉=2.2 石巻市桃生町*=2.2 塩竈市旭町*=2.2 名取市増田*=2.1 岩沼市桜*=2.1 石巻市北上町*=2.1 登米市米山町*=2.1 栗原市築館*=2.0 栗原市鶯沢*=2.0 登米市中田町=2.0 宮城加美町小野田*=2.0 大崎市古川三日町=1.9 大崎市古川北町*=1.9 宮城加美町中新田*=1.9 角田市角田*=1.9 宮城川崎町前川*=1.9 色麻町四竈*=1.9 登米市南方町*=1.9 南三陸町歌津*=1.9 仙台宮城野区苦竹*=1.8 石巻市大街道南*=1.8 石巻市前谷地*=1.8 登米市石越町*=1.8 登米市津山町*=1.7 栗原市金成*=1.7 栗原市若柳*=1.7 東松島市矢本*=1.7 松島町高城=1.7 大崎市松山*=1.7 石巻市泉町=1.7 登米市東和町*=1.6 大崎市岩出山*=1.6 蔵王町円田*=1.6 登米市迫町*=1.6 栗原市志波姫*=1.6 気仙沼市本吉町津谷*=1.6 宮城美里町北浦*=1.6 宮城加美町宮崎*=1.6 仙台宮城野区五輪=1.5 気仙沼市本吉町西川内=1.5 東松島市小野*=1.5 大崎市鹿島台*=1.5 1 柴田町船岡=1.4 仙台若林区遠見塚*=1.4 仙台区将監*=1.4 大衡村大衡*=1.4 大郷町柏川*=1.3 山元町浅生原*=1.3 大河原町新南*=1.3 仙台太白区山田*=1.3 仙台空港=1.3 石巻市相野谷*=1.3 利府町利府*=1.3 石巻市大瓜=1.2 宮城美里町木間塚*=1.2 仙台青葉区落合*=1.2 仙台青葉区雨宮*=1.1 村田町村田*=1.1 女川町女川浜*=1.1 石巻市雄勝町*=1.1 多賀城市中央*=1.0 丸森町鳥屋*=1.0 富谷市富谷*=0.9 七ヶ浜町東宮浜*=0.9 石巻市鮎川浜*=0.9 七ヶ宿町関*=0.7 大和町吉岡*=0.6 大崎市三本木*=0.6 白石市亘理町*=0.6 丸森町上滝=0.5				
		青森県 2 階上町道仏*=1.5				
		秋田県 1 八戸市南郷*=0.9 青森南部町苔米地*=0.8 八戸市湊町=0.7 八戸市内丸*=0.5 五戸町古館=0.5 2 大仙市大曲花園町*=1.9 湯沢市川連町*=1.8 大仙市北長野*=1.8 仙北市角館町小勝田*=1.8 横手市大雄*=1.7 湯沢市皆瀬*=1.7 秋田美郷町六郷東根=1.7 大仙市刈和野*=1.7 仙北市角館町東勝楽丁=1.7 東成瀬村田子内*=1.6 仙北市西木町上桧木内*=1.6				
		1 横手市雄物川町今宿=1.4 湯沢市沖鶴=1.4 湯沢市寺沢*=1.4 東成瀬村椿川*=1.4 大仙市神宮寺*=1.3 秋田美郷町土崎*=1.2 仙北市田沢湖生保内上清水*=1.2 羽後町西馬音内*=1.2 大仙市太田町太田*=1.1 横手市大森町*=1.1 横手市中央町*=1.0 仙北市田沢湖生保内宮ノ後*=1.0 湯沢市佐竹町*=0.9 湯沢市横堀*=0.9 横手市十字町*=0.9 横手市山内土淵*=0.9 秋田市河辺和田*=0.8 由利本荘市前郷*=0.8 仙北市西木町上荒井*=0.8 横手市増田町増田*=0.8 大仙市南外*=0.8 仙北市田沢湖田沢*=0.7 五城目町西磯ノ目=0.7 秋田市雄和新波*=0.7 横手市安田柳堤地内*=0.6 由利本荘市鳥海町伏見*=0.5 大仙市協和境唐松岳*=0.5				
		山形県 2 河北町谷地=1.5 1 尾花沢市若葉町*=1.4 中山町長崎*=1.2 東根市中央*=1.1 河北町役場*=1.1 最上町向町*=1.0 村山市中央*=1.0 天童市老野森*=1.0 山辺町緑ヶ丘*=1.0 寒河江市中央*=0.9 舟形町舟形*=0.9 戸沢村古口*=0.9 上山市河崎*=0.8 新庄市東谷地田町=0.8 大蔵村清水*=0.8 大石田町緑町*=0.8 寒河江市西根*=0.7 大江町左沢*=0.6 山形市薬師町*=0.6 鮎川村佐渡*=0.5				
		福島県 1 国見町藤田*=1.3 田村市常葉町*=1.3 福島伊達市霊山町*=1.3 新地町谷地小屋*=1.3 飯館村伊丹沢*=1.3 二本松市針道*=1.2 川俣町五百田*=1.2 相馬市中村*=1.2 双葉町両竹*=1.2 田村市都路町*=1.1 本宮市本宮*=1.1 南相馬市原町区三島町=1.1 南相馬市原町区高見町*=1.1 南相馬市鹿島区西町*=1.1 二本松市油井*=1.0 玉川村小高*=1.0 田村市船引町=1.0				

令和元年5月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		川内村上川内早渡*=1.0 福島市五老内町*=1.0 南相馬市小高区*=1.0 田村市滝根町*=0.9 檜葉町北田*=0.9 福島市松木町*=0.9 浪江町幾世橋=0.9 桑折町東大隅*=0.9 福島市桜木町*=0.8 いわき市三和町=0.8 葛尾村落合落合*=0.8 小野町中通*=0.8 南相馬市鹿島区栢窪=0.8 田村市大越町*=0.8 小野町小野新町*=0.7 福島伊達市梁川町*=0.7 川内村下川内=0.6 川内村上川内小山平*=0.6 天栄村下松本*=0.6 須賀川市八幡山*=0.6 須賀川市岩瀬支所*=0.6 富岡町本岡*=0.6 福島広野町下北迫大谷地原*=0.5 大熊町野上*=0.5				
68	18 21 56	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 51.9' N	142° 01.7' E	46km	M: 3.3
		1 大船渡市猪川町=0.9 一関市千厩町*=0.9 一関市室根町*=0.8 1 気仙沼市笹が陣*=0.6				
69	19 02 56	北海道東方沖 北海道	43° 18.4' N	147° 05.4' E	29km	M: 4.3
		1 根室市瑛瑤瑠*=0.8				
70	19 05 39	千葉県西北部 千葉県	35° 38.9' N	140° 03.4' E	68km	M: 3.0
		1 千葉中央区都町*=0.6 千葉稲毛区園生町*=0.5				
71	19 08 53	静岡県東部 神奈川県 静岡県	35° 13.0' N	138° 59.7' E	2km	M: 2.6
		1 箱根町湯本*=0.6 湯河原町中央=0.6 1 熱海市泉*=1.0 裾野市石脇*=0.8 三島市東本町=0.6				
72	19 10 59	日向灘 大分県 宮崎県	31° 56.6' N	131° 53.2' E	29km	M: 4.0
		1 佐伯市蒲江蒲江浦=0.5 1 西都市上の宮*=1.4 川南町川南*=1.4 高鍋町上江*=1.2 宮崎美郷町田代*=1.2 延岡市天神小路=0.8 宮崎都農町役場*=0.8 日向市大王谷運動公園=0.8 高千穂町三田井=0.7 西都市聖陵町*=0.7 門川町本町*=0.5				
73	19 23 50	日向灘 愛媛県	32° 38.1' N	132° 15.9' E	31km	M: 4.0
		2 西予市明浜町*=1.8 愛南町一本松*=1.6 1 愛南町船越*=1.4 宇和島市吉田町*=1.3 愛南町城辺*=1.3 西予市宇和町*=1.1 伊方町湊浦*=1.1 宇和島市津島町*=1.0 宇和島市住吉町=1.0 宇和島市三間町*=0.8 愛南町柏*=0.7 八幡浜市五反田*=0.7 松野町松丸*=0.6 愛南町御荘*=0.5				
		高知県 2 宿毛市桜町*=1.9 1 宿毛市片島=1.3 大月町弘見*=1.3				
		大分県 1 佐伯市上浦*=1.2 大分市佐賀関*=1.1 臼杵市臼杵*=1.1 佐伯市蒲江蒲江浦=1.1 津久見市宮本町*=1.0 佐伯市鶴見*=1.0 津久見市立花町*=0.6 大分市新春日町*=0.5				
		宮崎県 1 高千穂町三田井=0.6 延岡市北浦町古江*=0.5				
74	20 07 48	千葉県南東沖 千葉県	35° 00.0' N	140° 04.6' E	17km	M: 3.9
		3 鴨川市横渚*=2.5 2 鴨川市八色=2.4 南房総市岩糸*=2.4 南房総市谷向*=2.2 館山市北条*=1.7 南房総市上堀=1.7 南房総市和田町*=1.6 鋸南町下佐久間*=1.5 館山市長須賀=1.5 南房総市富浦町青木*=1.5 南房総市千倉町瀬戸*=1.5 1 鴨川市天津*=1.3 南房総市白浜町白浜*=1.3 勝浦市墨名=1.1 勝浦市新官*=1.1 君津市久留里市場*=0.9 市原市姉崎*=0.6 長南町総合グラウンド=0.5				
		神奈川県 1 三浦市城山町*=0.6 横浜市中区山手町=0.5				
75	20 15 25	宮城県沖 岩手県	38° 26.1' N	141° 49.5' E	56km	M: 3.5
		1 一関市千厩町*=0.9				
76	20 17 04	新島・神津島近海 東京都	34° 20.8' N	139° 13.9' E	6km	M: 2.1
		1 新島村大原=1.2 新島村式根島=1.0 新島村本村*=1.0				
77	20 21 22	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 17.3' N	129° 19.5' E	15km	M: 2.6
		1 鹿児島十島村悪石島*=0.9				
78	21 06 59	熊本県熊本地方 熊本県	32° 38.6' N	130° 42.5' E	13km	M: 2.8
		1 宇城市豊野町*=1.2 宇城市不知火町*=1.0 宇土市浦田町*=0.8 嘉島町上島*=0.6 熊本美里町永富*=0.5				
79	21 07 17	大阪府北部 京都府	34° 53.4' N	135° 35.7' E	11km	M: 3.5
		3 八幡市八幡*=2.5 2 大山崎町円明寺*=2.3 京都伏見区向島*=2.1 久御山町田井*=2.1 宇治市宇治琵琶=2.0 長岡京市開田*=1.9 亀岡市余部町*=1.9 京都西京区大枝*=1.6 京都伏見区淀*=1.5 向日市寺戸町*=1.5 京都伏見区久我*=1.5 宇治市折居台*=1.5 1 亀岡市安町=1.4 城陽市寺田*=1.4 井手町井手*=1.3 南丹市園部町小桜町*=1.2 京都西京区榎原*=1.2 京都下京区河原町塩小路*=1.1 京都伏見区醍醐*=1.1 京都左京区田中*=1.1 精華町南稲八妻*=1.1 京田辺市田辺*=1.0 京都山科区安朱川向町*=1.0 宇治市原町荒木*=1.0 京都伏見区竹田*=0.9 京都市中京区河原町御池*=0.9 南丹市八木町八木*=0.9 京都南区西九条*=0.9 京都中京区西ノ京=0.8 木津川市山城町上狛*=0.6 京都右京区太秦*=0.5 木津川市木津*=0.5				
		大阪府 2 高槻市桃園町=2.2 島本町若山台*=2.2 枚方市大垣内*=2.0 高槻市消防本部*=1.9 交野市私部*=1.9 豊能町余野*=1.7 高槻市立第2中学校*=1.6 1 箕面市粟生外院*=1.4 寝屋川市役所*=1.2 茨木市東中条町*=1.1 箕面市箕面=0.9				

令和元年5月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
80	22 18 20	滋賀県 兵庫県 奈良県 茨城県北部 茨城県	36° 28.5' N	140° 31.8' E	58km	M: 3.4
		四條畷市西中野*=0.8 大阪東淀川区北江口*=0.8 豊中市役所*=0.6 摂津市三島*=0.6 能勢町役場*=0.6 八尾市本町*=0.5 豊中市曾根南町*=0.5 門真市中町*=0.5 1 湖西市石部中央西庁舎*=0.6 大津市南郷*=0.6 1 西宮市宮前町=0.8 1 高取町観音寺*=1.2 大和郡山市北郡山町*=1.0 橿原市八木町*=0.8 生駒市東新町*=0.8 御所市役所*=0.7 吉野町上市*=0.6				
81	23 00 38	鹿児島県薩摩地方 鹿児島県	31° 20.5' N	130° 33.8' E	8km	M: 2.2
		1 鹿児島市喜入町*=0.7				
82	23 01 20	愛媛県南予 愛媛県 山口県 大分県	33° 28.9' N	132° 16.1' E	47km	M: 3.5
		1 宇和島市三間町*=1.4 八幡浜市五反田*=1.4 西予市三瓶町*=1.2 伊方町湊浦*=1.0 大洲市肱川町*=1.0 西予市明浜町*=0.9 八幡浜市保内町*=0.8 宇和島市丸穂*=0.7 八幡浜市広瀬=0.7 松野町松丸*=0.7 内子町内子*=0.6 久万高原町久万*=0.6 大洲市長浜*=0.6 大洲市大洲*=0.6 1 周防大島町平野*=0.8 周防大島町東和総合支所*=0.6 1 国東市田深*=0.7 臼杵市臼杵*=0.7 国東市鶴川=0.5				
83	23 09 02	日向灘 宮崎県	31° 56.1' N	131° 52.9' E	27km	M: 3.8
		1 宮崎市霧島=0.6 高鍋町上江*=0.5				
84	23 14 13	奄美大島近海 鹿児島県	27° 56.2' N	128° 54.4' E	45km	M: 3.9
		2 伊仙町伊仙*=2.0 天城町平土野*=1.7 瀬戸内町与路島*=1.6 瀬戸内町西古見=1.6 瀬戸内町請島*=1.6 1 宇検村湯湾*=1.4 瀬戸内町加計呂麻島*=1.2 奄美市名瀬港町=1.2 瀬戸内町古仁屋*=1.1 徳之島町亀津*=0.8 大和村思勝*=0.6 天城町当部=0.6				
85	23 15 51	富山県西部 富山県	36° 22.5' N	136° 52.6' E	8km	M: 2.2
		1 南砺市上平細島*=1.4				
86	23 19 20	福岡県筑後地方 福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県	33° 04.3' N	130° 29.9' E	13km	M: 3.7
		2 大牟田市昭和町*=2.3 みやま市高田町*=2.3 柳川市大和町*=2.2 柳川市三橋町*=2.1 みやま市瀬高町*=2.0 柳川市本町*=1.8 大木町八町牟田*=1.8 大川市酒見*=1.7 筑後市山ノ井*=1.5 大牟田市有明町*=1.5 大牟田市笹林=1.5 1 久留米市津福本町=1.4 福岡広川町新代*=1.4 筑前町下高場=1.4 小郡市小郡*=1.3 久留米市北野町*=1.3 八女市吉田*=1.3 朝倉市杷木池田*=1.3 八女市本町*=1.3 みやま市山川町*=1.2 八女市立花町*=1.2 久留米市城島町*=1.1 久留米市三潴町*=1.1 八女市黒木町今*=1.1 大刀洗町富多*=1.1 朝倉市堤*=1.0 八女市上陽町*=0.9 朝倉市菩提寺*=0.8 飯塚市長尾*=0.8 八女市黒木町北木屋=0.8 久留米市小森野町*=0.8 2 佐賀市栄町*=1.7 1 佐賀市駅前中央=1.4 佐賀市川副*=1.4 小城市芦刈*=1.3 佐賀市諸富*=1.2 みやま町三根*=1.1 佐賀市東与賀*=1.0 佐賀市久保田*=1.0 武雄市山内*=1.0 白石町福田*=1.0 白石町福富*=1.0 みやま町中原*=1.0 佐賀市大和*=1.0 佐賀市三瀬*=1.0 吉野ヶ里町三田川*=0.9 江北町山口*=0.8 唐津市厳木町*=0.8 小城市三日月*=0.8 小城市小城*=0.8 佐賀市富士町*=0.8 小城市牛津*=0.8 鳥栖市宿町*=0.8 多久市北多久町*=0.8 唐津市相知*=0.7 太良町多良=0.7 嬉野市下宿乙*=0.7 上峰町坊所*=0.7 武雄市武雄町昭和*=0.6 武雄市北方*=0.5 2 島原市有明町*=1.5 1 島原市下折橋町*=1.1 雲仙市国見町=1.0 2 荒尾市宮内出目*=2.1 和水町江田*=1.9 玉名市築地=1.8 長洲町長洲*=1.7 山鹿市菊鹿町*=1.5 1 玉名市岱明町*=1.4 菊池市旭志*=1.4 和水町板橋*=1.4 熊本北区植木町*=1.4 山鹿市鹿央町*=1.3 山鹿市老人福祉センター*=1.2 玉名市中尾*=1.1 南関町関町*=1.1 玉東町木葉*=1.0 山鹿市鹿本町*=0.9 山鹿市鹿北町*=0.9 菊池市隈府*=0.8 玉名市横島町*=0.7 山鹿市山鹿*=0.7 菊池市七城町*=0.6 大津町引水*=0.5 上天草市大矢野町=0.5				
87	23 23 22	長野県北部 長野県	36° 54.9' N	138° 34.3' E	4km	M: 2.0
		1 栄村北信*=0.6				
88	24 04 09	新潟県中越地方 新潟県	37° 29.3' N	138° 42.0' E	28km	M: 2.8
		1 出雲崎町米田=0.6				
89	24 04 19	岐阜県美濃中西部 岐阜県	35° 45.6' N	136° 52.8' E	12km	M: 2.8
		1 郡上市八幡町旭*=1.1 郡上市和良町*=0.6				
90	24 09 58	胆振地方中東部 北海道	42° 43.8' N	141° 59.6' E	36km	M: 2.8
		1 厚真町鹿沼=1.3				

令和元年5月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
91	24 12 40	埼玉県南部 栃木県	35° 57.0' N	139° 24.8' E	106km	M: 4.1
		茨城県				
		群馬県				
		埼玉県				
		千葉県				
		神奈川県				
		福島県				
		東京都				

令和元年5月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
92	24 13 25	山梨県 1 東京江東区越中島*0.5 東京品川区北品川*0.5 日野市神明*0.5 東京世田谷区世田谷*0.5 清瀬市中清戸*0.5 東京渋谷区宇田川町*0.5 1 甲府市古閑町*1.0 山梨北杜市長坂町*1.0 富士川町鯉沢*1.0 富士河口湖町船津*0.8 大月市御太刀*0.7 上野原市役所*0.7 甲州市塩山上於曾*0.6 大月市大月*0.6 長野県 1 佐久市下小田切*1.2 長野南牧村海ノ口*0.8 佐久徳町畑*0.7 静岡県 1 伊豆市中伊豆グラウンド=1.1 熱海市泉*0.6 熱海市網代=0.5	34° 05.5' N	135° 34.7' E	62km	M: 3.8
		奈良県 1 松阪市上川町*0.6 松阪市魚町*0.6 津市白山町川口*0.5 名張市鴻之台*0.5 尾鷲市南浦*0.5 三重県 1 甲賀市信楽町*1.1 滋賀県 1 和東町釜塚*1.0 京都府 1 南あわじ市福良=0.6 兵庫県 1 広陵町南郷*1.2 奈良川上村迫*1.1 高取町観音寺*1.0 御所市役所*1.0 桜井市初瀬=0.9 奈良県 1 宇陀市大宇陀迫間*0.9 御杖村菅野*0.9 吉野町上市*0.7 天川村洞川=0.6 葛城市柿本*0.6 葛城市長尾*0.6 大和郡山市北郡山町*0.6 橿原市八木町*0.6 大和高田市野口*0.5 香芝市本町*0.5 奈良川西町結崎*0.5 三宅町伴堂*0.5 宇陀市菟田野松井*0.5 宇陀市榛原下井足*0.5 桜井市栗殿*0.5 和歌山県 1 御坊市菌=1.2 日高川町土生*1.1 新宮市熊野川町日足*1.1 田辺市中辺路町近露=1.0 田辺市本宮町本宮*0.9 湯浅町青木*0.8 みなべ町土井=0.8 田辺市中辺路町栗栖川*0.7 田辺市鮎川*0.7 高野町高野山中学校=0.7 白浜町日置*0.7 新宮市新宮=0.6 かつらぎ町花園梁瀬*0.6 古座川町高池=0.5				
93	25 04 48	山梨県中・西部 1 山梨南部町栄小学校*0.6	35° 17.0' N	138° 28.2' E	18km	M: 2.2
94	25 15 20	千葉県北東部 千葉県 5弱 長南町長南*4.5 4 市原市姉崎*4.4 長南町総合グラウンド=4.3 大網白里市大網*3.9 長柄町桜谷*3.9 一宮町一宮=3.8 東金市日吉台*3.7 千葉美浜区ひび野=3.6 千葉緑区おゆみ野*3.6 浦安市猫実*3.6 東金市東岩崎*3.5 東金市東新宿=3.5 君津市久留里市場*3.5 山武市埴谷*3.5 3 茂原市道表*3.4 千葉中央区都町*3.4 市原市国分寺台中央*3.4 千葉中央区中央港=3.3 千葉中央区千葉市役所*3.3 浦安市日の出=3.3 船橋市湊町*3.2 木更津市富士見*3.2 大多喜町大多喜*3.2 山武市殿台*3.2 山武市松尾町富士見台=3.1 九十九里町片貝*3.1 四街道市鹿渡*3.1 千葉花見川区花島町*3.1 君津市久保*3.1 千葉若葉区小倉台*3.1 いすみ市岬町長者*3.1 千葉美浜区稲毛海岸*3.1 白子町閑*3.1 いすみ市国府台*3.0 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*3.0 山武市蓮沼ニ*3.0 芝山町小池*3.0 八街市八街*3.0 長生村本郷*2.9 木更津市太田=2.9 いすみ市大原*2.9 習志野市鷺沼*2.9 勝浦市墨名=2.9 勝浦市新官*2.9 横芝光町栗山*2.8 山武市蓮沼ハ*2.8 山武市松尾町五反田*2.8 市川市南八幡*2.8 睦沢町下之郷*2.7 千葉稲毛区園生町*2.7 富津市下飯野*2.7 八千代市大和田新田*2.6 御宿町須賀*2.6 千葉佐倉市海隣寺町*2.6 旭市南堀之内*2.6 白井市復*2.6 袖ヶ浦市坂戸市場*2.6 多古町多古=2.5 2 旭市萩園*2.4 香取市仁良*2.4 松戸市西馬橋*2.4 柏市旭町=2.4 印西市笠神*2.4 鴨川市横渚*2.4 船南町下佐久間*2.4 南房総市岩糸*2.4 旭市高生*2.3 匝瑳市今泉*2.3 横芝光町宮川*2.3 印西市大森*2.3 酒々井町中央台*2.3 鴨川市八色=2.3 旭市ニ*2.2 野田市鶴奉*2.2 富里市七栄*2.2 館山市北条*2.2 成田国際空港=2.2 成田市中台*2.2 流山市平和台*2.2 印西市美瀬*2.1 匝瑳市八日市場ハ*2.1 鴨川市内浦=2.1 松戸市根本*2.1 南房総市谷向*2.1 成田市役所*2.1 香取市役所*2.0 香取市岩部*2.0 南房総市白浜町白浜*2.0 野田市東宝珠花*2.0 柏市柏*2.0 柏市大島田*2.0 香取市佐原平田=2.0 館山市長須賀=2.0 南房総市富浦町青木*1.9 神崎町神崎本宿*1.9 香取市佐原諏訪台*1.9 栄町安食台*1.8 香取市羽根川*1.8 鴨川市天津*1.8 成田市名古屋=1.8 銚子市若宮町*1.8 銚子市小畑新町=1.7 南房総市千倉町瀬戸*1.7 成田市松子*1.7 成田市猿山*1.6 南房総市上堀=1.6 東庄町笹川*1.5 我孫子市我孫子*1.5 南房総市和田町*1.5 銚子市川口町=1.5 1 南房総市久枝*1.1 4 東京中央区勝どき*3.6 3 東京千代田区大手町=3.3 東京江戸川区船堀*3.2 東京江東区越中島*3.1 東京江東区枝川*3.1 東京江東区青海=3.0 東京江東区東陽*3.0 東京大田区多摩川*3.0 東京港区海岸=2.9 東京大田区本羽田*2.9 東京足立区神明南*2.9 東京足立区千住中居町*2.8 東京足立区伊興*2.8 東京江戸川区中央=2.8 東京品川区北品川*2.8 東京品川区平塚*2.8 東京荒川区東尾久*2.7 東京江東区亀戸*2.7 東京葛飾区立石*2.7 東京葛飾区金町*2.7 東京台東区千束*2.7 東京墨田区東向島*2.7 東京国際空港=2.7 東京北区西ヶ原*2.7 東京渋谷区本町*2.6 東京墨田区吾妻橋*2.6 東京練馬区東大泉*2.6 東京江東区森下*2.6 東京江戸川区鹿骨*2.6 東京千代田区富士見*2.6 東京千代田区麴町*2.6 東京大田区大森東*2.6 東京港区白金*2.6 東京渋谷区宇田川町*2.6 東京品川区広町*2.5 東京新宿区西新宿=2.5 東京新宿区上落合*2.5 東京中央区築地*2.5 東京墨田区横川=2.5 2 東京中央区日本橋兜町*2.4 東京港区芝公園*2.4 東京大田区蒲田*2.4 東京荒川区荒川*2.4 東京板橋区相生町*2.4 東京世田谷区三軒茶屋*2.3 東京中野区中野*2.3 東京北区神谷*2.3 東京足立区中央本町*2.3 町田市本町田*2.3 小金井市本町*2.3 東村山市本町*2.2 西東京市中町*2.2 東京杉並区桃井*2.2 東京世田谷区成城*2.1 東京中野区江古田*2.1 東京府中市朝日町*2.1 小平市小川町*2.1 東京新宿区百人町*2.1 東京文京区スポーツセンター*2.1 東京目黒区中央町*2.1 東京世田谷区世田谷*2.1 調布市西つつじヶ丘*2.0 東京文京区大塚*2.0 東京中野区中央*2.0 東京板橋区高島平*2.0 東京板橋区板橋*2.0 東京杉並区高井戸*1.9 東京豊島区南池袋*1.9 八王子市堀之内*1.9	35° 21.4' N	140° 17.4' E	38km	M: 5.1
		東京都				

令和元年5月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>東京台東区東上野*=1.9 国分寺市本多*=1.9 稲城市東長沼*=1.8 国分寺市戸倉=1.8 清瀬市中里*=1.8 東大和市中央*=1.7 東京練馬区光が丘*=1.7 八王子市石川町*=1.7 町田市忠生*=1.7 東久留米市本町*=1.6 武蔵村山市本町*=1.6 多摩市関戸*=1.6 日野市神明*=1.6 狛江市和泉本町*=1.6 調布市小島町*=1.5 東京杉並区阿佐谷=1.5 1 武蔵野市緑町*=1.4 武蔵野市吉祥寺東町*=1.4 三鷹市野崎*=1.4 東京府中市寿町*=1.4 町田市森野*=1.4 国立市富士見台*=1.4 清瀬市中清戸*=1.4 昭島市田中町*=1.3 伊豆大島町波浮港*=1.3 伊豆大島町差木地=1.2 立川市泉町*=1.2 瑞穂町箱根ヶ崎*=1.2 八王子市大横町=1.1 多摩市鶴牧*=1.1 青梅市日向和田*=1.1 三宅村坪田=0.9 あさる野市伊奈*=0.9 東京利島村東山=0.8 三宅村神着=0.7 羽村市緑ヶ丘*=0.7 伊豆大島町元町=0.7 3 筑西市舟生=2.5 2 取手市井野*=2.4 坂東市岩井*=2.4 取手市藤代*=2.3 稲敷市伊佐津*=2.3 潮来市辻*=2.3 つくばみらい市加藤*=2.1 つくばみらい市福田*=2.1 取手市寺田*=2.1 小美玉市上玉里*=2.1 常総市水海道諏訪町*=2.1 稲敷市江戸崎甲*=2.0 茨城鹿嶋市鉢形=2.0 稲敷市結佐*=2.0 神栖市溝口*=2.0 常総市新石下*=2.0 石岡市柿岡=2.0 笠間市石井*=2.0 坂東市馬立*=2.0 つくば市小荊*=1.9 龍ヶ崎市府所*=1.9 つくば市研究学園*=1.9 阿見町中央*=1.9 河内町源清田*=1.9 利根町布川=1.9 坂東市山*=1.8 土浦市常名=1.8 稲敷市府所*=1.8 潮来市堀之内=1.8 土浦市藤沢*=1.8 美浦村受領*=1.8 桜川市真壁*=1.8 小美玉市堅倉*=1.8 牛久市中央*=1.8 八千代町菅谷*=1.8 つくば市天王台*=1.8 石岡市若宮*=1.8 笠間市中央*=1.8 茨城鹿嶋市宮中*=1.7 石岡市八郷*=1.7 坂東市府所*=1.7 稲敷市須賀津*=1.7 茨城町小堤*=1.7 神栖市波崎*=1.6 行方市玉造*=1.6 小美玉市小川*=1.6 茨城古河市長谷町*=1.6 かすみがうら市上土田*=1.6 かすみがうら市大和田*=1.6 茨城古河市仁連*=1.6 境町旭町*=1.5 行方市麻生*=1.5 守谷市大柏*=1.5 土浦市田中*=1.5 笠間市笠間*=1.5 水戸市内原町*=1.5 笠間市下郷*=1.5 下妻市鬼怒*=1.5 五霞町小福田*=1.5 1 常陸太田市金井町*=1.4 茨城古河市下大野*=1.4 下妻市本城町*=1.4 鉾田市鉾田=1.4 鉾田市汲上*=1.4 筑西市門井*=1.3 筑西市海老ヶ島*=1.3 行方市山田*=1.3 桜川市岩瀬*=1.3 桜川市羽田*=1.3 ひたちなか市南神敷台*=1.2 結城市結城*=1.2 那珂市福田*=1.2 鉾田市造谷*=1.2 筑西市下山*=1.1 水戸市千波町*=1.1 東海村東海*=1.1 水戸市金町=1.1 城里町石塚*=1.0 水戸市栗崎町*=0.9 日立市助川小学校*=0.8 常陸大宮市北町*=0.6 城里町小勝*=0.6 常陸大宮市中富町=0.5 3 川口市中青木分室*=2.7 草加市中央*=2.6 さいたま緑区中尾*=2.6 2 加須市大和根*=2.4 川口市青木*=2.4 越谷市越ヶ谷*=2.4 蕨市中央*=2.4 さいたま岩槻区本丸*=2.3 宮代町笠原*=2.3 さいたま南区別所*=2.3 川口市三ツ和*=2.2 さいたま大宮区天沼町*=2.2 春日部市金崎*=2.1 春日部市谷原新田*=2.1 八潮市中央*=2.1 三郷市中央*=2.1 さいたま中央区下落合*=2.1 春日部市粕壁*=2.1 幸手市東*=2.0 吉川市きよみ野*=2.0 さいたま浦和区高砂=2.0 戸田市上戸田*=2.0 加須市騎西*=2.0 富士見市鶴馬*=2.0 志木市中宗岡*=1.9 和光市広沢*=1.9 久喜市栗橋*=1.9 松伏町松伏*=1.9 さいたま見沼区堀崎*=1.8 狭山市入間川*=1.8 白岡市千駄野*=1.8 加須市北川辺*=1.8 新座市野火止*=1.8 埼玉三芳町藤久保*=1.7 所沢市北有楽町*=1.7 さいたま大宮区大門*=1.7 さいたま桜区道場*=1.7 熊谷市大里*=1.7 さいたま浦和区常盤*=1.7 久喜市鷲宮*=1.7 加須市三俣*=1.6 鴻巣市中央*=1.6 伊奈町小室*=1.6 鴻巣市川里*=1.6 川島町下八ツ林*=1.6 鴻巣市吹上富士見*=1.6 さいたま西区指扇*=1.6 朝霞市本町*=1.6 川越市新宿町*=1.5 羽生市東*=1.5 上尾市本町*=1.5 1 行田市本丸*=1.4 川越市旭町=1.4 桶川市泉*=1.3 鶴ヶ島市三ツ木*=1.3 毛呂山町中央*=1.3 行田市南河原*=1.3 吉見町下細谷*=1.3 ふじみ野市福岡*=1.2 所沢市並木*=1.1 ふじみ野市大井*=1.0 埼玉美里町木部*=1.0 北本市本町*=1.0 蓮田市黒浜*=1.0 坂戸市千代田*=1.0 日高市南平沢*=0.9 熊谷市宮町*=0.9 本庄市児玉町=0.9 東松山市松葉町*=0.9 熊谷市妻沼*=0.8 熊谷市江南*=0.8 越生町越生*=0.8 東松山市市ノ川*=0.8 飯能市双柳*=0.7 深谷市花園*=0.7 熊谷市桜町=0.7 飯能市征矢町*=0.6 秩父市上町=0.6 秩父市近戸町*=0.6 ときがわ町桃木*=0.6 飯能市名栗*=0.5 滑川町福田*=0.5 3 横浜港北区日吉本町*=2.9 川崎川崎区宮前町*=2.9 川崎幸区戸手本町*=2.9 川崎中原区小杉町*=2.9 横浜鶴見区鶴見*=2.7 川崎宮前区宮前平*=2.7 横浜鶴見区末広町*=2.6 横浜中区山手町*=2.6 川崎中原区小杉車屋町=2.6 川崎川崎区中島*=2.5 横浜鶴見区馬場*=2.5 2 横浜神奈川区広台太田町*=2.4 横浜中区山下町*=2.4 横浜保土ヶ谷区上菅田町*=2.4 横浜緑区鴨居*=2.4 横浜港北区綱島西*=2.3 横浜戸塚区鳥が丘*=2.3 横浜緑区十日市場町*=2.3 川崎川崎区千鳥町*=2.3 横浜港北区大倉山*=2.2 横浜都筑区池辺町*=2.2 横浜中区山吹町*=2.1 横浜旭区川井宿町*=2.1 横浜瀬谷区三ツ境*=2.1 横浜青葉区榎が丘*=2.1 横浜青葉区市ケ尾町*=2.1 三浦市城山町*=2.1 横浜西区みなとみらい*=2.0 横浜西区浜松町*=2.0 横浜中区日本大通*=2.0 横浜磯子区磯子*=2.0 横浜磯子区洋光台*=2.0 横浜金沢区白帆*=1.9 横浜旭区今宿東町*=1.9 横浜瀬谷区中屋敷*=1.9 横浜戸塚区戸塚町*=1.8 横浜港南区丸山台東部*=1.8 横浜旭区上白根町*=1.8 横浜栄区小菅ヶ谷*=1.8 横浜都筑区茅ヶ崎*=1.8 川崎高津区下作延*=1.8 横須賀市光の丘=1.8 大和市下鶴間*=1.8 横浜戸塚区平戸町*=1.7 横浜旭区大池町*=1.7 藤沢市辻堂東海岸*=1.7 横浜金沢区寺前*=1.7 横浜金沢区釜利谷南*=1.7 綾瀬市深谷*=1.7 厚木市中町*=1.7 中井町比奈窪*=1.7 相模原緑区橋本*=1.7 横浜泉区岡津町*=1.6 横浜青葉区美しが丘*=1.6 横浜保土ヶ谷区神戸町*=1.6 藤沢市大庭*=1.6 藤沢市長後*=1.6 茅ヶ崎市茅ヶ崎=1.6 座間市相武台*=1.6 寒川町宮山*=1.6 小田原市荻窪*=1.6 相模原南区相模大野*=1.6 川崎多摩区登戸*=1.5 川崎麻生区片平*=1.5 藤沢市打展*=1.5 海老名市大谷*=1.5 愛川町角田*=1.5 横浜泉区和泉町*=1.5 相模原緑区久保沢*=1.5 1 厚木市下津古久*=1.4 松田町松田惣領*=1.4 清川村煤ヶ谷*=1.4 横浜南区六ツ川*=1.3 藤沢市朝日町*=1.3 逗子市桜山*=1.3 神奈川大井町金子*=1.3 湯河原町中央=1.3 相模原中央区上溝*=1.3 横浜南区大岡*=1.2 横浜栄区桂台南*=1.2 川崎麻生区万福寺*=1.2 横須賀市坂本町*=1.2 箱根町湯本*=1.2 相模原中央区水郷田名*=1.2 相模原緑区中野*=1.2 相模原南区磯部*=1.1 葉山町堀内*=1.1 秦野市曾屋=1.1 鎌倉市御成町*=1.0 山北町山北*=0.8</p>				
		<p>茨城県</p>				
		<p>埼玉県</p>				
		<p>神奈川県</p>				

令和元年5月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		栃木県 秦野市平沢*0.5 2 野木町丸林*1.6 高根沢町石末*1.6 市貝町市塙*1.5 1 真岡市石島*1.4 栃木市岩舟町静*1.3 真岡市田町*1.3 下野市田中*1.2 大田原市湯津上*1.2 足利市大正町*1.2 真岡市荒町*1.2 益子町益子*1.2 芳賀町祖母井*1.1 那須烏山市中央=1.0 佐野市高砂町*1.0 下野市笹原*1.0 宇都宮市明保野町*0.9 日光市芹沼*0.7 栃木市旭町=0.6 群馬県 2 邑楽町中野*1.7 千代田町赤岩*1.5 1 沼田市白沢町*1.4 渋川市赤城町*1.3 群馬明和町新里*1.3 板倉町板倉=1.2 館林市城町*1.0 沼田市西倉内町=1.0 前橋市粕川町*0.9 館林市美園町*0.9 安中市安中*0.9 桐生市元宿町*0.8 太田市粕川町*0.8 片品村東小川=0.8 前橋市富士見町*0.7 前橋市鼻毛石町*0.7 沼田市下久屋町*0.7 前橋市堀越町*0.6 太田市浜町*0.6 渋川市吹屋*0.6 伊勢崎市境*0.5 伊勢崎市西久保町*0.5 山梨県 2 忍野村忍草*1.5 1 富士川町鯉沢*1.3 山中湖村山中*1.3 富士河口湖町長浜*1.3 富士河口湖町船津=1.0 甲府市飯田=0.8 富士吉田市上吉田*0.7 大月市御大刀*0.5 静岡県 2 東伊豆町奈良本*2.2 河津町田中*2.1 東伊豆町稲取*1.7 1 伊豆市中伊豆グラウンド=1.1 伊豆の国市長岡*1.1 富士宮市野中*1.0 西伊豆町仁科*0.9 西伊豆町宇久須*0.9 富士宮市弓沢町=0.9 富士市吉永*0.9 御殿場市萩原=0.9 伊東市大原=0.7 下田市加増野=0.7 熱海市網代=0.6 南伊豆町下賀茂*0.6 新潟県 1 南魚沼市六日町=1.1 長野県 1 長野南牧村海ノ口*1.2 茅野市葛井公園*1.1 佐久市中込*0.9 諏訪市湖岸通り=0.7 軽井沢町追分=0.6 御代田町役場*0.6				
95	25 15 40	広島県南西部 34° 25.9' N 132° 24.7' E 19km M: 3.2 広島県 2 広島西区己斐*1.5 1 広島中区羽衣町*1.4 坂町役場*1.1 広島安佐北区可部南*1.0 府中町大通り*0.9 広島安佐南区祇園*0.8 呉市二河町*0.8 広島三次市吉舎町*0.7 東広島市福富町*0.7 広島安芸区中野*0.7 海田町上市*0.7 熊野町役場*0.7 広島佐伯区利松*0.7 北広島町有田=0.6 安芸太田町中筒賀*0.6 江田島市沖美町*0.6 廿日市市津田*0.5 呉市焼山*0.5 東広島市豊栄町*0.5				
96	25 22 15	伊豆大島近海 34° 44.1' N 139° 24.3' E 0km M: 2.2 東京都 1 伊豆大島町元町=1.4 伊豆大島町波浮港*0.5				
97	26 00 29	伊豆半島東方沖 35° 03.2' N 139° 06.0' E 7km M: 2.7 静岡県 2 熱海市網代=2.1 1 伊豆市中伊豆グラウンド=0.6 神奈川 1 湯河原町中央=0.8				
98	26 05 12	胆振地方中東部 42° 33.7' N 141° 58.6' E 36km M: 2.9 北海道 1 厚真町鹿沼=0.7				
99	26 08 09	宮城県沖 38° 41.9' N 141° 47.7' E 52km M: 2.9 岩手県 1 一関市室根町*0.5				
100	26 08 24	岐阜県飛騨地方 36° 00.5' N 137° 17.4' E 13km M: 2.9 岐阜県 1 高山市高根町*1.3 飛騨市古川町*0.8 下呂市小坂町*0.6				
101	26 09 11	岐阜県飛騨地方 36° 00.6' N 137° 17.4' E 13km M: 3.1 岐阜県 2 高山市高根町*1.7 1 下呂市小坂町*1.3 飛騨市古川町*1.0 下呂市馬瀬*0.7 下呂市萩原町*0.7				
102	26 09 26	奄美大島北東沖 29° 27.5' N 130° 41.5' E 53km M: 4.5 鹿児島県 1 鹿児島十島村諏訪之瀬島*1.3 鹿児島十島村中之島徳之尾=0.9 鹿児島十島村悪石島*0.9				
103	26 15 29	青森県下北地方 41° 19.0' N 141° 12.4' E 7km M: 1.5 青森県 1 むつ市金谷*0.5				
104	26 16 59	静岡県西部 34° 50.8' N 137° 56.0' E 30km M: 3.2 岐阜県 1 恵那市上矢作町*0.6 静岡県 1 掛川市長谷*0.9 牧之原市静波*0.8 袋井市新屋=0.8 愛知県 1 新城市矢部=0.6 新城市作手高里繩手上*0.5				
105	27 04 04	茨城県北部 36° 41.5' N 140° 39.1' E 11km M: 4.3 茨城県 4 日立市助川小学校*3.6 3 日立市役所*3.2 北茨城市中郷町*3.0 常陸太田市町屋町=2.6 2 北茨城市磯原町*2.4 高萩市安良川*2.3 日立市十王町友部*2.3 常陸大宮市上小瀬*2.1 常陸太田市金井町*2.0 高萩市本町*1.9 常陸太田市高柿町*1.9 常陸大宮市北町*1.9 土浦市常名=1.9 ひたちなか市南神敷台*1.8 常陸大宮市山方*1.8 水戸市千波町*1.7 那珂市福田*1.7 東海村東海*1.7 つくば市研究学園*1.7 筑西市舟生=1.7 常陸大宮市野口*1.6 城里町小勝*1.6 取手市寺田*1.5 大子町池田*1.5 坂東市馬立*1.5 笠間市石井*1.5 筑西市門井*1.5 那珂市瓜連*1.5 城里町石塚*1.5 1 水戸市栗崎町*1.4 常陸太田市大中町*1.4 笠間市笠間*1.4 五霞町小福田*1.4 桜川市真壁*1.4 常総市新石下*1.4 土浦市藤沢*1.3 石岡市柿岡=1.3 水戸市金町=1.3				

令和元年5月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>坂東市山*1.3 常陸太田市町田町*1.3 常総市水海道諏訪町*1.3 笠間市中央*1.3 笠間市下郷*1.2 坂東市役所*1.2 かすみがうら市上土田*1.2 桜川市岩瀬*1.2 ひたちなか市東石川*1.2 常陸大宮市高部*1.2 小美玉市堅倉*1.2 下妻市本城町*1.2 つくば市小茎*1.2 水戸市内原町*1.2 かすみがうら市大和田*1.1 小美玉市上玉里*1.1 桜川市羽田*1.1 茨城古河市下大野*1.1 茨城古河市仁連*1.1 つくばみらい市福田*1.1 石岡市若宮*1.1 下妻市鬼怒*1.1 常陸大宮市中富町=1.1 坂東市岩井=1.1 小美玉市小川*1.1 稲敷市江戸崎*1.1 城里町阿波山*1.0 境町旭町*1.0 鉾田市汲上*1.0 石岡市八郷*1.0 土浦市田中*1.0 つくば市天王台*1.0 結城市結城*0.9 筑西市海老ヶ島*0.9 牛久市中央*0.9 茨城鹿嶋市宮中*0.9 八千代町菅谷*0.8 つくばみらい市加藤*0.8 守谷市大柏*0.8 茨城町小堤*0.8 龍ヶ崎市役所*0.7 美浦村受領*0.7 ひたちなか市山ノ上町=0.7 鉾田市造谷*0.6 茨城鹿嶋市鉢形=0.6 稲敷市伊佐津*0.6 阿見町中央*0.6 鉾田市鉾田=0.5 大洗町磯浜町*0.5</p> <p>2 古殿町松川新桑原*2.0 泉崎村泉崎*2.0 棚倉町棚倉中居野=2.0 玉川村小高*2.0 浅川町浅川*2.0 白河市表郷*1.9 鏡石町不時沼*1.8 白河市新白河*1.8 白河市東*1.8 白河市郭内=1.8 石川町長久保*1.7 中島村滑津*1.7 郡山市湖南町*1.6 いわき市錦町*1.5 須賀川市八幡山*1.5</p> <p>1 須賀川市岩瀬支所*1.4 天栄村下松本*1.4 矢祭町戸塚*1.4 平田村永田*1.4 古殿町松川横川=1.4 田村市大越町*1.4 飯館村伊丹沢*1.3 白河市大信*1.3 田村市都路町*1.3 郡山市開成*1.2 西郷村熊倉*1.2 須賀川市八幡町*1.2 いわき市三和町=1.1 郡山市朝日=1.1 矢祭町東館*1.1 二本松市油井*1.1 福島伊達市霊山町*1.1 本宮市本宮*1.1 矢吹町一本木*1.0 天栄村湯本支所*1.0 田村市船引町=1.0 白河市八幡小路*1.0 川内村上川内早渡*0.9 葛尾村落合落合*0.9 田村市常葉町*0.9 会津美里町新鶴守舎*0.9 小野町中通*0.9 川俣町五百田*0.9 棚倉町棚倉館ヶ丘*0.9 塙町塙*0.8 檜葉町北田*0.8 鮫川村赤坂中野*0.8 浪江町幾世橋=0.8 須賀川市長沼支所*0.8 大玉村南小屋=0.8 田村市滝根町*0.8 福島伊達市梁川町*0.8 二本松市針道*0.8 小野町小野新町*0.8 いわき市小名浜=0.8 福島市五老内町*0.7 新地町谷地小屋*0.7 本宮市白岩*0.7 福島広野町下北迫大谷地原*0.7 二本松市金色*0.6 檜枝岐村上河原*0.6 猪苗代町千代田*0.6 福島市松木町=0.6 福島市桜木町*0.6 福島市飯野町*0.6 いわき市平四ツ波*0.5 川内村下川内=0.5 大玉村玉井*0.5</p> <p>2 鹿沼市晃望台*1.7 芳賀町祖母井*1.7 那須烏山市中央=1.6 市貝町市塙*1.5</p> <p>1 宇都宮市明保野町=1.4 鹿沼市今宮町*1.4 宇都宮市中里町*1.3 高根沢町石末*1.3 栃木那珂川町馬頭*1.3 真岡市田町*1.2 真岡市石島*1.2 益子町益子=1.2 大田原市湯津上*1.1 真岡市荒町*1.1 那須町寺子*1.0 栃木市旭町=1.0 佐野市葛生東*1.0 茂木町茂木*0.9 栃木那珂川町小川*0.9 下野市田中*0.9 栃木さくら市氏家*0.8 那須烏山市大金*0.8 日光市瀬川=0.8 足利市大正町*0.8 日光市鬼怒川温泉大原*0.7 日光市芹沼*0.7 下野市笹原*0.7 栃木さくら市喜連川*0.6 栃木市万町*0.6 栃木市若舟町静*0.6 那須烏山市役所*0.5 那須塩原市塩原庁舎*0.5</p> <p>2 渋川市赤城町*1.9</p> <p>1 沼田市白沢町*1.1 前橋市富士見町*1.1 沼田市利根町*1.0 桐生市黒保根町*1.0 伊勢崎市西久保町*0.8 吉岡町下野田*0.8 沼田市西倉内町=0.7 沼田市下久屋町*0.7 邑楽町中野*0.6 前橋市粕川町*0.5 桐生市元宿町*0.5 伊勢崎市境*0.5 みなかみ町鹿野沢*0.5</p> <p>1 岩沼市桜*0.9 山元町浅生原*0.6</p> <p>1 久喜市下早見=1.2 春日部市金崎*1.1 加須市大利根*1.0 春日部市粕壁*0.8 草加市中央*0.8 宮代町笠原*0.8 鴻巣市川里*0.6 春日部市谷原新田*0.6 久喜市青葉*0.5 幸手市東*0.5 さいたま北区宮原*0.5 白岡市千駄野*0.5</p> <p>1 野田市鶴奉*1.3 野田市東宝珠花*1.1 柏市旭町=0.8 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*0.8 香取市仁良*0.7 白井市復*0.7 芝山町小池*0.5 成田市松子*0.5</p>				
106	27 12 54	大阪府北部 大阪府	34° 52.1' N	135° 37.0' E	10km	M: 2.4
		1 島本町若山台*0.5				
107	27 15 02	宮城県沖 岩手県	38° 32.1' N	141° 42.8' E	53km	M: 3.7
		1 一関市室根町*1.0 大船渡市大船渡町=0.6 一関市藤沢町*0.6 住田町世田米*0.5 一関市千蔵町*0.5				
		宮城県				1 涌谷町新町裏=0.9 南三陸町歌津*0.8 気仙沼市笹が陣*0.7 石巻市桃生町*0.7 南三陸町志津川=0.6 気仙沼市赤岩=0.5
108	27 20 40	千葉県北東部 千葉県	35° 29.7' N	140° 22.8' E	28km	M: 2.4
		1 大網白里市大網*0.6				
109	28 06 25	千葉県北西部 千葉県 東京都 神奈川県	35° 41.6' N	140° 02.7' E	68km	M: 3.2
		1 千葉中央区中央港=0.8 千葉緑区おゆみ野*0.5 八千代市大和田新田*0.5				
		1 東京渋谷区本町*1.0 調布市西つじヶ丘*0.9 西東京市中町*0.6 東京千代田区大手町=0.5				
		1 横浜青葉区市ヶ尾町*1.1 川崎市崎区宮前町*0.7 相模原中央区上溝*0.5				
110	28 10 29	北海道東方沖 北海道	43° 25.2' N	146° 53.2' E	70km	M: 4.4
		1 中標津町丸山*1.0 根室市落石東*1.0 根室市瑠瑠瑠*0.6				
111	28 18 41	沖縄本島近海 鹿児島県	27° 16.1' N	128° 36.2' E	17km	M: 2.4
		1 知名町瀬利覚=1.2				

令和元年5月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
112	28 20 36	福島県浜通り 茨城県 1 高萩市安良川*0.5	36° 57.9' N	140° 42.1' E	20km	M: 3.3
113	29 14 29	日向灘 宮崎県 1 西都市上の宮*0.8 川南町川南*0.8 宮崎都農町役場*0.5	32° 07.5' N	131° 41.3' E	38km	M: 3.1
114	29 17 30	静岡県中部 山梨県 静岡県 1 山梨南部町栄小学校*0.6 1 静岡葵区梅ヶ島*0.8	35° 06.2' N	138° 13.6' E	29km	M: 2.9
115	29 23 09	釧路地方中南部 北海道 1 十勝大樹町生花*0.5 根室市厚床*0.5	43° 18.8' N	144° 29.2' E	136km	M: 3.6
116	30 01 02	十勝地方北部 北海道 2 陸別町陸別*2.1 置戸町拓殖*1.9 遠軽町生田原*1.7 足寄町南1条*1.6 訓子府町東町*1.6 浦幌町桜町*1.5 1 北見市公園町=1.4 足寄町上螺湾=1.3 北見市留辺蘂町栄町*1.2 遠軽町丸瀬布金湧山=1.1 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*1.1 斜里町ウトロ香川*1.0 北見市留辺蘂町富士見*0.7 津別町幸町*0.7 十勝大樹町生花*0.6 小清水町小清水*0.6 北見市留辺蘂町上町=0.5 本別町北2丁目=0.5 美幌町東3条=0.5 遠軽町学田*0.5	43° 31.5' N	143° 38.5' E	9km	M: 3.9
117	30 03 53	茨城県北部 茨城県 1 高萩市安良川*0.9	36° 42.2' N	140° 37.9' E	6km	M: 2.7
118	30 05 41	和歌山県北部 和歌山県 2 海南市下津*1.9 1 有田川町下津野*1.3 有田市初島町*1.2 有田市箕島=1.2 紀美野町下佐々*1.1 湯浅町青木*1.1	34° 06.3' N	135° 11.4' E	3km	M: 2.9
119	30 15 19	福島県沖 福島県 茨城県 1 郡山市開成*0.6 白河市新白河*0.6 猪苗代町千代田*0.5 1 日立市助川小学校*1.2 笠間市石井*0.7	36° 55.9' N	141° 17.6' E	43km	M: 3.8
120	30 15 20	周防灘 大分県 2 国東市国見町伊美*1.8 1 姫島村役場*0.7	33° 45.2' N	131° 29.8' E	13km	M: 3.1
121	30 20 32	茨城県北部 茨城県 2 日立市助川小学校*2.3 日立市役所*1.9 常陸太田市町屋町=1.5 1 高萩市安良川*1.3 北茨城市中郷町*1.0 高萩市本町*0.7 日立市十王町友部*0.7 常陸大宮市上小瀬*0.7 北茨城市磯原町*0.6 常陸太田市高柿町*0.5	36° 41.1' N	140° 40.0' E	11km	M: 3.4
122	31 08 46	沖縄本島近海 沖縄県 1 名護市港*0.6	26° 35.4' N	127° 56.9' E	36km	M: 3.2
123	31 14 27	釧路沖 北海道 2 浜中町茶内*1.6 1 根室市厚床*0.8 根室市瑤瑤瑠*0.7	42° 49.5' N	145° 31.1' E	46km	M: 3.6
124	31 22 48	胆振地方中東部 北海道 3 厚真町鹿沼=2.7 安平町追分柏が丘*2.5 2 千歳市若草*2.3 札幌白石区北郷*2.2 安平町早来北進*2.1 むかわ町松風*2.1 千歳市北栄=2.0 厚真町京町*1.8 登別市桜木町*1.7 札幌北区太平*1.6 千歳市支笏湖温泉*1.6 札幌東区元町*1.5 1 恵庭市京町*1.4 室蘭市寿町*1.4 札幌厚別区もみじ台*1.3 新千歳空港=1.3 白老町大町=1.3 むかわ町穂別*1.3 胆振伊達市大滝区本町*1.2 白老町緑丘*1.2 札幌北区新琴似*1.2 石狩市聚富=1.1 苫小牧市旭町*1.1 札幌北区篠路*1.1 長沼町中央*1.1 札幌手稲区前田*1.1 平取町振内*1.1 余市町浜中町*1.0 札幌豊平区月寒東*1.0 江別市緑町*1.0 北広島市共栄*0.9 札幌清田区平岡*0.9 三笠市幸町*0.9 由仁町新光*0.9 札幌西区琴似*0.8 新篠津村第4 7線*0.8 石狩市花川=0.8 日高地方日高町門別*0.8 平取町本町*0.8 江別市高砂町=0.8 月形町円山公園*0.7 登別市鉾山=0.7 小樽市勝納町=0.6 苫小牧市末広町=0.6 余市町朝日町=0.5 新ひだか町静内山手町=0.5	42° 49.1' N	141° 59.1' E	36km	M: 4.1

● 付録2 過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数
 <平成30年（2018年）6月～令和元年（2019年）5月>

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
平成30年（2018年）											
6月	127	49	17	5	1		1			200	「平成28年（2016年）熊本地震」の地震活動（震度1以上合計：12回） 千葉県東方沖から千葉県北東部及び南部付近にかけての地震活動（震度4：2回、震度3：6回、震度2：8回、震度1：10回） 17日 群馬県南部（震度5弱） 18日 大阪府北部（震度6弱）※1 地震活動（震度6弱：1回、震度4：1回、震度3：4回、震度2：11回、震度1：25回）
7月	109	34	10	5	1					159	大阪府北部の地震活動（※1の周辺）（震度3：1回、震度2：3回、震度1：9回） 7日 千葉県東方沖（震度5弱） 地震活動（震度5弱：1回、震度2：3回、震度1：7回）
8月	89	29	11	2						131	
9月	229	113	46	19	1				1	409	「平成30年北海道胆振東部地震」の地震活動（震度7：1回、震度5弱：1回、震度4：16回、震度3：33回、震度2：75回、震度1：151回）
10月	106	51	16	10	1					184	「平成30年北海道胆振東部地震」の地震活動（震度5弱：1回、震度4：4回、震度3：2回、震度2：6回、震度1：22回）
11月	148	38	10	5						201	「平成30年北海道胆振東部地震」の地震活動（震度4：1回、震度2：4回、震度1：8回） 岐阜県飛騨地方（長野・岐阜県境付近）の地震活動（震度2：6回、震度1：43回）
12月	100	33	11	2						146	
平成31年/令和元年（2019年）											
1月	100	48	4	4	1		1			158	3日 熊本県熊本地方（震度6弱） 26日 熊本県熊本地方（震度5弱）
2月	82	40	7	1			1			131	「平成30年北海道胆振東部地震」の地震活動（震度6弱：1回、震度3：1回、震度2：3回、震度1：6回）
3月	93	30	10	5						138	
4月	78	24	8	1						111	
5月	78	30	10	4	2					124	10日 日向灘（震度5弱） 25日 千葉県北東部（震度5弱）
2019年計	431	172	39	15	3	0	2	0	0	662	
過去1年計	1339	519	160	63	7	0	3	0	1	2092	（平成30年6月～令和元年5月）

注）「記事」の欄には主に震度5弱以上を観測した地震、または震度1以上を10回以上観測した地震活動について記載した。

● 付録3 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数
 〈平成30年（2018年）6月～令和元年（2019年）5月〉

	M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0 以上	計 M4.0 以上	記事
平成30年（2018年）								
6月	357	68	5	1		431	74	18日 大阪府北部（M6.1）
7月	328	73	14	1		416	88	7日 千葉県東方沖（M6.0）
8月	365	96	11	2		474	109	17日03時21分 硫黄島近海（M6.3） 17日03時23分 硫黄島近海（M6.6）
9月	586	120	14	3		723	137	「平成30年北海道胆振東部地震」の地震活動 6日 胆振地方中東部（M6.7） 15日 沖縄本島近海（M6.2） 16日 沖縄本島近海（M6.0）
10月	410	80	14	2		506	96	23日 与那国島近海（M6.1） 24日 与那国島近海（M6.3）
11月	362	77	9	2		450	88	2日 オホーツク海南部（M6.1） 5日 国後島付近（M6.3）
12月	308	66	13			387	79	
平成31年/令和元年（2019年）								
1月	324	65	10	1		400	76	8日 種子島近海（M6.0）
2月	369	66	14			449	80	
3月	336	69	14	3		422	86	2日 根室半島南東沖（M6.2） 11日 福島県沖（M6.0） 11日 硫黄島近海（M6.1）
4月	414	79	14	2		509	95	11日 三陸沖（M6.2） 18日 台湾付近（M6.5）
5月	337	70	7	1		415	78	10日 日向灘（M6.3）
2019年計	1780	349	59	7	0	2195	415	
過去1年計	4496	929	139	18	0	5582	1086	（平成30年6月～令和元年5月）

注）日本及びその周辺：原則、北緯20～49度、東経120～154度の範囲。「記事」の欄には主にM6.0以上の地震を記載した。

● 付録4. 長周期地震動階級1以上を観測した地震

令和元年5月に、長周期地震動階級*1以上を観測した地震は1回であった。

平成25年3月～令和元年5月に長周期地震動階級1以上を観測した地震の月別回数
（平成25年3月28日の長周期地震動に関する観測情報（試行）***の提供開始以降）

年 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成25年 (2013年)			1	4	1	0	0	1	1	1	1	1	11
平成26年 (2014年)	0	1	1	0	1	1	3	0	1	1	1	0	10
平成27年 (2015年)	0	3	0	1	2	0	2	0	0	0	1	0	9
平成28年 (2016年)	1	0	0	13	1	1	0	2	0	2	4	1	25
平成29年 (2017年)	1	2	0	0	0	1	2	0	1	1	0	1	9
平成30年 (2018年)	1	0	1	1	1	2	2	0	2	2	0	0	12
平成31年 /令和元年 (2019年)	1	1	0	0	1								3

長周期地震動階級関連解説表

長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
長周期地震動階級1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げもの大きく揺れる。	—
長周期地震動階級2	室内で大きな揺れを感じ、物につかまりたいと感じる。物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	—
長周期地震動階級3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
長周期地震動階級4	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろつされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

※ 長周期地震動階級に関する詳細は、地震・火山月報（防災編）平成30年12月号「付録10. 長周期地震動階級関連解説表」を参照。

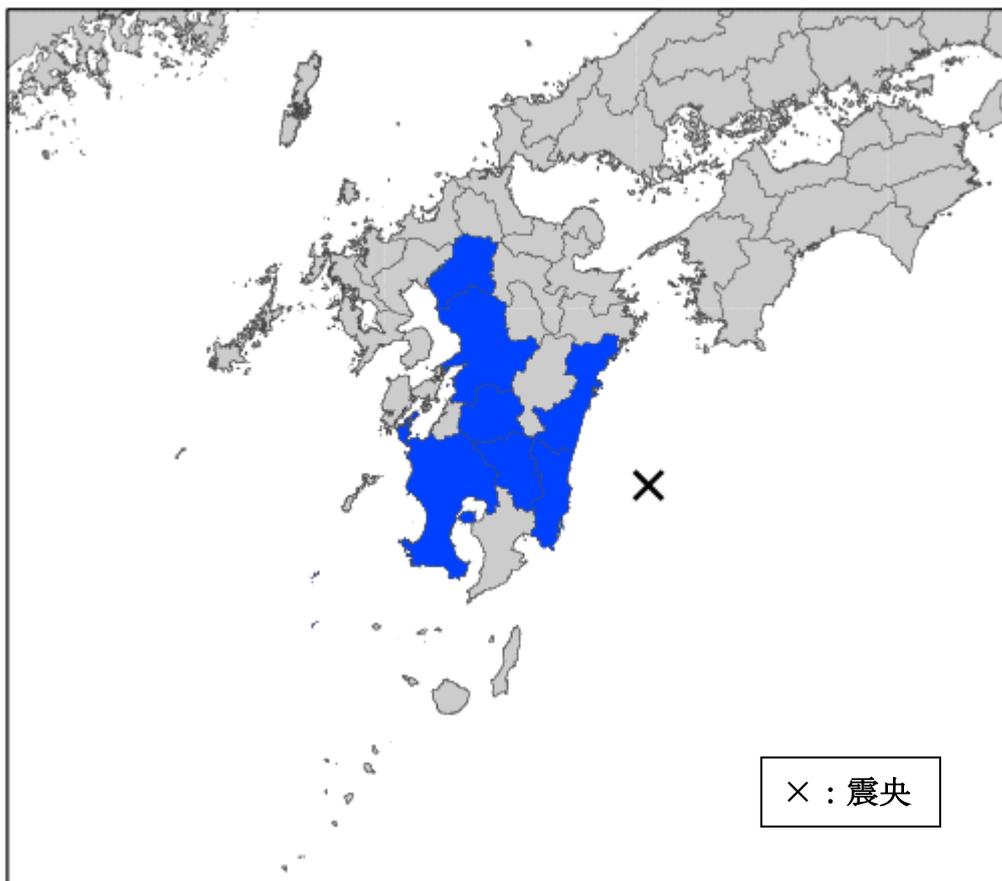
*** 長周期地震動に関する観測情報（試行）に関する詳細は、同平成25年4月号「特集3. 長周期地震動に関する観測情報（試行）について」を参照。なお、平成31年3月19日に長周期地震動に関する観測情報の本運用を開始した。

1. 令和元年 5 月 10 日 08 時 48 分 日向灘の地震

長周期地震動階級 1 以上を観測した地域・観測点

2019 年 5 月 10 日 08 時 48 分 日向灘 北緯 31 度 48.0 分 東経 131 度 58.4 分 深さ 25km M6.3			
都道府県	地域	地点	長周期地震動階級
福岡県	福岡県筑後	久留米市津福本町	1
熊本県	熊本県熊本	八代市平山新町	1
熊本県	熊本県熊本	宇城市松橋町	1
熊本県	熊本県熊本	熊本西区春日	1
熊本県	熊本県球磨	人吉市西間下町	1
熊本県	熊本県球磨	多良木町多良木	1
宮崎県	宮崎県北部平野部	新富町上富田	1
宮崎県	宮崎県南部平野部	宮崎市霧島	1
宮崎県	宮崎県南部平野部	日南市北郷町大藤	1
宮崎県	宮崎県南部山沿い	都城市菖蒲原	1
宮崎県	宮崎県南部山沿い	小林市真方	1
鹿児島県	鹿児島県薩摩	鹿児島市東郡元	1
鹿児島県	鹿児島県薩摩	指宿市山川新生町	1
鹿児島県	鹿児島県薩摩	さつま町宮之城屋地	1
鹿児島県	鹿児島県薩摩	霧島市隼人町内山田	1
鹿児島県	鹿児島県薩摩	鹿児島空港	1

長周期地震動階級 1 以上が観測された地域



長周期地震動階級の凡例: ■ 階級1 ■ 階級2 ■ 階級3 ■ 階級4

● 付録5. 緊急地震速報の提供状況

令和元年5月に緊急地震速報（警報）を発表した回数は1回であった。また、緊急地震速報（予報）を発表した回数は64回であった。

令和元年5月に発表した緊急地震速報（警報）

地震発生日時	震央地名	マグニチュード（M）	最大震度	予想最大震度	警報発表までの経過時間（秒）
令和元年05月10日08時48分	日向灘	6.3	5弱	5弱	8.1

※表中の「予想最大震度」は緊急地震速報（警報）で発表した予想震度の最大値、「警報発表までの経過時間（秒）」は地震検知から緊急地震速報（警報）第1報発表までの経過時間（秒）を示す。

震度5弱以上を観測し、緊急地震速報（警報）を発表しなかった地震

地震発生日時	震央地名	マグニチュード（M）	最大震度	予想最大震度
令和元年05月25日15時20分	千葉県北東部	5.1	5弱	4

※表中の「予想最大震度」は緊急地震速報（予報）の最終報で発表した予想震度の最大値を示す。

平成19年10月～令和元年5月に発表した緊急地震速報の月別回数

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成19年（2007年）										0(48)	0(33)	0(39)	0(120)
平成20年（2008年）	0(35)	0(41)	0(48)	1(42)	1(70)	3(75)	2(63)	0(47)	1(58)	0(46)	1(40)	0(57)	9(622)
平成21年（2009年）	0(44)	0(39)	0(34)	0(34)	0(24)	0(54)	0(36)	2(65)	0(47)	1(44)	0(39)	0(47)	3(507)
平成22年（2010年）	0(53)	1(44)	1(50)	0(36)	0(27)	0(35)	0(47)	0(51)	1(40)	1(50)	0(40)	1(34)	5(507)
平成23年（2011年）	0(50)	0(74)	45(1191)	26(770)	5(425)	5(304)	5(248)	3(239)	4(188)	1(163)	2(135)	1(136)	97(3923)
平成24年（2012年）	2(149)	3(141)	3(142)	2(128)	1(129)	3(118)	0(102)	1(107)	0(70)	0(109)	0(77)	1(134)	16(1406)
平成25年（2013年）	0(81)	2(99)	0(53)	3(103)	0(91)	0(83)	0(102)	2(97)	1(61)	0(80)	0(93)	1(67)	9(1010)
平成26年（2014年）	0(70)	0(70)	1(68)	0(62)	0(53)	0(57)	2(97)	1(96)	1(68)	0(84)	1(87)	0(75)	6(887)
平成27年（2015年）	0(67)	1(88)	0(90)	1(77)	3(71)	0(84)	1(74)	0(88)	0(81)	0(92)	1(86)	0(75)	7(973)
平成28年（2016年）	1(76)	0(71)	0(65)	20(228)	1(101)	2(89)	0(95)	0(71)	1(80)	3(92)	2(124)	1(86)	31(1178)
平成29年（2017年）	0(77)	0(72)	0(61)	0(60)	0(52)	1(55)	1(79)	1(73)	2(52)	1(53)	0(57)	1(77)	7(768)
平成30年（2018年）	2(64)	0(61)	1(76)	2(80)	1(52)	2(70)	1(55)	0(58)	2(158)	4(97)	1(68)	0(69)	16(908)
平成31年/令和元年（2019年）	1(66)	1(62)	0(63)	0(88)	1(64)								3(343)

※ 表中の数字は緊急地震速報（警報）の発表回数、（）内の数字は緊急地震速報（予報）の発表回数を示す。

緊急地震速報（警報及び予報）の提供には、気象庁の地震計の観測データに加え、国立研究開発法人防災科学技術研究所の地震観測データを利用している。

1. 令和元年5月10日8時48分 日向灘の地震

発生した地震の概要（暫定値）

地震発生日時	震央地名	北緯	東経	深さ	M	最大震度
令和元年05月10日 08時48分41.6秒	日向灘	31° 48.0′	131° 58.4′	25km	6.3	5弱

緊急地震速報の詳細

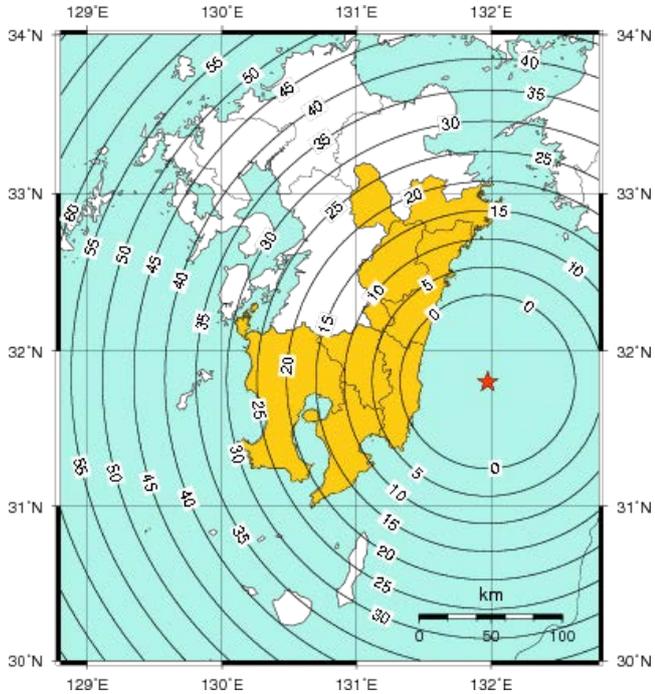
提供時刻等		経過時間	震源要素					予測震度
地震波検知時刻			震央地名	北緯	東経	深さ	M	
第1報	08時48分56.5秒	4.3	日向灘	31.8	131.9	10km	5.6	※1
第2報	08時48分57.0秒	4.8	日向灘	31.8	131.9	10km	5.6	※2
第3報	08時48分57.8秒	5.6	日向灘	31.8	131.9	10km	6.0	※3
第4報	08時48分58.2秒	6.0	日向灘	31.8	132.0	30km	6.1	※4
第5報	08時48分59.0秒	6.8	日向灘	31.8	131.9	10km	6.1	※3
第6報	08時48分59.2秒	7.0	日向灘	31.8	131.9	30km	6.0	※3
第7報	08時49分00.3秒	8.1	日向灘	31.8	131.9	10km	6.3	※5
第8報	08時49分00.8秒	8.6	日向灘	31.9	131.8	30km	6.2	※6
第9報	08時49分01.5秒	9.3	日向灘	31.8	131.9	30km	6.2	※7
第10報	08時49分02.2秒	10.0	日向灘	31.8	131.9	30km	6.2	※7
第11報	08時49分02.4秒	10.2	日向灘	31.8	131.9	30km	6.3	※6
第12報	08時49分05.2秒	13.0	日向灘	31.8	132.0	20km	6.4	※8
第13報	08時49分08.4秒	16.2	日向灘	31.8	132.0	10km	6.5	※9
第14報	08時49分11.1秒	18.9	日向灘	31.8	132.0	10km	6.5	※9
第15報	08時49分22.7秒	30.5	日向灘	31.8	132.0	10km	6.5	※9
第16報	08時49分42.4秒	50.2	日向灘	31.8	132.0	10km	6.5	※9
第17報	08時49分45.8秒	53.6	日向灘	31.8	132.0	10km	6.5	※9
第18報	08時50分05.1秒	72.9	日向灘	31.8	132.0	10km	6.5	※9
第19報	08時50分07.9秒	75.7	日向灘	31.8	132.0	10km	6.5	※9

- ※1 震度4程度以上 宮崎県南部平野部
- ※2 震度4程度 宮崎県南部平野部
- ※3 震度4程度 宮崎県南部平野部、宮崎県北部平野部、宮崎県南部山沿い、宮崎県北部山沿い
- ※4 震度4程度 宮崎県南部平野部、宮崎県北部平野部、宮崎県北部山沿い、宮崎県南部山沿い、大分県南部
震度3から4程度 鹿児島県薩摩
- ※5 震度4から5弱程度 宮崎県南部平野部
震度4程度 宮崎県北部平野部、宮崎県南部山沿い、宮崎県北部山沿い、鹿児島県大隅、大分県南部、鹿児島県薩摩、熊本県阿蘇
- ※6 震度4から5弱程度 宮崎県南部平野部
震度4程度 宮崎県北部平野部、宮崎県南部山沿い、宮崎県北部山沿い、鹿児島県大隅、大分県南部、鹿児島県薩摩、熊本県阿蘇
震度3から4程度 熊本県熊本、熊本県天草・芦北
- ※7 震度4程度 宮崎県南部平野部、宮崎県北部平野部、宮崎県南部山沿い、宮崎県北部山沿い、鹿児島県大隅、大分県南部、鹿児島県薩摩、熊本県阿蘇
- ※8 震度4から5弱程度 宮崎県南部平野部
震度4程度 宮崎県北部平野部、宮崎県北部山沿い、宮崎県南部山沿い、鹿児島県大隅、大分県南部、鹿児島県薩摩、熊本県阿蘇
震度3から4程度 熊本県熊本、熊本県天草・芦北、愛媛県南予

※9 震度4から5弱程度 宮崎県南部平野部

震度4程度 宮崎県北部平野部、宮崎県北部山沿い、宮崎県南部山沿い、鹿児島県大隅、大分県南部、鹿児島県薩摩、熊本県阿蘇、熊本県熊本、愛媛県南予

震度3から4程度 高知県西部、熊本県天草・芦北



警報第1報発表から主要動到達までの時間及び警報発表対象地域の分布図

- ★ : 震源
- : 緊急地震速報(警報)を発表した地域